髙田、シウバ、GK、中西、ミルコの言葉を聞け！

平成15年1月21日第三種郵便物認可　平成15年5月8日発行（毎月第2・第4木曜日発行）　第5巻・10号・通巻93号

SRS-DX

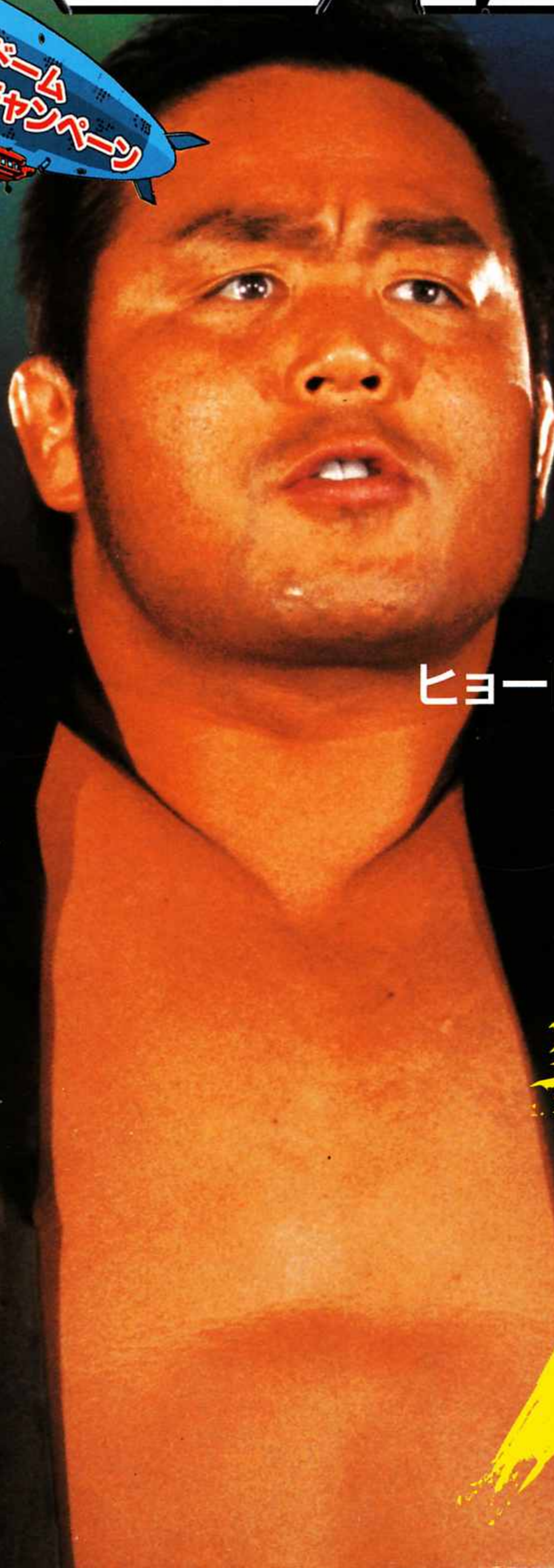
Special Ring Side

No.93
2003
5・8
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

5.2 東京ドーム応援キャンペーン

★野人、藤田を倒すべし

★野人、今こそ男になるべし

中西の馬鹿力見たい

お前は
ヒョードルvs藤田戦の
当て馬か？

INOKI BOM-BA-YE 2002

野獣ボブ・サップ咆哮

2002年を締めくくる格闘技界最大のイベント！ 柔道王 吉田登場！ 因縁対決 藤田VSミルコ

INOKI BOM-BA-YE 2002 （イノキボンバイエ2002）

DVD 4.25(fri) ON SALE

価格：4,800円（税別） 収録時間：約120分（予定） 発売：TBS 販売：メディアファクトリー 写真提供：ドリームステージエンターテインメント

対戦カード

高山善廣 vs ボブ・サップ
吉田秀彦 vs 佐竹雅昭
藤田和之 vs ミルコ・クロコップ
クイントン・ランペイジ・ジャクソン vs シリル・アビディ
ゲーリー・グッドリッジ vs マイク・ベルナルド
滑川康仁 vs ヴァリッジ・イズマイウ
中邑真輔 vs ダニエル・グレイシー
安田忠夫 vs ヤン・"ザ・ジャイアンド"・ノルキア

●全国の下記店舗他、DVD取扱店にてお求め下さい。

【北海道】HMV 札幌ステラプレイス店／アミューズ 札幌店／コーチャンフォー 美しが丘店／タワーレコード 札幌ピヴォ店／タワーレコード 新札幌店／ヨドバシカメラ マルチメディア札幌店【青森県】SAM 青森中央店【宮城県】HMV 仙台一番町店／TR 城東／スクラム 古川店／ヨドバシカメラ マルチメディア仙台店【栃木県】AV DEPOT ギンセイ 宇都宮店／WonderGoo 小山店【群馬県】デオデオ 太田店【茨城県】WonderGoo つくば店／WonderGoo 鹿島店／WonderGoo 総和店／WonderGoo 日立店／石丸電気 つくば店／石丸電気 牛久店／石丸電気 水戸ビックワン店／石丸電気 守谷店【埼玉県】WonderGoo 東川口店／ザ・ナック・ファイブ・タウン／ソフマップ GIGASTORE川越店／ドン・キホーテ 大宮大和田店／ドン・キホーテ 和光店／バンダレコード 所沢店／バンダレコード 本川越ペペ／ヤンレイ 大宮店／石丸電気 上尾ビックワン店／石丸電気 久喜ビックワン店／大宮 WAVE【千葉県】AV DEPOT ギンセイ スカイプラザ店／ドン・キホーテ 千葉中央店／ヤンレイ 市川店／ヨドバシカメラ 千葉店／ラオックス(株) 市原店／ラオックス(株) 千葉店／石丸電気 柏店／石丸電気 柏ビックワン店／石丸電気 成田ビックワン店／新星堂 あびこショッピングプラザ店／新星堂 カルチェ5柏店／成田 WAVE／船橋 WAVE／山野楽器 千葉店／山野楽器 津田沼パルコ店【東京都】G HOUSE 駅前店／G HOUSE 大和田店／HMV 池袋サンシャイン60通り店／HMV 池袋メトロポリタンプラザ店／HMV 上野店／HMV 渋谷店／HMV 新宿SOUTH店／HMV 立川店／HMV 原宿店／TSUTAYA 新宿店／Y &I 東京本店／ヴァージンメガストア 新宿店／クエストⅡ／サウンドパーク・ダイナ／さくらや 新宿東口 ホビー館／ソフマップ GIGASTORE有楽町店／ソフマップ 秋葉原カクタ店／ソフマップ 新宿4号店 2F／ソフマップ 町田店／タワーレコード 渋谷店／タワーレコード 新宿店／ディスクショップナカヤ 綾瀬店／ドン・キホーテ 葛西店／ドン・キホーテ 六本木店／(株)ビックカメラ 本店／(株)ビックカメラ 有楽町店／ミュージックストアフロンテ／ヤマギワソフト映像館／ヤマギワソフト館／ヤンレイ ディラ上野店／ヤンレイ ディラ品川店／ヤンレイ 東京駅店／ヨドバシカメラ マルチメディア錦糸町店／ヨドバシカメラ マルチメディア町田店／ヨドバシカメラ 上野店／ヨドバシカメラ 新宿西口本店ゲーム・ミュージック館／ヨドバシカメラ 新宿東口マルチメディア館／ヨドバシカメラ 八王子店／ラオックス(株) アソビットシティ／ラオックス(株) ホビー館／ラオックス(株) 青戸店／ワールドスポーツプラザ 渋谷WEST店／ワールドスポーツプラザ 池袋パルコ店／池袋 WAVE／石丸電気 SOFT 1／石丸電気 SOFT 3／石丸電気 パソコンタワー／石丸電気 世田谷店／石丸電気 本店／石丸電気 立川ビックワン店／新星堂 DISK INNルミネ立川店／新星堂 新宿靖国通り店／帝都無線 紀伊国屋店／八重洲ブックセンター本店／山野楽器 グランデュオ立川店／山野楽器 銀座本店／山野楽器 調布パルコ店【神奈川県】HMV 横浜VIVRE店／WonderGoo 相模原店／すみやMUSIC INN 藤沢六会店／ソフマップ GIGASTORE厚木店／ソフマップ GIGASTORE港北店／ソフマップ 横浜店／タハラ 本店1F／タワーレコード 川崎店／タワーレコード 横浜モアーズ店／ヤマギワソフト 横須賀店／ヨドバシカメラ マルチメディア川崎店／ヨドバシカメラ 京急上大岡店／ヨドバシカメラ 横浜駅前店／石丸電気 青葉台ビックワン店／石丸電気 横浜店／川崎 WAVE／(株)紀伊國屋書店 横浜店 DVDアイランド／新星堂 川崎店／新星堂 川崎港町ヨーカドー店／新星堂 横浜ジョイナス店／新星堂 横浜ランドマークプラザ店【新潟県】ソフマップ 新潟店／ヨドバシカメラ 新潟店／石丸電気 新潟店／上新電機(株) PitONE長岡店【静岡県】すみや 本店ソフト館【長野県】ライオン堂【富山県】フクロヤ グリーンモール店【愛知県】HMV 栄店／ヴァージン 名古屋みなと店／タワーレコード 名古屋パルコ店／(株)ディスクステーション 大須店／(株)ディスクステーション 岡崎店／ディスパ 東郷店／ヤマギワソフト ナディア店／ヤマギワソフト メルサ店／ヤンレイ 名古屋店／新星堂 名古屋店【福井県】上新電機(株) PitONE福井本店【滋賀県】JEUGIA 草津Aスクエア店／タワーレコード 大津店／上新電機(株) ディスクピア瀬田店【三重県】Mライブラリー 桑名店【京都府】JEUGIA 四条店／ソフマップ 京都店【大阪府】HMV 阿倍野店／ソフマップ GIGASTORE梅田店／ソフマップ GIGASTORE堺東店／ソフマップ GIGASTORE天王寺店／ソフマップ 難波ザウルス店／ソフマップ 日本橋2号店／タワーレコード 梅田店／ヨドバシカメラ マルチメディア梅田店／ワールドスポーツプラザ 梅田店／上新電機(株) PitONE阪急三番街店／上新電機(株) ディスクピア梅田店／上新電機(株) ディスクピア南街店／上新電機(株) ディスクピア日本橋店【兵庫県】DVDキャンプ構店／DYNA DISK 明石店／Groovy Site 明石店／HMV 三宮店／アシーネ 甲子園プランタン／ソフマップ 神戸ハーバーランド店／つかしん WAVE／紀伊國屋書店 加古川店／上新電機(株) ディスクピア三宮一番館【島根県】デオデオ 松江店【岡山県】タワーレコード 倉敷店【広島県】ソフマップ 広島店／タワーレコード 広島店／デオデオ本店デジタル館／フタバ図書 SOUNDGIGA広島駅前店／フタバ図書 SOUNDMEGA【高知県】タワーレコード 高知店【徳島県】BOOKSジュピター【愛媛県】デオデオ 松山本店【福岡県】フタバ図書 GIGA天神店／(株)ベスト電器 LIMB行橋店／(株)ベスト電器 LIMB久留米本店／(株)ベスト電器 LIMB小倉本店／(株)ベスト電器 LIMB西新店／(株)ベスト電器 LIMB福岡本店／ヨドバシカメラ マルチメディア博多店／印藤楽器店／紀伊國屋書店 福岡本店【佐賀県】タワーレコード 佐賀店／(株)ベスト電器 LIMB佐賀本店【鹿児島県】MUSIC SPACE CROSS店

新生★PRIDE★誕生

いざ、勝負！

継続とはリセットすることなり

4月15日、都内のホテルで『プライド』の記者会見が行われ、『プライド』の次回大会6・8『プライド26 REBORN』の開催と共に、新体制の概要が発表された。遂に、新生『プライド』発進だぁぁぁ！

第二次PRIDEの主役、軸になるのは誰なのか？

何も見えていない……

新生PRIDE記者会見

株式会社ドリームステージエンターテインメント
2003年4月15日［火］

榊原信行　アントニオ猪木　高田延彦　藤田和之

『プライド』は完全に新局面を迎えた。森下社長が亡くなったことで、何かがリセットされた。いったい、何がリセットされたのだろうか？

それを理解することが大事だ。『プライド25』までは、勢いだけでやってきた部分がある。〝最強〟という幻想と理念に向かって、『プライド』は突き進んできた。しかしその答えは出なかった。あらゆる闘いが展開された。

数限りなく試合が行われた。何度も何度もそのたびに激闘、死闘がリングで繰り返された。まるで「これでもか！　これでもか！」といった具合に闘いはエスカレートしていく。だが、どこまでいってもその答えは見つからない。誰が本当のチャンピオンなのか、真の王者なのか、最強なのか分からないままだ。

ヒクソン・グレイシーか？　たしかにヒクソンは負けていない。その意味では最強と言えるかもしれない。だが彼の場合、相手を選ぶ。あぶないと分かっている場には出ていかない。やばいと思われる相手とは試合はしない。

こういうのを〝引き算ファイター〟と呼ぶ。負けないためのチェックポイントを第一に考えてしまう人間。試合をやる前に試合をしている男。そのシュミレーションが、彼にとっては全てなのだ。

格闘技というのはもともとは、そういうものなのだ。試合をしない前から結果を読む。結果を読める力がある。結果を読み切る能力がある。それをできるのが真の格闘家である。だから（試合を）やってみなければ分からないという考えは一流とは言えないのだ。

その意味で生涯、剣術家として一度も負けたことがなかったと自負している宮本武蔵は、超一流の人と言ってもいい。

でも、それは我々、観客からするとつまらないということである。面白みが全然ないに等しい。ファンや観客は格闘技に関しては素人である。その道に関することは、まったくのド素人なのだ。

そうなると我々の前で試合をやってもらうしかない。それを見ることで我々は誰が強いのか、誰が最強なのかを知ることになる。ついこの間まではアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラが、一番強いと思ってきた。しかしそのノゲイラはエメリヤーエンコ・ヒョードルに敗れた。

そうなると我々の評価はノゲイラからヒョードルへと移っていく。もしノゲイラがヒョードルと試合をしなかったらノゲイラ最強説は、そのままだった。

結局、我々はそういうことを観客として楽しんでいるのだ。ノゲイラたちファイターは、観客というまったく人種の違う第三者に評価されるために試合をやっているのだ。そこが全てなのだ。

このように〝強い〟とか〝最強〟というのは、あくまで相対的なのだ。だがその時点では明らかにチャンピオンは、最強である。絶対的な存在である。

以上のことをいかにスケール感を出して、なおかつダイナミックにやってくれることを、私は『プライド』に望む。

一般的に格闘技のリングは「実力測定の場」と言われている。その測定場所には実を言うと「運」も「不運」も「ツキ」もあるということである。だから「運もツキも実力のうち」という諺が生きてくるのだ。「勝てば官軍」という言葉も、同じ意味を持っている。

前提条件としては「リングは実力測定の場」という言い方は正しい。ただ私としては格闘技の実力ほど、あらかじめ決まっているものはないと思っている。

PRIDE.26 REBORN 決定対戦カード

第2代PRIDEヘビー級王者

エメリヤーエンコ・ヒョードル 〈ロシア／ロシアン・トップチーム〉 VS **藤田和之** 〈日本／猪木事務所〉

ニーノ“エルビス”シェンブリ 〈ブラジル／グレイシー・バッハ・アカデミー〉 VS **浜中和宏** 〈日本／高田道場〉

そう考えると「リングは実力確認の場」でしかないのだ。強い者は強い。弱い者は弱い。それが格闘技である。だったら試合をしない前から、結果は絶対に見えているはずなのだ。

我々より選手のほうがそれを何倍もよく分かっている。そうはいっても試合には不確定要素があるので、予想外の結果になったり、番狂わせが起きたりする。

要は観客が素人であるならその素人にどうすれば楽しんでもらえるか？　面白がってもらえるか？　興味を持ってもらえるか？　興奮してもらえるか？　好奇心を誘発できるか？　『プライド』はそこをクリアしてほしいのだ。

『プライド』の統括本部長に就任した髙田延彦は、カードについてはファンのニーズを優先させると言った。そうなると最も単純でストレートな理屈は「誰が一番強いのか、やってみるしかないだろう」ということになってくる。

髙田延彦は今回、それをやらせる側の人間になったのだ。そのためには選手にはあえて気を使ってほしくない。ファンに気を使ってもらいたい。選手に気を使うと、だめなカードしか出てこない。

それより、現在の『プライド』には興行的に切り札になる選手、切り札になるカードがないのだ。これが一番の問題点。なにしろヘビー級のチャンピオンであるヒョードルは、これ以上ないほど〝地味系〟のファイター。スター性がない。

強い選手が必ずしも大衆に受けるためのスター性があるかと言えば、格闘技の世界ではそれが反比例することが多い。

ということはファンの側も少しは玄人っぽくならなければならない。ヒョードルの良さを分かる。ヒョードルの闘いぶりを評価するとか、そういうことである。

そのためには技術体系に関しても積極的にレクチャーしていく。ファンを指導していく努力が必要になってくる。今の総合系の試合は「打・投・極」から「打・投・打」に移っていると言われている。これは私が骨法の堀辺正史師範から教えてもらったものである。

試合は立ち技の打撃の攻防から始まり次に間合いがつまって組み合うと、どうしても投げの掛け合いになる。次なる展開はグラウンド（寝技）に移る。

寝技になると今までだったら関節技を取りにいこうとするが、その関節技がなかなか決まらなくなった。それを防ぐ技術をみんな覚えたからだ。

すると試合は寝技でも打撃によって決まることになる。ノゲイラとヒョードルの試合は、まさにその典型である。ノゲイラが下になったポジションから三角絞めなど関節技にもっていこうとするがヒョードルの上からの打撃のほうが、勝負を決めてしまう形になった。

これを「打・投・打」による新しい勝負の方程式と呼ぶ。そういうことも早めにファンに教えていく、伝えていく。そうすれば、試合をもっともっと我々は十分に楽しむことができるからだ。

ファンは「俄評論家」にしたほうがいいのだ。そういう材料をどんどん餌としてファンに提供していく。そのための戦略として大事なのは、マスコミとのあらたな協調路線を敷くことである。それなくして『プライド』の成功はない。

第二次『プライド』のテーマの一つはマスコミ戦略の方向転換にある。メディアはファンを育てていく場なのだ。このファンを育てていくことをしないと、ツービー・コンティニューはあり得ない。

あらたな継続性を求めて第二次『プライド』は再び立ち上がったのだ。そのために『プライド』は、哲学を持つべきなのだ。「格闘技とは何か？」という問い掛けをし続けること。そうすれば何をすべきかもおのずと分かってくる。

哲学のないところに信念なし。勇気なし、自信なし。展望なし、希望なし、夢なし、これが私の結論である。

榊原社長、A・猪木のエグゼクティブプロデューサー、髙田統括本部長のトリオにそれを期待する。特に榊原社長は、社長を引き受けるにあたってさんざん悩まれたことを記者会見で言っていたが、それもまた運命と思えばいいのだ。

はじめから好きで入った世界だろう。悩むことがそもそもほかの人からするとぜいたくという見方もできるのだ。

あと『プライド』は『Dynamite！』や『猪木祭り』など単発の興行で勝負するところと、いかに差別化をはかっていくかである。1年に5、6回興行をやっていくことは今の時代、正直いって厳しいものがある。それをクリアしていくことが彼らの最大のテーマになるだろう。期待は大きいのだ。■

新生PRIDE2003年度日程

2003年6月8日（日）
PRIDE.26 REBORN 横浜アリーナ

2003年8月10日（日）
PRIDE GP 2003 開幕戦 MIDDLE WEIGHT さいたまスーパーアリーナ

2003年10月下旬～11月上旬
PRIDE GP 2003 決勝戦 MIDDLE WEIGHT 東京ドーム or さいたまスーパーアリーナ

2004年1月末頃
PRIDE.27 アメリカ・ラスベガス

2004年3月下旬
PRIDE.28 さいたまスーパーアリーナ

新生『プライド』の今後は？ 新日5・2の総合格闘技とは

『プライド』統括本部長・髙田延彦の

プライド愛！

髙田延彦は爽やか！　統括本部長になってもやっぱり最高にすがすがしい男だ。その表情、言葉の端々からはジャイアンツの原監督にも勝るとも劣らない、『プライド』愛がにじみ出ている。ということで、新生『プライド』の方向性をじっくりと聞くとともに、5・2新日のバーリ・トゥード戦などの話題について聞いてみる。

「新生『プライド』は選手層が厚いということでビックリするようなカードがいくつも組めるのが魅力だよね（笑）」

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）

——まずは統括本部長就任おめでとうございます。

高田　ありがとうございます……って言っていいのかな。

——いや、大変な仕事をよく引き受けていただいて、「髙田延彦は男だ」と言いたいぐらいです（笑）。

高田　だからって、ふんどしにはならないからね（爽やかに）。

——いや、まさに日本男児です（笑）。でも、本当に大変な仕事じゃないかなって思うんですよ。記者会見では「なんでもやりまっせ」とおっしゃってましたけど、本当に八面六臂の活躍を期待されると思うんです。髙田さん自身、就任にあたって悩んだ部分はありましたか。

高田　悩んでないよ。私自身『プライド』に対する思いというのは人一倍持ってるからね。これからは皆でこの『プライド』を一緒に育てていきたいよ。

——では、喜んで。

高田　喜んでない。今までとは違って『プライド』の責任を負った中で発言をしていかなければならない。そうなってくると自分の中での〝自由に適当に〟っていうのが削られる。この適当感というのが発想を広げるうえで、とても大切なことなんだけどね。とにかくやる以上は楽しく前向きに真剣に『プライド』を守っていくよ。

——では、その前向きな姿勢の中で、どんなことをやっていこうと考えますか。

高田　まず私がやらなければならないのは、国内外の選手の育成、発掘だね。これは急務だよ。スカウトも含めて積極的に取り組んでいくよ。その一方でリングの中の闘いの進化がルールを追い越すぐらい速い。例えば、4点ポジションのヒザ蹴りを取り上げてみても分かるように、今の選手のレベルでは、アッと言う間にルールを凌駕してしまう。いい意味で『プライド』はまだまだ完成形じゃないよ。そういう整備と進化を同時に考えていくよ。

——選手のスカウトという面だとプロレス方面とかいろいろあると思うんですけど、現在、どの辺を考えてますか。

高田　まずは柔道とかアマレス方面にアプローチをかけていくと。あとは外人だね。ランペイジのように実績がなくてもあれだけ強い選手がゴロゴロいる。例えばオリンピック選手じゃなくて、身体能力が高くてハングリーで、この競技に興味があるという選手がいるならば、いくらでも対応できる環境を作れるからね。そこでいい物であれば釣り上げる。釣り上げていい物でなければ、また放す。

——キャッチ&リリース（笑）。

高田　そう。弱肉強食。プロのドラフトと同じで、いい物だから商品価値がある。

——以前、BESTって大会があったじゃないですか。あれ？　これ以前って言っていいんですかね？

高田　これからもやるよ。

——でも、あれは当初、人材育成の場と思っていたんですけど、ちょっとズレてたところがあるじゃないですか。

高田　今までのBESTはとても成功とは言えないよ。何がやりたいかコンセプトが今ひとつ見えなかったし、伝わってこなかった。でも、これからは『プライド』に上がる人間たちを育成するのがBESTでなければいけないっていう確固たる柱をうち立てないとダメだよね。興行として考えないことが重要だね。そこにジョー・サンは必要ない。

——あれはあれで面白いんですけど（笑）。

高田　あれは日本人を育てるための大会だからね。入場テーマ曲もスモークもいらない。リングがあればいい。

——ホント、そうですよね。

高田　賞金もいらない。実績を上げた向こうに大舞台が見えればそれでいい。そうでなければいけないしね。いい人材っていうか、いい匂いのする選手を弾けさせるために、セカンド・プライドという確立されたポジションが必要だね。モチベーションを持てるような大会だね。

——若くてガツガツした選手が上がって、昔の新日の前座試合のような気迫のあるものが見たいですね。

高田　そこに〝昔の〟ってつくのがどうなのかなって（笑）。

——すいません（笑）。

高田　まあ、だから、ただ単に闘いの場っていうシンプルなものでいいと思う。そこにみんな集まって来いよと。〝そこで一番になって、世界の一番がいるところに行こうよ〟と。そこが最も大切なわ

国内外の選手の育成、発掘だね。これは急務だよ

▲4月15日、新生『プライド』&『プライド26』に関する記者会見が行われ、この席で髙田は『プライド』統括本部長に就任したと発表された

あの会社の人たちにプロレスとバーリ・トゥードの違いを教えてほしいよ

▶『プライド25』では新たなヘビー級王者ヒョードルが誕生した。一方、ミドル級ではシウバとランペイジの抗争が勃発と話題豊富。新生『プライド』は期せずして大爆発の予感ありだ

けだよね。でも、もう一つ、その下があってもいいね。点と点を結ぶとその先の『プライド』に繋がるんだよ。

――今、国内にもいろいろ総合の大会があるじゃないですか。そういう大会との提携も考えてますか。

髙田　提携なんてかったるいこと言ってないで、出たい選手はドンドン出てくればいいんだよ。同時に、ウチの選手たちもあらゆるところに出していきたいしね。若い選手はとにかく試合がないと練習のための練習になっちゃうからね。試合が目の前にないとね。とにかく試合の数をこなすことだよ。

――アメリカ進出についてはどうですか。

髙田　これは実験的に出ていくっていうんじゃなくて根を張る。つまり、定期的に大会を開くということ。そして、アテネ・オリンピックが終わったあとに、柔道やアマレスの選手が、WWEに行こうか、『プライド』に行こうかという時代が来る。WWEと選手の引っ張り合いができるようになっているよ（笑）。

――ビンスと髙田さんの引っ張り合いも夢がありますね（笑）。

髙田　でも、それは夢でもなんでもないんだよね。振り返ってみると『プライド1』っていうのは5年前なんだよ、わずかね。

――あ、そうですよね（笑）。

髙田　当時はバーリ・トゥードという言葉すら知らなかった。今や総合格闘技という競技が確立されている。恐らく、向こうで根を張り、アメリカでの地位を不動のものにするのは3～5年後だね。このまま質を落とさずにさらにいいものを提供していけば、自然にアメリカのメジャーイベントになるよ。逆に言えば、そのぐらいの気持ちで私たちはやるよ。

――向こうでやれば当然、向こうのいい選手も出てくる。

髙田　相乗効果だよね（笑）。

――凄い楽しみです。ただ、目の前にあるのは『プライド26』のヒョードルVS藤田戦ですね。

髙田　次のヒョードルの相手に日本人のトップが名乗りを挙げるなんて考えてもみなかったからね。藤田選手が「ヒョードルとやりたい」と言ってきたことに正直、日本人として嬉しくてビックリしたね。その心意気というのかな、触覚の鋭さ。周りの風向きを敏感に感じ取れる鋭さは大したものだなって思うね。まあ、藤田選手本人はね、ヒョードル戦をごちそうだと言っているけどね。気楽に見せてて、気楽じゃない。というのはトップの凄さっていうのを藤田選手は十分、分かってるからね。それをチョイスした時点で周りに対して藤田選手は勝ちましたよ。あとはもう自分を作って相手に勝つというだけですね。

――この他のカードで決まってる部分って何かありますか。

髙田　現段階で、微妙なのがランペイジとシウバの試合だね。シウバはヒザの手術をしたので、その経過次第だね。なにしろ、このカードはタイトルマッチだから無理をして組むんじゃなくて、両者が万全の時にやらせたいね。

――だけど、早く見たいですよ。

髙田　もちろん！　理想は当然のことながら『プライド26』。前回の乱闘があって、その勢いでやってもらいたいね。だけど最高のものを見るためなら、少しの我慢は仕方がないよ。

――髙田さんもテレビ解説で「この場で見たい」って言ってましたね。

髙田　早く見たいのはみんなと同じだよ。これ以外今日の時点ではドン・フライ、マーク・コールマンという名前が挙がってるという段階だね。それとウチの浜中が出ます。

――いよいよですか。

髙田　あいつは5月2日のレスリングの全日本選抜選手権に優勝したらアジア大会。そこでベスト10かそこらに入るとアテネだね。

――ということは……。

髙田　両方だよ。『プライド26』と2日の結果次第ではアマレスも続ける。面白いね。

――で、5月2日といえば、もう一つ、東京ドームのほうでは新日本プロレスでバーリ・トゥードの試合があるんですが。総合格闘技をやるということで気になる存在ではあると思うんですよ。

髙田　今は何も言うことないよ。

――では、髙田延彦個人として新日本でバーリ・トゥードをやるということについてはどう思いますか。

髙田　それに関してはさっぱり分からないね。あの会社の人たちにプロレスとバーリ・トゥードの違いを教えてほしいよ。

――ちなみに新日本の上井さんはもともと旧UWFで。

髙田　うん。ずっとやってた。純粋な人だよ。

――その上井さんがバーリ・トゥード路線を進めているようですけど、新日のホームページで最近の入門希望者は最強を目指しているような気がしない、それが寂しいみたいなことを書いていたんですよ。

髙田　本当に最強を目指すんだったら『プライド』に集まるよ。

――ただ、元新日のOBとして上井さんが言わんとすること、望むことは分かるような気がしませんか。

髙田　さあ、次の話題。なるべく全方位

友好的にいこう（笑）。

―統括本部長としては（笑）。

髙田　そう。急に大人になっちゃった。記者会見の日から4つぐらい大人になったね（笑）。

―では、『プライド』の話に戻しますが、ミドル級のトーナメントがありますよね。これは凄く楽しみなんですけど、シウバVSランペイジ戦だけはワンマッチで見たいんですよね。

髙田　見たいねぇ。

―結局、トーナメントになっちゃうとあれも見たい、これも見たいになって、もったいないんですよね。

髙田　サッカーワールドカップの決勝トーナメントの格闘技版だね。どれが決勝でもおかしくないぜいたくな三昧な組み合わせになるのは当然だし、避けられないよ。そこに最も重要なラインナップの厚みを感じるよ。

―中量級の層の厚さって凄いものがありますね。

髙田　凄いね、ある意味重量級よりも実力が接近してるよ。

―シウバ、ランペイジ、桜庭さん、ヘンダーソン。

髙田　ニュートン、ニンジャ、ハイアン、ホイス、アンデウソンもいる。ブスタマンチも可能性ありじゃないかな。

―パッと挙げただけでこれだけ出てきますからね。だから、新生『プライド』っていうのは産みの苦労はありましたけど、フタを開けてみるとワクワクするものがいっぱいありますね。

髙田　あのね、一つ面白いと思ったのはこれまでは一人の選手を軸にして闘っていくっていうのが多かったよね。でも、今は軸が何本もあるんだよね。例えばヘビー級にしてもヒョードルがいてノゲイラがいるでしょ。

―吉田選手もいます。

髙田　それにサップがいる。場合によってはミルコがいるわけだよ。で、これのどれを軸にしてもマッチメイクの回転力がある。それは当然のことながら、ミドルも一緒なんだよね。

―改めて凄いものを育てて来ましたね。

髙田　そういう意味でフタを開けてみれば新生『プライド』からは目が離せないって私が言うのもおかしいけどね。ホントに解説したくないよね（笑）。

新生『プライド』から目が離せないって私が言うのもおかしいけど

―見ていたい（笑）。

髙田　じっくり見ていたいよね。

―いや、だけど、前回の『プライド』は名解説でしたよ。

髙田　いや、結構プレッシャーがかかってるのよ（笑）。K―1プロデューサーのあとだからね。あの人よくしゃべるからね（笑）。

―そういえば、この間、突然自宅に来たらしいですね（笑）。

髙田　来たんだよ。私が食事をしていたらウチのベルを鳴らす人間がいて、誰かなって思ったらモニターにこんなデカい顔が映ってる（笑）。で、あのカン高い声で「あ、すいません、来ちゃいました」って。ドアを開けたら、向こう側にいるのがミルコ！（笑）。

―谷川さんは怖ろしいことをしますよね（笑）。実は髙田さんの自宅の近くに偶然ミルコの代理人が住んでいたってことなんですよね（笑）。

髙田　すぐに分かったよ。警察官がいるからね（笑）。

―クロアチアの（笑）。

髙田　予測もしないシチュエーションでの出会いっていうのは結構ドギマギするよね。

―というか、凄いですね、谷川さんは（笑）。

髙田　話がちょっと脱線したけれど新生『プライド』もビックリすることがいくつも起きるよ。間違いなくここからが真の『プライド』物語が始まるよ。アメリカ進出が重大なカギを握るだろうね。これを含めた上で新しい『プライド』が展開していくよ。

―本部長として面白い仕事ができそうですね。男の仕事としても面白そうです。

髙田　やっぱり自分の好きなもの、夢を見られるものを一緒に作っていけるっていうのはこれ以上ない仕事だよね（笑）。

―開拓ですよね。

髙田　微力だけど代表や猪木さんの期待に応えられるように頑張るよ。

―なんでもしまっせと（笑）。

髙田　うん。時には私の口から辛辣な意見が出るかもしれないけど、『プライド』を良くしていくためには、これからも言い続け、動いていくよ。ただ私の身体の半分は髙田道場だからね。客観性も見失わずにね、常にニュートラルな見方ができる自分でいなければならないね。■

PRIDE REBORN PRIDE REBORN PRIDE REBORN PRIDE

撮影◎乾晋也

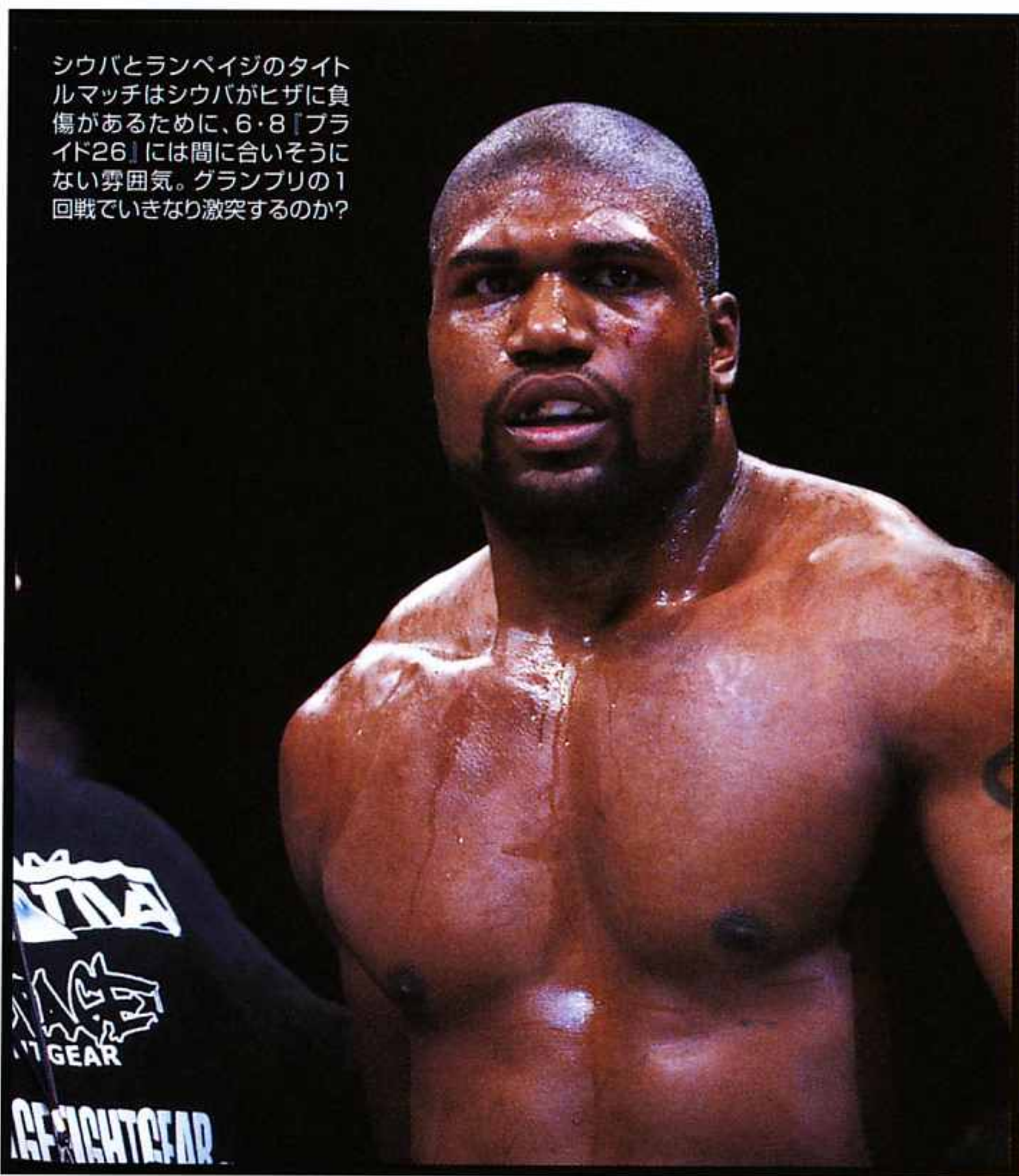
この前の試合で
ランペイジに
殴りかかって
いったよね？

試合があったら
メチャクチャにします、
カナラズ（笑）

人生のエリート対談

〈PRIDEミドル級王者〉
ヴァンダレイ・シウバ

〈立石流家元〉
ターザン山本

『プライド25』のランペイジVSランデルマン戦後、挑発してくるランペイジと大乱闘を繰り広げたシウバ。この2人の激突は、今年中には実現しそうだが、そのシウバが突如本誌編集部を襲撃！　偶然居合わせたターザンとの対談が勃発してしまった！

ターザン　シウバさん、まず、僕は『プライド』の大ファンなんですけども。その『プライド』の中で一つの哲学として勝ち続けることが非常に難しいと思うんですね。

シウバ　たしかに、『プライド』の中では競争が激しいし、選手も強い選手ばかりですので大変です。

ターザン　私はノゲイラが負けたので大ショックなんです。

シウバ　実は私もビックリしましたし、ショックでした。ただ、負けてしまったので次回のことを考えないといけないですね。

ターザン　あのう、現時点で勝ち続けているのはあなただけなんです。

シウバ　それは神様を信じているおかげだと思いますし、自分もいつも練習をし続けているおかげだと思います。

ターザン　僕としてはいつか負けるんじゃないかという不安が先に立ってしまうんで、次シウバさんが試合をする時に、今度は負けてしまうんじゃないかと。今まではシウバさんは桜庭選手を破った憎き相手だったんだけれども、今はあなたのことが心配になっているんです。

シウバ　アリガトウ！　最近、日本のファンの方からもそういうふうに言われることが多いので、とても感謝しています。

ターザン　僕からすると、あなたは強いものを求める最後の神話なんですよぉ。

シウバ　でも、私はまだ若いので、できれば9年間くらい『プライド』で勝ち続けたいと思っています。

ターザン　9年間!?　そりゃ、ムチャだよぉぉぉ！

シウバ　35歳までやりますよ。

ターザン　9年間の根拠を聞かせてくださいよぉ。

シウバ　本当に私はこれしか取り柄がないんです。だから、35歳までやります。

ターザン　でも、『プライド』っていうのはある日突然、凄いヤツが出てくる可能性があって、急に時代が変わってしまうなんてことは考えていませんか？

シウバ　そうですね。そういうこともあるかもしれませんけど、私のファイトスタイルがありますので、それをずっと守ろうと思っています。そのためには練習をちゃんとやろうと思いますし、そのためにはファンの方もずっと応援してくれると思います。

ターザン　負けることに恐怖はないんですか？

シウバ　そんなことはないです。私にとっては、闘争心が一番大事だと思います。本当に勝つことだけしか考えていません。

ターザン　え〜、そんな……（絶句）。弟子入りしたいねぇ！

シウバ　私の秘訣というのは与えられた才能を集中して、自分のいいものを引き出すことだと思っています。才能を自分の中から引き出そうとすることが一番大事だと思います。

ターザン　その才能っていうのは、具体的にいつどこで感じたんですか、自分の中で。肉体的なものなのか精神的なものなのか？

シウバ　実際は13歳から格闘技を始めました。13歳から20歳まではただやってただけなんです。でも、20歳になって目覚めました。

ターザン　今、何歳なんですか？

シウバ　ニジュウロクデス（笑）。

ターザン　若いねぇ〜。ところで、あなたはどこの人？

シウバ　オオ〜、ブラジルです。

ターザン　これから9年間勝ち続けたら、ブラジルで一番の大金持ちになりますよ。

シウバ　ウワッハハハ。

ターザン　大統領より金持ちになりますよぉぉぉ！　こうなると思っていました？

シウバ　思っていなかったです。

ターザン　じゃあ、偶然というかラッキーなんですか？

シウバ　そうですね、それは本当にラッキーだったんですけど、日本も『プライド』も私にチャンスを与えてくれたことが良かったと思います。

ターザン　神とか両親とか日本とか『プライド』とかいろいろ感謝することはあると思うんだけど、自分の力でのし上がったっていう気持ちはありますか？

シウバ　周りの助けがあったと思うんですけど、自分の努力がなかったらここまで来ることはなかったと思いますね。

ターザン　しかし、あなたは普段こういうふうに大人しいのに、試合になるとなんであんなにアグレッシブになるの？　それを聞きたい！

シウバ　対戦相手を見るだけでもアドレナリンが出てきますね。

ターザン　それはどこにスイッチがあるんですか？

シウバ　本当に急に気持ちが高ぶるんです。試合中、殴られたりすると、自分も本当にイライラするので、そのおかげで

シウバとランペイジのタイトルマッチはシウバがヒザに負傷があるために、6・8『プライド26』には間に合いそうにない雰囲気。グランプリの1回戦でいきなり激突するのか？

まだ若いので、9年間くらい勝ち続けようと思っています

いい試合になりますよ（ニヤリ）。

ターザン 試合している時にさぁ、相手は憎い敵に見えるのか、人間に見えるのか、物に見えるのか、獲物に見えるのか、なんなんでしょう。

シウバ そうですね。その時はただの対戦相手にしか見えません。

ターザン 例えばミルコはどう見えました？ かなりイライラしてましたけど。

シウバ 最初からミルコの態度が気に入らなかったのでイライラしました。

ターザン イライラしてたよね。切れなかったんですか？

シウバ 自分にとっては絶対に負けられない相手だったので、負けることは絶対に考えなかったです。

ターザン じゃあ、ミルコとはもう一度やりたいんですか？ それとも二度とやりたくないんですか？

シウバ バーリ・トゥードのルールであったら、何回でも闘ってみたいです。

ターザン え？ 闘ってみたいの？

シウバ そういうチャンスがあるんだったら、ボロボロにします。

ターザン でも、相手はきついよ。何を考えているか分からないからね。

シウバ でも、ミルコも私が何を考えているか分からないですよ。

ターザン は〜あ、じゃあ、僕もあなたのことが分からないのかな？

シウバ そうですね。私もヤマモトさんが何を考えているか分かりません。

ターザン 僕？ 僕はただのミーハーですよ！ 単なるファンですよ！

シウバ ワッハハハハ。アリガトウ（笑）。

ターザン いや、本当にファンなんですよ。あなたはこんなに勝ち続けているのに、なんで専門誌で表紙にならないんでしょう。

シウバ もしかしたら、私が日本人じゃないからかもしれませんけど、次の試合が終わったら、いろんな雑誌の表紙を飾るかもしれませんね。

ターザン いや、闘っている顔が怖いからじゃないかと思うんだよね。

シウバ それは私のファイトスタイルなので変えるつもりもありません。実際に試合中いいパンチが当たったりするとワーッという歓声が聞こえてきます。それを聞くと、観客の皆さんが喜んでくれているのがすぐに分かります。

ターザン 将来的に自伝を出す願望なんてあるんですか？

シウバ そうですね。私のテーマの中で、努力をしないといけないということがあるんですけど、それは勝利するために必要なことだと思いますので、それはぜひ本という形にして出したいと思います。

ターザン 努力をしてもダメな場合はどうなんでしょう？

シウバ それはいい質問ですけど、やはり人それぞれ必ずいい物があると思いますので、それを引き出すのが重要だと思います。

最初からミルコの態度が気に入らなかったのでイライラしました

ターザン 難しいんだよね、それは。

シウバ 難しいかもしれませんけど、プラス思考で考えないといけないことがあると思いますので、悪いほう悪いほうに考えるとそうなってしまいます。

ターザン 日本人ってネガティブなんですよ。

シウバ それはいけないですね。成功するためにはプラス思考が大事です。

ターザン ああ、そう。成功するための本をあなたに書いてほしいね。

シウバ すぐ書きますよ（笑）。

ターザン すぐ書く!? あなたみたいな人は珍しいね。見たことないよ。

シウバ アリガトウ（笑）。あなたは優しい人ですね。

ターザン 僕ぅ？ 僕はアホですよ！

シウバ ワッハハハハ。

ターザン この前の試合でランペイジに殴りかかっていったよね？ あんなにケンカを売ったら跳ねっ返りがキツイんじゃないかと心配していたんですよ。

シウバ あの時はもの凄く頭に来ましたので、試合があったらメチャクチャにします。カナラズ（笑）。

ターザン 自分がメチャクチャにされちゃう場合も考えちゃうと思うんだけどね。

シウバ それが問題なんです。やっぱり、そういうふうに考えないで、自分にプラスにいくように考えないといけないです。そうすると試合にも勝てます。

ターザン でも、あんなに怒らせちゃまずいでしょう。相手に火を点けちゃいますよ。

シウバ それは彼にも言えます（笑）。

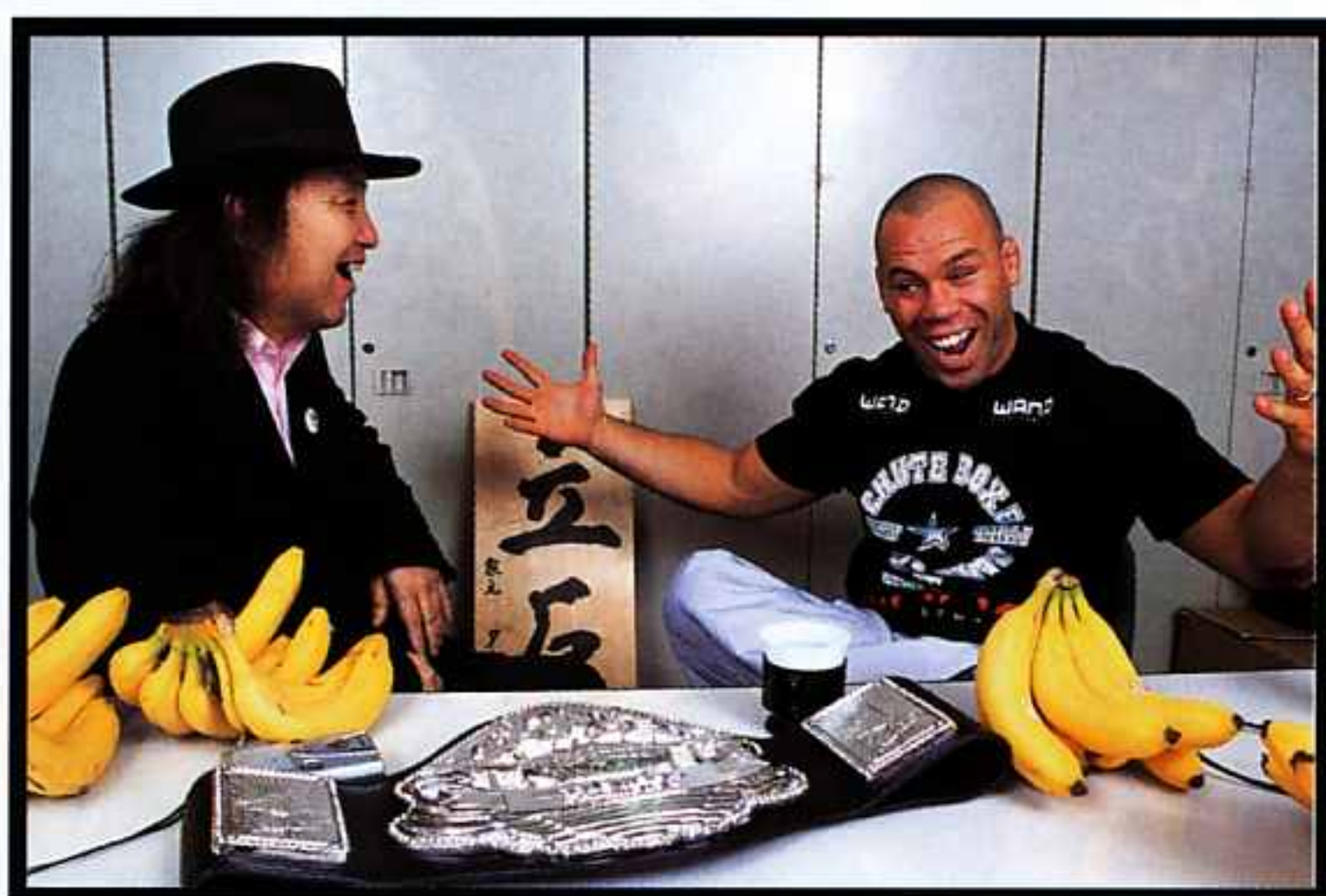
ターザン じゃあ、闘いを楽しんでいるんですか。

シウバ 楽しんでいますけど、試合に向けた緊張感もいいことだと思います。練習もいいモチベーションになるんですよ。

ターザン なんか、人生のエリートの話を聞いているみたいだね。あなたは人生のエリートだよぉぉぉ！

シウバ オオ〜、アリガトウ（笑）。やはり、プロであることはとても難しいことですし、リングの外でもプロであり続けないといけないと思います。やはり最近はプラス思考で考える人たちは少ないと思います。そうすると一般の人はストレスが溜まったりするかもしれませんけど、新聞やいろんなメディアで私の話を聞いたりすると、その人にとっていい影響が出ると思いますよ。

結婚する前の話ですけど、女と一緒にいるのが一番楽しいです

ターザン 人にいい影響を与えるのは、僕も一緒ですよぉ。変な話だけど、二日酔いで倒れたことはないんですか?
シウバ アルコールは飲みませんし、タバコも吸いません。
ターザン 信じられないねぇ!
シウバ これは結婚する前の話ですけど、女といるのが一番楽しいです（笑）。
ターザン ダッハハハハ。
シウバ ワッハハハハ。
ターザン そっちから、初めて真実を聞いたよ（笑）。よっぽどいい奥さんをもらったんだね。あなたのような人だったら、50歳まで連戦連勝ですよ（笑）。
シウバ 私もそう思います（笑）。
ターザン 現役引退したら何をするんですか?
シウバ 今の段階でもいろいろな企業を立ち上げたりしています。
ターザン え、どんなサイドビジネスをしているんですか?
シウバ 今の時点では自分のアパレルブランドを立ち上げたりしていますし、サッカーチームのマネージメントをしています。
ターザン え、マネージメント?
シウバ 私の町では3位にランキングされているチームなんですけど、できれば日本にもサッカー選手を連れて来れたらいいなと思います。
ターザン ハァァァ、謎が解けましたよ。あなたは成功するね。あなたは格闘家の中の突然変異ですよ。
シウバ アリガトウ。今までいろんな雑誌で見たことがあるんですけど、私をインタビューしてくれないのかとずっと思っていたんですよ。待っていたんです。
ターザン いや、本当に好きな人はおいておくんですよ。
シウバ ワッハハハハ。
ターザン これは恋愛と一緒ですよ。
シウバ でも、たまにはすぐに行くのもいいんじゃないでしょうか（笑）。
ターザン これから人生観を変えるよ。僕はバツ2なんですよ。
シウバ オオ〜、ワッハハハハ。私はまだ1回目です（笑）。
ターザン 今日はちょっと表紙にしようかなと思った、僕。表紙にしますよ。でも勝たなきゃダメよ。
シウバ アリガトウ。今日はとても光栄でした。
ターザン ホント? 僕は人に幸福を与えるタイプなんですよぉぉぉ! ■

5・2新日本東京ドーム大会
上井さん応援シート対談

今や、マット界の話題は５・２新日本プロレス東京ドーム大会のバーリ・トゥード５番勝負の話題で一色。「これはＧＫに聞かねば！」ということで、久々にＧＫ×ターザン対談がＳＲＳ・ＤＸに帰って参りました。

ご、誤魔化しぃぃぃ！

ターザン山本
立石流家元

僕らも誤魔化しの歴史なんです、ここ数年

週刊ゴング編集長
金沢〝ＧＫ〟克彦

大事件発生！

な、なんとGKがカミングアウト!?

ターザン は〜い、GK！ とにかく新日本の5・2はメチャクチャ面白いね！

GK フフフ。急に変わりましたね。いつから変わったんですか？

ターザン いや、バーリ・トゥード5番勝負とかそれに対する上井さんの考え方とか選手とのやり取りとかが混沌としていて、それは混乱しているのか、やる気満々なのか、それともこれで勝負に出たのか、猪木さんが横から出てきたり、非常にカオス的な面白さというのか、これは絶対に見に行かなきゃと。とにかくK—1のラスベガス大会に行くのは辞めたよ！ 新日本の5・2を見ないとおかしいよ。どう思う？

GK でも、この間のK—1ジャパン、ありゃひどいですね。『WRESTLE—1』よりもひどいですよ（笑）。

ターザン あれは論外でしょう。語っちゃいけないよ。いや、武蔵は公開絞首刑にしないとダメだ！ でも、谷川編集長はゴングにK—1ジャパンが載っていたので驚いていたよ。

GK なんでかって言うと、ボブ・サップのその後ということでいったほうがいいし、それにワールドGPだけつまみ食いしたら嫌らしいじゃないですか。

ターザン えぇッ！ 驚いたねぇ、そっちにそういう良心があるとは……。

GK ありますよ（笑）。

ターザン それは罪悪感の成せる業だね。

GK いや、多少ですよ。ということは、これ（サップが表紙の週刊ゴング964号を指しながら）を表紙にしたということは多少の後ろめたさがあったんでしょうかね？

ターザン 大ありですよぉぉぉ！

GK 僕の中ではそんなになかったんですけどね。でも、プロレスラーの中にはちょっとあったみたいですよ。蝶野なんかも「プロレスの雑誌なのになんでK—1が表紙なの」って言ってますしね。でも、そういうことを蝶野が言うっていうことは、その当時は長州力であっても、今はプロレス界で頭働かせて、ビジネスを上げないといけないって考えているのは蝶野なのかなっていう気がしますね。他の人は言わないですよ、たぶん。武藤なんかは「あ、そうなんだ」ぐらいでしょうからね。蝶野はああ見えても頭堅いですよ。もの凄く頑固ですよ。

ターザン 武藤、橋本というのは気楽でいいよね、そういう意味では。

GK 気楽でいいのかなぁっていう状況ですけどね。

ターザン 本当は焦っていますよ。

GK それは新日本が話題を食っちゃったんですよ、全部の。それこそ、山本さんの地雷じゃないけど、新日本のバーリ・トゥードって話題になったじゃないですか。あれは新日本にとって良かったですよね、逆にね。

ターザン 良かったよ。でも、新日本の内部の中ではイレギュラーを起こしているのは確かよ。巨大な副作用があるのかどうか。劇薬みたいなもんだから。

GK だから、一番反対だったのは蝶野なんじゃないですか？

ターザン だって、蝶野のプロレス観の中にはそういうのはないからね。

GK 蝶野個人で言えば絶対反対だったと思うんですよ。だって、バーリ・トゥードを経験している永田でさえもそれを聞いた時は、「嘘だろう？ そりゃないだろう？」っていうのが本音だったらしいから、他の選手は総じてド胆を抜かれたと思うんですよ。

GK×TARZAN 新日本プロレスの中で腹を括った人が上井さんだけだってことですよ

ターザン それをやってしまう上井さんの権力は絶大なのかな？

GK 新日本プロレスの中で腹を括った人が上井さんだけだってことですよ。誰もそれに対して異を唱えるだけのパワーがないんですよ。凄いですよ、上井さんのパワーは。僕らがなんでドームを応援しようじゃないかって思うかというと、上井さんのパワーに押されたからですよ。

ターザン かなりあの人強引だよ。

GK 強引というか情熱ですよ。ここ数年、あれだけの情熱をもって物を動かそうとした人って新日本にいないですよ。自分がドロを被ってもいいというね。

ターザン メチャクチャ敵は多いよ。

GK 多いですね。でも、それを覚悟で突き進んでいますね。それを間近で見ていたら、意気に感じるじゃないですか。だから、みんな応援するんですよ。

ターザン 上井さんの考えを直接聞けないから、そっちに聞いてみたいんだけど、今回のバーリ・トゥードというのは、東京ドームという新日本プロレスにとって大事な経営戦略上、会場をいっぱいにしなければならないのか、それともバーリ・トゥードそのものを、新日イズムの哲学の中に導入しなければ今後の展望が開けないのか、これはどっちなの？

GK 僕は両方だと思いますよ。

ターザン 両方？

GK 今までの流れ見てきたら、蝶野VS小橋で合格なんですよね。じゃあ、バーリ・トゥード路線は何かっていうと、アントニオ猪木の考え方を飲み込んだ上井さんの答えでしょう。ただ一つ問題は、新日本の現場のレスラーたちが完全な理解を示して「それでいこう！」っていうふうにならないのが今の新日本っていう気がしますね。

ターザン だから、全ての総意というか同意のもとにやっているわけではないでしょう？ ある程度強引にやっていると。その強引にやるというところがかつての新日本らしいな。

GK そうですね。だから、思い出すのは「新日本VSUインター」をやった時ですよ。あの時は周りの反対が凄かったですよね。「なんで、黙っていても潰れる会社に救いの手を伸ばさなければならないんだ」と。そう言った時に、長州力のサイパン合宿があったんですけど……。

ターザン またサイパン合宿か！ 分かった！ 今、気が付いたよ！

GK な、何に気が付いたんですか？

ターザン ど真ん中ってサイパンのことだったんですよぉぉぉ！

GK ワッハハハハ。

ターザン ど真ん中はサイパンのことだったんですよ（笑）。その時もサイパンだったわけ？

GK そう、全員合宿。全員合宿って、

▲今回の東京ドーム大会の責任者である新日本プロレスの上井文彦渉外担当取締役は、かつて両国7連戦を行ったことのある人で、他団体の関係者が恐れる営業の実力者だったのだ

昔よくやっていたじゃないですか。その前に「新日本VSUインター」の構想ができあがってきていたんですよね。で、その時は長州さんが独断でやっていましたから、選手が非常にピリピリしてましたよね。一部の選手の中には特に武藤なんかは、「なぜ潰れていく会社を助けるのか？」っていうのがあったんですよ。だけど、サイパン終わって日本に帰って、長州力が選手会全員を召集して、Uインターとやる意味を説明して、第1戦自分が出ていきましたよね、永田と組んで。で、もの凄く客がヒートしましたよね、あれで「分かりました」と。「やりましょう」ってことになったんですよ。強引さというのを感じますけど、その後の新日本に強引さを感じませんでしたよね。

ターザン　ない。あの時は長州力の鶴の一声ですよ。それを横浜アリーナで示して、ドームに乗り込んでいったというね。

GK　でも、現在の新日本の凋落の原因はあのUインターとの対抗戦にあるわけですよね。

ターザン　え、なんで？

©平工幸雄

◀平成の新日本最大のヒット興行、95年10月9日の「新日本vsUインター」。「ULTIMATE CRUSH」はこれを上回ることができるのか？

GK　あれが成功しちゃったんですよ。あれはまったくお金をかけなかったんですよね。演出も何もないですよ。

ターザン　あの時、イベントとしての演出ってなし？

GK　ほとんどないですよ。

ターザン　でも、外野席まで全部客入っていたよ。ダフ屋がえらい儲かったって。

GK　うん、だからいかにお金をかけないでお客が入っちゃうかっていう興行の典型でしょう。たぶん、あれ僕が見た東京ドームの興行で一番入りましたよ。ギリギリまで入れたじゃないですか。猪木さんの引退試合よりも入ったと思うんですよ。その後、いろいろ記録を塗り替えていると思うんですけど、あれよりも入った興行も見たことないから。で、お金をかけなくても客が入るんだっていう認識もそこでできちゃっているんですね。新日本にとって、あそこが一番のポイントですよ。新日本にとって、一番の癌だって言われていたUを本当に消しちゃって、なおかつお金をかけなくてもあれだけお客さんが入っちゃったんだから。あれが原因ですよね。あれで新日本は安心しちゃった。

ターザン　そういう時にたかをくくって、何もしなくなるというかさあ……。性格

TARZAN

現在の新日本の凋落の原因は Uインターとの対抗戦にあるわけですよね

立石流家元

ターザン山本

が出ているね（笑）。これしかし、猪木さんはどういうスタンスで見守っているんだろうね。猪木イズムをやられているわけだし文句も言えないし、小言も言えない状況にあるんじゃないの？

GK　猪木さんはパラオに行きましたよね。あの時に猪木さんはカードの提示を受けていたはずですよ。で、猪木さんの中ではほぼゴーサインでしたよね。

ターザン　でも猪木さんは「なんでプロレスと格闘技を分けてやるんだ。プロレスは格闘技じゃねぇのか」って、あの一言は的を射ているんだけどね、なんのために言っているんだろうね？

GK　なんか言いたいんでしょう。

ターザン　ワッハハハハ。一言、ケチを付けたいっていうのはあるんだよね（笑）。

GK　猪木さんが個人的に気に入らないとしたら、猪木さん個人の負担のチケットが回ってきたとかね。そういうのは気に入らないでしょう（笑）。でも、猪木さんが言っているのは「責任の所在をはっきりさせろ」と。それが一番でしょうね。だから、それに上井さんが応えたんでしょう。男気ですよ。

ターザン　でも、上井さん、男気でやっているけれども、うまくいかなかった場合はこれは責任問題になるよ！

GK　それはもう、腹を括っているんじゃないですか？　それが男ってぇもんじゃないですか。

ターザン　これが吉と出るか凶と出るか、これは面白いよ！　上半期最大のイベントだよ。

GK　思ったより大きくなったでしょう？　中西と藤田がバーリ・トゥードでやる意味合いどうのこうのなんてどうでもいいのであって、中西が本気になって練習しているっていうのが凄いですよ。

ターザン　やっているの？　俺、中西と藤田の試合、もの凄い興味があるんだよね。俺らから見ていると、どうやってもプロレスに見られる、色眼鏡で見られる宿命の中で彼らはやるでしょう？　これは早く見たいんだよぉ。早く見てジャッジしたいんだよ、自分の目で。だって、バーリ・トゥードっていうのは、全然会ったことがない者同士がやるから面白いわけよ。思い切りできるから。何もかも分かっている人間同士でやったら、本当にできるのかっていうのがあるわけよ。どう思う？

GK　だから藤田はそういう世界が分かっているじゃないですか。中西と決まった時も、お互いに事務所にいて、猪木事務所と新日本の事務所ってすぐ近くですから、フロントが気を利かせて、「顔を合わせて握手をしておけ」って言ったんですよ。それを藤田は「これから顔を殴る相手と顔を合わせたくない」って。

ターザン　それを聞いたら藤田が勝つのが分かるな。

GK　いや、ところがね、そうもいかない何かがね。

ターザン　だって、心の準備は藤田のほうができているじゃない。

GK　できてますよ。でも、藤田がなめ

てかかったら分からないですよ。だって、中西がそこまでなってやったのって今まで見たことがないから。あいつは昔、長州さんにヒクソンの相手に指名されて、1回やってたんですね、何カ月か。減量し過ぎちゃってちょっと痩せちゃったんだけど。で、中西が強い、中西が強いって昔から言われていた伝説があるわけですよ、我々には。やっぱり、ひとつ答えを出してほしいなっていう。

ターザン　俺は中西にとって千載一遇のチャンスが来たと思う。

GK　でも、蝶野に言わせれば最後のチャンスだって言うんですね。

ターザン　ラストチャンスではあるよ。

GK　本来、長州さんがヒクソンと中西をやらせようと思った時の心境っていうのは、中西に最後のブレイクがないから、一か八かこれでやってみろということで指名したわけですよね。皮肉なことにそれがなくなっちゃったと。で、その後中西が野人キャラでブレイクしてG1まで獲っちゃった。あそこまで一気にいったんですよね。でも、あそこ以降が続かなかったですよね。

ターザン　中西はね、持って生まれた人の良さというか、自分に運を持ってくる求心力がないよな。でも、こういうバーリ・トゥードになれば話は別だよ。

GK　だから、中西がビックリするぐらい強いかもしれないですよね。その代わり失敗したら非常に目も当てられないですけどね。

ターザン　これはリスクが大きいよな。しかも、これは久しぶりに活字プロレスができるんだよ。試合前、試合当日、試合後、全てああでもないこうでもないと語れるんだよ。そういう面白さを与えてくれたのが新日本であり猪木さんだったんだよね。今回はそういうものを提示してくれたんですよ。だから、俺は興奮しているんですよぉぉぉ！

GK　材料が多すぎですよね。なんとでも書けちゃう。

ターザン　だってね、なんで中邑にノルキヤを当てるのか。ノルキヤを貸してくれって頼みに行ったセンスってなんだと思うもんなぁ。

GK　誰が良かったんですか？　ノルキヤはダメですか？

ターザン　デカすぎるじゃないよ。

GK　分かりやすいじゃないですか。

ターザン　でも、俺は中邑に勝たせたい。新スター誕生というか、顔もいいしさ、それにハートも。船木の若い頃を見ているような感じなんだよね。だって、ノルキヤってしょっぱいんだよ、K―1で。しょっぱい帝王みたいなヤツだよ。

GK　でも、山本さんがノルキヤは重荷だって言い方をするっていうことはいいことじゃないですか。だって、ノルキヤだってK―1の選手なんですから。K―1戦士を新日本の選手が倒せばおいしい話じゃないですか。

ターザン　そうか。猪木さんの愛弟子のあいつはどうなん？

週刊ゴング編集長
金沢"GK"克彦

中西が強いって言われていた伝説が昔からあるわけですよ、我々には

GK×

GK　LYOTOですか。猪木さんによると、ケガをしたけど、場所は教えられないって言っているみたいですよ。

ターザン　誰とやるん？

GK　謙吾ですね。パンクラスの。

ターザン　このパンクラス勢の新日本への関わり方っていうのをどう理解していいのか分からないんだよね。これはプロレスへの回帰現象なの？　プロレスに関わるということは、パンクラスの存在理由に揺らぎを起こすんじゃないの？

GK　だから、謙吾はバーリ・トゥードでやるということで出場しますと。謙吾は猪木さん大好きだし、新日本好きだし、憧れの舞台だから喜んで上がったんじゃないですかね。

ターザン　そういうところには偏見はないのかね、例えばグラバカとか。

GK　内部ではあるんじゃないですか？　ライガーVS鈴木戦の時だって波紋があったんですから。それをハッキリ言っちゃったのが鈴木ですよ。鈴木は「プロレスやります」って言っちゃっているんですから。その代わりｉｓｍを抜けるって言っているんですから。

ターザン　それって、一国の中にイデオロギーを二つ入れる中国みたいなやり方で、展望があるのかね。

GK　でも、パンクラスのリングではやらないわけだから。鈴木は「パンクラスのリングではバーリ・トゥードでやりますけど、プロレスのリングではプロレスやりますから」っていうことですからね。彼はパンクラスの実質的な長じゃないですか。一応ケジメをつけますよっていうことで、ｉｓｍから離れるって言っているんですよね。

ターザン　鈴木みのるからそれを聞くとは思わなかったね。年をとったのかな？

GK　理想と考えていることが一段落着いたんじゃないですか。年齢的にも自分のやりたいことはやったという。そうしたら自分の好きなことをやろうということじゃないですかね。

ターザン　そっちの編集後記を見たら、鈴木は新日本に9カ月しかいなかったんだな。短いじゃない。それって、いたとは言えないよ。

GK　たぶん、今のファンとか関係者から見れば、そんなもんだと思うかもしれ

©平工幸雄

▲かつてヒクソンとの対戦が予定されていた中西だが、遂にその野人伝説が明らかになる時が来た

ないけど、僕らぐらいのキャリアの関係者にとって、鈴木っていうのはもの凄い強烈なんですよ。健介と第1試合をやってる時とかずっと見ているから。輝いていましたよ。新日本の中に違う色が入ってきたっていう感じ。

ターザン　突っ張っていたんだよね。突っ張り男ですよ。

GK　本格的なアマレスの人間っていうのも久しぶりでしょう。試合でタックルとか使う人間もいなかったから、新鮮でしたよね。アマレス軍団が入ってきたのは92年ですから、だいぶ後ですよね。永田、中西、石澤っていう。

ターザン　彼は高校出だもんね。

GK　面白いですよね、ライガー、蝶野、IWGPチャンピオンとやりたいっていう中で、永田の名前を出さないっていう。永田と鈴木は学生時代に険悪になったことがありましてね。まだ引きずっているんですかね（笑）。この頃のアマレス連中は凄いですよ。鈴木、髙橋義生は同期でしょう。石澤と永田は同期でしょう。その一個上が中西でしょう。藤田が2個下かな。ノアの秋山準が中西の3個下で。

ターザン　桜庭はどうなん？

GK　桜庭は藤田の世代かな？　もっと地方のほうに行けば、川田とライガーがやっていますよね、アマレス時代に。川田が1個上で。国体の予選でやってますよ。で、ライガーが県大会で優勝した翌年かなんかに新崎人生が優勝していますよね。

ターザン　ふ〜ん、そっちは詳しいなぁ。で、あとの試合は？

GK　髙阪とスミヤバザル。

ターザン　ああ髙阪はね、頭がスマートすぎてバーリ・トゥードに見えないんだよね。なんか、学校の先生がやっているみたいな感じなんだよね。

GK　でも、今回は先生と〝史上最強の素人〟がやるわけですから。スミヤバザルは〝史上最強の素人〟ですよ。朝青龍がまったく敵わないって言っているんだから。エンセンがビックリしたらしいですよ、強くて。ナチュラルですからね、この体は。細工ナシですから。

ターザン山本
立石流家元

TARZAN

永田と鈴木は学生時代に険悪になったことがあって、まだ引きずっているんですかね（笑）

ターザン　モンゴルは強い。日本みたいに恵まれていないから。肉体は凄いよ。

GK　物心ついた時から馬に乗っているわけですからね。おやつの代わりに、肉の塊を食うらしいですから。

ターザン　だから、遊牧民のなんとかカーンの世界ですよ。

GK　で、朝青龍の兄貴ですからね、世間的に注目はされますよ。でも、新日本はうまいこと自分のところに取り込みましたよね。『プライド』と契約寸前までいっていたらしいですよ。

ターザン　『プライド』と新日本が取り合いをしたら、普通は『プライド』が勝つんだけどね。

GK　当然使い捨てになっちゃいますから、面倒見てやろうっていうことで、新日本が取ってあげたわけだから。本人にとっては良かったでしょうね。

ターザン　ここから、『プライド』に出てほしいね、この人は。

GK　だから、その考えがあまりにも一般的なんですよね。猪木さんもそうじゃないですか。「ブレイクさせたければ、『プライド』に出せ」って。『プライド』を上位概念に置いちゃダメなんですよ。そのためにやっているんですから。『プライド』が今、足踏みしている状態じゃないですか。じゃあ、新日本で凄いのやっちゃおうよって。強さなんて関係ないわけじゃないですか、どっちが面白いかでしょう？

ターザン　その強さを見せつけようとしても、東京ドームって最悪の空間じゃない。試合を見ることにおいては。客席に試合が届かないし。それって危険なことなんだよな。

GK　まして、プロレスファンが多いし。一般の人たちなら何をやっても大騒ぎなんですよね。K—1を見て、あの沸点の低さは驚きましたよ。レイ・セフォーがちょっと派手なパフォーマンスをやっても、ワーだし。あの沸点の低さをプロレスに持ってきたら凄いですよね。

ターザン　ワッハハハハ。それから、ルールが非常に過激で盛り上がっているけど、あれ考えたのは誰なんだよ（笑）。

GK　和田良覚さんと成瀬と頭が滑走路の塩崎さん。ちゃんと作ったルールはA4の用紙で25枚になったらしいですよ。

ターザン　そんな選手が理解できるの？

GK　無理でしょう（笑）。それを縮めて7枚ぐらいにしたらしいですよ。まあ、基本的にはなんでも有りですよね。

ターザン　よ〜するに『プライド』と差別化を図ろうとしているわけでしょう？

GK　『プライド』で禁止のヒジをOKにして、UFCで禁止の4点ポジションOK。『プライド』やUFCよりも過激っていうのが謳い文句なんじゃないですか？　謳い文句なんだけど、それをあまり声を大にして言わないというね。周り

▲新日本のリングに上がっていた期間はわずか9カ月間の鈴木みのるだが、古巣の新日本のリングに乗り込んでくるというのは、刺激的な話題だ

に言ってほしいっていう感じでしょうね（笑）。

ターザン この5・2のバーリ・トゥードを長州さんはどういう目で見ているんだろうね。

GK 最初は、馬鹿なことをやりやがってっていう感じでしょうね。でも、そう思いながらも今はちょっと興味を持っているんじゃないですか。中西が出てくるっていうことで。たぶん興味を持っていると思いますよ。今回のドームは玄人受けすると思います。マスコミ、他の団体の関係者の注目度は高いですよ。

ターザン 髙田延彦が一時期非難したよね、5・2を。それも面白かったよね。

GK でも、ガタガタ言うなら自分が新日本のリングに上がればいいのにって思いますけどね。

ターザン ワッハハハ。それはキラーだなぁ！

GK 鈴木は新日本のリングに上がると言って、ガタガタ言っているんだから、鈴木はいいですよ。逆に言えば、髙田延彦はプロレスを利用しているようにしか見えないんですよね。都合のいい時にプロレスを利用して、都合が悪くなるとプロレスを批判する。鈴木はそういうことをしたことがない人間だから。鈴木は一本気だと思うんですよね。でも、髙田総裁がそういうことを言ったということは、気にしているから言ったんでしょうね。

ターザン いや、脅威に感じているんですよ。まあ、ここ最近では新日本らしいことをやったということだよね。だから、上井さんの功績は大きいよ。

GK だから、上井さんとこの間話をしたら、「僕はもう誤魔化したくない」って言ったんですよ。「新日本の歴史を考えた時に、誤魔化しの歴史はもう嫌だ」と言うんですね。僕らも「新日本とはなんですか？」って聞かれたら、「最強だ」って言ってきたんですからね。その新日本を僕らマスコミが守ってきた中で、最強という概念を別の者が取っちゃったわけだから、ある意味、僕らも誤魔化しの歴史なんですよ、ここ数年。

週刊ゴング編集長
金沢"GK"克彦

大事件発生！上井さん vs GK×T

上井さんが「誤魔化しはもう嫌だ」って言った時に「僕も一緒ですよ」って

ターザン ご、誤魔化しぃぃぃ！

GK 上井さんが「誤魔化しはもう嫌だ」って言った時に「僕も一緒ですよ」って。

ターザン かぁ～、正直だねぇぇ。カミングアウトしたわけ？

GK だって、そうじゃないですか。最強という概念をぼやかして、プロレスというのをなんとかしようとしてきたわけだから。そうやって、新日本のプロデューサーが腹を括って言うんだったら、たしかにそのとおりですよね。もう一回頑張りましょうっていうことになりますよ。

ターザン そうかぁ。ところで、坂口さんなんかどうなんかな？ なんか呑気に見ているんだろうなぁ。藤波さんもねぇ。

GK 何やってんでしょうね？ 藤波さんは娘さんがプロゴルファーを目指しているらしいですね。なんか呑気な社長ですよね（笑）。

ターザン 影も形も出てないもんね、5・2ドームに。

GK この間の東スポの猪木さんの記事は良かったですね。「誰も期待してないんだから、早く現役辞めろ。社長業に専念しろ」っていう（笑）。猪木さん正しいですよね（笑）。

ターザン 嫌なこと言うねぇ、いつもあの人は（笑）。

GK あ、そうだ。山本さん、なんか書いていたでしょう、長州VS天龍（3・16WJ仙台大会）をプロレス専門誌の編集長2人が捨てて『プライド』に行ったって。あれは違いますよ。僕は長州VS天龍を見たかったんだけど、『プライド』のメインを担当する人間がいなくて、行かされたんですよ、僕（笑）。そんな大げさな話じゃないですよ。僕は長州VS天龍を気楽に見に行きたかったんだから。

ターザン 大げさに言うからいいんですよぉぉぉ！ それがプロレスですよ。

GK しかも、両編集長とか並べられるのは不快です（キッパリ）。

ターザン むむむ………。

■

4・18新日本後楽園ホール大会でファンに出口調査！

Q1 あなたは東京ドーム大会でプロレスと総合にルールを分けて試合を行うことに賛成ですか？

賛成 52%
反対 22%
21% 興味なし
無回答 5%

Q2 あなたが東京ドーム大会で一番注目する試合は？

36% GHCヘビー級選手権試合 小橋建太 VS 蝶野正洋
20% 中西学 VS 藤田和之
10% 中邑真輔 総合ルール VS ヤン"ザ・ジャイアント"ノルキヤ
8% 飯塚高史 プロレスルール VS ケン・シャムロック
7% ドルゴルスレン・スミヤバザル 総合ルール VS 髙阪剛
5% エンセン井上 プロレスルール VS 村上和成
5% ジョシュ・バーネット 総合ルール VS ジミー・アンブリッツ
5% IWGPジュニアタッグ選手権試合 金本浩二&獣神サンダー・ライガー VS タイガーマスク&ヒート
2% LYOTO VS 謙吾 総合ルール
2% IWGPヘビー級選手権試合 永田裕志 VS 安田忠夫の勝者 VS 高山善廣
0% 次期IWGPヘビー級王座挑戦権決定戦 天山広吉 VS U−30優勝者（4/23広島）

ったら藤田、うん。もともとのいきさつ

ヤツはIWGPのヘビー級のチャンピオ

決戦直前の野人に贈る言葉はただ一つ！

「おめぇはそれでいいや！」

SRS・DXは中西学を応援します！

5・2新日本プロレス東京ドーム大会において、総合格闘技ルールの試合で一番興味を引くカードといえば、中西VS藤田の一戦だろう。普段は野人キャラとしてファンから愛されている中西が、遂に本気になってバーリ・トゥードに挑むこととなったら、応援しないわけにはいかない。禁断の一戦を前にして、いったいこの野人はどのような心境なのか？　朝青龍の横綱昇進パーティーに出席するために、特訓の地・大宮から帰京していた中西に話を聞いてみた。

撮影◎乾晋也
聞き手◎小松魔裟夫

—今回、中西さんが5・2の東京ドーム大会で藤田選手と試合をされるということで、うちの雑誌的には「頑張れ！中西学！」で応援しようということなんですよ。

中西 「頑張れ、藤田！」じゃないんですか？

—いえ、中西学なんですよ、うちは。

中西 なぜ、また、どうして？

—やっぱり、ボクらも興奮するんですよね、今まで「強い強い」と言われていた中西さんが、そのベールを遂に脱ぐのかなという感じで。そういうところでかなり期待度が高いですし。

中西 はあはあ。

—他のマスコミの方も心情的に、中西さんを応援する声というのは結構多いんじゃないかなと思うんですけど、いかがですか？

中西 なるほど。応援してもらうことに関しては凄く嬉しいし、俺も普通のヤツがね、俺とやりたいって言ったってやらないから。藤田だからやるんだから。

—藤田さんは特別な存在だと。

中西 ヤツはさぁ、俺相手に勝ってチャンピオンになったわけでもねえし、俺相手にチャンピオンを防衛したわけでもないけど、IWGPのチャンピオンになってんじゃん。

—なってますね。

中西 それに、『プライド』でも凄く活躍しているわけじゃない。日本のヘビー級の第一人者じゃない。だからやる意味があるんだよ、俺と。

—いかがですか、バーリ・トゥードの練習をされてみて？ 今まで思っていたのと、違いとか感じられました？

中西 あのう、ある程度のものをクリアしないと自分の持ち味って出せないから。

—ある程度のものですか。

中西 もちろん、アマチュアレスリングのベースがあるわけじゃん、俺には。

—ええ、ええ。

中西 だからそういったアマチュアレスリングのベースにもっていくためには、やっぱり蹴り、殴り、ヒザもくれば、いろんなものがくるわけじゃない。

—ヒジもありですもんね。

中西 うん、そういうものをかいくぐって入っていかなくてはいけないから、そういう、かいくぐって入るためのテクニックを今やっているわけじゃない。

—なるほど。以前、長州さんから、ヒクソンとやるという話が出たことがあったじゃないですか？

中西 ああ、ああ。

—どうなんですか、あの時の心境と比べて。

中西 う～ん、どうだろうね。やっぱ、あの頃の『プライド』とかバーリ・トゥードの試合展開と、今の試合展開を比べると凄く進化しているからね。

—進化していますよね。

中西 まあ、いろいろ流れはあるけれども、でも、やっぱ体力があるヤツが勝つんじゃないかな。凄い技術を持っててハートも持っていてもやっぱり体力がないと勝てないしね。

—そうなると、体力で外国人に対抗できるのは、やっぱり中西さんか藤田さんかしかいないと思うんですよね。そういう部分で、中西さんがいつ出るのかなと、非常に待ち遠しかったファンも多いと思うんですよ。

中西 なるほど。ただ、出ても意味のない試合に出ても仕方ないから。出るんだったら藤田、うん。もともとのいきさつというのは、5月2日にやる『アルティメット・クラッシュ』っていうのはバーリ・トゥードを前半やって、後半プロレスと、比較されるわけね。その比較でプロレスは絶対に負けないと。そんなバーリ・トゥードの激しさとか、面白さとか緊張感に、絶対に負けない、プロレスラーにはスゲエもんがあるんだと。その言葉に対してヤツはね、噛み付いてきたんだよね。

やっぱ体力があるヤツが勝つんじゃないかな。やっぱ体力がないとね

—中西さんとしては、最初はプロレスの試合で、バーリ・トゥードに負けない激しいものですよと、見せたかったんじゃないんですか？

中西 うん、それを日頃から言っているから。プロレスの凄さっていうのは、そういうところにあるんだと。ただ勝つがためにね、顔面殴り合ってね。顔面って急所じゃない。

—急所ですよね。

中西 急所ばっかりガンガン殴って、そんなガキのケンカは誰にだってできんだよ。もちろん、技術もあるしさ、防御もあるしさ、まったくガキのケンカと同じだとは言わないけど、でも、急所狙うだけならガキでもできるじゃん。

—まあ、できますね。

中西 そういうんじゃないんだって、プロレスは。俺はそういうところを言いたかったんだよね。でも、他のヤツがね、「中西、何言ってんだ」って言っても「言ってろよ」って感じだけど、藤田が言うと違うわけで。ヤツはIWGPのヘビー級のチャンピオンにもなっているし。ただ、俺には勝ってないけどね。

—プロレス・ハンターと呼ばれるミルコなんかにはピンと来なかったですか？

中西 だって、俺には関係ないもん。

—そうですか（笑）。まあ、話は変わりますけど、今回、いろんな取材で、アマレス時代の、原点に戻るというような感じの発言をされていますよね。

中西 ああ、はいはい。

—その原点の頃の心境と、今回の心境の共通点というと、どんなところですか？

中西 う～ん、そうね、バーリ・トゥードってのは始めたばっかだからさぁ、一番、新入りなわけじゃない。だから、高校時代、それまでスポーツやったことなかったんだよね。

—えっ、そうなんですか？

中西 うん、初めてやったのがアマチュアレスリングだったんで、そういう気持ちに戻りたかったんだよね。だから、ホントに練習三昧っていいなと。いろいろ、余計なこと考えなくていいから。

—なるほど。

中西 だから、そういう意味で、みんなが新しい中西を見たいって言ってるけど、

▲中西と藤田はプロレスで7回闘って、中西が7連勝している。それにしても、7回も闘っている両者がバーリ・トゥードで対戦してしまうとは……。こりゃ、驚きだ！（写真は97年12月23日後楽園ホール大会）
Ⓒ平工幸雄

▲4月20日、横綱・朝青龍の昇進パーティーが都内のホテルで開催され、横綱の兄・スミヤバザル・ドルゴルスレンと中西も出席。やはりパーティーに来ていたエンセン井上に2人について話を聞くと、スミヤバザルは本能ですぐ技を覚えてしまうという予想どおりの化け物ぶりを発揮し、一方の中西の武器はというと、気持ちだという

原点の俺をみんなは見てないわけで、俺は原点に戻りたい。それで一番最初、京都に帰るって言ったんだよね。そしたら、「京都に帰って何する気？」って、みんな思ったわけ。

──「なぜ実家に？」ってことですよね。

中西 うん。京都が俺の生まれ故郷だし、そこでアマレス始めたんだし、ピュアな気持ちに戻りたかったんだよね。でも、うまく全部つながったような気がしたよ。俺が一番最初にアマレス始めた土地が京都であって、まさか、エンセン井上が京都にジムを持っているとは思っていなかったからね（笑）。

──いい偶然ですね。でも、アマレスをやる前、特にスポーツをやってなかったって言ってましたけど。

中西 スポーツはやってなかったけど、住んでいる所が、田舎で学校まで30分とか40分とか歩いて行っていたんで、それで結構足腰鍛えられたと思うんですよ。

──学校の行き帰りで。その頃から体力は人一倍あったんですか？

中西 う〜ん、体力は分からないけど、よく食べました。食いしん坊でしたから。身体も細かったけど、骨がしっかりしていたから。骨力があったんで。

──ほ、骨力？

中西 うん、骨力。ガッと掴んだりとかのね。スピードはないんですよ。でもとっ捕まえると、ギュッと、力でシメたりとか、そういうのがあったから。

──シメてたんですか？

中西 シメるっていうか、悪さするヤツなんかがいたら、とっ捕まえて、押し潰して。殴ったりとかはあんまりしなかったけど、結構、抑え込んだりしてね。抑え込まれたりってイヤでしょ？

──イヤですね。

中西 そしたら、勘弁してくれって感じで。でも、どっちかって言うと、そんなに気性の荒いほうじゃないから。

──降りかかる火の粉を払うくらいだと。

中西 そういうカッコイイ言い方もあるかもしれないけど（笑）。降りかかる火の粉もあったかもしれないけど、能天気だから、そういうのに気付かなかったかもしれないけどね。

──でも、そこが野人って言われる原点なんじゃないですかね。

中西 原点っていうか（笑）。まあ、よく歩いたってことかなぁ。

──よく歩き、よく食べたと。

中西 うん、あまり、料理したもんじゃなくて、親が買ってきたリンゴとかね、そういう果物とかがあるとね、みんな兄弟で分け合って食べるんじゃなくて、俺が1人で食っちゃうことが多かったかな。食い意地は張ってましたね。

──ところで、今回の5・2はプロレス

降りかかる火の粉はあったかもしれないけど、能天気だから気付かなかった

とバーリ・トゥードを分けてやりますよね。わざわざ、総合ルールとプロレスルールと、分けて一つの大会でやることに関して、聞いた時はどう思われました？

中西 なんで分けんだよと。プロレスはプロレスじゃねえかと。そう思ったんだけど、でもやっぱ、みんなが疑問に思っていることだから、同じリングで、前半と後半に分けてしまえば、比較してもらえるんじゃないかと。ハッキリ言って、これが失敗に終わったら、自殺するようなもんなんだけど。

──じ、自殺！

中西 でも、うちはね、過去にもいろんなゴタゴタがあったじゃない。そういう時は必ず一致団結すんだよ。それはやっぱ俺がこうやって、シリーズも休んで、エンセン井上の所で練習三昧できるっていうのも、みんなのバックアップがあるからできるんであってさぁ。

──一致団結してるという。

中西 一致団結して、中西行ってこいって。俺らに任せろって。本当に任せて大丈夫かって（笑）。でも、みんな歯を食いしばってやっていると思うから。だから、俺も一生懸命頑張れるんだよね。

──なるほど。それにしても、過激なルールになってしまいましたね（笑）。

中西 うん、反則以外何をやってもいいんだよね。目突きとか噛み付き、金的蹴りとか、それ以外はなんでもやっていいっていう、凄いルール。

──和田さんが「選手には申し訳ないんですけど」って言うくらいですもんね。

中西 ああ。ただ、そういうルールはあるけど、俺と藤田はね、ルールいらない。

──ルールいらないですか（笑）。

中西 闘えなくなったヤツが負けだから。

──猪木さんじゃないですけど、己のプライドがルールだと。

中西 ああ。でもさぁ、俺以外にも、プロレスで異種格闘技家と闘うヤツもいるよ。ウチの中邑、中邑なんだっけ？

──真輔です（笑）。

中西 ワッハハハ。中邑もノルキヤとやるけど、実際トップを張っている俺と、バーリ・トゥーダーのトップを張っている藤田がやるってことでは、比較になんないからさ。アイツはアイツで頑張りゃ

PROFILE

中西学（なかにし・まなぶ）

身長186センチ、体重120キロ。1967年1月22日生、京都出身。高校時代よりアマレスで活躍し、全日本選手権3連覇を達成。専修大学を卒業後、91年4月に「闘魂クラブ」に入団。92年のバルセロナ五輪に出場後、同年8月に新日本プロレス入門。SGタッグで藤波のパートナーに抜擢を受け、同年10月13日、東大阪市立中央体育館におけるS・ノートン、S・S・マシン組戦でデビュー。99年8月、G1クライマックス初優勝。2002年2月の札幌大会で猪木から「おめぇはそれでいいや」と言われ、同年2月にはゴッチ道場に入門し、2時間でゴッチ直伝のジャーマンを取得。10月14日の東京ドーム大会ではボブ・サップと対戦するなど話題には事欠かない野人である。

いいことなんだけど。トップ同士の直接対決があるわけよ。それはバーリ・トゥードの対決だけどさ。やっぱり見せるってことも必要かもしれないよ、プロのリングだから。だけど、まずは勝たないと。

――勝つ……。

中西 そのためにやってんだからさ。

――今回のカードを見た時に、トップで出てきているのって中西さんだけじゃないですか。それだけに注目度も違うし、勝ってもらいたいという、ファンの願いも強いと思うんですよね。

中西 うん。もちろん、勝つためにやっているんだし、ヤツのことも研究しているし、ビデオも見ているし。ホントに、練習三昧だよ、まったく余裕はないけどさ（笑）。余裕のある練習ができるほど、期間は長くないから。

――今は大宮に住み込んで、新聞なんかを見ると、中西部屋っていうのができているとか。6畳くらいでしたっけ？

中西 それ、何に書いてあった？

――東スポに。

中西 東スポ（笑）？ もうちょっと広いんだけどね。家にいてさ、大宮まで移動する時間がもったいないじゃん。今はドアを開ければ、道場だから。

――ハッハハハハハ。

中西 それでいい。気晴らしはいらない。それに集中したい。

――相当、追い込まれている感じなんじゃないですか？

中西 そのほうがいいと思う。余計なこと考えなくなるから。ある意味、高校の時より、追い込んだほうがいいと思う。会社はそれだけ期待しているし、俺も会社を引っ張っているって気持ちあるんだからさ。5月2日は俺に任せろ、俺の大会にしようじゃねぇかと。

――『中西クラッシュ』みたいな（笑）。

中西 いや、それは潰されんだろ（笑）。

――じゃあ、『藤田クラッシュ』で。

中西 でもハッキリ言ってさ、1カ月で何ができるんだってのもあるんだよ（笑）。

――それはそうでしょうね。

中西 でしょ？「1カ月で何ができるんだ？」って。おまえ、ナメてんじゃねぇよ。藤田だからやるんだよ、だから死にものぐるいでやってんじゃねぇか。

――藤田とやるからたとえ1カ月でも、追い込んでやってやるんだと。

中西 そういうこと。俺にはよぉ、家もあってよ、女房もいてよ、生活もあるんだよ。でも、そんなのはそっちのけだよ。それにシリーズもあるんだよ、俺が行かなきゃ客が入んねぇの分かってんだよ。

▲4月11日、トータル・ワークアウトで公開トレーニングを行った藤田。ここでも、報道陣に対して、「馬鹿がうつるから早く終わらせる。ビッシビシじゃなくて、バッカバカいく」と言いたい放題

俺にはよぉ、女房もいてよ、生活もあるんだよ。でも、そんなのはそっちのけだよ

そんなのは、そっちのけだって。それはなんでかって言うと、その試合が終わってからの大きなものを見てくれって。それから見て楽しんでくれって。

――ムチャクチャ楽しみですねぇ。ムチャと言えば、藤田さんは中西さんのこと「馬鹿、馬鹿」言っていますけど。

中西 そういうことを口に出して言うってこと自体がヤツの焦りだと思うよ。

――焦り！

中西 俺との試合もあるのにさぁ、ヒョードルとの試合のことを言うっていうのはさぁ、先が見えてない焦りだよね。

――藤田選手とヒョードルの試合が、この前、発表されちゃったんですけど、あれはどう感じました？

中西 それはヤツの勝手だと思うけど、先が見えてないんだなぁと。

――先が見えてない（笑）。

中西 うん、とりあえず、なんにでも食いついちゃう。先が見えてない焦りで言うこともワンパターンだしさ。やっぱり、ハッキリ言わせてもらってさ、いつまでおまえ、異種格闘技やってるの？って感じるんだよね。

――長く続けるもんじゃないと？

中西 長く続けるとかじゃなくて、お前、やるべき本道があるだろって。

――それはプロレスだと。

中西 俺と闘って、骨が砕ける音、肉が千切れる音、そういう音をね、俺との闘いで、耳で聞いて、肌で感じて、その時に思い出させてやるって。何をすべきなのか、何が本道なのかって、それを考えろと。それを思い知らせてやるよ。

――今度の闘いで、プロレスに引きずり戻すって感じですね。

中西 いや、戻る戻らないはヤツの勝手だから。ただ、自分の本道が何かってことを思い出さなくてはいけないと。それが分かっていて、今の行動するならいいよ。それを分かっていないと思うから、情けないんだよ、ヤツは。分かってない。まあ、プロレスも中途半端って感じがしますよ。しっかりケジメをつけろって。

――今回をケジメにしろと？

中西 でも、次やるんだろ？ しかしよ、そんなに焦ってばっかりいたらよ、本当に大ケガするよ。ヒョードルの試合どころじゃねぇぞと。ヘタしたら、俺の試合以降さ、2年間くらい松葉杖で生活しなきゃいけないようになるかもしれないよ。

――これは大変なことになりそうですね（笑）。猪木さんが「おめぇはそれでいいや」って言ったように、そのまま頑張ってほしいです。■

5・2『ULTIMATE CRUSH』総合格闘技戦カード

中西学〈新日本プロレス〉	VS	藤田和之〈猪木事務所〉
スミヤバザル・ドルゴルスレン〈モンゴル・プロレス協会〉	VS	髙阪剛〈チームアライアンス/G-スクエア〉
ジョシュ・バーネット〈AMCパンクレイション〉	VS	ジミー“ザ・タイタン”アンブリッツ〈アメリカ〉
中邑真輔〈新日本プロレス〉	VS	ヤン“ザ・ジャイアント”ノルキヤ〈スティーブズジム〉
LYOTO〈猪木事務所〉	VS	謙吾〈パンクラスism〉

「この試合、アントニオ猪木と闘うつもりでいく！」

第1試合でLYOTOと対戦 新日VTの流れは謙吾が決める！

5・2新日ドームの第1試合として組まれているのが謙吾VS猪木の秘蔵っ子LYOTOの試合である。新日版バーリ・トゥードの流れを決めるとも言える重要な試合、しかも相手が未知の相手ということで謙吾にかかるプレッシャーは相当なものがあるはず。海外武者修行を終えたばかりの謙吾は、その胸の内を驚くほど正直に語ってくれた。

聞き手◎橋本宗洋

——今回の試合に向けて海外で練習してきたんですよね？

謙吾 3月の10日くらいから3月いっぱいアメリカにいて、その後タイに1週間ですね。最初は走り込みとウェイトを重点的にやって、それからラスベガスのジョン・ルイスのジムにちょこっと行って。最後はマルコ・ファスの道場で。

——走り込みとか体力作りはどこで？

謙吾 サンタモニカです。

——あ、じゃあ猪木さんの本拠地じゃないですか。

謙吾 朝、走ってる時とか会うかなぁと思ったけど会わなかったですね（笑）。

——海外武者修行は自分から希望したんですか？

謙吾 前から、時間があったら向こうで練習したいなとは思ってたんですよ。デカイ奴が多いじゃないですか。ジムとか行っても、オレよりデカイ奴が普通にいますからね。それに向こうだと1人だし、そういう状況に身を置いて練習してみたくて。こっちだと、なあなあじゃないけど、一生懸命やってるつもりでも、どっか甘えた部分が出てきちゃうんで。

——マルコのジムではどんな練習をしました？

謙吾 基本的に、いま自分が持ってる技術とか、闘い方でどうやって勝つかっていう。マルコも相手のことを調べてくれてたみたいで、その辺のことで「こうやって勝てばいいんだ」っていう内容で。

——じゃあLYOTO選手がどんなスタイルなのかとか情報はあったんですね。

謙吾 情報っていうか、結局、彼が動いてる映像があるわけでもないし。話で聞いた内容ですよね。柔術、寝技が凄い得意だとか、打撃は空手がベースだ、とか。そのくらいですけどね。

今回の試合は正直、不安がある。でも不安が大きいほど、よけい燃えてきますね

――LYOTO選手は情報が少ないわけですけど、謙吾さん、そういう未知の相手が多いですよね。

謙吾 僕の場合はほとんどがそうですね（笑）。ドスJrにしてもそうだし。

――そういう時の心構えっていうのはどんなもんなんですか？

謙吾 作戦が立てられないんで難しいのは難しいんですけど、どっちみち試合はしなきゃいけないんで（笑）。予想もしないことをやられてドスJrの時みたいに腕折られたりとか、自分が今まで経験したことのない事態があるかもしれないってことも考えてますよ。

――今度は新日本のリングでの試合になりますけど。

謙吾 自分が子供の頃に憧れてたのはアントニオ猪木さんだったし、一番よく見てたのが新日本プロレスだったから。そこに自分が上がれるっていうのは全然予想してなかったですよね。しかも自分が一番やりたい闘い方、VTの試合で上がれるっていう。これも時代ですかね。

――純プロレスの試合をしたいっていうのはないですか？

謙吾 ああ、今はないですねぇ。前はちょっとあったんですけど。

――っていうのは、鈴木（みのる）さんが出るかもしれないじゃないですか。

謙吾 僕がやるのはアレですけど、鈴木さんの新日本の試合は見たいっすね。僕はUWFと藤原組の試合しか見たことないから。他の選手が後々プロレスやっても、それはそれでいいと思うし。

――前、新日ドームはよく見に行くって言ってましたよね。

謙吾 行ってましたねぇ。1・4ドームとかは中学・高校とお正月の行事みたいな感じでしたからね。

――今回の“プロレス対VT”っていう見方に関してはどう思います？

謙吾 それはべつに気にしないっすね。選手ひとり一人が、自分のやりたいことやるだけだから。プロレスよりこっちのほうがいいとか、意識してる人もいるかもしれないけど、僕はないですね。

――自分の試合が光ればいいというか。

謙吾 そうですね。でも、何しろ他のカードが凄いですからね。案の定第1試合になっちゃいましたけど（笑）。まあ、それは現時点での自分の段階だし。

――でも新日の第1試合っていうイメージは昔から見てるファンには特別なものがありますよ。鈴木（みのる）さんもくぐってきた道だし。

謙吾 新日本の前座ってなんかありますよね。“掴み”として大事ですからね。

――今回の新日VTの流れを決めるかもしれないですしね。

謙吾 スパッと決めてゆっくり他の試合を見たいんですけどね（笑）。

――試合のプランとかテーマはいつも立てていくほうなんですか？

謙吾 考えてはいるんですけど、いつも思ったような展開にならないっていうか。相手がさせてくれないのもあるし、ペース握れなくてこんがらがっちゃう部分もあるし。近藤（有己）さんとか菊田（早苗）さんみたいに冷静に自分の闘い方ができる人は凄いと思いますね。

――じゃあとにかく思いっ切り暴れるだけというか。

謙吾 とりあえず、どんな試合でも自分が勝ちゃあいいかなとは思ってるんですけど。伝わりやすい試合っていうか。でもそう簡単にはいかねえだろうなってのもありますね、今回は。

――それは相手が未知の要素が多いってことで？

謙吾 それもありますね。まあ猪木さんが最後の継承者だっていう人ですからね。根性もあるだろうし、あってほしいと思うし。

――普通の相手ではないと。

謙吾 「やってやる」っていう気持ちはメチャクチャ強いですけどね。ただ、今まで何も分からない相手と何度もやってきて「べつにいいや」って感じだったんですけど、今回はその辺も不安で。舞台も大きいし、ここで勝つと勝たないとじゃ今後にかなりの違いが出る試合だと思うんですよ。そこで相手の情報がないっていうのはデカイですよね。だから「やってやろう」って考えるから、苦しい時も頑張れるんですけど、半面、ふと考えると不安に襲われるっていうか。不安はあるんですけど、不安があるから逆に燃えてくるっていうのもあるし。どっちの気持ちもどんどん高まってくるんですよ、お互いに。ドスJrの時ともまた違う不思議な精神状態で過ごしてますよ。

――「ただ暴れてオレが目立てばいいんだ」って気持ちにはなれないと。

謙吾 今まではそういう感じできたんですけど。今回は違いますね。

――やっぱり新日本のドームっていう舞台とか。

謙吾 あと猪木さんの存在ですよね。パンクラスの後楽園のリングで、LYOTO選手が猪木さんと関係なければ、いつもと同じ精神状況なんでしょうけど。まあプロだから、常にベストを尽くすのは当然なんですけど、今回は特に新日本・ドーム・猪木さんっていうのが大きいですよね。その3つとも闘うっていうか。

――猪木さんは「LYOTOの相手には不満がある」みたいに言ってたじゃないですか。それ聞いてどう思いました？

謙吾 そりゃムカつきましたよ。でも今の自分は猪木さんから見たらそんぐらいなのかなってのも分かるし。だから試合では、謙吾って名前と顔を猪木さんに刻み付けたいなと思ってますね。今度の試合はアントニオ猪木と闘うつもりでいきますから。LYOTO選手の向こうに猪木さんを見ながら試合しますよ。■

▲『ワールドプロレスリング』では“イケメンハイブリッドモンスター”と紹介された謙吾。本人にそのことを伝えると……。「アチャ～！　オレ、イケメンなんすか？　リング上でもそうやってコールされたら恥ずかしいっすねぇ」

▶DEEPでのドス・カラスJr戦、パンクラスでのコブラ戦など、未知の相手との試合は慣れている謙吾だが、さすがに今回は特別なものがあるようだ

はみだしパンクラス
ism所属の石井大輔が、3月31日をもってパンクラスを退団した。石井は昨年9月の横浜大会を、試合直前になって頭痛と発熱により欠場。「外傷性脳機能障害」との診断で、その後も欠場が続いていた。今回、「完治のため今後最低でも1年間は試合出場を見合わせたい」との本人の希望により、選手契約を更改することなく、退団することとなった。石井は今後、友人であるアレックス・スティーブリングのジムに渡って再出発を図ることになるという。

プロレスとVTに分けて行うのは

どーですかーっ!? みなさん! 関係者が5・2ドームをぶった斬り!

HOW about that?

「新日本プロレスは、あんまりガチンコを意識する必要がないと思うよ」

武藤敬司（全日本プロレス社長）

「基本的にはヨソの会社のことなんかコメントしたくねぇんだけど、新日本のプロレスラーは、みんな本当にガチンコやりたくてやってるのかが気になるよね。本来ガチンコって、やりたい奴がやる世界だったじゃん。それに対してプロレスラーってのは、なりたくてもなれない世界だったんだよね。5・2ドームでは、それがミックスされちゃってるけど、今後のスタンスが気になるよね。新日本プロレスって名前が付いているんだから、あんまりガチンコを意識する必要がないと思うよ。それは『プライド』に任せてさぁ～。俺だって20年培ってきたプロレスラーというキャリアを捨てることはできないよ。『WRESTLE―1』はプロレスじゃないって言ったって、やってることは最高のプロレスの舞台なんだから。ただ、ヨソの会社が決めた方針に俺はとやかく言いたくない。いろんな事情があってのことだと思うから。会社やってるといろんなことがあんだよ。以上!」

「新日本プロレスでVTをやるというアイデアには、私は大賛成です」

新間寿（元祖・過激な仕掛人）

「あのVTの5試合は、新日本プロレスがレスラーとしての真の強さをもう一度自分たちのものにするためにぶちあげたものですよ。あの5試合に名前を連ねることは、プロレスラーにとってすなわち名誉なんです。逆に、出ていないということは、恥になってしまう。そこを今回、新日本プロレスは門外に宣言したわけですよ。だからあのアイデアには、私は大賛成です。安田だ、誰だって新日本プロレスに所属するレスラーは、いつなん時でもVTに出ていく自信と勇気を持たなければいけないんです。私は5月2日の当日、ラジオで実況解説をするんですよ。私は見たこと、思ったこと、感じたことをバンバン言いますよ。蝶野と小橋の試合だって興味津々ですよ。プロレスがプロレスとしての誇りを今こそファンに見せてほしい。かっこばかりつけているレスラーは、いらないんだよ。そういうものと一線を画し、新日本プロレスの原点に帰るべきなんです!」

「プロレスと総合を二本立てでやることになんのメリットがあるのかなと」

角田信朗（K―1・競技統括プロデューサー）

「K―1やVTというのはプロレスにとっては禁断の果実みたいなものなんでしょ? いわゆる真剣勝負というものを見せてしまわれた時に、プロレスのアイデンティティとは何かを確立する必要があると思うんだけど、それを二本立てでやることになんのメリットがあるのか、そしてまた、選手自身が果たしてどこまでその辺を意識して試合をするのかによって、成功もあれば実に中途半端なものになってしまう危険性もあるかとは思うんですけど。僕は、プロレスでもK―1でも、ビジネスの部分に関してはホントに興味がないんでねぇ。それよりもこっちは、サダハルンバ（谷川貞治イベントプロデューサー）の陰謀で同じ日にラスベガスで引退試合やんなくちゃいけないんだから、コメントしてる場合じゃないんだけどね」

「WJの旗揚げでやったガチプロに、新日本が脅威を感じてるんですよ」

井上義啓（元週刊ファイト編集長）

「それはもう、分けてやったほうがいいに決まってますよぉ。ファンだってそんなに馬鹿じゃありませんよ。これはもう時代の流れだからね。それと、WJの旗揚げが関係しとるんだね、これは。あの長州がやるんだから、あれはもの凄いガチプロをやるだろうと！　現に健介の試合なんかはルールはガチンコだったからね。それを新日本の連中が脅威に感じて、先んじてVTをやらなきゃいかんとなったのが今回の5・2ですよ」

「新日本で総合の試合をやるということは、大変危険な感じがしますね」

堀辺正史（日本武道傳骨法・創始師範）

「新日本で総合格闘技の試合をやるということは実験をしたいんでしょうね。『プライド』やK—1が人気が出てきましたからね。ただ、大変危険な感じがしますね。もしそれをやりたかったら、『プライド』に出ていけばいいわけですから。プロレスのリングではプロレスをやればいいんですよ。新日本でも今回の件で、賛成している人も多くはないんじゃないですか？　下手をすると新日本内部が分裂する可能性もあります」

「VTはプロレス界が失ったものを取り戻すための手段でしょ？」

宮戸優光（U.W.Fスネークピットジャパン）

「かつて新日本プロレスが持っていた〝最強幻想〟など、プロレス界が失ってしまったものを取り戻すための手段でしょう？　あのVT導入は。その意味をファンに伝え切っていない。選手も完全に理解しているとは言えない。そこが問題だよね。なぜなら〝はやりもの〟としてやっているのかとか、いろいろ突っ込みを言われてしまうような誤解をされかねないから。きちんとその意図を伝えることが一番必要なことだと思うよ」

「一緒にやったらイベントがショボくなる気がしますね」

村浜武洋（大阪プロレス）

「ちょっと前もどっかで、K—1ルールと総合ルールを一緒にやってましたよね。（興行の）テンポが悪くなるんじゃないですか？　谷川さんとかも言うてましたよね、流れが変わってテンポが悪くなるから良くないって。小橋VS蝶野とか絶対に良い試合になるに決まってますよ。試合のクオリティはいいはずなんですよ。ただ、イベントがショボくなる気がしますね。なんでもかんでも一緒にやればいいってもんちゃうでしょう」

「VTの魅力が、プロレスファンに伝わるかが大事だよね」

佐伯繁（DEEP・代表）

「いや～っはっはっは。厳しいこと聞くなぁ！　載せられる意見と載せられない意見があるんだけどね（笑）。まあ、VTをプロレスファンに見てもらういいチャンスですよね。小橋VS蝶野っていう究極のプロレスのカードがある中で、どれだけVTの魅力が伝わるかが大事だよね。細かい技術とか。しかもドームって大きいハコの中でね。プロレスファンがどんな反応を示すのか、不安でもあるし、楽しみでもあるよねぇ」

「プロレスもVTも、どっちの魅力も中途半端になる可能性があるのでは」

篠泰樹（スマックガール・代表）

「新日本プロレスという一番大きな組織が、時代の流れに乗ってVTという見せ方を取り入れるのは嬉しいですね。ただ、プロレスはプロレスで素晴らしいものですし、混ぜる必要はなかったんじゃないかと。どっちの魅力も中途半端な見せ方になる可能性があるんで。総合とプロレスの興行を、別々にやれるだけの力は新日本さんならあると思いますからね。とはいっても、あの新日本がVTをやるということで、興味津々なのは間違いないです」

5・2 K-1 ラスベガス大会 最終情報

角田信朗 ラストマッチ 相手は武蔵!!

数年来の確執に決着!

角田の「賞味期限切れ」発言で決意!
「ジャパンの選手を代表して、礼をさせてもらう」

▲4月16日、東京・正道会館で行われた記者会見で、角田の引退試合の相手に名乗りを挙げた武蔵。角田の「ジャパンは賞味期限切れ」の発言（P63参照）に、「賞味期限が切れても食べられることを、ジャパンを代表して見せてやりますよ」

5月2日に開催されるK―1ワールドGPラスベガス大会のカードがほぼ決定した。10月の開幕戦出場を賭けた8人のトーナメント（日本から藤本が参戦）の他、スーパーファイトも数試合予定されているが、日本のファンにとって最も注目されるカードは、やはり角田信朗の引退試合。

当初は角田本人の希望で、かつて負けているスタン・ザ・マンかディック・フライかのどちらかということで、交渉が進められていたが、両選手とも折り合いがつかず、対戦候補さえ未定の状態になってしまった。

そんな中、名乗りを挙げたのが、正道会館の後輩である武蔵。4月17日（木）に正道会館・東京本部道場で行われた記者会見で、その意向を表明。本誌の締め切りの時点では、角田の返事を待つ形となった。本誌の締め切りの時点では、まだ正式な発表はされていないが、谷川貞治イベント・プロデューサーの話では「角田さんには電話で伝えて、80パーセントくらいは大丈夫そう」との話。なんでも、角田は5・2の最後の試合に向け大阪で合宿中とのことで、話し合いは東京に帰ってくる4月19日以降になりそうだ。

引退試合の相手に立候補した武蔵は「これまで（角田の）闘いを見てきた一人として、最後の相手に名乗りを挙げられるのは嬉しい。今までも角田師範にはいろいろと言っていただきましたし、山形大会でも厳しいご意見もいただきましたが、ラスベガスでは、それを身体で教えてもらいたいなと思って対戦相手に名乗りを挙げさせてもらいました」と対戦表明の理由を語り、記者から山形大会後の角田の「賞味期限切れ」発言（P63参照）について聞かれると、「賞味期限って、切れても食べられるものがほとんどなんで（笑）、今回はそういうことも含めて教えてもらおうかと」（武蔵）。

角田と武蔵の仲があまり良くないのは、業界内では周知のこと。角田がコーチとして師範として、武蔵に関して手厳しい評価、意見を常日頃からしていたことから確執は深まり、この5年ほどは、ほとんど一緒に練習したこともないような状態。

「愛のムチとは思いつつも、コノヤローと思ってました。育ててもらったという気持ちは半分ありますが、やっつけて越えるということもあるんで。K―1ジャパンを代表してお礼をさせてもらいます」と武蔵。

角田信朗42歳、武蔵30歳。角田にとっては、先輩として簡単に負けるわけにはいかない試合であり、武蔵にすれば、ジャパンの王者として、きっちりと引導を渡さなくてはいけない試合。引退試合だからと言って、感傷的になどなっていられない。両者の意地と意地とがぶつかりあう、激しい試合になるのは間違いない。

また、当初、ラスベガス大会の目玉になるはずだったサップは、ミルコ戦での眼窩内側壁骨折の手術をアメリカで行ったため今回は出場できず。ただし、ゲストとして会場には来る予定なので、サップの手術後の元気な姿がテレビで見られそうだ。■

サップの出場は絶望的!

K-1 WORLD GP 2003 in Las Vegas
5・2
アメリカ・ネバダ州
ミラージュホテル

決定カード

◎スーパーファイト

マーク・ハント〈ニュージーランド/リバプール・キックボクシングジム〉 VS ゲーリー・グッドリッジ〈トリニダード・トバゴ/フリー〉

ステファン"ブリッツ"レコ〈ドイツ/ゴールデン・グローリー〉 VS X

武蔵〈日本/正道会館〉 VS 角田信朗〈日本/正道会館〉

◎K-1 USA GP 2003

マイケル・マクドナルド〈カナダ〉
ギセップ・デナテイル〈カナダ〉
カーター・ウィリアムス〈USA〉
藤本祐介〈日本〉
リック・ルーファス〈USA〉
デューウィー・クーパー〈USA〉
モーリス・スミス〈USA〉
エドアルド・マイオリノ〈ブラジル〉

優勝者は10・11 K-1 WORLD GP 2003 開幕戦出場権を獲得!

ビースト狩りに成功!
へそ曲がりのダンディー
ミルコ・クロコップインタビュー

最強!! ミルコ・クロコップの へそ曲がりのダンディー!

まさに最強の男を印象づけたサップ戦勝利の翌日、
ミルコに直撃インタビューを敢行。
ところが、彼は朝からの取材ラッシュでとっても不機嫌。
そんな中でできる限り話を聞いてみました。

聞き手◎中村カタブツ君(ブチ)

へそ曲がりのダンディー!

▶不機嫌ながらモデル気取りのミルコ

この世界に怖いモノはない。ヘビは怖いけど、人間で怖い奴はいない

——昨日（サップ戦後）の夜はどのように過ごしましたか？

ミルコ　熱がまた戻って来たんで軽く食事をしてすぐベッドに入った。

——じゃあ祝杯というかそういうのは一切なかったと。

通訳　ちょっと軽く食べたんですけど、それは全然なかったですね。

——すいません、聞いてください。

通訳　いや、聞き過ぎるとインタビュー止めちゃうんで。ミルコも疲れてるし、同じ質問を何百万回も聞いてるから。

——止めちゃう！（笑）。じゃあ風邪のほうはまだ完治はしてないんですね。

ミルコ　いや、体調は凄くいい。全然問題はない。試合に関してもボブのパンチは全然当たらなかったし、ローブローしか入らなかった。

——効いたのはローブローぐらいしかなかったと。本当に凄い人だな（笑）。ミドルの感触はどうでした？

ミルコ　2回目のほうが入ったと思う。ボブは手でカバーしていたが、結構効いていた。ただ、真実はボブに聞いたほうがいいだろう。

——今回ボブ・サップの突進を全部止めることができたことが驚きなんですが、やっぱり総合の練習が生きたんですか？

ミルコ　とても助かった。まず、クリンチの仕方とか身体の柔らかさとかその辺が全部助かった。それに私のスピードと新しい技術に対する適応力は他のファイターと比べると遥かに高いんだ。その辺のことを全部含めても、私のほうがやっぱり勝っていたと思う。

——他のファイターというのはホーストのことですか？

ミルコ　いや、みんなだ。私が今世界で一番強いから。

——本当素晴らしい！　自信満々で。

ミルコ　自信と能力がなければ、今ここで話してない。たぶん病院にいるだろう。

——ボブ・サップとやる前は怖さとか感じてなかったんですか？

ミルコ　この世界に怖いモノはない。私はヘビは怖いが、人間に怖い奴はいない。

——だけど、名声を失う怖さとかあるじゃないですか、負けたら。

ミルコ　そういう怖さも全くなかった。なぜなら私が負ける可能性はないからだ。

——今回試合前に熱が出たじゃないですか。それによってナーバスになって、負

ホーストと早く試合をしたい。今やったらホーストは私の敵ではない

けるかもしれないとか試合が怖くなったりとかっていうのもなかったんですか？

ミルコ　たしかに2週間前に日本に来て風邪を引いた。だが、それはしょうがないことで、ちょっと体力は落ちた。でもやっぱり結果的には全然影響なかった。

——結果的にはそうだと思います。今回サップ戦にあたって秘密特訓をしてたって聞いてますけど、どのようなことをしてましたか？

ミルコ　特別な練習はしなかった。一ついつもと違うことは170キロのスクワットをいろいろやったんだ。なぜかと言えば、やっぱり170キロのサップがクリンチに入れば、その重さをカウントしなければいけないからだ。いつもと違うのはそれだけだ。

——ところで、額が赤くなってますけど、それはジンマシンですか？

ミルコ　私はべつにタレントじゃない。

——いや、風邪でなったのかって思って心配したんですけど（笑）。

ミルコ　ああ、たぶん風邪だと思う。

通訳　あと今日は朝からインタビューしてるんですよ。

——疲れてるんですね、すいません（笑）。一番多かった質問ってなんですか？

ミルコ　試合を見ていれば分かることを聞いてくることだ。あの攻撃は効いたのかとか、そんなことは見れば分かることだろう。そういう質問はつまらない。それに試合のこの時はどういう気持ちだったとかだ。特に相手のことを質問されるのは耐えられない。私は相手のことについてあまり話したくない。相手に失礼になると思うから。だから、凄くオリジナリティーがある質問をしてほしい。

——難しいこと言うなぁ（笑）。じゃあ、例えば母国の話はどうですか。昨日の試合はクロアチアにテレビ中継されてましたけど、母国ではあなたの活躍を喜んでいたんじゃないですか。

ミルコ　向こうでは日曜日の昼くらいだったから、みんな見ていて私の勝利を喜んでくれたらしい。凄い興奮状態になったらしい。

——やっぱり国民的英雄なんですね（笑）。

ミルコ　もちろんそうだ。

——じゃあクロアチアのほうで実際K－1とかはやってみたいですか？

ミルコ　今年、できるかどうか分からないが実際そういう話もある。今年でも来年でもいいが、そういう大きなイベントはやってみたい。

——分かりました。朝の会見でプライドのヒョードルさんと闘ってもいいとおっしゃってましたけど、総合格闘技のチャンピオンでも全然問題はないということですか？

ミルコ　問題ない。

——って言うか、ヒョードルという人を知ってますか？

ミルコ　よく知らない。一つだけヒース・ヒーリング戦のビデオだけは見ているけど、ノゲイラ戦は見ていない。

◀国民的アイドルとなったサップ相手だったが、ミルコへの声援は大きかった

——じゃあ、総合のチャンピオンとK－1のチャンピオンと両方を今年は狙っていくと。

ミルコ　それは全部やりたいね。

——ただK－1の中でチャンピオンになるとすればホーストが一番の強敵になると思いますが、ホースト対策はどのように考えてますか？

ミルコ　（急にうんざりした顔になり）K－1のグランプリを優勝するために、ホーストと闘わなければいけないのなら私は彼を必ず倒す。

——3度負けたのはトラウマにならないですか？

ミルコ　私がまず言わなければいけないのは、ホーストのことはとてもリスペクトしているってことだ。4回チャンピオンになっているから。だが、私が96年に負けた時はK－1の経験がなくて負けるのは当然のことだったと思う。次の99年では私はケガをしていた。それにあの試合ではポイント的には私が勝っていたと思っているが、結果的には負けてしまった。原因はケガだよ。そして最後の2000年は私のファイトキャリアの中で一番よくない試合だ。あの時は私のやり方がまったく悪かった。だが、今の私は全然違うし、逆に彼とやりたい。

——つまり負けた理由を自分で分析して分かってるということですね。

ミルコ　もちろんそれは分析する。

——そして、それは克服できるものだということですね。

ミルコ　実は私は前と比べて全然違うファイターなんだ。だから、ホーストは私の相手にならない。

——それが本音ですか。

ミルコ　まあ、格闘技はスポーツだから何が起きるか分からないものだ。だが、もう一度試合をするんだったらホーストは私の相手にはならない。すまないけど、食事をしたいんでもういいか？

——じゃあ最後に、本当に自信持ってますけど強いって楽しいですか？

ミルコ　いや、それは言葉じゃないんだ。私はこれまでハードな練習を積んできているし、多くの経験も積んでいる。だからこういう地位を得たんだ。それが私の仕事であり、満足感もある。

——え～と、だから、多少のわがままも言わせてくれってことですかね（笑）。

ミルコ　（無言で部屋を出ていく）

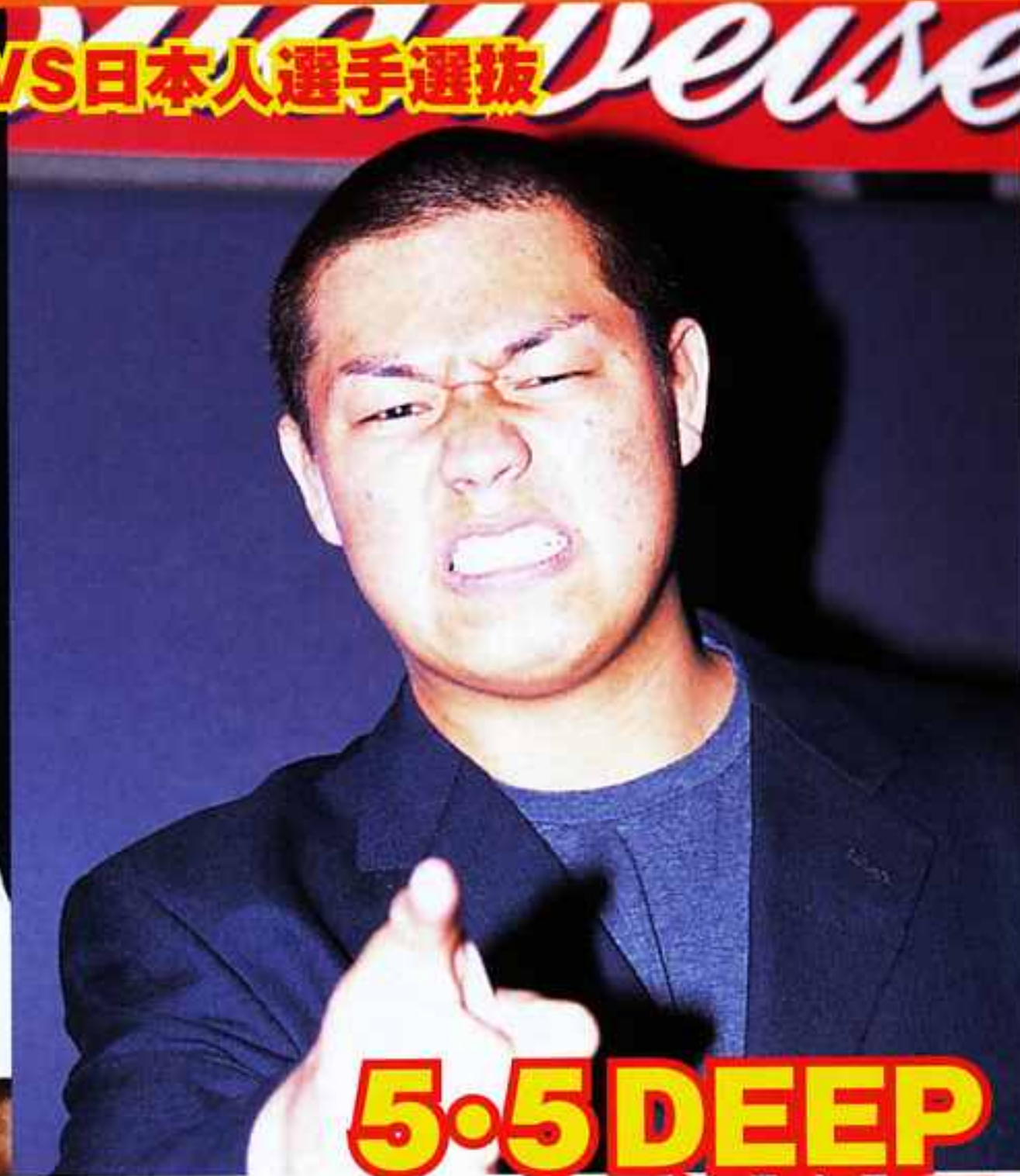
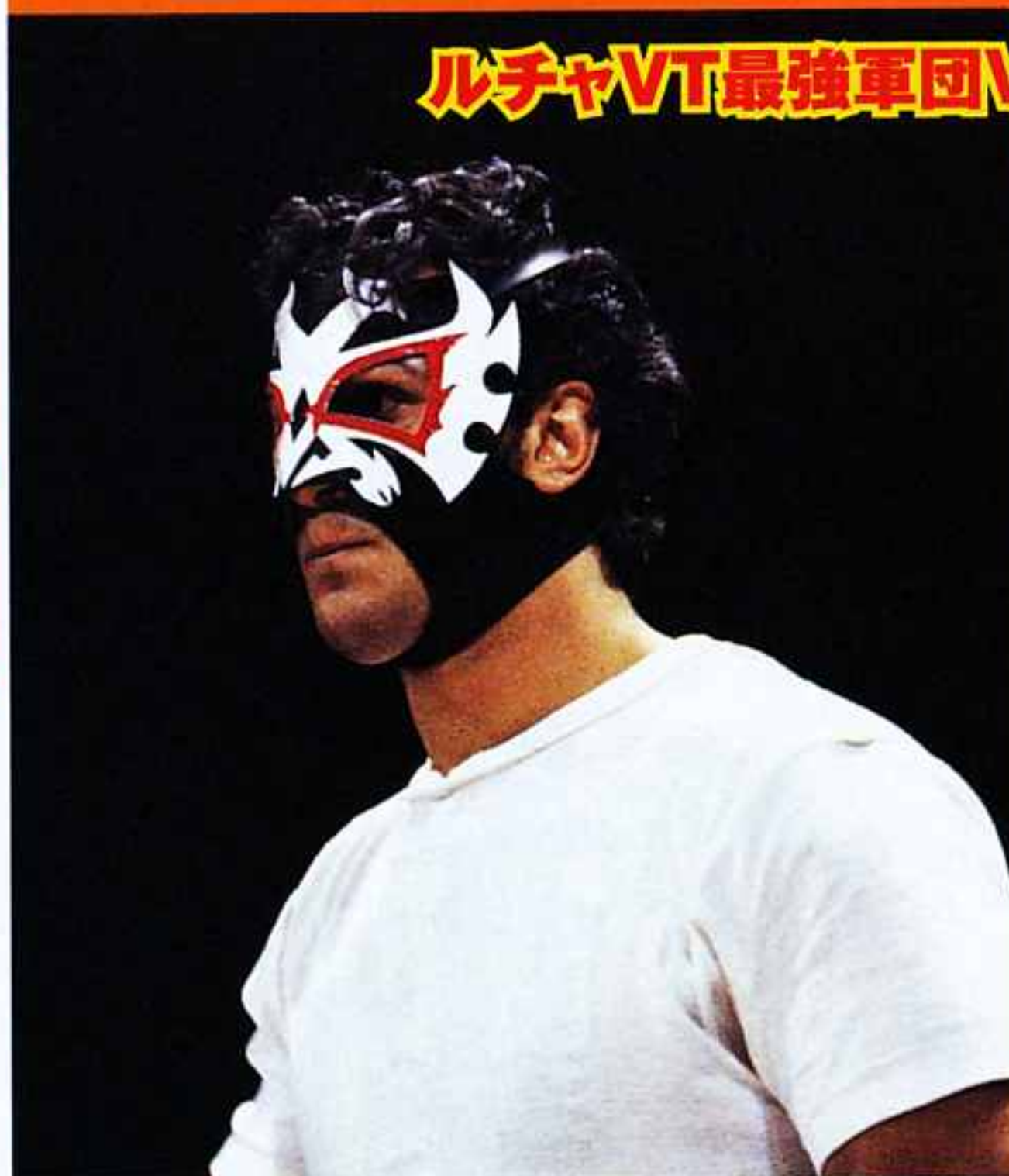
◆　◆

ということで怒らせてしまいました。とはいえ、テレビ画面でもチラチラのぞかせるミルコの傲慢さは僕も体験したかったし、読者にもお届けしたかったもんでまあ、つい。でも、実績を出した上で好き勝手に振る舞うのは男の夢だ。それを実現したミルコは、怒らせといて言うのもなんだけどホントすがすがしい。ファイターとはこうあるべきなのである。■

5・5 DEEP 9th IMPACT 最終情報！

〈メキシコ/AAA〉ドス・カラスJr VS 伊藤博之（フリー）

ルチャVT最強軍団VS日本人選手選抜

5・5 DEEP 最終情報

難航していたドスJrの対戦相手に 伊藤博之が対戦を直訴！

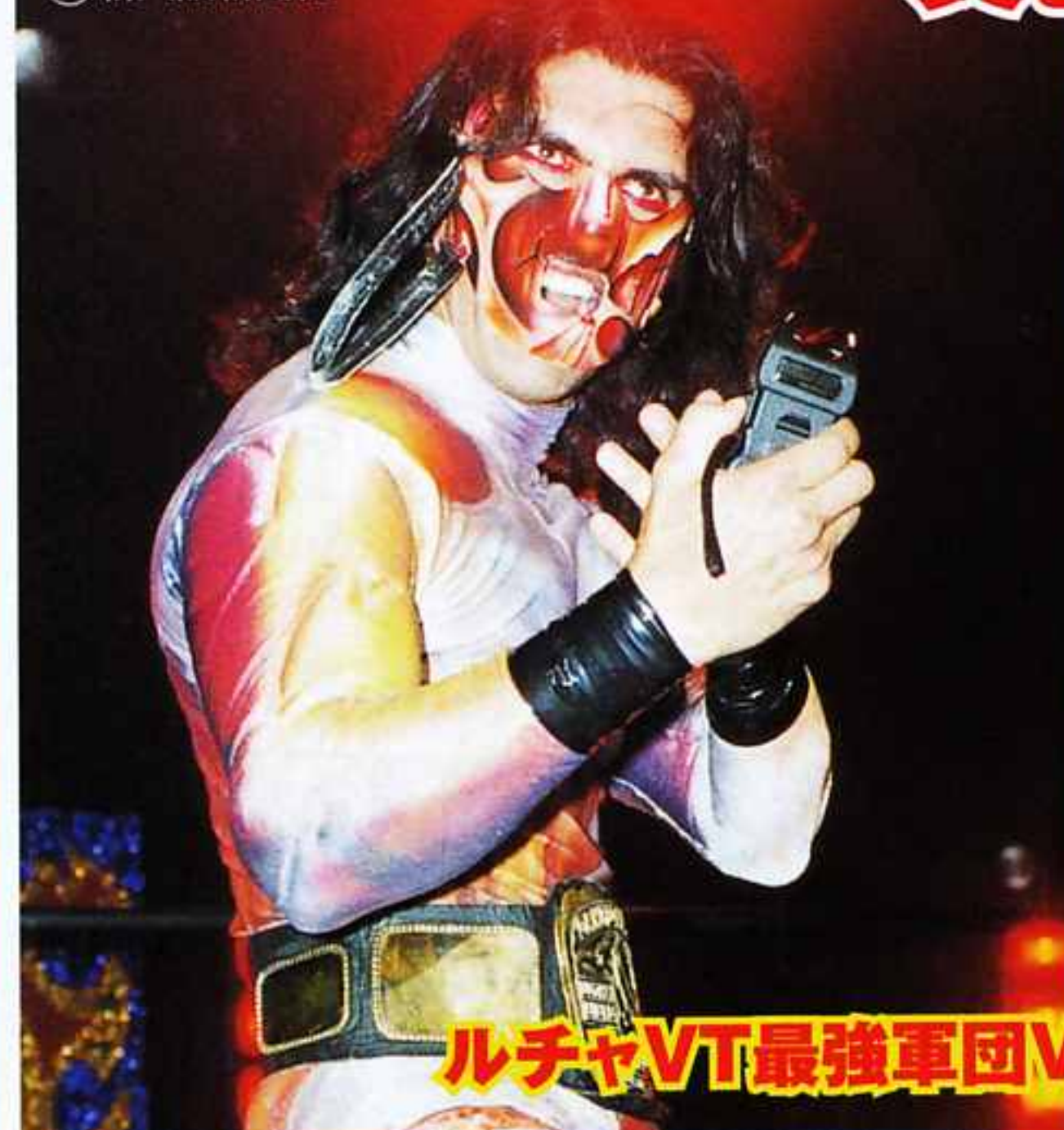
異色カードは大荒れ必至！

▲日本選抜は派手さではルチャ軍団に及ばないものの、個性溢れるメンバーが揃った

◀「きれいに関節をとって勝ちたい」とコメントした石川に対し、「とれるもんなら」と不敵な笑みを浮かべた桜井。修斗VSグラバカ、こちらの対抗戦も要注目だ

金的攻撃で乱闘？ そしたら僕逃げますよ（笑）

◀ルチャ軍団が来るとあって、今から心配で仕方ない佐伯代表。だが、ルチャ軍団への期待は大きい

Ⓒ新大阪新聞社

ルチャVT最強軍団VS日本人選手選抜

〈メキシコ/AAA〉エレクトロ・ショック VS 佐藤光留〈パンクラスism〉

『DEEP 9th IMPACT』

5月5日（月・祝） 東京・後楽園ホール
OPEN/17:30 START/18:30

その他の対戦カード

ルチャＶＴ最強軍団VS日本人選手選抜

ベンガドール・ボリクア〈メキシコ/CMLL〉	VS	ジャイアント落合〈怪獣王国〉
ブラソ・デ・プラタ〈メキシコ/CMLL〉	VS	矢野卓見〈烏合会〉
カト・クン・リーJr〈メキシコ/フリー〉	VS	大久保一樹〈U−FILE CAMP．com〉
石川英司〈パンクラスGRABAKA〉	VS	桜井隆多〈総合格闘技TOPS〉
藤沼弘秀〈荒武者総合格闘術〉	VS	真霜拳號〈KAIENTAI−DOJO〉
深見智之〈CMA京都成蹊館〉	VS	カツオ〈RODEO STYLE〉

4月14日（月）に行われた記者会見で、5・5DEEP後楽園ホール大会の全貌が明らかとなった。

ルチャVT最強軍団VS日本人選手選抜では、新たに追加カードとして2試合が発表された。

まずは、カト・クン・リーJr VS 大久保一樹。一昨年8月に父カト・クン・リーを腕十字で仕留めた大久保に対し、実の息子であるJrが対戦相手として逆指名。果たしてJrは父のために仇を討つことができるのか？

もう1試合は、エレクトロ・ショックVS佐藤光留。メキシコでも〝電流死刑執行人〟としてトップルードで活躍するE・ショック。噂では抜群の身体能力があるらしく、VTでの実力は未知数だ。対する佐藤は、昨年3月の鈴木みのるVSソラール戦で起こった乱闘で、ドス・カラスにトレードマークのメガネを投げ捨てられ、その借りを返すべく対抗戦に立候補。壊されたメガネの仇をリングで果たす。

そして難航していたドス・カラスJrの対戦相手がついに決定。記者会見場で、佐伯代表にドスJrとの対戦を直訴した伊藤博之が大抜擢された。伊藤は、タイとアメリカでみっちり修行を積んできただけに、かかる期待は大きい。

さらに本誌締め切り直前になって、DEEP事務局にクラフターMという正体も何も分からない謎のマスクマンが、参戦を申し出たという情報が飛び込んできた。現在、事務局側も情報収集に全力を挙げているということで、謎が謎を呼ぶ5・5DEEP。これは見なきゃ絶対に損をするぞ！■

U-STYLE
4・6☆ディファ有明 PROWRESTLING

撮影◎中島ミノル

これぞ、真髄！ これぞ、Uスタイル!! これぞ、オンリー・ワン！

フィニッシュとなった腕十字。気迫のこもった田村の顔がこの激闘を物語る

▲田村の左ミドルで三島はダウンを奪われる。この日、田村の打撃は冴え渡った

新・回転体伝説！　三島☆ド根性ノ助はモノが違う！

Uファンなら涙もの！　クルックヘッドシザースまで炸裂！

この日が初めてのUスタイル参戦だった三島だが、そのポテンシャルの高さは田村すら圧倒するものがあった。関節技のつなぎなど、その攻めは速くて力強くて奇抜であった

▲田村相手に水車落としを決めた三島はオリジナルホールドのコブラ固めまで繰り出した

▲UWF時代の技クルックヘッドシザースが奇跡の復活！　こういうのがたまらなく嬉しいわけだが、さらに三島は腕十字へと移行して田村を苦しめる

この日、田村潔司の動きも素晴らしかったが、三島☆ド根性ノ助の凄さもまた格別だった。

いや、天才かと思ったもんね。動きが速いだけじゃなくて、切れもいい。コブラ固めといったオリジナル技を出すかと思えば、クルックヘッドシザースといったUWFでお馴染みだった技まで復活させて見せる。つまり発想も柔軟だ。そして、何よりイイのは強さのオーラがギラギラしていたこと。心技体すべてが揃っていたというわけだ、このスタイルが初めての試合だというのに。

だから、当然、田村もイキイキと動く。三島が水車落としからコブラ固め、そして足首を攻めてファースト・エスケープを奪えば、田村は左ハイキックを2連発してダウンを奪い返す。

三島がグラウンドの攻撃で何度も田村をピンチに追い込む一方、田村は蹴りで活路を見いだしていく。試合はそういう形でめまぐるしく、一瞬の膠着もなく流れていったのだ。しかも、互いにイニシアチブを取らせまいと、必死の形相で攻め続ける。

華麗さ、技の切れ、強さを存分に競い合う姿がまさにこれぞUスタイルと言いたくなったのである。

それにしても、この日の三島はやはり素晴らしい。修斗と大学時代のリングスごっこで鍛えたグラウンドテクニックをこれでもかと披露し、総合格闘技全盛時代におけるUスタイルの可能性を見事に生み出してくれた。

そこにあるのはこのスタイルへの憧れと好奇心。自分のポテンシャルを最大限に出しつつ、UWF

U-STYLE
4・6☆ディファ有明 PROWRESTLING

▶かつてヴォルク・ハンが得意としていた、腕と足を極める技ローリングアームロックまで披露！　さすがはリングスごっこで鍛えただけのことはある！

▶三島はカポエラキックに胴回し回転蹴りと、豪快な蹴り技も披露した

After the fight

田村のコメント 勝

「三島選手は凄くいい選手。2回3回と闘っていくうちにライバルになる。足関節がうまいんでロープエスケープの準備だけは頭に入れてやってました。エスケープがなかったら一本取られていたと思います。興行としては選手もスタッフも緊張感がない。選手はもっと練習して頑張ってもらいたいと思う」

三島のコメント 負

「しんどかったけど、面白かった。田村さんは思ったより威圧感はなくて寝技でもこんなもんかって思っていたら、スルスルかわされて。うまいなぁって思って。ペース配分が難しくてバテた感じ」

★第6試合（15分一本勝負）
○田村潔司 ✕ 三島☆ド根性ノ助●
〈U-FILE CAMP.com〉〈総合格闘技道場コブラ会〉
（10分6秒、腕ひしぎ十字固め）
※田村はロストポイント2、三島はロストポイント4あり

互いにエスケープを取り合う展開の中、打撃でダウンを奪った田村が中盤から優勢に試合を進め、最後は腕十字で熱戦を制した

激闘を制したのはエース田村潔司！

華麗なるフィニッシュ！

▶左ミドルでダウンを奪われた三島はタックルを仕掛ける。それを田村はフロントネックロックでキャッチして回転。上になったところを腕十字に移行して一本を奪った

ファンだった頃の記憶を使って、楽しそうに遊んでいる。もちろんその中には気迫があるから決して見るものを不愉快にはさせない。逆に、こちらもU系の記憶に一瞬酔わされ、次の瞬間、総合格闘技的な動きで現在へと一気に引き戻される。その振り幅が面白いのだ。新しい形。UWFの進化形になるであろう、Uスタイルの手本になるべき闘い方がそこにあったと思うのである。

総合やらせれば強いし、Uスタイルでもいい仕事をするこの三島。ぜひともフンドシになってほしいと思ったわけだ。

で、もう一人、村浜武洋も結構面白い存在。旗揚げでは突如、田村に挑戦したり、この日は「(このスタイルは)やりづらい。田村戦？　どっちでもいい」と突然言い出してみたり、なんだか、Uインター時代の田村をどこか彷彿とさせるような頑固者ぶりだ。

そういえば、SBを離脱する時、レガースを客席に投げ入れていたこともあったりして、そんなところも田村にそっくりだ。

三島という天才的な存在と、2人の頑固者がいる、このリング。わずか旗揚げ2戦目で、こんな面白い人間関係まで自然発生してきているから最高の舞台がこのUスタイルだ。

まあ、村浜の今後の動向についてはまだよく分からないけど、不平不満をぶちまけながらも田村戦を実現させるまではぜひとも参戦してほしいもの。

そのあかつきには例の田村が髙田に放ったあの発言も聞いてみたいと思ったりするのだが。（ブチ）

U-STYLE
4・6☆ディファ有明 PROWRESTLING

U-STYLEに必要なのはビッシビシ感!

坂田、若手をもっとしばき倒せ!

▶坂田のミドルキックに苦悶の表情を浮かべる大久保。坂田のように、若手にはビッシビシ叩き込まなければ

◀大久保ちゃんも足関節技で坂田からエスケープを奪う。全日本にも参戦して、いろいろ経験を積んでいる大久保ちゃんは今後の活躍が期待できる選手だ

▶フィニッシュは若手への拷問技の定番ともいえる、しゃちほこばりに体を反らせた逆片エビ固め

村浜、次回の参戦は白紙!?

◀第4試合には村浜が登場し、U－FILEの佐々木恭介と対戦。田村のような回転体の動きを見せようとする佐々木に対して、村浜は今回は純プロレス技を封印して試合に臨んだが、試合後に「これもあれもやっちゃダメじゃ、窮屈すぎる。持ち味が出ない」と不満を露に。次回大会は大阪プロレスのお膝元の大阪で行われるのに、参戦は今のところ未定だという。どうなる?

▼坂田の掌底の連打でダウンを喫した大久保ちゃん。今大会で唯一厳しい攻めを見せてくれたのは坂田だけだ

グラウンドでも掌底をぶち込む坂田。拳を押しつけられて、大久保ちゃんはまたもご覧の表情に

その他の試合結果

☆第4試合（15分一本勝負）
○村浜武洋（8分49秒、腕ひしぎ十字固め）佐々木恭介●
〈大阪プロレス〉　〈U-FILE CAMP.com〉

☆第3試合（15分一本勝負）
○藤井克久（2分10秒、KO勝ち）木村直生●
〈UFO〉　〈EVOLUTION〉
※グラウンドでの掌底連打。

☆第2試合（15分一本勝負）
○原学（ポイント判定3-2）越後隆●
〈格闘探偵団バトラーツ〉　〈U-FILE CAMP.com〉

☆第1試合（15分一本勝負）
○伊藤博之（7分23秒、腕ひしぎ十字固め）吉田智彦●
〈フリー〉　〈U-FILE CAMP.com〉

★第5試合（15分一本勝負）
○坂田亘 × 大久保一樹●
〈EVOLUTION〉　〈U-FILE CAMP.com〉
（8分42秒、逆片エビ固め）
※坂田はロストポイント1、大久保はロストポイント3あり

ZERO—ONEで暴れまくっている坂田と、なぜか全日本プロレスのぬるま湯体質を改善しようとしている若手軍団〝ターメリック〟の一員となってしまった大久保ちゃんがUスタイルで激突した一戦。ちょっぴりプチな「ZERO—ONE VS 全日本」の抗争が、意外な所で実現してしまった形だ。

まあ、本人たちもそんなことは意識もしていないだろうから、そちらの話題は置いておいて、とにかくこの試合は、鬼軍曹が若手選手をリング上でプロの厳しさを叩き込むという図式を、クッキリと見せてくれた試合だった。

Uスタイルに参戦している選手たちは、普段はDEEPを中心としたリングで総合格闘技の試合を行っている若手の選手がほとんどで、プロレス初心者ばかり。まだまだ、格闘技の技術も未熟な彼らに見せてほしいのは、技術ではなく相手を潰しにいくような気迫なのだ。今大会で一番物足りなかったのは、この気迫を見せられる選手がいなかったことである。

そんな中で、大久保ちゃんをしばき倒すような坂田の闘い方は、見ているこちらも熱くしてくれるような、激しいものがあった。坂田のビッシビシ叩き込んでいくファイトが、子犬キャラの大久保ちゃんからも気迫を見事に引き出してみせたのだ。

今後のUスタイルで肝となってくるのは、坂田のような鬼軍曹的な役割をする選手だろう。Uスタイルに足りないビッシビシ感溢れる試合を、星野総裁に代わって坂田にお願いしたい。　（小松）

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携
SRS DX
スペシャル・リング・ガイド
No.93 5・8号

CONTENTS

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

5・2　新日本、東京ドーム大会

大音量の非常ベルが鳴っているぞ！ 座談会

出席者◎“ナチュラル・ボーン・キラー”谷川貞治（K−1イベント・プロデューサー）
ターザン山本（AV出演を果たした真のバーリ・トゥーダー）
小松ガンツ（本誌“アスホール発言真犯人”編集部員）
司　会◎柳沢忠之（本誌“憂プロレスの志士”御目付役）

“真の”プロレスファンからの“切なる”願い

がんばれ！ がんばれ！ がんばれ！ 上井さ〜ん!!

山本　おいっ！　3週間も空くと座談会が待ち遠しくなるなぁ。俺はいつになったら谷川将軍様に会えるのかと思って、ヤキモキしてましたよぉ。

谷川　それは……、光栄です。で、今日はなんの話ですかぁ？

小松　何にしましょうか。

谷川　えーっと、僕は立場的にK─1ジャパン山形大会の話はしなくていいの？

小松　あ、イベントプロデューサーの立場から何かあれば……。

谷川　えーっと……、何もありません。

──んあ〜！

谷川　強いて言えば「次回大会も頑張ります」と。

山本　おいっ！　モグ、前フリだよぉ。

小松　あの………。

──相変わらず今日もないのか？

小松　えーっと、サムライTVのことなんですけど……。

山本　今日はあるんかぁ？

小松　ええ、あるんですけどいいですか？

──遠慮することたぁねえよ（笑）。

小松　えーっと、『生ゴン』での問題発言で山本さんがサムライTVから追放されたじゃないですか。

山本　追放だとぉ！　ちゃんと言葉を選べぇ!!

小松　えーっと、除名処分でしたっけ？

──ダハハハッ！　その調子で行け！（笑）。

山本　自主降板ですよぉ！

小松　まぁ……、強制降板ですか。で、『紙のプロレスRADICAL』の山口編集長もこの前、密かにU─STYLE中継の解説を降ろされていたんですよ。詳しく話すと、サムライTVの現場の人たちは山口さんに解説のオファーをしてたらしいんですけど、『生ゴン』での方舟発言とか、『紙プロ』誌面での茶化し方から、上層部からNGが出たらしくて。

──でも、それが山口日昇の真骨頂だし、それを理解できないんだったら、山口日昇を使う意味がないもんな（笑）。

小松　でも、それが原因で降ろされちゃったらしいんですよ。

谷川　そんなことを、まだグダグダやってるのお？（笑）。

小松　ええ、グダグダやってるんです。で、これにはまだ続きがあって、先日『紙プロ』編集部員の（堀江）ガンツさんに会ったら、ガンツさんもサムライTVから出入り禁止を食らったらしいんですよ。

山本　あいつも何かやったんかぁ？

小松　いや、その理由が『紙プロ』誌上の座談会でガンツさんがサムライのことを「ズバリ言って、非常にアスホールが小さいというか」と発言したというんですけどね。で、ガンツさんに「その発言って小松君でしょ？」って言われて。

──ダハハハハッ！　あ、おまえか（笑）。

谷川　とんだ、とばっちりだ（笑）。

──見事なまでの人間違い（笑）。

小松　ガンツさんが「ウチは最近、座談会なんかやってないしな……」って。「小松君の発言だって、ちゃんとそれをどこかで書いといてね」って言われて。だからここでハッキリ言っておきますけど、サムライTVの皆さん、あなたたちのミステイクです。あの発言は僕です（笑）。

──または「サムライTVさんの切なるご要望にお応えして、僕は今日から〝小松ガンツ〟に改名します」って言うかだな（笑）。

久しぶりに活字プロレスを刺激してくれる大会ですよぉ

谷川　モグにしては、いい前フリだなあ。

──やればできるじゃねえか、おまえ（笑）。

小松　いやぁ、それほどでも。

──んあ〜！

谷川　山本さんは今日、何か前フリあるんですか？

山本　俺はないんだよねぇ、今日は……。

──ダハハハハッ！　そんな恥ずかしそうに言わなくても（笑）。

小松　そういえば、山本さんは最近、AVに出演したんですよね？

（※ここからターザンのAV出演の話が展開されるが、あまりにも品性下劣な話なので、あえて割愛）

──やれやれ。で、山本さん、今年で何歳ですか？

山本　57歳ですよぉ！

──どんな57歳なんだ（笑）。

谷川　今の話は聞かなかったことにします（笑）。じゃあ、そろそろ本題に入りましょうか。今日のテーマはなんですか？

山本　今日はやっぱり「新日本プロレス5・2東京ドーム大会のバーリ・トゥードはどういう波紋を広げるのか」ということですよぉ。

谷川　でも、面白そうですよねえ。

──んあ〜！（笑）。

山本　いや、こんな面白いものはないわけですよぉ。でも、これを面白いと思う人は少数派なんだよねぇ。ところがこれを面白がれないという社会状況、ジャンル的状況があるわけ。今の状況はそれを面白がれないわけよぉ。俺なんか語り尽くせないほど語れるもんなぁ。やる前から語ることがい〜っぱいあるし、当日も、その後も絶対に語れる自信があるわけよ。

谷川　山本さんなら5・2ドーム大会から結びつけて、『プライド26』の藤田VSヒョードル戦まで語れますもんねえ。

山本　それくらい、久しぶりに活字プロレスを刺激してくれる大会ですよぉ。

谷川　一応、僭越ながらK─1からはヤン・〝ザ・ジャイアント〟・ノルキヤを参戦させていただきます（笑）。

──殴り込ませます、と（笑）。

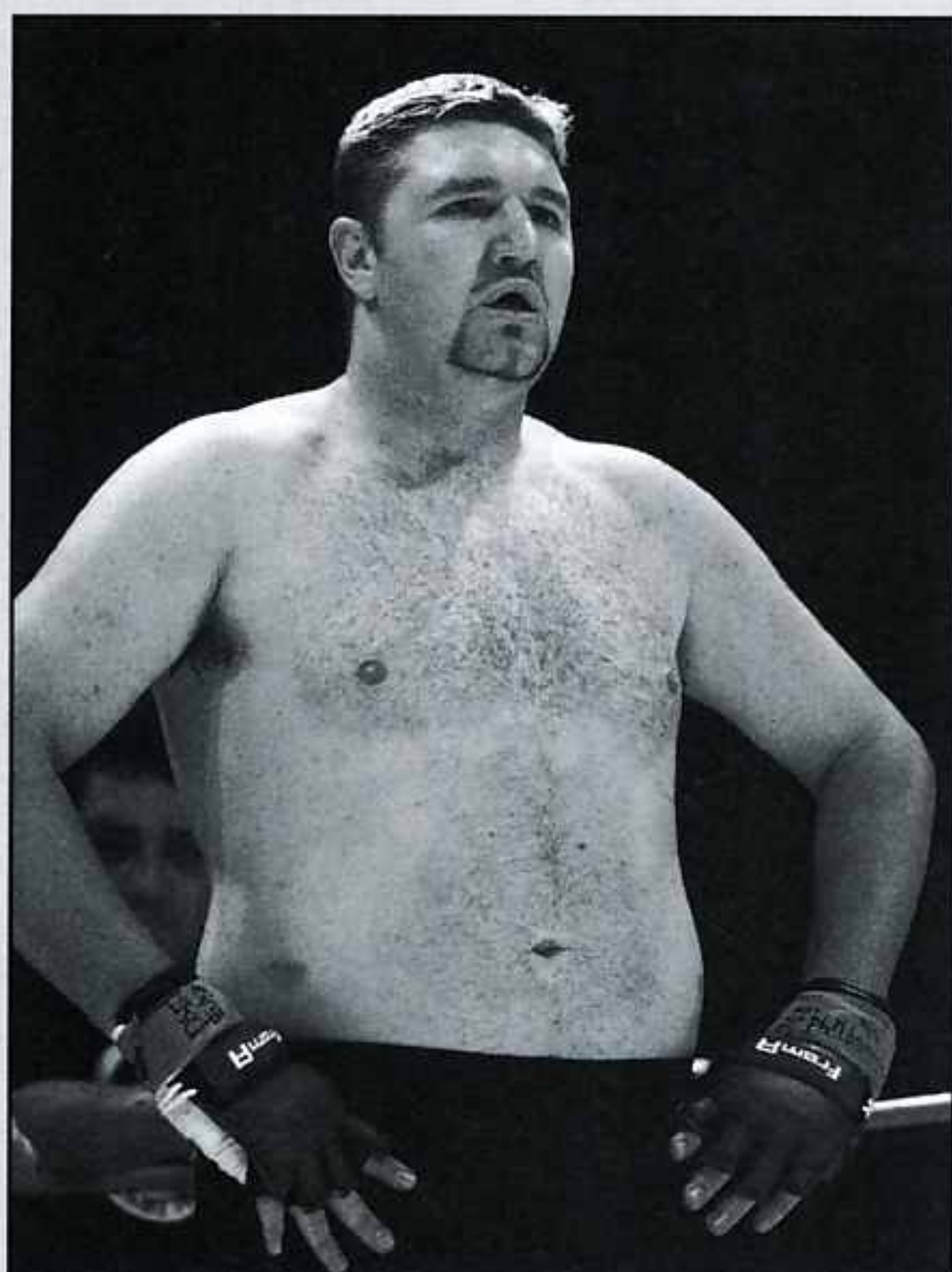
山本　あれは新日本プロレスから「ノルキヤを貸してくれ」って、オファーが来たん？

谷川　ええ、僕は「ミルコ・クロコップかボブ・サップを出してくれ」っていうオファーかなと思ってたんですけどね。「ぜひ、ノルキヤを」って言われまして。

──ダハハハッ！　よりによって（笑）。

山本　そのオファーがあった時、プロデューサー的にはどう思ったん？

谷川　いや、「どうぞ、どうぞ、喜んで協力させていただきます」って。

――ぷぷぷぷっ！

山本　でも、そこでK―1イベントプロデューサー的には、新日本側の目論見はどういうものだと思ったん？

谷川　いやいや、目論見とか計算とかは一切ないでしょう。

山本　えーっ、ないのぉ？

谷川　上井取締役はホントに純粋な方で、「強い新日本プロレス」を僕に力説してくれましたからね。今、中西学選手がエンセン井上のところで一生懸命にバーリ・トゥードを練習してるんですけど、「そういう厳しさを知るだけでも今回の興行をやる意義がある」っていう考えなんですよ。

山本　えぇーっ！　それは凄いハードルの捉え方だなぁ。

谷川　でも、僕は「おっしゃるとおりですねぇ」って言ったんですけど。

――んあ〜！（笑）。

谷川　「さすがは上井さんだあ」と思って。「スミヤバザルは凄く強いけれど、あえて髙阪選手が出てきてくれた」とも言ってましたしね。本当に純粋な方で。

山本　じゃあ、今回の新日本のバーリ・トゥード5試合は、オールすべてぜ〜んぶ上井さんの美談の賜物なんだなぁ。

谷川　そういう意味では、今回は上井さんの興行ですよね。"美しき新日本プロレス"というか、"強い新日本プロレス"を取り戻すために今回の興行にチャレンジするという形ですよね。

小松　でも、そんなことはどこにも伝わってないよぉ。

山本　でも、『週刊ゴング』の金沢（克彦）編集長（通称＝GK）は「だから応援したい」と言ってましたよね。

山本　それはひとつの美談の連鎖ということですよぉ。

――あ、GKは一生懸命に応援してるんだ。

小松　全面的に応援してますよね。

谷川　そういえば、上井さんってUWFにいたんですよね。

山本　旧UWFにいて、浦田（昇・当時社長）さんの下で働いていたんですよぉ。

小松　あ、そうなんですか。

谷川　当時の興行の収支決算書か何かを今でも持っていて、それが上井さんの青春の証らしいですよ。

山本　だって、上井さんで思い出すのは、旧UWF時代に「UWFの選手が新日本プロレスの藤波辰巳選手に挑戦します。このリングに出てきてください！」って言ったんだよぉ。

――あぁ……、そういえばそんな光景が微かに記憶のかなたにあるなぁ（笑）。

山本　あの発言をしたのが、あの上井さんですよぉ。

谷川　僕が直接会ってお話をした上井さんの中には、本当に強くてカリスマ性があるアントニオ猪木というスーパースターがいて、道場の鬼の山本小鉄がいて、前田日明とか藤原喜明とか髙田伸彦が一

オールすべてぜ〜んぶ上井さんの美談の賜物なんだなぁ

生懸命に練習していた原風景がプロレスの原点というものが確実にあるんですよね。

山本　それは俺も認めるけど、今となってはそれは昭和の化石なんだよねぇ。

――山本さんにしてみれば、青春の白骨死体というかね（笑）。

谷川　でも、それを今の時代に取り戻すために今回、上井さんは東京ドームでバーリ・トゥードをやるんですよ。たしかに試合カードを見ても上井さん的なマッチメイクですしね。

山本　だったら、せっかくだからその空間に山本小鉄とか前田日明とか佐山聡を集めてほしいよねぇ。

谷川　まあ、上井さんとしては中邑選手とか村上和成選手に期待してましたねぇ。でも村上選手はプロレス・ルールなんですよねぇ。

山本　でも、そうなると上井さんは、今の新日本の中では浮き上がった、勝手な独走をしてるみたいなもんだよぉ。

谷川　そうでしょうね、たぶん。でも、それを取り戻さない限り、新日本プロレスに未来はないっていう信念なんでしょう。

山本　でも、それは新日本プロレス全体の総意じゃないもんなぁ。

谷川　ちなみに、上井さんが嫌いなのは『WRESTLE―1』みたいなものらしいです（笑）。

小松　どこかの媒体で『W―1』バッシングもしてましたよね。

谷川　まあ、ちょっとした時の人ですよ。で、上井さんが一番最初に声をかけて、いいマッチメイクだっていう感じで賛同したのがパンクラスの尾崎社長ですよね。LYOTO対謙吾とか。

山本　凄く濃い世界だなぁ、それは。

谷川　それ以前に鈴木みのるVSライガーを実現させて、K―1にはノルキヤをオファーしてくれて。

――ノルキヤは上井さんが考えに考え抜いたオファーなの？

谷川　まあ、安田忠夫に勝ったノルキヤってことでしょうね。

――はあ………、頭が下がるというか、地中にめり込むなぁ（笑）。

谷川　でも、僕的にはこの大きな胸襟を開いて、心から「どうぞ、ノルキヤを存分に仕留めてください」って感じです。

山本　谷川はプロデューサーの立場から、そういう新日本を肌で感じてどう思うん？

谷川　その点に関しては、企業秘密としてあえてプロデューサーの立場からのコメントは差し控えさせていただきます。

――ダハハハッ！

谷川　まあ、そういう気持ちはよく分かりますけどねぇ。

山本　今の話を聞いてきて、上井さんは外の空気を吸ってないと感じたよぉ。純粋培養で、新日本プロレスのエリアだけで育った人間で、外の空気を感じる窓を持ってないという感じがするよぉ。

谷川　ま、窓がない？

山本　ハッキリ言って、上井さんは山本

小鉄、佐山聡、前田日明の時代から時間が止まってますよぉ。そこからの時間的な経過がま〜ったく感じられないもんなぁ。

谷川　でも、プロデューサーとして、今の新日本に大きな刺激を与えようとしてるのは凄く分かるんですけどね。

山本　それは分かるんだけど、常に新日本という枠の中の発想だよねぇ。新日本という価値観の枠に限定された中での最良のものをやってるわけだよねぇ。

谷川　でも、新日本プロレスがバーリ・トゥードを認めて、プロレスの興行と一緒にやるっていうこと自体が凄い話ですよね。

山本　ところが、その大会の中で蝶野VS小橋戦もやるわけでしょ。つまり、そのカードをやるということは新日本プロレスとバーリ・トゥードを同居させてやるというテーマじゃなく、新日本のライバルであった元全日本プロレスのノアまでも巻き込んで、つまりプロレスというジャンル全体とバーリ・トゥードというものの同居なんだよねぇ。ここが凄く重要なわけよぉ。

谷川　重要ですよねえ、そこは。

山本　よ〜するに新日本プロレス本隊だけではバーリ・トゥードには対抗できない。ノアという敵対する存在を持ってこないことにはバランスが取れないという形になっているところに、プロレスの最大の問題点があると思うんだよぉ。

谷川　でも、その両方に山本さんが言う窓がないですよねえ。

——んあ〜!

山本　そう! ま〜ったく窓がないし、窓の外を見たことがないんだよぉ。よ〜するに監獄とか牢獄にいるのと一緒だよぉ。今、新日本の中で「新日本内バーリ・トゥード」をやって輝きを放つかというと、それは疑問なんだよなぁ。それは新日本プロレスという外装、パッケージ、もっと言えば〝箱〟の問題で、もし同じカードを『プライド』という箱の中に入れたら、ぜ〜んぜん輝きが違ってくるわけよぉ。

谷川　ただ、その外装というかパッケージを見ているという感じもたしかにあるんですけど、もしもっと面白いマッチメイクをしたら『プライド』にとっても脅威だったと思うんですけどね。これは僕の単純な感想なんですけど、今回のマッチメイクに「プロレス的な調和」を感じるんですよ。そこがいまいちグッとこないところだと思いますけどね。誰もが話題にするのは絶対に藤田VS中西戦だと思いますけどね。興味も持つし、反響という部分でも藤田VS中西のバーリ・トゥードって面白いに決まってるのに、そこでファンはやっぱりLEGENDの藤田VS安田戦とかも見てるわけじゃないですか。そこでバーリ・トゥードの意味を考えると、あれはないんですよね。桜庭もよく「日本人とは闘えない」とか言うじゃないですか。

そこにプロレスの最大の問題点があると思うんだよぉ

山本　日本人同士のバーリ・トゥードは絶対に難しいよなぁ。

谷川　プロレス的調和から一番外れたところにバーリ・トゥードがありますからね。だから、ある意味ではスミヤバザルVS髙阪剛戦もその調和を感じますよね。僕はプロデューサーの立場から、そこがもったいないなと感じるんですよ。

山本　谷川ぁ、おまえは鋭いなぁ。

谷川　へ………?

山本　俺はこれまで新日本のバーリ・トゥードに関して、いろいろな人の意見を聞いてきたけど、今のおまえの意見がMVPだよぉ。最高の知性を感じましたよぉ。

谷川　いえいえ。でも、新日本プロレスが唯一『プライド』に勝てるのは、あのプロレスの枠を超えた「小川VS橋本戦」なんですけどね。ああいうことをやられたら、『プライド』やK—1は太刀打ちできないですよね。あれはプロレス的調和を壊してる面白さがあるじゃないですか。でも『プライド』に感情的な予定調和の破壊なんていうものは絶対にないですからね。

山本　つまり、小川VS橋本戦はプロレスファンのDNAを刺激するものがあったんだよねぇ。でも、あらかじめ競技という前提があるから『プライド』にはそれがないということですよぉ。

谷川　僕は藤田選手と中西選手がどういう発言をしているのか詳しく知らないですけど、そういう意味では感情の予定調和を壊しているのかなって思うんですよ。

山本　藤田と中西の試合で言われているのは「中西はバカである」ということを公に言いまくってるんだよねぇ。それによってバーリ・トゥードというテーマが希薄になってるんだよぉ。

谷川　は……? バカ!?

山本　「バカなヤツがバーリ・トゥードをやるんだ」と。「話にならん」みたいな、そういう切り捨て方をしてるわけですよぉ。そういう中で中西が一生懸命バーリ・トゥードに取り組んでいて、それをやればやるほど「バカである」という形になって、真のバーリ・トゥードになってないんだよぉ。だから、中西のことを最近は「バカ西」と呼んでたりして。いったい、これはなんなんだと言いたいわけよぉ、俺は。

谷川　へえ〜、凄い話題の振りまき方ですねえ（笑）。それは逆に言うと、プロレス的なイレギュラーですねえ。「なんでそっちに話題が行くの?」って感じで（笑）。

山本　谷川はバーリ・トゥードなのに何か予定調和の匂いを感じるということでしょ。これは一個だけハッキリしてるんだよぉ。つまり藤田VS中西戦はどんな結果になっても、勝者の際立った栄光と、敗者に救いがないというその両方の構図が生まれないわけですよぉ。それがないから調和を感じるということでしょ。でも『プライド』の場合はそれが明確にあるんだよなぁ。

谷川　たとえば髙田延彦の引退試合だったら、山本さんの言う〝窓〟がなかったら、たぶん桜庭と闘ったと思うんですよ。でも、あれは田村潔司だから良かったたん

ですよね。でも、僕には「藤田VS中西は、西村修VS木村健悟とどこが違うの？」みたいな感じがするんですよね。

——俺は、西村VS木村健悟のキャッチ・ルールのほうがよっぽど興奮するもんなあ（笑）。

谷川 そこがもったいないっていう感じが凄くしますよね。

山本 でも、せっかくバーリ・トゥードをやるのに、谷川みたいに「調和を感じる」と見られるのは悲劇だよなぁ。それは今の新日本プロレスに染み着いた状況を明確に表してるねぇ。いくらバーリ・トゥードをやろうとしても、調和を感じると思われたら、何もかもが台無しだよぉ。やっぱり谷川はキラーだなぁ。

——大切に扱ってるように見えて、無意識にグシャッと踏み潰しますからね（笑）。

谷川 いやいや、僕は単純にどうなるのか興味がありますよぉ。

山本 どうなるもこうなるも、今、谷川はオールすべてぜ～んぶ答えを言ってしまったよぉ。つまり、どっちに転んでもどうにもならないということですよぉ。

谷川 でも、その調和を超えることができたら凄いじゃないですか。

山本 うん、その調和を超えられるかどうかが、力道山以来のプロレスの最大のテーマだったわけ。それを超えた時にプロレスがプロレスになれるわけですよぉ。

谷川 それが今回の5・2ドームのテーマですよね。そういう調和を超えられるかどうかだと思いますよ。

山本 その谷川の言葉が新日本にとってのヒントになってるわけですよぉ。調和として見られてるんだったら、その調和をぶち壊してやれと思えるかどうかでしょ。

谷川 そうなったら、メチャクチャ面白くなると思いますよぉ。たとえば僕がマッチメイクをして、LYOTOとヴァンダレイ・シウバの試合を発想したとしたら、それはもう予定調和なんですよ。「谷津嘉章みたいになるんだろうなぁ」っていう感じで。でも、その中でLYOTOは何かキラリと光るものを見せてくれると思うから、そこだけに価値観を見出すという予定調和なんですよね。でも、みんなそう見てると思ってたんだけどなぁ。モグもそうだろう？

小松 あ……、いやまったく。

——んあ～！

谷川 小橋建太VS蝶野正洋も、小川VS橋本戦みたいになったら確実に『プライド』を超えますよね。

山本 だから、プロレスというのはある部分で落ち着くところに落ち着いてしまうという、ひとつの落としどころがあるんだよねぇ。ところが落ち着くところに落ち着かなかったとなると、そこがまた面白いわけよぉ。

谷川 プロレスの一番の面白さってそこじゃないですか。『プライド』やK―1みたいに、前提として競技の枠に入っているものにそれは絶対にないですからね。

山本 つまり計算できないし、計算外の魅力ということだからなぁ。

谷川 そうなると……、やっぱりバカに賭けるしかないんですかね。

——ダハハハハッ！

谷川 そういうテーマなのかなあ。

——そんなワケはないだろ！（笑）。

山本 モグはどー思うんだぁ？

小松 なんか、調和じゃないですけど、程よいマッチメイクというのは感じますよね。

山本 いい頃合いというか、いい湯加減というかなぁ。「アチチーッ！」という感

「予定調和を感じる」と見られるのは悲劇だよなぁ

じじゃないもんなぁ。柳沢氏はどう思うん？

——……まあ、俺の率直な感想を言うとですね……。「調和」とかなんとかって言う以前の問題として、これは新日本プロレスの「カミングアウト」なんですか？

山本 ………………。

——カミングアウトじゃないの？

山本 まあ、ここ何年間かにわたって新日本は『プライド』やK―1に対抗してきたけど、ハッキリ言って今回の大会で降伏したようなもんだよねぇ。

——俺はその事実のほうが、はるかに重要な問題だと思うんですよ。

谷川 というかねぇ……、真のバカは●●●●なんだよね。

——んあ～！（笑）。

小松 また、グシャッと踏み潰しましたね。

——虫けらのように（笑）。まあ、バーリ・トゥードのマッチメイクがどうだとかいう以前の問題として、俺は新日本プロレスの公に対するカミングアウトだと思ったんだよね。それこそが新日本プロレスを愛してきた俺たちにとっては大問題じゃないですか。俺は5・2ドームの話題はそれしかないと思うぐらいに大問題だと思うんだけどね。

山本 でも、本人たちにとっては一生懸命やってるだけなんだよねぇ。そういえばGKもカミングアウトしてたよぉ。

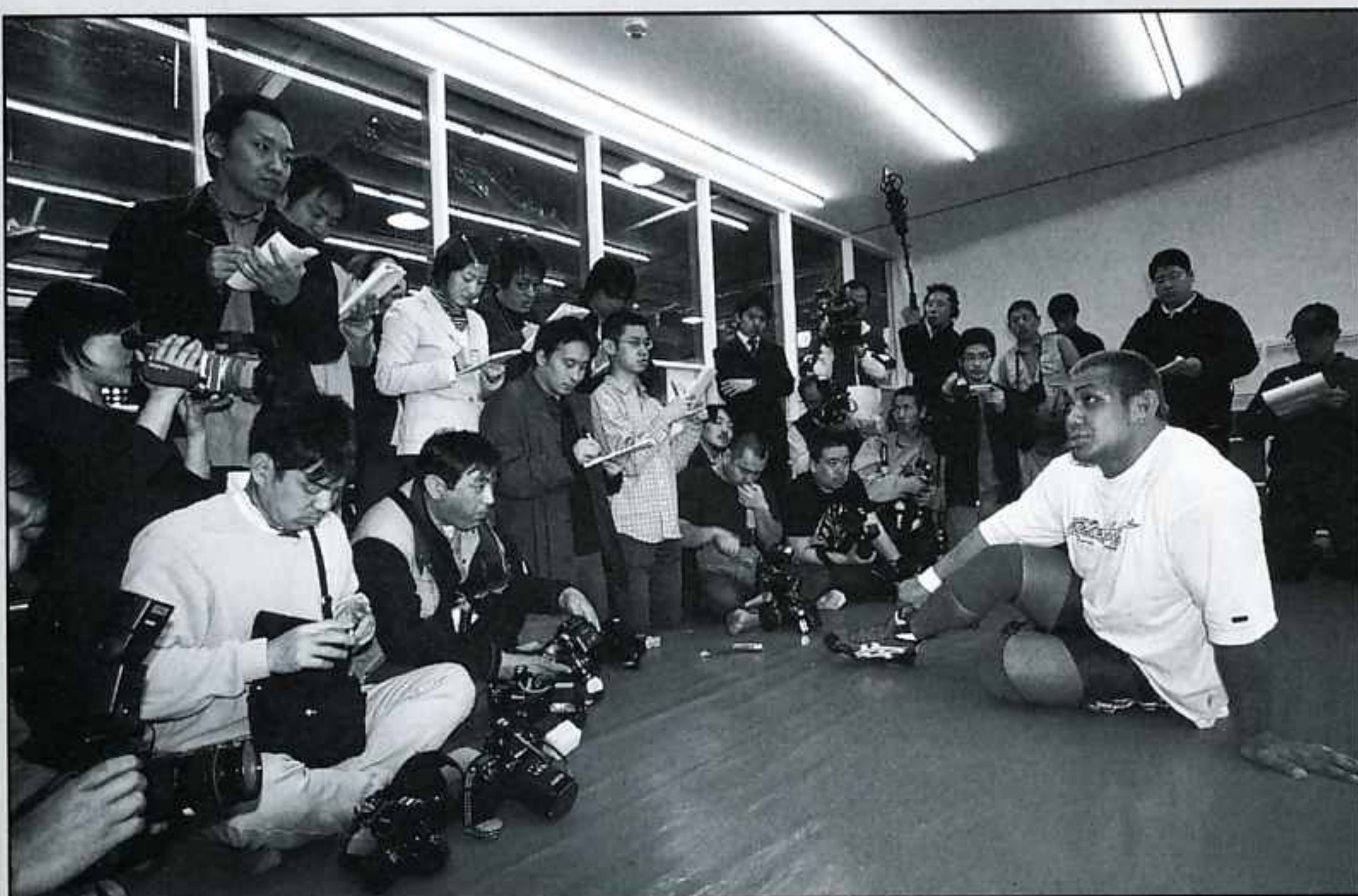
——は？ なんて？

山本 GKは「ごまかし続けてきた歴史だった」って言ったんだよぉ。最近、あの男の発言は凄いよぉ。プロレス専門誌の王道を歩んできた雑誌の編集長が、そういうことを言っちゃうんだもんなぁ。「だから、もう新日本プロレスにはバーリ・トゥードをやってもらわなければ困る」って。

谷川 僕は、ジョーニー・ローラー以降の軽いジャブの連発が、凄いダメージを新日本にもたらしたと思うんだけどねぇ。

——まぁ話を戻すと、このカミングアウトっていう問題はどうなんですか？ 俺はプロレスにとって『WRESTLE―1』より衝撃的なことをやってるんじゃないかと思うんだけど（笑）。

谷川 だから、これをやってしまった以

5・2　新日本、東京ドーム大会

大音量の非常ベルが鳴っているぞ！ 座談会

上、新日本プロレスが格闘技のひとつの道場になるしかないんだろうと思うけどね。

——今回のドームの興行で、新日本は何を示したいんだろう？

山本　「これが新日本の原点だ！」って言いたいんだろうねぇ。

——だったら、バーリ・トゥード・ルールだ、プロレス・ルールだなんて分ける必要はないじゃないですか。公に分けるっていうことはつまり「プロレスはバーリ・トゥードではありません」というカミングアウトじゃないの？　「ルールが違うだけ」っていうのは、まさにGKの言う「ごまかし続けた歴史」の延長戦上だよね。一般の人にそのルールの違いを説明できないもんなあ。それに今回のバーリ・トゥードの5試合に出る選手たちも、ほとんどがプロレスラーじゃないんですよ。まあ、百歩譲ってプロレスラー同士の試合って言えるのが藤田VS中西の一試合じゃないですか。

小松　あ……、そうか。

——サダハルンバはキラーだから本質的なことを言わないんだけど（笑）、プロレスに愛がある俺から言わせてもらえば、新日本プロレスの東京ドーム大会で客を入れるっていうことは大事だけど、そこでやる藤田VS中西戦をわざわざ「バーリ・トゥードです」って発表しないでバーリ・トゥードをやればいいだけの話ですよ。そんなこと、プロレスを愛していればごくごく自然に発想できることですよ。そこで『プライド』の藤田VS高山戦みたいなものになれば、圧倒的に新日本の勝利じゃないですか。

山本　………なるほどなあ。

——ここでプロレスとバーリ・トゥードが明確に区分けされてしまうわけですよね。プロレス側がわざわざ自主的にその区分けをしてしまうという行為に対して、何か言ってる人はまったくいないの？

山本　それを新日本プロレスがやってしまったんだよなぁ。

——これで、もしバーリ・トゥード・ルールの試合のほうが面白かったと評価されたら、新日本はどうするんですか。

山本　自己否定になってしまうよなぁ。

——俺はね、藤田の目線で考えたら『プライド26』の藤田VSヒョードル戦よりも、藤田VS中西戦のほうがはるかに興味がありますよ。藤田VSヒョードルって、ある意味ではさっきから言ってる予定調和じゃないですか。でも、面白い面白くないは別として、5・2ドームの話題は藤田VS中西戦一色になるでしょ。で、俺はたとえその試合が一般的にはコケたとしても、個人的には面白がれると思ってるんですね。大げさに言えば、5・2ドームはその一試合しかないと思うわけですよ。その試合をわざわざ「バーリ・トゥード・ルール」ってしちゃってるのは凄いことですよね。

山本　誰もそこには気付いてないよぉ。つまり、新日本プロレスにとっては自我の分裂というか、アイデンティティの崩壊ということだなぁ。

——だって「バーリ・トゥード」っていう言葉を使うのは、あまりにも卑屈じゃない？　本質的には言葉の問題じゃなくて、「シュート・マッチ」っていう結果で全然いいと思うんだけど。そ

いい頃合いというか、いい湯加減というかなぁ

こに「俺たちだって『プライド』みたいなことはできるんだ」っていう卑屈さを感じてしまうのは俺だけ？ だって逆に、新日本には『プライド』にはできない武器があるんだから。さっきサダハルンバが言った「小川VS橋本戦」なんかがそうでしょ。

山本 そういうことですよぉ。で、モグは今回の5・2に関しては、どこに目がいってるんだぁ？

小松 あ、僕はスミヤバザルですね。見たことないから、見たいんですよ。あとはやっぱり中西ですね。

——そういう意味では、ホントに藤田がその試合で何をやるかにかかってますよね。これほど藤田が問われる試合って、久々ですよ。

谷川 まあ、それが悪いほうに出なければいいけどなあ。

——また、ボソッとキラー発言（笑）。

山本 本来、『プライド』のリングで藤田VS中西戦をやれば、俺たちは何も考えなくていいんですよぉ。それは『プライド』の論理が分かってるからなんだけど。でも、新日本のリングでふたりがバーリ・トゥードをやるとなると、別の見方をしなきゃいけないわけ。そういう中で試合をしなきゃいけないんだよねぇ。

——そういうことですね。それを実際に闘う本人たち、それとプロデュースする側が分かっているかどうかですよ。

山本 どう転んでも、ハードルが高いよぉ。

——ホントにどうなるんだろうなあ。

谷川 でも、新日本プロレスでは久々に興味深い興行ですねえ。

——もうファンもマスコミもプロレスだとか、格闘技だとかいうことに麻痺してるってことなの？

谷川 ファンとしては別腹なんだろうねえ。

——女の子がデザートを食べるんじゃないんだから（笑）。

山本 まあ、ファンもマスコミもそこに差別化がないんだなぁ、今は。

——そうなると、この先はどんなことをやっても衝撃はなくなってしまいますよ。なんか、プロレスにとって真の苦難の前触れのような気がしてならないんだよな。

谷川 その意味では、心から上井さんには頑張ってほしいなあ。

山本 少なくとも俺たちからは新日本にエールを贈るべきですよぉ。

——今からでも間に合うんだったら俺は大声で叫ぶよ、「がんばってくれ！上井さん!!」って（笑）。

谷川 本当に僕たちだけでも叫ばなきゃいけないね、それは。

小松 命懸けのストーカーのように。

——んあ～！ ■

それを新日本プロレスがやってしまったんだよなぁ

4/24THU～5/15THU

CALENDAR

4/24 THU	★『SRS・DX』93号発売日
4/25 FRI	
4/26 SAT	■日本キック連盟/東京・後楽園ホール（17:30～）⬅p48 ◆プロフェッショナル修斗公式戦 広島サンプラザ/チケット一般発売⬅p48
4/27 SUN	■R.I.S.E./ゴールドジムサウス東京ANNEX（16:30～）⬅p49
4/28 MON	
4/29 TUE	■MA日本キック連盟/ゴールドジムサウス東京ANNEX（16:30～）⬅p49
4/30 WED	
5/1 THU	
5/2 FRI	
5/3 SAT	
5/4 SUN	■修斗/東京・後楽園ホール（18:00～）⬅p48 ◆PRIDE26/チケット一斉発売⬅p46
5/5 MON	■DEEP/ 東京・後楽園ホール（18:30～）⬅p46
5/6 TUE	
5/7 WED	■SMACK GIRL/東京・六本木Velfarre（19:30～）⬅p46 ◆SMACK GIRL Third Season-Ⅳ/チケット先行発売⬅p46
5/8 THU	◆SMACK GIRL Third Season-Ⅳ/チケット一般発売⬅p46
5/9 FRI	
5/10 SAT	
5/11 SUN	
5/12 MON	
5/13 TUE	
5/14 WED	
5/15 THU	★『SRS・DX』94号発売日

格闘技パーフェクトガイド

Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

SMACK GIRL

SMACK GIRL Third Season-Ⅲ
5月7日（水）東京・六本木velfarre

◆開場/18:30　試合開始/19:30　◆入場料/ロイヤルVIP指定席（食事付）20,000円　VIP指定席10,000円　SRS指定席5,000円　スタンディング2,500円　※当日はSRS指定席、スタンディングが500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F　◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/スマックガール実行委員会☎03-5545-4766

決定対戦カード

久保田有希 vs ファティア・アバハイヤ
（荒武者総合格闘術）　（ドージョー・カマクラ）

出場予定選手

カロリン・フブレクツ（メジロジム）
しなしさとこ（GIRL FIGHT AACC）
玉井敬子（SOD女子格闘技道場）

SMACK GIRL Third Season-Ⅳ
6月4日（水）東京・六本木velfarre

◆開場/18:30　試合開始/19:30　◆入場料/ロイヤルVIP指定席（食事付）20,000円　VIP指定席10,000円　SRS指定席5,000円　スタンディング2,500円　※当日はSRS指定席、スタンディングが500円増し　◆チケット発売/5.7大会会場にて先行発売、一般発売：5月8日（木）　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F　◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/スマックガール実行委員会☎03-5545-4766

『ZST』事務局

THE BATTLE FIELD『ZST3』
6月1日（日）Zepp Tokyo

◆開場/16:00　試合開始/17:30（16:05よりジェネシスバウト開始予定）　◆入場料/VIP席（最前列・1ドリンク付）15,000円　SRS席（2列目）8,000円　S席6,000円　A席4,000円　※当日は全席種千円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-029-999（Pコード：594-770）、後楽園ホール、書泉ブックマート、『ZST』オンラインショップhttp://www.zst.jp/　◆会場アクセス/ゆりかもめ青海駅、臨海高速鉄道東京テレポート駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/『ZST』事務局☎03-5321-9595

決定対戦カード

今成正和 vs X
（TEAM ROKEN）

小谷直之（ロデオスタイル）
小谷ヒロキ（K'z FACTORY）
vs
リッチ・クレメンティ（チーム・エクストリーム）
ジェフ・カラン（チーム・エクストリーム）

矢野卓見
（烏合会）

梅木繁之 vs X
（SKアブソリュート）

代官山剣Z
（TEAM ROKEN）

DEEP

DEEP 9th IMPACT
5月5日（月・祝）東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30　フューチャーファイト開始/18:00　◆入場料/VIP席（最前列・パンフレット付）20,000円　RS席12,000円　A席10,000円　B席7,000円　C席5,000円　※当日は全席種500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、eプラス、CNプレイガイド、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、デポマート☎03-3515-6507、TOKYO文庫タワー☎03-5784-4900、BATTLE PLACE☎03-3881-7770、格闘技プロショップイサミ、パンクラス☎03-5792-0815、DEEP事務局☎052-339-0303　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/DEEP事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

〈ルチャVT最強軍団VS日本人選手選抜 5VS5対抗戦〉

ドス・カラスJr vs 伊藤博之
（メキシコ/AAA）　（フリー）

ベンガドール・ポリクア vs ジャイアント落合
（メキシコ/CMLL）　（怪獣王国）

プラソ・デ・プラタ vs 矢野卓見
（メキシコ/CMLL）　（烏合会）

エレクトロ・ショック vs 佐藤光留
（メキシコ/AAA）　（パンクラスism）

カト・クン・リーJr vs 大久保一樹
（メキシコ/フリー）　（U-FILE CAMP.com）

石川英司 vs 桜井隆多
（パンクラスGRABAKA）　（総合格闘技TOPS）

藤沼弘秀 vs 真霜拳號
（荒武者総合格闘術）　（KAIENTAI-DOJO）

深見智之 vs カツオ
（CMA京都成蹊館）　（RODEO STYLE）

club DEEP 3rd Challenge
5月25日（日）愛知・club OZON

◆開場/13:00　試合開始/14:00　◆入場料/オールスタンディング3,500円　※当日は500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ☎050-320-9999、IVY BOOKs名古屋本店☎052-459-7122、公武道☎052-241-2511　◆会場アクセス/地下鉄桜通線久屋大通駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/DEEP事務局☎052-339-0303

出場予定選手

所英男（チームPOD）
坪井淳浩（フリー）
花井岳文（養生館）

K-1 ワールドシリーズ

K-1 WORLD GP 2003 in Las Vegas
5月2日（金）アメリカ、ネバダ・ミラージュホテル

決定対戦カード

角田信朗 vs 武蔵
（正道会館）　（正道会館）

ステファン“ブリッツ”レコ vs X
（ドイツ/ゴールデングローリー）

マーク・ハント vs ゲーリー・グッドリッジ
（ニュージーランド/リバプール・キックボクシングジム）　（トリニダード・トバゴ/フリー）

〈K-1 U.S.A. GP 2003〉

マイケル・マクドナルド（カナダ/フリー）
ギセップ・デナテイル（カナダ）
カーター・ウィリアムス（U.S.A.）
藤本祐介（MONSTER FACTORY）
リック・ルーファス（U.S.A./フリー）
デューウィー・クーパー（U.S.A.）
モーリス・スミス（U.S.A./モーリス・スミス・キックボクシングセンター）
エドアルド・マイオリノ（ブラジル）

PRIDE

PRIDE.26
6月8日（日）神奈川・横浜アリーナ

◆開場/16:30　試合開始/18:00　◆VIP席100,000円（専用入場ゲート・グッズ付）　RRS席28,000円　スタンドS席16,000円　スタンドA席7,000円　◆チケット発売/一斉発売：5月4日（日）　◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：594-700）、ローソンチケット（Lコード：30026）、CNプレイガイド、eプラス、サンクス、髙田道場、グレート・アントニオ☎03-3219-9550、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、板橋大山アメリカン、書泉ブックマート、フィットネスショップ格闘技、チケット&トラベルT-1、後楽園ホール、渋谷TOKYO文庫TOWER、BCG☎03-3560-7911、相鉄ジョイナスプレイガイド、公武堂☎052-241-2511、新日本プロモーションhttp://www.shinnichi-pro.co.jp/、iTV2002PROJECT http://www.e-goraku.tv/、ドリームステージエンターテインメント、PRIDEオフィシャルサイトhttp://www.so-net.ne.jp/pride/　◆会場アクセス/JR東海道新幹線・横浜線新横浜駅、横浜市営地下鉄新横浜駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

エメリヤーエンコ・ヒョードル vs 藤田和之
（ロシア/ロシアン・トップチーム）　（猪木事務所）

パンクラス

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
5月18日（日）神奈川・横浜文化体育館

◆開場/15:00　試合開始/16:30
◆入場料/SS席20,000円　RS-A席8,000円　RS-B席6,000円　2F-A席10,500円　2F-B席6,500円　3F席5,000円　※当日券は一律500円増し
◆チケット発売/一般発売：4月26日（土）
◆チケット発売所/チケットぴあ☎03-5237-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎03-5537-9999（Lコード：35567）、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、水道橋・マニア館、アイドール新宿店、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、ゴールドジム☎03-3645-9434、パンクラスオフィシャルサイトhttp://www.pancrase.co.jp
◆会場アクセス/JR京浜東北線・根岸線関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者町駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

〈ライトヘビー級キング・オブ・パンクラスタイトルマッチ〉

菊田早苗vs近藤有己
（パンクラスGRABAKA）　（パンクラスism）

郷野聡寛vsフラービオ・モウラ
（パンクラスGRABAKA）　（アカデミーア・ブドーカン）

三崎和雄vs久松勇二
（パンクラスGRABAKA）　（TIGER PLACE）

渋谷修身vsエバンゲリスタ・サイボーグ
（パンクラスism）　（アカデミア・ブドーカン）

伊藤崇文vs花澤大介
（パンクラスism）　（総合格闘技道場コブラ会）

長岡弘樹vsアライ・ケンジ
（ロデオ・スタイル）　（パンクラスism）

砂辺光久vs前田吉朗
（HYBRID WRESTLING 武∞限）　（P'sLAB大阪 稲垣組）

5.18横浜大会情報！

【菊田VS近藤、グッズ付き応援シート販売決定！】

5.18横浜大会において、菊田早苗と近藤有己それぞれの応援シート（グッズ付き）を販売することが決定！

■チケット/菊田早苗応援シート7,000円、近藤有己応援シート7,000円。各50枚、合計100枚限定
■特典/A.応援シートの選手が勝った場合：『菊田VS近藤 対戦記念Tシャツ』進呈
B.応援シートの選手が負けた場合：『菊田VS近藤 対戦記念ポスター』進呈
※ドローとなった場合は、防衛した菊田応援シートの人にAのグッズを進呈
※特典グッズの受け渡しは、全試合終了後専用ブースで行う
■購入方法/4月26日（土）からパンクラスオフィシャルサイトhttp://www.pancrase.co.jp/にて販売
■お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

【菊田VS近藤［KING or ACE］キャンペーン開催中！】

パンクラスでは『5.18菊田早苗VS近藤有己［KING or ACE］キャンペーン』を開催中！

★応募要項
■賞品/5賞品、合計80名
○A賞　6.14全国東宝系公開予定の映画『スパイ・ゾルゲ』ペア・チケット 10組20名（提供：サミー株式会社）
○B賞　ドン・キホーテ『ギフトカード2,000円分』 20名（提供：株式会社ドン・キホーテ）
○C賞　GORILLAブランドTシャツ 10名（提供：株式会社イングラム）
○D賞　焼肉どん2『3,000円分お食事券』20名（提供：焼肉どん2）
○E賞　パンクラス6.7ディファ有明大会、7.27後楽園ホール大会（昼・夜）、3大会のペアチケット（SS席） 5組10名（提供：株式会社ワールドパンクラスクリエイト）
■応募方法/下記の各大会において配布、または各店舗に設置するキャンペーンカードに、必要事項を記入の上、大会当日、会場内ロビーに設置された『キャンペーン回収BOX』に投票。回収BOXは、開場時刻の15:00から開始時刻の16:30まで設置。なお、応募したキャンペーンカードの返却は不可
○配布大会/5.2新日本プロレス 東京ドーム大会、5.5DEEP後楽園ホール大会
○設置店舗/5.18横浜大会のチケットを販売している各プレイガイド（※プロレス・格闘技ショップ他）、RASSLIN'（ラスリン）東京都渋谷区神宮前2-18-11、TRATTORIA Ciao Bella（トラットリオ・チャオ・ベッラ）東京都港区六本木7-19-1
○その他の設置場所/P'sLAB東京、P'sLAB横浜、GRABAKAジム
■抽選・当選者発表・賞品受け渡し/菊田VS近藤戦終了後、勝者に投票した人の中から、厳正な抽選の上当選者を決定し、会場内のキャンペーンブースにて発表。当選者には、その場で各賞品（E賞は除く）を贈呈。※ドローの場合は、防衛した菊田に投票した人の中から抽選
■お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

【菊田VS近藤［KING or ACE］NETキャンペーン開催中！】

WEBサイト『PANCRASE OFFICIAL SITE』、『PANCRASE ON DEMAND』、『PANCRASE CYBER-SHOP』、モバイルサイト『格闘魂ーPANCRASE-』の4サイトにて、5.18の菊田VS近藤戦に向けた様々なスペシャルを順次公開！　今すぐアクセスしてみよう！

■提供サイトのホームページアドレス
○『PANCRASE OFFICIAL SITE』
http://www.pancrase.co.jp/
○『PANCRASE ON DEMAND』
http://plus.sponichi.co.jp/panx/
○『PANCRASE CYBER-SHOP』
http://www.so-net.ne.jp/pancrase
○『格闘魂ーPANCRASE-』　iモード：『スポーツ/趣味』→『格闘技』→『格闘魂』
ezWeb：『スポーツ』→『格闘魂』
■お問い合わせ/PANCRASE OFFICIAL SITE
http://www.pancrase.co.jp/

【菊田VS近藤 トークライブ&撮影会】

■日時/5月5日（月・祝）　菊田早苗の部15:00～、近藤有己の部16:30～
■場所/池袋パルコ6F　階段踊り場
■参加方法/ワールドスポーツプラザ各店舗にて、パンクラスグッズを買った人に入場整理券を配布
■お問い合わせ/ワールドスポーツプラザ池袋パルコ店☎03-5391-8388

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
6月22日（日）大阪・梅田ステラホール

◆開場/15:00　試合開始/16:00　◆入場料/SS席8,500円　A席6,500円　B席5,000円　※当日券は一律500円増し　◆チケット発売/一般発売：発売中　◆チケット発売所/P'sLAB大阪☎06-6649-8530、チケットぴあ☎0570-02-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎0570-00-0405（Lコード：51481）、eプラス、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、フィットネスショップ難波店☎06-6214-7951、神戸住吉・富万☎078-811-6222、リングソウル☎078-333-6690、パンクラス☎03-5792-0815 公式ホームページ http://www.pancrase.co.jp/

稲垣克臣引退試合決定！

パンクラス旗揚げメンバーのひとりでもある稲垣克臣（パンクラス大阪）が、6.22梅田ステラホール大会において引退試合を行うことが決定！なお引退後は、引き続きパンクラス大阪の道場長・P'sLAB大阪のインストラクターとして後進、アマチュア選手の育成を行っていく。

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
7月27日（日）東京・後楽園ホール

◆DAY TIME：開場12:30　試合開始/13:00　NIGHT TIME：開場/17:30　試合開始/18:00　◆入場料/SS席12,000円　A席9,000円　B席6,500円　C席5,000円　D席4,000円　立見3,500円　※DAY TIME、NIGHT TIMEは同一料金　※当日券は一律500円増し　◆チケット発売/6月7日（土）　※6.7ディファ有明大会でも発売　◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-02-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎0570-00-0403（Lコード：38691）、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップ・チャンピオン、水道橋・マニア館、アイドール新宿店、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1、格闘技・プロレス図書館　闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、ゴールドジム☎03-3645-9434、パンクラスオフィシャルサイトhttp://www.pancrase.co.jp　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

ニュージャパンキックボクシング連盟

VORTEX V ～旋風～
5月16日（金）東京・後楽園ホール

◆開場/17:15　試合開始/17:30　◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　特別指定席7,000円　指定A席5,000円　指定B席4,000円　指定C席3,000円　当日立見3,000円
◆チケット発売/発売中　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール　◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟事務局☎043-202-1161

決定対戦カード

〈NKBウェルター級タイトルマッチ〉
石毛慎也 vs 木浪シャーク利幸
（東京北星）（小国）

藤原国崇 vs ワンロップ・ウィラサクレック
（拳之会）（タイ/ウィラサクレック）

ソムチャーイ高津 vs デンチャイ富士
（小国）（タイ/MTONG）

新美友恒 vs 童子丸
（大和）（キング）

浅野泰輝 vs 高橋拓也
（小国）（拳之会）

Result! ウィラサクレックジム興行
4月6日（日）東京・バトルスフィア

第9試合
○米田貴廣（判定3-0）弘中史樹×
（小国）（ウィラサクレック）
第8試合
○赤羽秀一（判定3-0）戸部隆一×
（ウィラサクレック）（上州松井）
第7試合
○南健介（判定3-0）キャリー宇佐見×
（ウィラサクレック）（東京北星）
第6試合
○千葉政典（判定3-0）国分省吾×
（ウィラサクレック）（小国）
第5試合
○大村タカ（3RTKO）六郷昌義×
（ウィラサクレック）（G-1）
第4試合
△長崎秀哉（判定1-1）名取宏康△
（ウィラサクレック）（東京北星）
第3試合
○エミル（3RKO）西山正人×
（E.S.G）（ウィラサクレック）
第2試合
○田中貴之（1RKO）鈴木一×
（ウィラサクレック）（E.S.G）
第1試合
○渡辺茂雄（1R反則）宮崎高廣×
（ウィラサクレック）（E.S.G）

修斗

プロフェッショナル修斗公式戦
5月4日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00　◆入場料/RS席10,000円　SS席8,000円　S席6,000円　A席4,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、書泉ブックマート、大盛堂書店、フィットネスショップ水道橋店、後楽園ホール、KEEL CAFE☎03-5725-7338、チケット＆トラベルT-1☎03-5275-2778、e-ticket：http://www.eticket.net/　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

決定対戦カード

〈フェザー級サバイバー・トーナメント決勝戦〉
今泉堅太郎 vs 松根良太
（SKアブソリュート）（パレストラ松戸）

ホブソン・モウラ vs 漆谷康宏
（ブラジル/ノヴァ・ウニオン）（RJWセントラル）

マルタイン・デヨング vs 山下志功
（タツジン・ドージョー）（パレストラ札幌）

塩沢正人 vs マルコ・ロウロ
（和術慧舟會）（ノヴァ・ウニオン）

阿部マサトシ vs 生駒純司
（AACC）（直心会格闘技道場）

徳岡靖之 vs 岩瀬茂俊
（パレストラ加古川）（総合格闘技TOPS）

〈新人王トーナメント・ウェルター級2回戦〉
鹿又智成 vs 滝田J太郎
（総合格闘技武蔵村山道場）（和術慧舟會）

〈新人王トーナメント・ミドル級2回戦〉
岡田廣明 vs 堂垣善史
（PUREBRED大宮）（パレストラ加古川）

福本ようー vs 杉浦"C坊主"博純
（和術慧舟會千葉支部）（シューティングジム大阪）

出場予定選手

ビトー・"シャオリン"・ヒベイロ
（ブラジル/ノヴァ・ウニオン）

Shooter's Dream Ⅱ
5月30日（金）東京・北沢タウンホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30　◆入場料/S席6,000円　A席4,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋店、KEEL CAFE☎03-5725-7388、GUTSMAN・修斗道場　◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分　◆お問い合わせ/GUTSMAN・修斗道場☎03-3325-1500

決定対戦カード

川尻達也 vs タクミ
（総合格闘技TOPS）（パレストラ東京）

〈新人王トーナメント・ウェルター級2回戦〉
帯谷信弘 vs 橋本平馬
（GUTSMAN・修斗道場）（パレストラ東京）

プロフェッショナル修斗公式戦
6月27日（金）広島サンプラザ

◆開場/17:30　試合開始18:30　◆入場料/SRS席10,000円　RS席8,000円　1階S席5,000円　2階パノラマ席5,000円　2階B席3,000円　◆チケット発売/一般発売：4月26日（土）
◆チケット発売所/チケットぴあ　◆会場アクセス/JR山陽本線新井口駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7388

決定対戦カード

池本誠知 vs 菊池昭
（ライルーツ・コナン）（K'z FACTORY）

朴光哲 vs 冨樫健一郎
（K'z FACTORY）（パレストラ広島）

〈新人王トーナメント・ミドル級2回戦〉
原弘文 vs 伊藤忍
（TEAM JUNFAN修斗道場）（パレストラ東京）

〈新人王トーナメント・クルーザー級1回戦〉
ザ・グレート浪花 vs 三上MD洋祐
（総合格闘技夢想戦術）（総斗會三村道場）

〈新人王トーナメント・ライト級2回戦〉
小林正俊 vs 藤岡正義
（K'z FACTORY）（シューティングジム大阪）

藤田善弘 vs 田中寛之
（パレストラ広島）（直心会格闘技道場）

WILD宇佐美 vs 溝口なおすけ
（フリー）（誠流会）

出場予定選手

佐藤ルミナ
（K'z FACTORY）

IKUSA事務局

FUTURE FIGHTER IKUSA3 ～特攻～
6月8日（日）　東京・六本木velfarre

◆開場/13:00　試合開始/14:00（予定）　◆入場料/ロイヤルVIP席30,000円（フリードリンク、IKUSAオリジナルグッズ、パンフレット付き）　VIP席18,000円（IKUSAオリジナルグッズ、パンフレット付き）　SRS席20,000円（IKUSAオリジナルグッズ、パンフレット付き）　スタンディングビュー5,000円　※当日券は全席種500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：506-592）、IKUSAオフィシャルWEBサイトhttp://www.ikusa.net　◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/IKUSA事務局☎03-5213-7331
公式ホームページhttp://www.ikusa.net

決定対戦カード

マグナム酒井 vs チャンデット・ソーパァンタレー
（士道館）（タイ）

武井豊 vs 吉岡篤史
（TEAM IKUSA）（武勇会）

百瀬竜徳 vs X
（ターゲット）

日本キックボクシング連盟

2003　首領（どん）底シリーズ
4月26日（土）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30　◆入場料/RS席10,000円　指定A席5,000円　指定B席3,000円　◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、ファイター
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

決定対戦カード

〈NKBミドル級タイトルマッチ〉
中川裕也 vs 馳和徳
（渡辺）（大阪真門）

武笠則康 vs 渡辺秀策
（渡辺）（小国）

海老沢朋和 vs 増倉敦士
（平戸）（一心館）

伊藤陽二 vs 児玉正暁
（大阪真門）（ピコイ錦）

MA日本キックボクシング連盟

GROUND ZERO
4月29日（火・祝）ゴールドジムサウス東京ANNEX

◆開場/16:00　試合開始/16:30
◆入場料/RS指定席10,000円　A自由席7,000円　立見（当日のみ）3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/山木ジム
◆会場アクセス/JR京浜東北線大森駅山王西口前
◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7060

決定対戦カード

泉雄策 vs 小林秀紀
（山木）（マイウェイ）

大高一郎 vs 沖津伊久磨
（山木）（東金）

※当初、メインで出場予定だった隼人（PHOENIX）は腰痛の悪化により欠場

第6回梶原一騎杯『キックガッツ2003』
6月15日（日）東京・ディファ有明

◆詳細未定
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分
◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7060

決定対戦カード

〈日本ライト級タイトルマッチ〉

木村允 vs 中村玄志
（土浦）（山木）

〈日本フライ級タイトルマッチ〉

森岡卓司 vs 辻直樹
（武勇会）（山木）

〈日本ウェルター級次期挑戦者決定戦〉

ランボー豊栄 vs デビッド
（東金）（真樹ジム沖縄）

出場予定選手

ラビット関
（山木）

アトム山田
（武勇会）

井出本高司
（八街）

全日本キックボクシング連盟

全日本ライト級最強決定トーナメント～決勝戦～
5月23日（金）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:30（17:30フレッシュマンファイト開始）　◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　※当日は全席種1,000円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171　http://www.aj-kick.com

決定対戦カード

〈全日本ライト級最強決定トーナメント〉

花戸忍（高橋道場）
任治彬（韓国）
大月晴明（AJパブリックジム）
大宮司進（シルバーウルフ）

〈トーナメント・リザーブマッチ〉

小林聡 vs 山本優弥
（藤原ジム）（空修会館）

安部康博 vs 柳良來
（建武館）（韓国）

中村高明 vs 森知行
（藤原ジム）（正道会館）

竹村健二 vs 山本真弘
（名古屋J・Kファクトリー）（藤原ジム）

石川直生 vs 村山良和
（青春塾）（はまっこムエタイジム）

今後の試合日程

6月20日（金）東京・後楽園ホール(18:30～)
7月20日（日）東京・後楽園ホール(18:30～)
8月17日（日）東京・後楽園ホール(18:30～)
9月 7日（日）東京・北沢タウンホール(昼夜興行)
9月27日（土）東京・後楽園ホール(18:30～)

R.I.S.E.プロモーション

R.I.S.E vol.2
4月27日（日）ゴールドジムサウス東京ANNEX

◆開場/16:00　試合開始/16:30　◆入場料/リングサイド指定席4,000円　自由席3,000円　立見2,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ　◆会場アクセス/JR京浜東北線大森駅山王西口前　◆お問い合わせ/R.I.S.E.プロモーション☎0422-21-0616

決定対戦カード

望月竜介 vs 水野章二
（U.W.Fスネークピットジャパン）（湘南ファイトクラブ）

百瀬竜徳 vs 池田亮
（ターゲット）（アイアンアックス）

阿部勝 vs 白井裕一郎
（クロスポイント）（U-FILE CAMP）

山崎将虎 vs 田中龍星
（Y-パーク）（チームドラゴン）

新日本キックボクシング協会

Touch and GO ～臨戦～
5月18日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/16:45　試合開始/17:00　◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見4,000円（当日のみ）　◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、伊原道場
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/治政館ジム☎048-953-1880　公式ホームページ http://www.jiseikan.com/

決定対戦カード

武田幸三 vs 泰国強豪ランカー
（治政館）

深津飛成 vs 泰国強豪ランカー
（伊原）

石井宏樹 vs 泰国強豪ランカー
（藤本）

菊地剛介 vs 遠藤心平
（伊原）（治政館）

〈日本バンタム級王座決定戦〉

小川和宏 vs 加村健一
（治政館）（伊原）

マサル vs 正田孝平
（トーエル）（藤本）

森田亮二郎 vs 風神和昌
（藤本）（野本）

Ticket Present！

5月18日（日）後楽園ホールで行われる新日本キックボクシング協会『Touch and GO ～臨戦～』の観戦チケットを『SRS・DX』読者5組10名様にプレゼント！　希望者はハガキに氏名、年齢、職業、住所、電話番号、今号の感想を明記の上、下記のあて先までご応募ください。締め切りは5月1日（木）まで（当日消印有効）
なお当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆あて先/〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8階　SRS・DX編集部『5.18新日本キック協会チケットプレゼント』係

その他

ギャルズプロジェクト

女子格闘技 Gals

5月22日（木）東京・北沢タウンホール

◆開場/18:00　試合開始18:30　◆入場料/SRS指定席5,800円　A指定席3,800円　自由席3,800円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ　◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分　◆お問い合わせ/ギャルズプロジェクト☎03-3305-2815

決定対戦カード

～総合格闘技ルール～

吉倉千秋 vs 菊川夏子
（P'sLAB横浜）（ライルーツコナン）

今澤利恵 vs 内藤晶子
（パレストラ東京）（RJW Central）

金子和美 vs 石山絵理
（TEAM YANO）（TEAM LIMIT）

大道塾

2003 北斗旗全日本空道体力別選手権

5月11日（日）宮城・宮城県スポーツセンター

◆開場/8:30　試合開始/9:00　◆入場料/S席1,500円（当日2,000円）　A席1,000円　中学生以下無料　※当日券は500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、大道塾公式ホームページhttp://www.daidojuku.com/　◆会場アクセス/JR仙台駅から市営バスで『仙台博物館・国際センター前』下車　◆お問い合わせ/大道塾 東北本部☎022-264-1935

空手道禅道会

リアルファイティング空手道選手権予選大会

6月29日（日）長野・駒ケ根市武道館

◆開場/12:30　◆入場料/700円（当日1,000円）　◆お問い合わせ/日本武道空手道連盟事務局☎0265-24-9688

空手

レックスジャパン

第19回関西グローブ空手交流大会

4月27日（日）大阪府立体育会館 柔道場

◆試合開始/10:00
◆会場アクセス/地下鉄なんば駅5番出口より徒歩5分　※現在出場者大募集！　詳しくは下記お問い合わせ先まで！
◆お問い合わせ/格闘スポーツスクールレックスジャパン内 大会事務局☎06-6351-7994

第6回関西少年・女子グローブ空手交流大会

5月18日（日）大阪市中央体育館・柔道場

◆試合開始/10:00
◆会場アクセス/市営地下鉄中央線朝潮駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/格闘スポーツスクールレックスジャパン内 大会事務局☎06-6351-7994

正道会館

第5回オープントーナメント全日本ジュニア空手道選手権大会

5月10日（土）大阪市中央体育館メインアリーナ

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄中央線朝潮橋駅2番出口より徒歩3分
◆お問い合わせ/正道会館総本部 全日本ジュニア大会事務局☎06-6357-1654

第15回オープントーナメント2003 東日本新人戦空手道選手権大会

5月25日（日）埼玉・戸田市スポーツセンター

◆試合開始/10:00
◆会場アクセス/JR埼京線戸田駅より徒歩10分
※現在出場者大募集！　詳しくは下記お問い合わせ先まで！
◆お問い合わせ/正道会館 東京本部内　東日本新人戦大会事務局☎03-5285-1966

アマチュア

日本国際テコンドー協会

第14回全日本テコンドー選手権大会

5月5日（月・祝）東京・国立代々木競技場第2体育館

◆開場/9:00　◆入場料/1,500円（当日2,000円）　※小学生以下と障害者手帳を持参の人はご招待（要整理券）　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：506-020）、ローソンチケット（Lコード：31491）、eプラス、テコンドー大会事務局☎042-360-1289、久保アートプロデュース☎042-540-0170　◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、営団地下鉄表参道駅下車徒歩5分　◆お問い合わせ/久保アートプロデュース☎042-540-0170

R.I.S.E

アマチュアR.I.S.E.ワンマッチ大会

4月27日（日）ゴールドジムサウス東京ANNEX

◆会場アクセス/JR京浜東北線大森駅山王西口前
◆お問い合わせ/R.I.S.E.プロモーション☎0422-21-0616

空手道禅道会

第1回エクスチェンジトーナメント東海

6月8日（日）静岡・湖西市アメニティプラザ サブアリーナ

◆開会式/14:00　◆入場料/無料　◆お問い合わせ/空手道禅道会 豊橋支部☎0532-38-4581

アマチュア修斗

修斗グラップリング・セントラルオープン・トーナメント2003

5月11日（日）愛知・北スポーツセンター

◆試合開始/10:30
◆会場アクセス/市バス『黒川13、栄12、栄13』系統で『安井町西』停留所下車より徒歩5分
◆お問い合わせ/ALIVE☎052-719-7754

アマチュアシュートボクシング

第22回アマチュアシュートボクシング関東大会

5月25日（日）神奈川県立体育センター本館

◆試合開始/10:00　◆会場アクセス/小田急江ノ島線善行駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/ワールドシュートボクシング協会☎03-3843-1212、湘南ジム☎046-264-9867

SMACK GIRL

SMACK GIRL-F2

5月11日（日）東京・品川区総合体育館・柔道場

◆試合開始/11:00　◆会場アクセス/JR山手線、りんかい線大崎駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/スマックガール実行委員会（担当・藤井）☎090-1773-5647

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ
☎03-5237-9999
ローソンチケット
☎03-3569-9900
CNプレイガイド
☎03-5802-9999
オデッセー
☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター
☎03-3406-1513
レッスル渋谷店
☎03-3464-0078
レッスル池袋店
☎03-3989-0056

K－1事務局
〒150-0001東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977
修斗
※各興行のプロモーターに問い合わせ

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977
修斗
※各興行のプロモーターに問い合わせ

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815
高田道場
〒142-0062東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030
UFO
〒108-0071東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121
ドリームステージエンターテインメント
〒107-0052港区赤坂8-5-4ルーメリ赤坂103
☎03-5775-5700

S.W.A 掣圏道・ワールド・アソシエーション
〒150-0021東京都昭島市大神町1-2-22
☎042-544-6979
マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒400-0046山梨県甲府市下石田2-19-17
☎055-228-2326
全日本キックボクシング連盟
〒169-0074東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171
日本キックボクシング連盟
〒124-0023東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536
新日本キックボクシング協会
〒150-0034東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3780-1350
ニュージャパンキックボクシング連盟
〒260-0016　千葉県千葉市中央区栄町39-3　トーワビル1F
☎043-202-1161

J－NETWORK
〒154-0024東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536
K－U(キック・ユニオン)
〒195-0834東京都八王子市東浅川町8-1
☎0426-66-9541
シュートボクシング協会
〒111-0033東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1・2F
☎03-3843-1212
極真会館総本部道場（松井派）
〒171-0021東京都豊島区西池袋2-38-1
☎03-5992-9200

バックナンバー インフォメーション

《2・13&2・27合併号 87号》

●大会速報/1・19 WRESTLE-1東京ドーム大会/これが『W-1』だ！　アーネスト・ホーストVSボブ・サップほか
●SRS・DXの注目/K-1イベントプロデューサー・谷川貞治（本誌編集長）インタビュー、業界激震！ PRIDE森下直人社長自殺、極真館 旗揚げ
●スペシャルインタビュー/吉田秀彦
●特別企画/今こそ辺境パワー 2・15 U-STYLE、3・4 DEEP、2・2シュートボクシング、2・11 プロ柔術大会
●スペシャル企画/ターザン山本&女子格闘家 合コン座談会

《3・13 臨時増刊号 88号》

●特集/どうなるK-1&PRIDE!? 3・30 K-1 WORLD GPさいたま大会&3・16 PRIDE.25横アリ大会最新情報　中村和裕インタビュー
●特別企画/1・19 WRESTLE-1東京ドーム大会　緊急対談◎金沢克彦×ターザン山本、インタビュー◎堀辺正史、エンセン井上
●最新情報/3・4 DEEP　桜井“マッハ”速人×吉田秀彦対談
●徹底特集/3・1 K-1 WORLD MAX有明コロシアム大会 出場全選手インタビュー
●SRS・DXの注目！/2・22『一撃』直前情報、SERIES『ジョシカク』連載スタート
●大会レポート/1・24修斗、1・26パンクラス、2・2 SB、2・7全日本キックほか

《3・13 89号》

●特集/PRIDE&K-1二大カードぶち抜き大予想！ どっちが勝つの？どっちが好きなの？　ノゲイラvsヒョードル、サップvsミルコ
●直前情報/3・1 K-1ワールドMAX 伊原信一 新日本キック代表インタビュー
●スペシャル対談/金沢“GK”克彦×ターザン山本「教えてGK！」
●徹底特集/2・15 U-Style 有明大会 田村潔司インタビュー&大会レポート
●SRS・DXの注目！/3・4 DEEP最終情報 三島☆ド根性ノ助インタビュー、3・8 全日本ライト級トーナメントPREVIEW、辻結花&ターザンのバレンタインデート
●大会レポート/2・16パンクラス大阪大会、2・11 プロ柔術『GI-02』、2・22 一撃 日本武道館大会、2・23 修斗 後楽園大会

《3・27&4・10&4・24 90号》

●特集/春のK-1 完全ガイド！ 3・30 K-1 WORLD GP さいたま大会&4・6 K-1 BEAST 山形大会をサダハルンバ谷川・K-1イベントプロデューサーに聞けぇぇぇ！
●直前情報/3・16 PRIDE.25 ニーノ“エルビス”シェンブリ、ダン・ヘンダーソンインタビュー
●特集/5・2新日本のＶＴマッチ開催は是か非か！？　島田裕二×ターザン山本対談、井上義啓元週刊ファイト編集長インタビュー
●大会詳報/K-1 WORLD MAX　魔裟斗V2！　魔裟斗vs武田 水面下の闘い
●大会レポート/3・4 DEEP マッハ、2・28 UFC41、全日本ライト級トーナメント
●SRS・DXの注目！/2・25 TBSサイボーグ魂女子格闘技大会 水野裕子ほか

《4・24 臨時増刊号 91号》

●完全速報/3・16 PRIDE.25 桜庭和志vsニーノ“エルビス”シェンブリ、エメリヤーエンコ・ヒョードルvsアントニオ“ホドリゴ”ノゲイラ ほか全試合熱血レポート
●観戦ガイド/3・30 K-1 WORLD GP さいたま大会の歩き方&編集部完全予想
●インタビュー特集/菊田早苗、近藤有己、佐々木有生、魔裟斗、武田幸三
●SRS・DXの注目！/SAPP STATION、原宿にオープン！
●スペシャル対談/倉田保昭×松井章圭、シーザー武志×ターザン山本
●大会レポート/3・8 ZST Zepp Tokyo大会、3・9 ニュージャパンキック後楽園大会、3・14 女子ボクシング TOKYO FMホール大会
●seriesジョシカク/しなしさとこ、ジョシカクTOPICS

《5・8 臨時増刊号 92号》

●完全速報/3・30 K-1 WORLD GP in さいたま ミルコ・クロコップvsボブ・サップ、セフォーvsベレ・リード、ホーストvsジェファーソン・シウバ、アーツvsレコ、ボンヤスキーvsブレギーほか全試合レポート
●直前情報/4・6 K-1 BEAST山形大会 ジャパン勢に直撃インタビュー
●SRS・DXの注目！/高阪剛インタビュー
●勝者進化論・PRIDE馬鹿変/ヒョードル、ニーノ、ランペイジ、小路晃
●大会レポート/3・18 修斗後楽園大会、3・23 コンバットレスリング、3・30 アブダビコンバット日本予選、3・23 新日本キック後楽園大会
●seriesジョシカク/羽柴まゆみ、3・29 ARKADIA白馬大会&GFC-02

バックナンバーに関するお問い合わせは……
扶桑社 販売企画部　☎03-5403-8859まで
※編集部では受け付けておりませんのでご注意ください。

※バックナンバーはSRS・DX直営ショップ「グレート・アントニオ」でも扱っています。ただし、完売した号もありますので、予めご確認ください。　グレート・アントニオ☎03-3219-9550

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.asakusakid.com

どうなる5・2新日ドーム大会 これがキッドの大胆予測！

博士 春は別れのシーズン！　なんとフジテレビのSRSの出演者も卒業式があった。

玉袋 ハセキョーこと長谷川京子ちゃんまでもが盗撮&覚醒剤でSRS卒業ですか……。

博士 それはマーシーだろ！　それにマーシーは卒業でなくて強制退学させられたんだよ！

玉袋 京子ちゃんは3年間務めてくれたんですよね！

博士 K―1、『プライド』と大ブレイクした瞬間に立ち会えたんだから、タイミングが良かったよな。

玉袋 武居M征吾もタイミングよかったですけど、ハセキョーも絶妙のタイミングでしたね。

博士 武居M征吾はタイミングちょっと早すぎたんだよ！　しかし最後の収録は京子ちゃんが泣きっぱなしだったのが印象的だったな。

玉袋 収録前から泣いちゃってましたからね。何かあったんですかね？

博士 最後の収録だから泣いてたに決まってるだろ！

玉袋 でも、なんで卒業しちゃうんだろう？　もしかしたらプロレスのノアに突っ込みでも入れたから、圧力がかけられたんじゃないでしょうね？

博士 ターザンのサムライ降板の話じゃないんだよ！

玉袋 当日は全てハセキョーにドッキリで番組を進行したからね。

博士 あの忙しい将軍谷川プロデューサーまでもが、スケジュールを縫って遠くに飛ばされたりしていたもんな。

玉袋 京子ちゃんが何気に口にした、「取れたての北海道のウニを食べたい」のリクエストに、お応えしていました。

博士 そして、自ら、北海道旭川まで飛び、自分で馬糞ウニを獲ってきた。

玉袋 贅沢な最後ですよ！　というより、あの人、実は暇なんじゃない？

博士 ハードスケジュールの中で、尽力するから値打があるんだよ。最後に野呂圭介の代わりに桜庭和志が登場して無事卒業！

玉袋 『SRS』もこの春から番組タイトルが『SARS』になり、ますますパワーアップ！

博士 そんなもんにパワーアップするな！　なんで謎の肺炎になってんだ！

玉袋 ハセキョーへSRSのことを忘れないでくれ。

博士 そして、もっともっとビッグになってちょうだい。

玉袋 博士もすぐ追っかけて卒業します。

博士 俺も勝手に卒業させるなよ！　さぁ格闘技界に目をやればK―1ではサップがミルコにワンパンチKOされてぶっ倒れたのがショックだった。

玉袋 その倒れたサップの上に歓喜のイラクの人間が乗っかってましたよ。

博士 そりゃフセインの銅像だろ！　たしかにサップは大変に多忙な状況なので、あいった負け方をしてしまうと、やれ「練習してない」と突っ込まれたり「テレビに出すぎると芸が荒れる」っていう芸人世界の楽屋の雀と変わりませんな。

玉袋 たしかにまだまだ噺家としての実力なんてないのに林家正蔵を襲名することになって、世界中から顰蹙を買っている林家こぶ平と一緒ですね。

博士 あんなもんとサップを一緒にするな！　そして話題は5月2日だ！

玉袋 楽しみですよ～、ZERO―ONE後楽園大会！

博士 新日本プロレス東京ドーム大会って言えよ！　ドーム当日に、隣で興行戦争仕掛ける橋本も天晴れだけど。オーちゃんも緊急参戦するし。

玉袋 『アミノサプリ』のCMに赤アミノンジャー役で出演し人気急上昇中の、マット・ガファリも参戦ですからね。

博士 あのデブがガファリのわけないだろ！

玉袋 じゃあやっぱ橋本か？

博士 橋本でもないよ！

玉袋 赤アミノンジャーは岩手県議会でも賛否両論ですよ。

博士 それは、マスクのままで議員活動中のグレート・サスケだろ！　5・2の新日ドームに話戻せ！

玉袋 やっぱり注目が集まりますよ！　なんといっても新日本プロレスOBによるバトルロイヤルがあるんですから！

博士 そっち注目してるのかよ！　2日のほうに注目しろよ！　アントニオ猪木の秘蔵っ子、LYOTOがついにデビュー戦！猪木様曰く「俺の後継者はこいつしかいない！」。

玉袋 大丈夫ですか？　「LYOTO＝こぶ平」ってことはないでしょうね？

博士 一緒にするな！　べつにアントニオ猪木の名前を今すぐ継ぐってわけじゃないよ！　相手はパンクラスの謙吾。

玉袋 元期待の大物ルーキー。

博士 やかましい！

玉袋 LYOTOの謙吾化が今から心配ですよ！

博士 心配するなよ！

玉袋 謙吾は4月18日で引退した、「木村健悟の後継者」でいいですよ。

博士 よくないよ！　セミメインには、小橋VS蝶野のGHCヘビー級選手権試合。新日のリングにいよいよ小橋登場！

玉袋 小橋が新日本プロレスを潰すって言っても、実際に潰し合いするのは総合ルールで試合をする選手たちだけでしょ？

博士 非常にズバリと核心突くこと言うな！

玉袋 本当に総合の試合をするのであればって話ですけどね。

博士 やかましい！　ルール作成には、リングスでの経験を買われた成瀬や、和田良覚レフェリーが携わった。

玉袋 ロープに振っても戻らない、体固めでは決着しない、飛び技、場外乱闘など決してあり得ない等々……。

博士 新日時代の前田のプロレスへの素朴な疑問だろ！　そこまで遡ってルールを作り直すのかよ！　「グラウンドポジションでの顔面・頭部への蹴り上げ・踏み付け・ヒザ蹴り・ヒザ落とし」がありの過激なルールだ。

玉袋 その他にも、「控室での寸劇、テレ朝アナウンサーへの打撃、社長への不平・不満・悪口が有効」のハードなルール設定。

博士 それは単なる普段の『ワールドプロレスリング』の中継だろ！　でも、藤田VS中西の総合の試合なんて相当興味あるぞ。

玉袋 前に武道館で行われた藤田VS永田のように壮絶な試合になるかもしれませんね。

博士 おまえは事情通なのか？　それとも単なるファンなのかさっぱり分からないよ！

玉袋 新しい総合ルールで、「西村VSルッテン」ももう一度やってほしいよ！

博士 だからもうあの2人はいいよ！

玉袋 でも、これで中西選手がドンドン『プライド』などに出場して新日本プロレス最強を証明してくれれば俺の溜飲は下がるんですよ！

博士 たしかに古くからの新日本プロレスファンはそういった願いがあるんだよな。IWGPのチャンピオンが出て行かないなら、チャンピオンでない中西がドンドン行けばいいんだよ！

玉袋 だって、前にど真ん中の人も「中西は強いぞ」って言ってましたもん。

博士 あれだけの男が弱いわけがないよ！これで藤田に勝って、表に出て行ってヒョードルなんかやっつけたら一気にスターになるチャンスだよ！

玉袋 こういう千載一遇のチャンスをものにしてほしいですよ！

博士 でも、どうせなら総合とプロレスなんて分けないで一気に新日本プロレスVS総合軍でやったほうがもっと盛り上がったのにな。

玉袋 それやったら『Dynamite!』クラスでできますよ！

博士 金本浩二VS田村潔司だけでもオモロイし。

玉袋 クロネコ総合初挑戦！　対戦相手はランデルマンなんかでね。これだけでもファンは大注目ですよ！

博士 夢があるなぁ。天山VSヒーリングなんかもいいな。

玉袋 ケロちゃんVS村上ショージもいいなぁ。

博士 なんの対決なんだよ！　ライガーVSハイアンもいいねぇ。

玉袋 藤波社長VS佐伯代表の総合試合。

博士 凄い試合だよ！　どっちのほうが太ってるんだ？

玉袋 もちろんメインは永田VSミルコですよ！　これをやれば実券を買ったファンでドームは一杯ですよ！

博士 ファンが求めているのはこれなんです！

玉袋 実現求む！　■

ゲーリーとドローでガッツポーズ
この写真は間違い探しか!?

武蔵劇場、ここに極まれり!

試合後の閉会式。サップに手を上げられ、さらにグッドリッジに肩車される武蔵。勝ててないんだけどね……

撮影◎真崎貴夫、佐久間立秋（望遠）

圧倒的優勢！トドメを刺さないのはなぜなのか？

ジワジワとプレッシャーをかけてくるグッドリッジに対し、下がりながら隙をうかがう武蔵。何か狙ってるのかと思ったら、ずっとこのままだった

タイミングよく繰り出すパンチは顔面、ボディともに決まっていた。が、何で倒すのかという目論見が見えない

武蔵の蹴りはいつもながら美しい。美しいんだけどね……

各試合前にはサップがマイクを握って両者をアオる。サップ出ずっぱりの大会でもあった

この山形大会は昼間から夜にかけての時間帯に行われたため、日帰りするマスコミも多かった。そこで気になるのが日帰りできるかどうか。つまり大会終了時間だ。

「最終の新幹線に間に合うかな。けっこう試合数多いよね？」

「大丈夫でしょ、ＫＯ多そうだし。特に武蔵は倒して勝つと思うけどなぁ」

「いや、でも武蔵だからねぇ。意外と判定までいっちゃうかも」

なんてことを試合前に話していたんだが、はっきり言って甘かった。判定までいっちゃうどころか、まさか武蔵が勝利すら逃してしまうとは。予想を遥かに超える武蔵イズムだった（日帰りはできたが）。

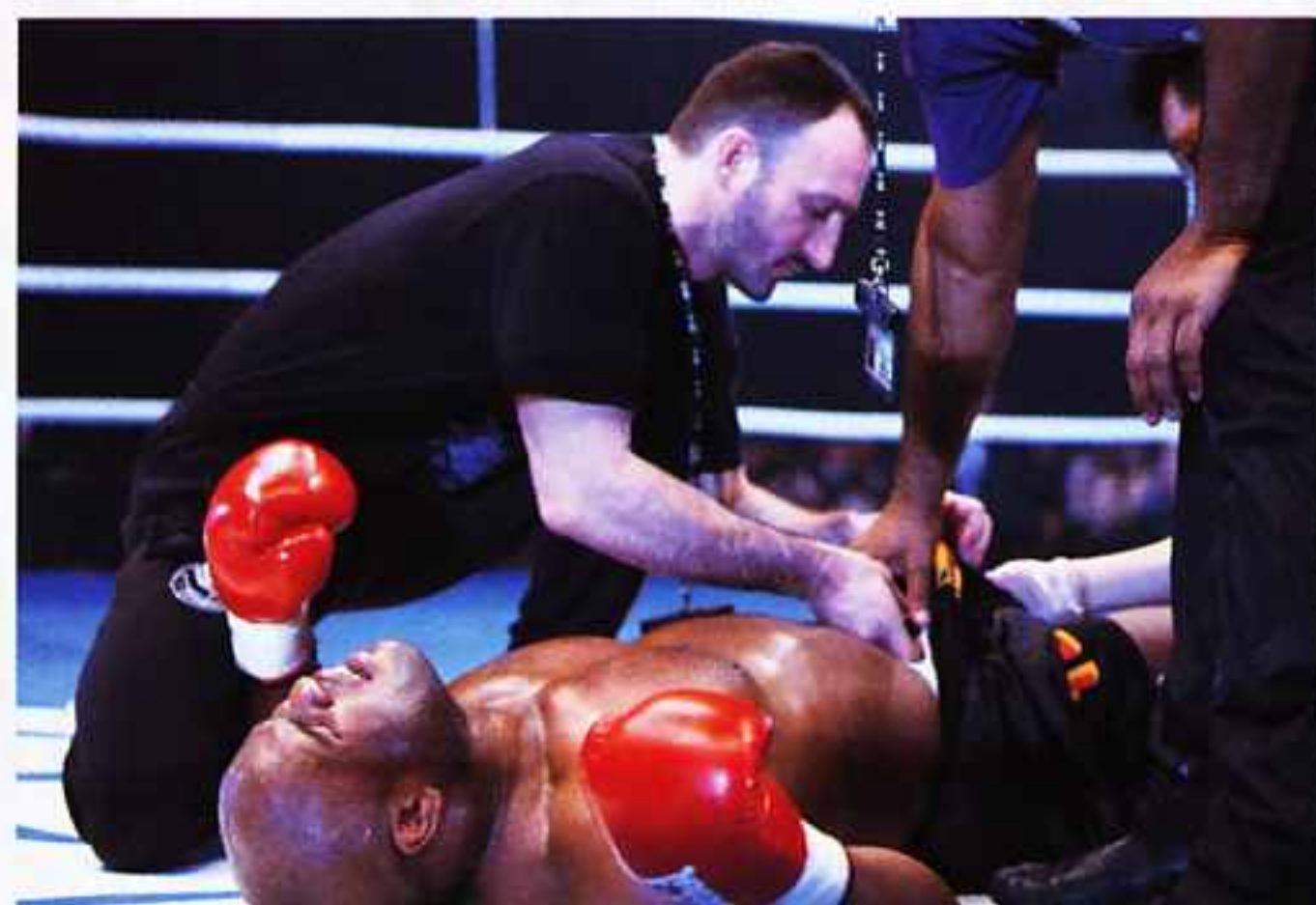
この試合に備えて、ゲーリー・グッドリッジはモーリス・スミスをコーチに招いて1カ月の集中特訓を行ってきた。とはいえ、やはりグッドリッジは総合の選手。武蔵クラスの選手であれば、いやしくもK—1ジャパン王者であれば、倒さなければいけない相手である。それがドロー。なぜかドロー。理由を無理矢理に考えるなら、「武蔵だから」としか言えない。

パンチをメチャ振りせず、ジワジワと前進してくるグッドリッジを、武蔵は巧みにスイッチしながらの蹴りで迎え撃つ。重くてキレるミドルキック。ローキック、前蹴りは見事にグッドリッジの出足を止める。

パンチも良かった。ジャブが蛇の舌のようにシュッと伸びる。グッドリッジが頭を下げて踏み込んでくると、今度はアッパーをカマす。やっぱりうまい。これだけの

K-1 BEAST 2003
山形初上陸
4.6★山形市総合スポーツセンター

5・2角田戦、これでコケたら ホントにヤバイよ！

▼リングを降りる前に、客席に向かって手を合わせた武蔵。これを見て山形のお客さんはどんな気持ちになったのか

▲4R終了と同時に、武蔵の蹴りが金的にヒット、5分間休憩という措置が取られた。3Rにはグッドリッジの蹴りが武蔵の金的に入る場面も。金的蹴りの遺恨があるリマッチだったこの試合、「またか」と思わせたが大事にはならず

▶判定はドロー。「納得してない」という武蔵だが、じゃあ僅差の判定で勝ってれば納得したのか？

技術を見せつけて判定勝ち狙い？ と思ったら…… 最後の最後でメッタ打ちに！

試合はついに最終Rまでもつれ込み、なんとグッドリッジのパンチ連打で武蔵が棒立ちに。スタンディングカウントが入ってもおかしくない場面だった

After the fight

武蔵のコメント 分

「ドローという判定には納得はしてないです。チャンスがあれば倒そうとは思っていました。ローもボディも効いてたし。何で倒してやろうかなと。金的で休憩させてしまったのが僕的にはミスかなと。向こうが打たれ強くてメゲないんで、それが意外でした。（今後は）最終的にはサップを引きずり出したいですね」

グッドリッジのコメント 分

「（金的は）まだ痛むよ。しばらくセックスできないな（笑）。ジャパンのトップであるムサシという素晴らしい選手とドローになったということで、今の気分はハッピーだね。今後もオファーがあればK−1に出るよ。自分はウォリアーだから、戦争、闘いがあればどこにでも行く。ただし、イラク以外の銃を使わない戦争にね」

★第7試合/ジャパンVSビースト軍団7対7　大将戦（3分5R）

△武蔵 × G・グッドリッジ△

〈日本/正道会館〉　〈トリニダード・トバゴ/フリー〉

（5R判定1-0、ドロー）

※採点…49-49、49-48、49-49。3Rにグッドリッジに、4R終了時に武蔵に、それぞれローブローで注意1

幅広い技巧を使いこなせるヘビー級は、日本では武蔵しかいないだろう。腹も効かせた。足も効かせた。前振りは充分。さあ、最後は何で倒すのか。

だが、この前振りが長かった。2R、3R、4Rが終わっても武蔵に倒す気配はない。美しい攻撃は、しかし単発のままであり、たたみかけるということがないのだ。もしかすると、あえて判定勝ち狙いなのか、武蔵は？

それならそれでいいだろう。技術の差を嫌味なまでに見せつけての判定勝利。それも武蔵の〝味〟としていいと思う。だけどこの人、それもできなかったんだよねぇ。

5Rにグッドリッジの連打を浴び、まんまとポイントを失った。そして、ドロー。メインを締めることができず、ビースト軍団との対抗戦も引き分けで終了。本人は判定に納得がいかないらしいが、見ているこっちはもっと納得がいかないのである。

大会終了後、角田信朗・競技統括プロデューサーはジャパン勢を「賞味期限切れ」と切って捨てた。これに対して武蔵は5・2ラスベガス大会での角田戦を直訴。急転直下の遺恨マッチである。

たしかに、実力では武蔵のほうが上だろう。でもこの角田戦に関して言えば、勝った負けた以上の価値が問われることになる。変な話、KO勝ちしても〝壮絶な散り際〟で相手が光るかもしれない。

今度コケたらホントにヤバい。そんな状況で、角田戦。この難しさ、武蔵は分かっているんだろうか。ま、分かってないのが武蔵らしさって気もするのだが。（橋本）

子安の熱情、あと一歩届かず

いきっぷりもやられっぷりも半端じゃない。子安慎悟の闘い様にはいつも胸が熱くなる

『タマシイ』で勝って『肉体』で負けた

◀決死のジャンピング子安キック。身長で20センチ、体重で12キロ劣っても、子安は闘いを挑み続けた

★第4試合/ジャパンVSビースト軍団7対7　中堅戦（3分5R）

○C・アビディ ✕ 子安慎悟●

〈フランス/チャレンジボクシングマルセイユ〉〈日本/正道会館〉

（5R判定3-0）

※採点…50-42、50-43、50-43。子安は1Rに右フック、2Rに右ストレート、3Rに左フック、4Rに右ハイキック（2度）でダウン。アビディは3Rに左ハイキックでダウン

子安慎悟の闘いは、悲愴ですらあった。身長170センチ、ベストの体重は80キロ代半ばのはず。この日は92キロでリングに上がったが、対戦相手に比べると体重で12キロ、身長ではなんと20センチも劣る。だが、子安は決してひるまなかった。できることは精いっぱいやった。「親にもらったこの体。さらに徹して鍛え上げてきたつもりもある。己が身をさらしての闘いあるのみ」。そんな決意が見る者の心にしみた。

果敢にアタックし続けた。その身長がそのまま半径になって円弧を描く、豪快な上段蹴り。通称・子安キックを再三繰り出す。長身の相手に届かないからと、軸足を自ら跳ね上げ、ジャンピング子安キックになることもある。4Rの終盤、この危険きわまりない荒技の着地に失敗。後頭部からまともにマットに落下してしまい、大きなダメージを負った。しかし、1分間のインターバルの後、子安は何ごともなかったように、再び闘いを続行したのである。

マルセイユの悪童は、だが、まったく容赦しなかった。アビディにはいつものカッと照り返すような熱さはない。そのかわりに、どこまでも冷徹に『肉体の現実』を子安に突きつけた。勇敢に潜り込んでくるところをパンチで迎え撃つ。中間距離になると長いキックで攻め立てる。ミドルの角度で飛んでくるつま先が、そのまま頭部まで到達するのだから、子安としてはいよいよ苦しい。

初回から力量差は明白になった。果敢に攻めかかる子安だったが、右ストレートをカウンターされて

▶アビディの長距離からの左キック。角度はミドルだが、それが頭に届く。体格の不利を子安はモロにかぶることになる

うなる右パンチ、ハイキック 5度倒されても子安の心は折れず

左ハイでアビディを倒すも一瞬の夢 それでも、はっきりと明日が見えた

▲5度のダウンを喫した子安。そのたびに立ち上がって、勇敢に立ち向かった

4R終了間際、子安キックの着地失敗。なかなか立てなかったが、子安は5R、何ごともなかったように闘い続けた

▶このところ黒星続きで影が薄くなっていたアビディだが、この勝利で再浮上のきっかけを掴めるか

▲子安の右ハイ。この後、左ハイをカウンターで炸裂させて、シリル・アビディを倒した

After the fight

アビディのコメント 勝

「ハードな試合だった。子安も他の日本選手同様、根性のあるファイターだった。なかなか心が折れないのは分かっていたから、飛ばしすぎないで、最後まで冷静に闘うという戦法に変えたんだ。自分としては負けが込んでいたので、もう一度自信を取り戻すためにも、全ラウンド冷静に闘い、良い試合をしようと心がけたんだ」

子安のコメント 負

「今までで一番実績のある選手と闘えたのは光栄だったし、いろんな意味でチャンスだと思っていました。もっと緊張して恐怖感とかあると思ったんですが、全然なかったんで。ただ、自分の経験不足というのはありますね。アビディの右のパンチが意外に伸びて、それをもらっちゃって、どうしても自分のペースにできませんでした」

す っ転ぶ。これはダウンに取られなかったが、キックで反撃するところを、アビディの打ち下ろすような右パンチで迎撃されて倒れ、今度はレフェリーからカウントを数えられる。2Rには子安が左フックでアビディをぐらつかせるシーンもあったが、右ハイからの右ストレートをヒットされて、あえなく2度目のダウンとなった。

この試合最大の感動は3Rだ。アビディの左フックで3度目のダウンを喫した後だ。勢い込んで攻めかかるアビディに、子安の左ハイが鮮やかなカウンターとなって炸裂する。バッタリと倒れ込むアビディ。立ち上がっても、ヒザが嗤っている。チャンスだ。しかし、アビディは冷静に対処する。追撃にはやる子安の体を抱え込んで、ダメージから抜けきるまでの時間をじっくりと使った。

4Rには右ハイを決めて、アビディがまた子安を倒す。5Rにもヒザから右パンチの連打とたたみかけ、アビディが攻勢に出て、子安の反撃を事前にそぎ取った。

判定は当然大差だった。負けが込んでいるアビディにとっては、立ち直りのいいきっかけになったかもしれない。しかし、ある意味、子安もまた勝者だ。大きな体のハンディに立ち向かう勇気に、観客の心は少なからず揺らいだはずだ。もっとも、この先、子安はどこに行くのか。ヘビー級戦線で巨人たちと闘い続けるのはいかにも厳しい。けれど、終わりなき挑戦にかけ続けるしかないんだろうか。K—1の現実を考えると、終わりなき挑戦にかけ続けるしかないんだろうか。いつか、この小さな勇者に恵みの季節は来るんだろうか。

（宮崎）

ベルナルド大復活！

——させちゃった中迫ってどうなの？

中迫から計4度のダウンを奪って完勝したベルナルド。昨年、負けが込んで崖っぷちギリギリまで追い詰められていたとは思えない強さだった

▲フィニッシュの左フックを食らって倒れていく中迫。その後立ち上がりはしたが、セコンドからタオルが入った

★第6試合/ジャパンVSビースト軍団7対7　副将戦（3分5R）

○M・ベルナルド ✕ 中迫剛●

〈南アフリカ/レオナルドジム〉　〈日本/ZEBRA244〉

（2R1分02秒、TKO勝ち）

※セコンドからのタオル投入。中迫は1Rに右ストレートと左フックで、2Rに左フックで2度ダウン

マイク・ベルナルドVS中迫剛戦に関して、最も印象に残ったのは谷川イベントプロデューサーのこんな言葉だった。

「ファイターにケガ人が多い中で、ベルナルドが復活したのは嬉しいですねぇ」

なるほど、まさにプロデューサーらしいご意見。たしかに、この日のベルナルドの動きを見れば復活と言えるし、そうなればK―1戦線で果たす役割も大きくなってくるだろう。

去年はグッドリッジにKOされ、トム・エリクソンにまで敗戦直前まで追い込まれるなど散々だったベルナルド。それが、年が変わって運気も変わったのか、それともビースト軍団入りが刺激になったのか、この日は往時の迫力を取り戻しつつあるように見えた。

大きな違いは、最大の武器であるパンチだ。悪い時は倒そうとするあまり大振りで単発だったのが、今回ば連打で出ていた。「もっとナチュラルに、リラックスして動かないと」と本人は言っていたが、それがある程度できていたからこそ連打が利いたんだろう。

1R、ジャブ、ワンツーの探り合いからベルナルドが絶妙な右ストレートのカウンターでダウンを奪う。これも余計な肩の力が抜けていたからこそできたはず。そしてこれを皮切りに、ベルナルドは中迫を倒しまくった。中迫にとっては不運もあった。ダウンした際にワキ腹を負傷したのだ。

1Rの最後にパンチ連打から左フックの2連発で2度目のダウン。2R早々には右アッパーと左フックのコンビネーションで。そして

「やれるという実感は掴んだ」（中迫）って、ず〜っと言い続けてないか、それ？

またしても結果は出なかった。中迫に足りないものとはいったい何？

▼1Rはしのいだ中迫だが、2Rに入ると左フック2連発でまたもダウン

▶上の場面を別角度から。中迫の体は意識を抜かれてグニャッと曲がってしまっている

After the fight

ベルナルドのコメント　勝

「今日の自分のパフォーマンスはベストとは言えないね。もっとナチュラルに、リラックスして動かないと。ヤマガタのファンの声援は、本当に素晴らしかった。サポートされるというのはとても気持ちがいいことだよ。自分は引退なんて考えてもいない。前以上に強く、素早く、優れた選手になった姿をみんなに見せたいと思う」

中迫のコメント　負

「ガラにもなく緊張しすぎました。半年ぶりの試合だったというのもありますし。蹴りが出なくて。パンチは最初のダウン以外は見えたんですけど、そのダウンで左のワキ腹（の筋）を切って踏ん張りが効かなかったです。とりあえずやれるという実感は掴んだんで、あとはパワーとスタミナをつけて、もっと練習していけば」

▲序盤は入れ込みすぎて出なかったという蹴り。2Rに入ってからはいい感じで蹴っていけたのだが、ダウンの後ではベルナルドの圧力を御しきれない

◀ベルナルドはリングを降りると、リングサイドのサップのもとへ。この副将戦が終わった段階で、対抗戦は3勝3敗とまったくのイーブンになった

最後も左フック。4度目のダウンに、中迫サイドのセコンドはたまらずタオルを投げ入れた。

このベルナルドの出来なら〝中迫の負け〟よりも〝ベルナルドの復活〟を語るべき試合と言ってもいい。しかし、だ。この中迫剛選手が、試合後にこんなことを言ってくれたのである。

「とりあえずやれるという実感は掴んだんで」

中迫にしても他のジャパン勢にしても、こんなセリフ、もう何十回言った？　それこそ〝賞味期限切れ〟のコメントじゃないか。外国人に負けるたびに「決して勝てない相手じゃない」、「手応えはある」。それでいて、その手応えが勝利へと結実したところを見たことがない。

いや、群がる記者陣に対して、なんか言っとかなきゃという気持ちも分からなくはない。で、負けた後で特に言うべき言葉なんてないから、とりあえず前向きっぽい言葉で取り繕ってしまうんだろう。だけど、なんで敗者がコメントブースでカッコつける必要がある？

もう中迫や武蔵に対しては「あとは経験だけ」なんて原稿は書けないのだ、こっちも。だって充分に経験は積んでるんだから。中迫剛、29歳。実にこの試合が28戦目である。

そして中迫は、最後にこんなことも言った。

「もっと練習できたんじゃないかなって思うんですよね。まだまだ追い込みが足りないなって」

これに関しては、もう何も言いたくはない。行数が尽きて本当に良かった。（橋本）

富平、判定勝ちもインパクトで完敗

キック素人のチャドを倒しきれず……

▲「ナメんじゃねえぞ、コラ！」って顔の富平。チャド・バノンも睨みをきかせ、いきなり一触即発状態

▲開始早々、いきなり飛びヒザの奇襲を見せたチャド。しかし、富平は落ち着いてブロック

After the fight

富平のコメント 勝

「バテました。飛ばし過ぎたというか、圧力がありましたね。かなり出来が悪かったです。（藤本の試合をモニターで見ながら）自分もこういうふうに倒さなければいけなかったんですけど。ちょっと出直して、自分の仕事が果たせなかったんで。勝って当たり前なんで、どういうふうに倒すかだったんですけど。ホント申し訳ないです」

チャドのコメント 負

「自分にとって初めてのK−1ルールでの試合だし、実際にキックの練習も5週間くらいしかしてないから、できることといったら気持ちを充分に出し切って闘うことだけだったよ。1Rから太ももは痛かったし、今も歩くのが困難だ。今回は、日本で闘うことができただけでもとても嬉しいね。できればまた日本で試合をしたい」

▼最後まで勝負を投げなかったチャド。その凄まじい根性には驚かされた

▲黒ずんで腫れ上がったチャドの左太もも。痛そ〜っ

★第1試合/ジャパンVSビースト軍団7対7　先鋒戦（3分3R）

○ 富平辰文 × C・バノン ●
〈日本/SQUARE〉〈アメリカ/チーム・ビースト〉

（3R判定3-0）

※採点…30-27、30-28、30-27。2R、バノンに投げによる警告1

翌日は歩けず車イス。チャドの根性に脱帽！

▲キック素人のチャドは、富平の強烈なローキックに、何度も身体をくねらせながらも必死で耐え抜いた

団体戦というのは、先鋒と大将が重要であり、先鋒が勝てばチームは勢いづくが、逆にやられてしまったり、守勢だったりすると、そのままズルズルといってしまったりする。

K−1の試合に関しては、団体戦という概念は、ちょっと当てはまらない部分もあるが、今回はサップ率いるビースト軍団とジャパン軍団との対立概念がいい具合に成り立っていて、実はこの先鋒戦が重要な役どころだったのだ。

この富平という男は、先鋒にはもってこいのタイプ。気が強くて、イケイケ。万が一負けたとしても、気合いが次につながる。ジャパン軍の布陣としては悪くはなかった。

そして、富平自身もやるべきことは十分に心得ていたはず。それに大会前の記者会見で、ボブ・サップと乱闘したりした手前、無様な試合は見せられないという意地も当然あっただろう。富平は入場時から気合いに満ちていた。

対するチャドは筋骨隆々の背中にイレズミをし、ショートモヒカンの強面。見るからにヤバそうな風体でこちらも先鋒向き。とはいえ、打撃は素人同然。普通に考えたら圧倒的に富平有利だった。

1R開始早々からローキックをガンガンぶち込んでいく富平。チャドの足は見る見るドス黒く変色し腫れ上がったが、それでも、最後まで倒しきれなかった。結局、判定で富平が勝つには勝ったが、印象に残ったのは、チャドの根性ばかり。圧勝するかと思われたジャパン軍が不甲斐ない結果を残してしまったのも実は富平の責任によるところ大だと思うのだ。（林）

ボカスカ！

ドスンドスン!!

天田が壮絶打ち合いに殴り勝ったあぁぁ

体重差40キロ。巨漢エリクソンにパンチの猛襲。3度のダウンを奪ってKO

▲初回のダウンシーン。天田はこのままフィニッシュに持ち込むかと思ったが、エリクソンに粘られてしまった

◀エリクソンは最初のダウンはローブローと主張したが、見る側からは左レバーパンチに見えた

▼ハンマーのような右フックの打ち合いに、最後に殴り勝ったのは天田。エリクソンは顔面からマットに落ちる

★第5試合/ジャパンVSビースト軍団7対7　五鋒戦（3分5R）

○天田ヒロミ × T・エリクソン●
〈日本/TENKA510〉　〈アメリカ/フリー〉
（4R1分14秒、KO勝ち）

※右フック。エリクソンは2Rにボディへの左フックで、4Rに右ストレートでダウン

最初からガード無視の壮絶殴り合い。体格では明らかに不利の天田だったが、本職のパンチで殴り勝つ

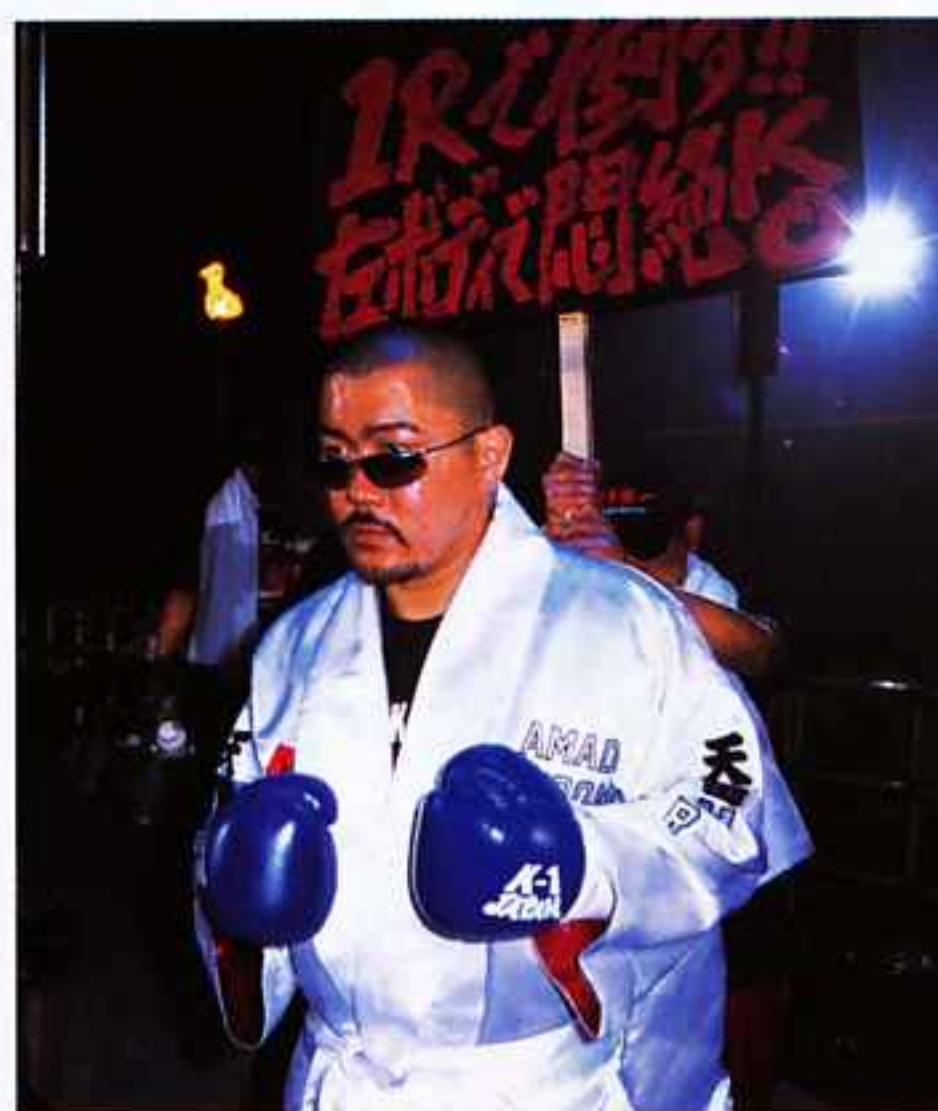
After the fight

天田のコメント　勝

「メチャクチャ首が痛いです。練習でやったことがまったく出ませんでした。1Rに勝負にいったら、2回くらい頭が真っ白になっちゃった。2Rからは足を使おうと思っていたんだけど、挑発に乗ってくれなかったです。相手の圧力とパンチ力が凄くて。すっかり消耗してしまって、最後は本当にケンカになっちゃいましたね」

エリクソンのコメント　負

「今回の試合に関して言えば、アマダのほうが気持ちで勝っていたということ。自分にはそれ以上の強いスピリットがなかったから負けたんだと思う。自分のいいパンチが当たっても、K−1戦士として強い気持ちがあったから倒れなかったんじゃないかな。途中でローブローを受けて、呼吸ができないほどだったが、それは仕方ない」

▶「1Rで倒す!!　左ボディで悶絶KO」。天田は昨年のジャパンGPに続きプラカードを掲げて入場した

▶「次はもっとカッコいい勝ち方をしますんで」と天田。たしかに危険な闘いっぷりだった

技術？　そんなもの、どっかに忘れた。戦術ねぇ……うざったいだけじゃないの？　いや、この２人がそれほど単純明快な思考法で闘いに臨んでいたのかどうかは分からないが、とりあえずリングの中は闘魂生搾り、真っ向ぶん殴り合い一直線である。

　エリクソンはその体力に任せて、どんどん仕掛けてくる。テクニックははっきり言ってからっきし。けれど、１９３センチ、１４２キロの巨体は、ただそれだけで偉大な武器である。それでも群馬の元ヤンキー、天田は強気一点張り、一歩も引かないでやり合う。よって、派手といえば派手。雑と言えば雑。見ているほうとしてはただひたすら面白いパンチの打ち合いが続くことになる。

　もっとも、パンチの応酬なら天田のほうが数段上。なにしろ元アマチュア日本王者だ。40キロの体重差もなんのその。２Ｒには左フックをボディに決めて、エリクソンをマットに這いつくばらせた。３Ｒにはともにスタミナを失い始めたが、４Ｒに決着が付く。強引に押し出る白鯨に、天田は大胆にも相打ちの右パンチを連発。棒立ちになって右フックを浴びたエリクソンは前のめりに崩れて、鼻っ面を思い切りマットにこすりつけた。立ったところにまたも右拳の乱れ打ち。エリクソンは耐えきれず崩れ落ちる。レフェリーが数えるカウントに観客が唱和する中、10カウント到達が宣言される。

　ともあれ以前は体重70キロで闘っていた天田だ。つまり２倍大きなヤツをぶちのめしたのだ。素直に拍手を送るしかない。　（宮崎）

藤本、金的攻撃耐え劇的KO

3R1分13秒、猛然と前に出てきたカレナにカウンターのストレートがドンピシャ

▲打たれ強いケリー・カレナを、カウンターのストレートで失神KOした藤本。その表情に激闘の苦しみが見て取れる

うわっ、モロだこりゃ、タマらん!

▲これは痛そう! カレナの左足がまともに藤本の股間に入っている。カレナにイエローカードが与えられ、藤本の回復のため5分間の時間が与えられた

藤本悶絶

▲股間の状態を見る中山ドクター。幸いに潰れてはいなかったようだ

それにしても痛そうだった。ファールカップをつけてるとはいえ、あれだけまともに金的に入ったらキツイ。男にしか分からない、地獄の苦しみ。「タマは大丈夫かなぁ」と人ごとながら心配になった。5分の休息だけで試合を再開した藤本の頑張りには、男として敬意を表したい。今回の藤本はある意味、最初から踏んだり蹴ったりだった。対戦相手は二転三転。当初予定していたサップのいとこケビン・キングから、サモアン・ビースト軍団第一の刺客、160キロの巨体スティーブン・マーカに変わり、マーカのB型肝炎が発覚して、数日前にこのケリー・カレナに変更。どんな選手か分からないままの対戦となった。始まって分かったのは、意外にまともなムエタイ選手だったこととドラムカンのような身体は耐久力バツグンで、強烈なパンチもほとんど吸収してしまうってこと。それでも最後の最後、フラフラになりながらもKO勝ちした藤本は見事。5・2ラスベガスでも一発頼むぞ! (林)

★第2試合/ジャパンVSビースト軍団7対7　次鋒戦(3分3R)

○藤本祐介×K・カレナ●

〈日本/正道会館〉〈ニュージーランド/TTKハリケーンズタイボクシングホークスベイ〉

(3R1分13秒、KO勝ち)

※右ストレート1R、カレナにローブローによる警告1

TSUYOSHIの右パンチに、右アッパーを合わせるモーリス。余裕綽々の試合運びだった

▲モーリスの左ミドル。41歳の超ベテランは闘う術をなんでも知っている

◀TSUYOSHIの右フックはミス。モーリスの長い間合いを切り崩すことができなかった

▲判定は2－0だが、内容的にはモーリスの完勝だった

老獪モーリスの間合いに何もできず TSUYOSHIはもっと学ぶべきだ!

格闘現場に対して、モーリスはいったいどういう思想を持っているのだろう。かつて無敵を誇ったもののもう41歳。今は道場も開き、指導者として評価もされる。それでも、この男は自らリングで闘うことを熱望する。そして2年ぶりに実現したのがこの一戦だ。たしかに体には余分な肉も多く、攻防にも昔の切れはない。それでもジワリとプレッシャーをかけ、TSUYOSHIを追い詰めていく。K－1では4戦目のTSUYOSHIは、なんの手だても立てられなかった。アマチュアボクシング時代、全日本選手権3位という実績はあるのだが、自慢のパンチはことごとく空を切った。やや散漫だったが、試合はスミスの堅実な攻めばかりが目立った。若いTSUYOSHIは、このモーリスに何を学んだのか。オランダに武者修行に出かけて2年になるが、どんなにハードなトレーニングも、実戦に勝るものはない。TSUYOSHIがこの敗戦をどう噛みしめるかが大事だ。 (宮崎)

★第3試合/ジャパンVSビースト軍団7対7　三鋒戦(3分3R)

○M・スミス×TSUYOSHI●

〈アメリカ/モーリス・スミスキックボクシングセンター〉〈日本/ボスジム〉

(3R判定2-0)

※採点…30-29、30-29、30-30。2R、両者にホールディングで注意1

K－1が！ビーストが！山形に初上陸！

▲会場となった山形市総合スポーツセンターには開場前から長蛇の列が！

▲K－1山形初上陸に4,645人（超満員）の観客も大興奮。会場には、隣県である秋田や宮城からの密航者も多くいた

▲この日、ビースト軍団のボスだけでなく大会プロデューサーも務めたボブ・サップ。オープニングの挨拶でサップが登場すると、会場には割れんばかりの大歓声が

▲今大会が、初のお披露目となったK－1 JAPANガールズ。K－1のリングがより一層華やかになった

角田プロデューサーが、ジャパン軍に怒りの最終通告！

大会総括

角田信朗 競技統括プロデューサー & **谷川貞治** イベントプロデューサー

「ジャパンは、完全に賞味期限が切れて腐っている！」

――大会の感想は？

角田 ……いただけないですねぇ。今回のテーマというのは、もう『頑張れニッポン』じゃないんだと。もう見守っていただく期間っていうのは、とっくに過ぎてると思うんですよね。日本という枠組の中に埋もれてる蛙（かわず）の皆さんが、どれだけ世界に届く可能性があるかってことをどんな形であれ一つの結果として出さなければいけないと。ですから、ジャパンは完全に賞味期限が切れて腐ってしまってるかも分からないですね。

――かなりキツい見方ですけども。

角田 やっぱりこれはプロフェッショナルですから。アマチュアの年間行事の一環としてやってるものじゃないんで。もうK－1の歴史の半分をジャパンに費やして、それで出した結果が今日の結果ですかと。

――武蔵選手は、少し足踏みが続いてるなという感じを受けましたけども。

角田 ん～……何ひとつ変わってないですよね。彼は闘い方を変える必要はないんです。ただ、闘いに臨む姿勢というか、ファイターとしてどうありたいかという哲学を変えない限り、一生変わらないと思いますよ。何百回やっても、結果は一緒だと思いますけどね。

――角田さんとしては腹立たしい結果であると。

角田 たしかにスタートの時点でハンデがあるのは分かってますけど、それを言ったらね。ファンの皆さんは凄く温かいんで呆れずに応援してくださいますけど、そのうち「おまえら勝たれへんの分かってんのやからセコセコ闘わずに玉砕してみい」って思われた時、彼らはファイターとしてプライドが凄く傷付くと思うんですよ。だから、そんなとこで傷付くくらいだったら、今もっと流さないかん汗も涙もあるんと違うかなと僕は思うんですけどね。いかがですか谷川さん、今日の試合はありですか、なしですか。

谷川 今日の試合はやっぱり最後が全てですよね（笑）。あの～、手前味噌ながら今回こういうビースト軍団っていうコンセプトを持ったのは非常に面白い実験で盛り上がったと思うんですけど。

角田 最も今までの対抗戦の中で際立ってたと思うんですよね。

谷川 マッチメイク的にも面白かったんですけど、まあ最後、武蔵選手に勝ってもらいたかったなという。個人的にはマイク・ベルナルドが復活したのがもの凄く嬉しいですね。

――最後が全てというのは、言葉は悪いですけどせっかくの面白いイベントを壊したという。

谷川 壊したっていうわけじゃないけれども、ドローじゃ武蔵選手の負けですよね。当然勝ってもらいたかった試合っていうか。ただ、イベントとしては第2弾をやりたいなっていうですね、もっといい選手もボブ・サップだったら連れてこれると思うんで。チャド・バノンみたいな、ああいう選手とかもう2人くらい連れてきたら面白いなっていうのがあるんですけど。ただ、日本人のメインイベンターを、誰にやってもらおうかなとかですね、そういうことを含めて課題が残ったなっていう感じですけど。でも、僕はけっこう面白かったんじゃないかなと。

角田 大会としてはね。

谷川 ただメインが引き分けたのが、ジャパンにとっては負けだっていう感じがしますよね。ホントに、ジャパンの選手含めて、これからどうしていくか考えないとダメでしょうね。大会自体は僕ねぇ、全然悪くないと思うんですけど、う～んいろいろまた考えます、次のことを。■

総評

ありがとう ボブ・サップ!

文◉谷川貞治

今年、私は本気でサップにK-1王者になってほしい

ありがとう、ボブ・サップ!

4・6K-1ジャパン山形大会が終わったあと、私はそうボブに感謝した。

実を言うと、ボブのミルコ戦（3・30さいたまスーパーアリーナ）での負傷はかなりの重傷だった。試合後、すぐに病院で診断を受けたが、結果は「眼窩内壁」を2カ所骨折。医者の話では「2週間以内に手術を受けたほうがいい」という厳しい状況だった。

当然、そうなればボブに殺到しているテレビ出演やCMの話は全てキャンセルしなければならない。それでも、ボブは「1週間後のK-1ジャパンは"ビースト"という大会名が付き、自分がプロデューサーとして予定している大会だ。その山形が終わるまでは、頑張るよ」と言ってくれたのだ。

3日間の完全休養をとったあと、ボブは海賊のようなアイパッチをつけたまま、K-1ジャパンのプロモーションに出てくれた。しかも、いきなり最初にした仕事が「電波ジャック」といって、朝から夜まで日本テレビのレギュラー番組の10本近くに顔を出すというもの。しかも、医者から「あまり顔を動かすような動きはしないほうがいい」と言われていたにもかかわらず、ボブはついついサービス精神でビースト笑いをやってのけた。そこには、なんとかK-1ジャパンを、自分の手で成功させようという思いが、ヒシヒシと伝わってきて、胸が熱くなった。

こんなエピソードもある。ボブは山形入りする前々日、出場選手全員に"ビースト賞"として、自腹でデジカメを人数分買い、記者会見前に選手一人ひとりに「明日の試合は頑張ってくれよ!」と手渡していたのだ。また、会場では、自らがCMに出ている味覚糖に頼み、"ぷっちょ"を観客席に置く気の配りよう。こんなK-1ファイターは今まで見たことがない。

ミルコに敗れて以来、ボブに対しての世間の評価はきっと、「あれだけテレビやマスコミに出ていたら、練習している時間なんかあるわけがない。ボブはタレント活動に浮かれていたから負けたんだよ」という意見が大勢を占めているだろう。しかし、それも私から言わせてみれば、全てK-1のためにやってくれたものなのだ。

ボブ・サップという存在は、まさにK-1の救世主だった。この時期、もしボブがテレビの出演依頼を断り続けていたら、K-1に対するテレビ局の反応もトーンダウンしていたかもしれない。K-1の脱税事件は、たしかにイメージダウンにつながったかもしれないが、それをまったく感じさせなかったのは、あの天真爛漫なボブ・サップという存在があったからだった。

あれだけ多くの仕事をこなしていたボブだったが、実を言うと、あれでもかなりの量の仕事をK-1としても断っている。それでもK-1のプロモーションでテレビ局が求めてくるのは、やはりボブ頼み。また、あらゆるコネを使われて、どうしてもK-1も、サップも仕事を断れない状況だった。もし、ほっといたら、ボブのスケジュールは、24時間ビッシリと詰まっていただろう。本当に冗談ではなく、全盛期のピンクレディー並みのハードスケジュールをこなさなければならないほど、ボブの周辺は異常だった。その中でも、ボブは毎日きっちりとトレーニングをしていたのである。

ミルコとの試合前、私はミルコ有利説を説いた。その理由は、ミルコの身体能力やストイックさだけではなく、ボブのこの異常なハードスケジュールに対し、神様がストップをかけるのではないかと思ったからだ。そんな私の予想を裏切って勝ったとしたら、ボブという存在は常人には手の届かない神の使者に違いない。そんなことを考えていたのだ。

ところが、ボブは予想どおりに敗れた。私はその瞬間、「やっぱりダメだったか」と思うと同時に、「これで、これからやりやすくなったぞ」と思った。この早い段階でのリセットは、ボブにとっての大きなチャンスにもなるからだ。

予想外だったのは、ボブが大きな負傷をしてしまったことだが、これも神様がボブを休ませるための手段だったと考えればいい。ミルコに負けてからも、相変わらずタレントとしてのボブに対する仕事の依頼は殺到しているが、これからは胸を張って「ボブはファイターであり、ボブにとって大切なのは強くなること」と言える。私はリハビリが終わったあと、ボブに日本以外の国でみっちりとトレーニングしてもらい、今年は本気でK-1

チャンピオンになってもらいたいと考えているくらいだ。

ボブはたしかにケタ外れの身体能力を持っているが、K—1に関してはまだ経験の少ない黄帯くらいの選手。そんなボブがバリバリの黒帯のミルコに勝つのは、想像以上に至難の業である。しかも、プロレス、総合格闘技、K—1と比較してみると、ボブが一番苦手なのが技術を必要とするK—1なのである。

しかし、そんなボブが本当にK—1王者になったとしたら、ボブもK—1も新しく生まれ変わることができる。今回、5・2ラスベガス大会に出場することはできなかったが、それこそK—1王者としてボブが全米デビューを果たしたら、K—1の世界進出は凄いスケール感を持つことができるだろう。

そのためにも、ボブにとって今一番大切なのは、強くなることだ。今、強くなることがボブにとっても、K—1にとっても最大のポイントとなっている。

ミルコ戦の敗北は、そのことを気付かせる神の啓示だと、私は思っている。そう考えれば、全てあの試合は納得できる。関係者の皆さんには、くれぐれもボブをそう温かく見守ってほしいと切に望みたい。我々はもっと存在の大きい、ボブ・サップにしたいのだ。

それに比べて、4・6山形大会のジャパン勢の試合は、正直いただけなかった。視聴率は良かったが、武蔵、中迫がボブに比べて、どこまで今のK—1の危機的状況を感じとり、良いパフォーマンスをしようとしていたか。角田統括プロデューサーほど辛辣なことを言うつもりはないが、もうちょっとなんとかならないものかというのが素直な気持ちである。これで、TBS、フジテレビ、日本テレビと、新体制で視聴率3冠王をとることができた。でも、プロデュース側としては、いろんな意味で、複雑な心境である。■

"強靭な握力"と"巨大な前腕"を作り上げる

『世界最強のグリップツール』

発売以来大好評! これこそ世界最強のグリッパー!

①『シルバークラッシュグリッパー』(アイアンマインド社製)¥4,000(1本)

アイアンマインド社の製品はしっかりした丈夫な作りが自慢。強度は握力44kg程度の"トレーナー"から握力166kgを要する"ナンバー4"まで5段階に分かれているので、自分の実力に応じた強度を選択することができる。ただし、一般的に使えるのは"ナンバー2"まで。"ナンバー3"の両端を付けられるのは現在世界で17人。"ナンバー4"にいたっては世界でたった一人しか達成していないほどの超強力グリッパーだ。怪力自慢の挑戦を待つ!

- ●トレーナー:握力44kg程度(初級〜中級者向け)
- ●ナンバー1:握力63kg程度(中級〜上級者向け)
- ●ナンバー2:握力88kg程度(上級者向け)
- ●ナンバー3:握力127kg程度(ストロングマン向け)
- ●ナンバー4:握力166kg程度(ストロンゲストマン向け)

※表示されている強度(kg数)はあくまでも目安です

遠心力で指・手首の強化

②『パワーボール』

★回転カウンター付き(ブルー)¥4,900
★回転カウンターなし・発光タイプ(オレンジ)¥3,800

遠心力を利用して指・手首を強化するための初級者〜中級者向けのグリップツール。カウンター付きのタイプを利用すれば、回転数(または回転速度)などが表示されるためトレーニング強度の目安となり、遊び感覚で手首の力を強化できる。5千回転で約8kg、1万回転で約16kgの負荷を生み出す

ピンチグリップの強化に最適

③『ピンチグリップマシン』(アイアンマインド社製)¥12,000

ピンチグリップを強化するグリップツール。ピンチグリップ力は格闘家や登山家、アームレスラーには不可欠な力とされている。写真のように2本指、または3本指で使用し、個々の指を強化することが可能となっている。負荷の調節は重量プレートを増減することで可能となる。

※プレートは付属しておりませんので、28mm径のプレートを別にお求めください。

手軽に指の強化

④『イーグルループ』(アイアンマインド社製)¥4,000

親指を除く4本の指を鍛えるツール。バーに引っかけて懸垂を行なうことで指を強化することができる。バーベル、ダンベルに引っかけて使うこともできる。

2本一組

40段階以上の調節が可能

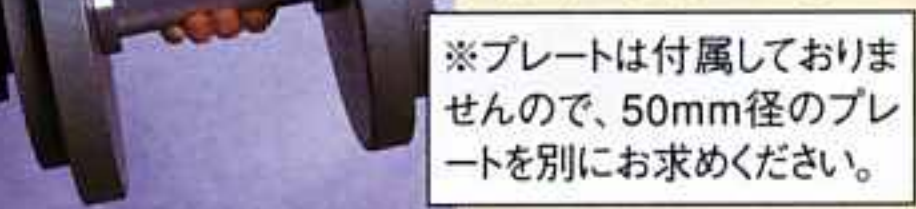
⑧『スーパーグリッパー』(イバンコー社製)¥5,800

二つあるスプリングの位置をずらしていくことにより、あるいは握る位置を変えることにより、約20kgから約100kgまで40段階以上の微調節を可能にした画期的グリッパー。一般の女性から上級アスリートまで、それぞれのレベルに合わせた使い方ができる。

IVANKO SUPER GRIPPER

握力を強化するローイング専用ダンベルバー

⑤『ハスキーハンドルダンベルバー』(アイアンマインド社製)¥20,000(1本)

使用できるのは50mm径のプレートのみ。高重量を付けられるように作られたダンベルバーだが、握る部分を太くしたのは握力を強化するため。ローイングやカール、リストカールなどの種目で効果を発揮する。

※プレートは付属しておりませんので、50mm径のプレートを別にお求めください。

握力強化の決定版

⑥『ハンドクラッシャー』(アイアンマインド社製)¥19,800

大好評の『ピンチグリップマシン』の握力版。自分の実力に合わせてプレートで負荷を調節することができるのが最大の特徴。正確な動作で行なえば極限まで握力を高めることができる。これで握力を強化すれば、めったに人と握手できなくなるかもしれない。

※プレートは付属しておりませんので、28mm径のプレートを別にお求めください。

⑦アナログ握力計(竹井機器工業)¥15,000

仕様
- ●測定範囲:0〜100kg
- ●目盛単位:0.5kgf
- ●寸法:約154(W)×235(D)×59(H)
- ●本体重量:約0.62kg

巨大でパワフルな前腕を作る

⑩『ヘビーハンマーレバレッジバー』(アイアンマインド社製)¥7,500

※プレートは付属しておりませんので、28mm径のプレートを別にお求めください。

ヘビーエクササイズをやるにしてもアームレスリングをやるにしても前腕を強化することが大切。しかし、リストカール系の種目やグリッパーだけでは完璧な前腕は作れない。そこでこのヘビーハンマーレバレッジバーを使うことによって、リストカール系の種目やグリッパーでは刺激しきれなかった要素を補い、様々な角度から前腕を刺激することによってパワフルな前腕を完成させることができる。握る部分は滑りどめ加工が施され直径は約5cm。この握り難さが、さらに前腕を刺激する

雪玉感覚でグリップ力強化

⑨『スノーボール』(アイアンマインド社製)¥2,800(1個)

その名のとおり、握った感覚は雪玉そのもの。この雪玉の感覚がグリップ力の強化に大いに役立つ。リハビリにも使え、グリップエクササイズの前のウォーミングアップやクールダウンに利用することもできる。軽くて携帯性も良いので、どこでもエクササイズできる。直径は約5.6cm、重量120g。

強度調節可能の前腕強化マシン

⑪『フォアアーム・マスター』¥3,100

強度の微調節が可能で、前腕の屈筋群・伸筋群を効率よく鍛えるためのツール。初級者には前腕のパワーアップのために、中〜上級者には前腕のためのウォーミングアップやクールダウン、あるいはリハビリ用としての利用価値も高い。

カラダ改造マガジン[アイアンマン] IRONMAN MAGAZINE

アメリカの最新トレーニング&サプリメント情報が満載。筋力アップ、筋量アップのための専門月刊誌

毎月12日全国の書店にて発売。店頭にない場合は書店にご注文いただくか、
TEL 03-3518-4077
までお問い合わせください。

[ご注文方法] ※表示価格はすべて税込価格です

アイアンマンプロダクツ 03-3518-4745
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-11 信ビル2F
FAX、E-メールでのご注文も承っております(代金引換で発送)
●FAX 03-3518-4075 ●E-Mail order@ironman-japan.com
[ホームページ]http://www.ironman-japan.com/

●代金引換をご利用の場合/注文のお電話をいただいたあと、1〜2日でお届けいたします。商品が到着した際に配達の者に商品代金に送料¥1,050を加算してお支払いください。
●インターネットをご利用の場合/http://www.ironman-japan.com/にアクセスしてください。代金引換の他にコンビニ払い(前払い)もご利用いただけます。
●郵便払込用紙をご利用の場合/郵便局に備え付けの「郵便払込用紙」をご利用いただき、商品代金に送料¥1050を加算して窓口にてお振り込みください。口座番号および加入者名は以下のとおりです。備考欄にご注文の商品名を明記してください。商品到着までに1〜2週間ほどかかる場合がございますのであらかじめご了承ください。在庫切れの場合は折り返しハガキにて入荷予定日等をご連絡いたします。
口座番号 00170-6-537959 加入者名 アイアンマンジャパン

●表示価格には消費税は含まれております●表示価格には送料は含まれておりません●返品・交換につきましては未開封に限り、お届け後7日以内にお願いいたします
●予告なく形状・色などが変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください●全商品生産物賠償保険付

SRS SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション

4/25、5/2、5/9の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは4月17日現在のものです。都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

『SRS』は金曜日深夜26時15分〜26時45分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。

4/25

えっ!? ハセキョーが……

『SRS 京子ファイナル！②』

4月25日（金）26:15〜26:45

こんな時期が来てしまうとは……。みなさん、SRS 3代目メインキャスターのハセキョーこと長谷川京子が、4月をもって番組を卒業することになりました！「こんなイベントで、こんなことがあった！」という名場面も含めた未公開映像もたっぷり用意！ ハセキョーの3年間にわたる活躍もこれで見納めです！ お見逃しなく！

▲番組を見る時は、ぜひハンカチの用意を！

5/2

丸ごとラスベガス特集だ！

『K-1 ラスベガス大会 直前情報』

5月2日（金）26:10〜26:40

5月2日（金）に開催される『K-1 WORLD GP 2003 in Las Vegas』の直前情報をオンエア！ 番組MCの浅草キッドが満を持してラスベガスに潜入取材を敢行！ 特別ゲストにボブ・サップを迎えて現地からの最新情報を伝えるほか、引退試合を控えた角田信朗の密着取材もたっぷりお届けします！ 乞うご期待！

▲ラストファイトを控えた、角田の胸中はいかに!?

5/9

ラスベガス大会の裏側にキッドが潜入！

『K-1 ラスベガス大会 バックステージ』

5月9日（金）26:10〜26:40

浅草キッドがラスベガスに行って1週で終わると思ったら大間違い！ 今回は、試合後の選手インタビューやバックステージなどの様子を思う存分見せちゃいます！ さらにボブ・サップが特別ナビゲーターとして『ラスベガスの楽しみ方』をレクチャーするなど面白い企画も盛りだくさん！ オンエアをお楽しみに！

▲ラスベガスでもキッドの2人は大暴れ!?

必見！

『K-1 WORLD GP 2003 in Las Vegas』

5月3日（土）19:00〜21:00（全国ネット放送）

※CS721にて5月3日（土）11:00〜15:00 生中継！

『K-1 直前スペシャル』

5月2日（金）15:00〜16:00

男・角田信朗の引退スペシャル!!＆K-1 ラスベガス大会直前情報をオンエア！

SRSホームページのアドレスはこちら http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ〜い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
4/24（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO（再）	5：00～6：00	世界中で行われている修斗の大会を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継　新日本キック協会	16：00～18：00	3.23『MAGNUM1』後楽園ホール大会
	GAORA	角田信朗のすぽ魂	18：00～18：30	『愛と涙と感動の浪花男』角田信朗が様々なスポーツを紹介。GAORA独自のインタビュー映像やゲストを迎え内容盛りだくさんの30分。再放送4/25・15：00～、27・12：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	総合から空手、キックまで格闘技界の最新情報満載！　再放送4/25・25：00～、26・11・00～、28・10：00～、29・15：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	20：30～21：00	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。再放送4/26・11：30～、28・10：30～、29・15：30～
	GAORA	週刊格闘 JAM!	21：52～22：00	K-1、PRIDEなどの格闘技イベント最新情報「Featuring event」や旬の格闘家を紹介する「Featuring Fighter」などをぎっしり詰め込んだ300秒番組。再放送4/25・27：52～、26・17：52～、27・12：52～
	Jスカイスポーツ1	プロフェッショナル修斗2003	22：00～24：00	3.30名古屋大会。再放送4/26・17：00～、30・11：00～
4/25（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	パンクラスハイブリッドアワー	10：00～12：00	3.8ディファ有明大会
	スポーツ・アイ ESPN	K-1 WORLD MAX 2003	22：00～23：30	3.1『K-1 WORLD MAX 2003日本代表決定戦』。再放送4/29・19：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	キックの星	23：00～24：00 26：30～27：30	キックボクシングフリークにお送りするキック専門番組。キック界の最新情報や試合速報、選手のゲスト出演など、まさにキック版『生でGONG×2！』MCは大江慎、片岡未来。　再放送4/26・10：00～、28・9：00～、30・13：00～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	24：00～25：00	スポーツ・アイ ESPNと同内容。『PRIDE7』#2　再放送5/2・24：00～
	Jスカイスポーツ1	SHOOT 3/60	25：00～26：00	15分のショートドキュメンタリー3本で構成する"60分3本勝負"の格闘技専門スポーツドキュメンタリー番組。再放送4/27・9：00～、28・9：00～
	フジテレビ	SRS	26：15～26：45	➲P69
4/26（土）	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継　U-STYLE	15：00～17：00	4.6ディファ有明大会。再放送4/29・10：00～
	スポーツ・アイ ESPN	PRIDE REVIVAL	18：00～21：00	これまでの『PEIDE』シリーズを毎月1大会ずつ放送。『PRIDE.GP』#1～#3
	スポーツ・アイ ESPN	極真魂	21：00～21：30	最強の格闘技とは何か？　故大山総裁が築き上げた空手道を継承する極真戦士達をあらゆる角度から掘り下げ、その強さを探る。再放送4/27・16：30～、28・16：30～、29・16：00～と20：30～
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：40～26：40	4.23広島サンプラザ大会。IWGPヘビー級選手権 永田裕志VS安田忠夫ほか
4/27（日）	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	18：30～20：30	2.16グランキューブ大阪大会。再放送5/12・23：45～
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	26：45～26：15	4.13有明コロシアム大会
4/28（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ch.01	22：00～23：00	橋本真也率いるZERO-ONEによるちょっぴりムチャなバラエティ番組。再放送　4/29・19：00～
4/29（火）	Jスカイスポーツ2	シュートボクシング2003	9：25～11：25	4.13後楽園ホール大会。再放送4/30・26：00～、5/1・15：00～、2・12：00～
	スカイA	ワールドプロレスリング 不滅の闘魂伝説	20：30～22：00	1970年代以降の新日本プロレス格闘技全盛期を振り返る。1972.4.22 NWA世界選手権、アントニオ猪木vsエル・カネック戦ほか
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	『プレ・プライド6』トーナメント大会、準決勝＆決勝。佐藤江梨子、高田道場のちゃんこを喰らう（前編）ほか
	フジテレビ	WWE スマックダウン	25：28～26：28	ブロック・レズナーVSマット・ハーディー、クリス・ベノワVSライノ、アンダー・テイカーVSジョン・シーナほか。
4/30（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	23：00～23：30	4/24を参照
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
5/1（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	4/24を参照。再放送5/3・11：00～、5・10：00～、6・15：00～
	GAORA	週刊格闘 JAM!	21：52～22：00	4/24を参照。再放送5/2・18：22～、3・28：52～、4・11：52～
5/2（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	キックの星	20：00～21：00	4/25を参照。再放送同日26：30～、5/3・10：00～、5・9：00～、7・13：00～
	スポーツ・アイ ESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	4/26を参照。『PRIDE.GP』#4。再放送5/7・24：30～
	スポーツ・アイ ESPN	極真魂	23：00～23：30	4/26を参照。再放送5/3・21：00～、5・23：30～、10・15：30～、13・16：00～
	フジテレビ	SRS	26：10～26：40	➲P69
5/3（土）	Jスカイスポーツ1	シュートボクシング2003	7：00～9：00	4/29のJスカイスポーツ2と同内容。再放送5/6・15：55～
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15：30～17：53	4.18後楽園ホール大会。木村健悟引退試合ほか
	Jスカイスポーツ3	ワールド修斗	19：00～21：00	2.8スーパーブロウル（ハワイ）＆2.22コールドウォー（フィンランド）の2大会をまとめて放送。再放送5/6・26：00～
	テレビ東京	出没！　アド街ック天国	21：00～21：54	一つの街を徹底紹介する同番組。プロレス・格闘技ファンの聖地、後楽園特集を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継　DEEP	25：00～27：00	3.4に後楽園ホールで開催された『DEEP 8th IMPACT』を放送
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：40～28：30	5.2東京ドーム大会。ゲスト解説：鈴木みのる
5/4（日）	GAORA	K-2カラテエクストリーム	24：30～25：30	3.16に開催の『第72回新空手道交流大会』
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	26：20～26：50	内容未定
5/5（月）	パーフェクトチョイス ch.116	DEEP 9th IMPACT in KORAKUEN HALL	18：00～	"5.5に開催のDEEP後楽園ホール大会。ルチャVT最強軍団VS日本人選手選抜5VS5ほか。PPV※1,500円/番組"
5/6（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継　パンクラス	22：00～24：00	4.12に開催の『PANCRASE HYBRID TOUR 2003』後楽園ホール大会。再放送5/7・19：00～、11・17：00～、15・16：00～
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	『プライド26』対戦カード発表。佐藤江梨子、高田道場のちゃんこを喰らう（後編）ほか
	フジテレビ	WWE スマックダウン	25：28～26：28	内容未定
5/7（水）	GAORA	全日本キックボクシング	10：00～12：00	3.8に後楽園ホールで開催された『全日本ライト級最強決定トーナメント』を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	23：00～23：30	4/24を参照。再放送5/8・20：30～、10・11：30～、12・10：30～、13・15：30～
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	4/30を参照
5/8（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継（再）　新日本キック協会	13：00～15：00	01.5.5、市原臨海体育館大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	4/24を参照。再放送5/9・25：00～、10・11：00～、12・10：00～、13・15：00～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	20：00～22：00	船木ヒストリー#3
	GAORA	週刊格闘 JAM!	21：52～22：00	4/24を参照。再放送5/9・24：52～、10・17：52～、11・14：22～、12・17：52～、13・11：52～

ON THE AIR 4/24～5/15

格闘技番組ガイド　TV&RADIO

Pick Up!

世界最大のプロレス団体WWE『Smack Down！』がついに地上波で見られる！

『WWE スマックダウン』

毎週火曜日、深夜25:28～26:28

現在、世界各国で熱狂的に支持される世界最大のプロレス団体WWE。WWEの関連番組には『Smack Down！』『RAW』などがあるが、その中からメイン番組のひとつである『Smack Down！』を日本版にアレンジしてフジテレビが、毎週レギュラーでオンエア！　同番組は、都内にある巨大スタジオに大型セットと大型スクリーンを設置。そこに1000人以上のWWEファンを集め、アメリカから届いたばかりの最新映像を見ながらLIVE感覚で盛り上がる会場の模様を試合映像とともに伝えていくぞ！　司会進行は佐野瑞樹、千野志麻、両フジテレビ・アナウンサーが務め、さらに人気お笑いコンビのガレッジセールがWWEの楽しみ方を面白おかしく紹介していく。その他にもレギュラー放送と並行して、WWEの楽しみ方や魅力について著名人が独自の視点で語るミニ番組『ダブE』（毎週土曜日、22:54～23:00）も放送されるぞ！　お楽しみに！

▲第1回放送では、スペシャルゲストとしてTAJIRIが急きょアメリカから駆け付けたぞ！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
5/9（金）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	20：30～22：00	4/29を参照。79.6.15 WWF認定ヘビー級選手権藤波辰巳vsエル・カネック、MSGシリーズ優勝決定戦アントニオ猪木vsスタン・ハンセン戦。再放送5/13・22：15～
	スポーツ・アイESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	4/26を参照。『PRIDE.GP』#5。再放送5/14・24：30～
	FIGHTING TV SAMURAI!	キックの星	23：00～23：30	4/25を参照。再放送同日26：30～、5/10・10：00～、12・9：00～、14・13：00～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	24：00～25：00	4/25を参照。『PRIDE7』#3
	フジテレビ	SRS	26：10～26：40	➲P69
5/10（土）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15：30～17：53	4.23広島サンプラザ大会
	Jスカイスポーツ2	ワールド修斗	22：00～24：00	5/3のJスカイスポーツ3を参照。再放送5/12・16：30～、13・9：30～
	GAORA	角田信朗チャンネル～魂のもと～	23：00～23：57	「愛と涙と感動の浪花男」K-1戦士・角田信朗を応援していく番組。格闘技界そしてタレントとしても活躍する角田信朗の素顔に迫る。再放送5/12・21：00～
	Jスカイスポーツ3	プロフェッショナル修斗2003	24：00～26：00	5.4後楽園ホール大会。再放送5/12・12：00～、13・26：00～
5/11（日）	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	24：55～25：25	内容未定
5/12（月）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	22：15～23：45	4/29を参照。79.5.10NWFヘビー級選手権アントニオ猪木vsジャック・ブリスコ戦、79.5.18アンドレ・ザ・ジャイアントvsスタン・ハンセン戦ほか
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継（再）　プロ修斗	25：00～27：00	01.4.28&5.22、北沢タウンホール大会
5/13（火）	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	23：45～25：45	3.8ディファ有明大会
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	DEMOLITION試合結果（外山デビュー、井上、岡見メインイベント参戦）
	フジテレビ	WWE スマックダウン	25：28～26：28	内容未定
5/14（水）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	22：15～23：45	4/29を参照。79.6.15NWF認定Jrヘビー級選手権藤波辰巳vsトニー・ロコ戦、坂口征二&長州力vsヒロ松田&マサ斉藤戦
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	23：00～23：30	4/24を参照。再放送5/15・20：30～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	23：45～25：45	4.12後楽園ホール大会
	フジテレビ	すぼると	23：50～24：30	4/30を参照
5/15（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継（再）　MAキック連盟	13：00～15：00	01.11.9、後楽園ホール大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘侍！	20：00～20：30	4/24を参照
	GAORA	週刊格闘 JAM!	21：52～22：00	4/24を参照
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	22：15～23：45	4/29を参照。79.7.6星野勘太郎&藤波辰巳vsウルトラマン&トニー・ロコ戦、アントニオ猪木vsL・ブラウン戦ほか
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	23：45～25：45	船木ヒストリー#4

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-000-302
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00　土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-039-888／03-5351-4055
（16：00～21：00）

■J スカイスポーツ
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

BOOK
話題の本&新刊情報

〈新刊紹介❶〉 It's HOT!

『ど真ん中の結末』

ターザン山本著/新紀元社
本体価格 1,500円/4月末発売

**長州力？ WJ？ どん真ん中？
俺が正真正銘の"ど真ん中"ですよぉぉ！**

日本から南に約2,400キロ、南国の地サイパンから「俺が業界のど真ん中を突っ走ってやる！」と高らかに長州力が革命宣言をしたのが、昨年9月。この長州の言う"ど真ん中"が、海を越えて葛飾に住む"立石の革命戦士"ターザン山本の熱き心に着火させたのは言うまでもない。それからは寝ても覚めても"ど真ん中"という言葉がどうしても頭から離れないターザン。そんなターザンが「長州の言う"ど真ん中"とは？」というものに正面からロックアップした渾身の一冊が、ついに誕生ですよぉぉ！

長州が満を持してプロレス界に殴り込みをかけてきた新団体『WJ』。そんな『WJ』に対してターザンは、3.1横浜アリーナで行われた旗揚げ戦、そして3.15後楽園ホールからスタートしたシリーズ『MAGMA01』、全6戦をオール観戦するというあまりにもムチャな行動に出た。4月26日に57歳の誕生日を迎えるターザンをここまで炎上させた『WJ』とはなんなのか？ そして"ど真ん中"とはなんなのか？ 全ての答えが"岩国が生んだ定義王"ターザンによって、解き明かされる！

読む側もまったく予測のつかない衝撃の"ど真ん中の結末"とは果たして？ 超多忙にもかかわらず264ページにもわたって書き下ろしたターザンの血と汗と涙とちょっぴり糖が染み込んだ力作を読みたければ、今すぐ本屋に急ぐべし！ ターザン曰く「出遅れは、ホントしょっぱいですよぉぉ！」

〈おすすめの一冊❶〉 Recommend

『ハリウッド・ハルク・ホーガン ハルク・ホーガン自伝』

ハリウッド・ハルク・ホーガン&
マイケル・ジャン・フリードマン著/エンターブレイン
本体価格 1,800円/発売中

ハルカマニアは絶対に見るべし！

ハルク・ホーガンという名を聞いて、頭に思い浮かぶ光景は人それぞれ。アントニオ猪木との激闘、アンドレ・ザ・ジャイアントをボディプレスで投げ切ったレッスルマニア……、もしかすると現在の姿しか知らないという人も多いはず。しかし、20年経った今でも色褪せることなく、世界中の"ハルカマニア"と呼ばれる熱狂的なファンを魅了し続けるホーガンは、昔も今も変わらない。そんなホーガンの半生を綴ったのがこの作品だ！ 裏切り、ステロイドなど栄光の裏に隠れた真実もさらけ出し、世界の頂点まで登り詰めたホーガンの全てが今明らかとなる！ WWEやホーガンのことをあまりよく知らない人でも、世界を掴んだ男のサクセスストーリーとして、とても興味深い一冊であることは間違いないぞ！

〈おすすめの一冊❷〉 Recommend

『ボブ・サップのすべてがわかる大辞典 サップだす』

『TOKYO★1週間』編/講談社
本体価格 1,200円/発売中

サップの魅力が満載！

今では、どのメディアにおいても日本で一番露出しているんじゃないか!? と言われるぐらい出まくりで、格闘技界のみならずお茶の間でも超人気者のボブ・サップ。そんなサップが"どうして、ここまで愛されているのか？"と思った人には、ぜひとも読んでもらいたいのがこの一冊。辞典形式になっていてとても読みやすく、『あ』から『ん』まで50音順にキーワードが設けられ、サップに関する情報を余すことなく伝えているなど、お年寄りからちびっ子まで楽しめる内容となっているぞ！ さらにナント！ 取り扱い説明どおりにハサミでページを切っていったら、トランプや紙ずもう等、5つの付録ができちゃうからビックリ！ 本を読み終えたら、ためらわずにガンガン切って、遊びまくろう！

BOOK RANKING (3/1～3/31調べ)

1. 『ブラジリアン柔術入門』
ベースボール・マガジン社
本体価格 933円
2. 『新大山道場 極真館の夜明け』
盧山初雄、廣重毅著/桜の花出版
本体価格 1,400円
3. 『ブラジリアン柔術 セオリー&テクニック』
ヘンゾ・グレイシー、
ホイラー・グレイシー著/新紀元社
本体価格 3,200円
4. 『空手』
数見肇著/旺文社
本体価格 1,100円
4. 『空手と意拳～若き求道者達へ』
廣重毅著/桜の花出版
本体価格 1,800円

1位 『ブラジリアン柔術入門』

柔術や合気道など武術関連の入門書というのは値段が高くて、興味があっても手を出しにくいものだ。しかしこの本は、かなり良心的な価格となっているので、ありがたい。技術論だけにとらわれず、インタビューなど中身もバラエティー豊富なので、ぜひオススメしたい一冊だ！

書泉ブックタワー

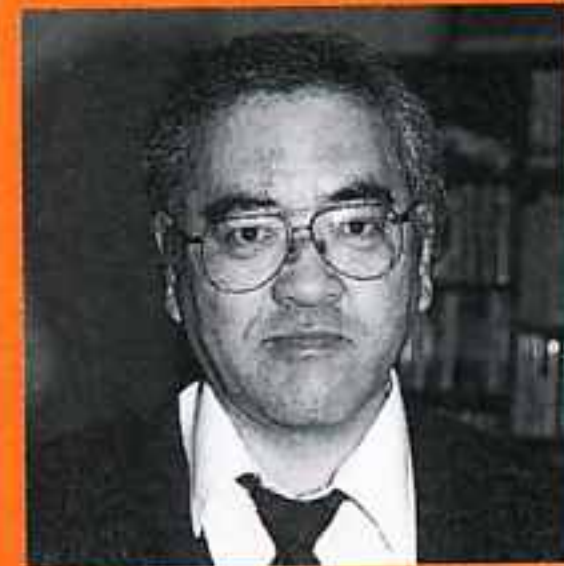
**東京都千代田区神田佐久間町1-11-1
℡03-5296-0051（代）**

▲プロレス・格闘技の本を探すならここ、『書泉ブックタワー』！ 本誌のバックナンバーも常備しているので、探している本があったら秋葉原の書泉へGO！

**書泉ブックタワー
後藤 実副主任**

「ランキングを見ていただいても分かるとおり、今回はブラジリアン柔術関連の本が2冊ランクインしております。アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ選手らの活躍により、柔術が注目を集めています。今後も好調な売れ行きが続くのではないでしょうか」

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介！

〈新作紹介〉 It's HOT!

『WAND Tシャツ』
WAND/各3,800円（税別）

ヴァンダレイ・シウバもオススメ！

PRIDEミドル級王者、ヴァンダレイ・シウバのオリジナルブランド『WAND』から新作Tシャツを入荷しました！　シウバ本人もよく着ているので、会場やテレビ等でこのTシャツを見かけた人も多いハズ！　君もこれを着たら"戦慄のヒザ小僧"になれるかも!?　（サイズSS、S、M、L、XL）

〈おすすめグッズ❶〉 Recommend

『SMACK VIDEO』
スマックガールFC/第1巻"開幕戦"2,500円、第2巻"エピソードⅡ"3,500円、第3巻"GRANDO FINAL"3,500円（全て税別）

今、ジョシカクが熱い！

今、最も熱い女子総合格闘技団体『SMACK GIRL』の新作ビデオが出ました！　昨年の10～12月にかけて行われた『SMACK GIRL JAPAN CUP 2002』の模様を全3巻にわたって完全収録！　今まで、スマックの試合会場や通販でしか買えなかったこの商品。それが東京イサミで買えるということで要チェック！

〈おすすめグッズ❷〉 Recommend

『エルビスTシャツ、アンデウソンTシャツ、シュート・ボクセTシャツ』
リバーサルデザイン/各4,800円（税別）

今、バカ売れ中の大人気Tシャツ！

リバーサルデザインからニーノ・"エルビス"・シェンブリ、アンデウソン・シウバ、シュート・ボクセ・アカデミーのオリジナルTシャツを入荷しました！　『プライド25』の会場でもバカ売れだったこの3種類のTシャツ。売れ切れ必至の人気Tシャツをゲットしたかったら、今すぐお店へ急げ！　（サイズ 小〈S〉、中〈M〉、大〈L〉）

東京イサミ
前田道範店長

「5月24日（土）、東京イサミで、翌25日（日）は横浜イサミにて『菊田早苗サイン会』を行います！　菊田選手のサイン入りグッズ販売、パンクラス6.7ディファ有明大会のチケットプレゼント抽選などオトクな企画も盛りだくさん！　詳しいお問い合わせは、東京イサミまで連絡ください」

東京イサミ
東京都新宿区新宿4-2-21 相模ビル3F
☎03-3352-4083
HPアドレス http://www.isami.co.jp/
営業時間/11:00～19:00（火曜、祝日定休）

Et cetra

春だ！ど真ん中だ！ BCGニュースだ！

【BCGが年中無休に！】

ナントBCGが年中無休に！ 今まで休館日だった第2、4火曜日には新たに橋本直樹打撃クラスを新設！ よって毎週火曜日は以下のとおりとなるので、要チェック！

★第1、3火曜日：前田憲作 打撃クラス(19:00〜、20:15〜)

第2、4火曜日：橋本直樹 打撃クラス(19:00〜、20:15〜)

【ランチタイムにクラス新設！】

毎週火曜日と木曜日の昼12:00より新たに打撃クラスを新設！ デイタイム会員の人でも気軽に参加できるので、気軽に参加してみよう！ ※木曜日はレディースデーのため、参加は女性のみとなるので注意。

【ど真ん中女子大会決定！】

BCGのアマチュア大会『ど真ん中』の女子大会『ど真ん中 Girls』を6月1日（日）に開催するぞ！ ナント参加費は保険加入料1,500円（登録者は無料）のみの激安プライス！ ビギナークラスもあるので、日頃の練習の成果を試したい人は、進んで参加しよう！

◆日時/6月1日（日） 試合開始12:00

◆場所/BCG（営団地下鉄南北線、都営地下鉄大江戸線『麻布十番』駅6番出口より徒歩3分）

◆試合形式/グラップリングマッチ（上級、中級、初級）、打撃マッチ（中級、初級）

◆出場資格/初級者は中学生以上、その他のクラスは高校生以上で、頭部障害および感染症のない人

◆参加費/BCGスポーツ保険登録者 無料（未登録者1,500円）※スポーツ保険は、来年3月31日まで有効のため次回参加時は無料となる

◆応募方法/参加申し込み書に必要事項を記入し、押印、参加費を同封の上、現金書留で下記住所まで郵送

◆締め切り/5月30日（金）

◆お問い合わせ/〒106-0044 東京都港区東麻布3-3-1 アイザック東麻布B1F BCG ☎03-3560-7619

【CM出演情報！】

名古屋の有名格闘技ショップ公武堂のTVCMにアレクサンダー大塚、小路晃、松井大二郎、島田裕二レフェリーが出演しているぞ！ 名古屋地区限定のTVCMということで、名古屋の格闘技ファンは必見！

▲オンエアを見逃すな！

レッグ・ロックからのお知らせ！

【カズ・ハヤシと行く日帰りバスツアー、参加者大募集！】

5月10日（土）、『チケットぴあPRSENTS カズ・ハヤシと行く"ジミー・ヤンに日本の文化を教える"日帰りバスツアー』を開催！ 締め切り日が間近に迫っているので、参加希望者は今すぐ申し込もう！

◆旅行期間/5月10日（土）日帰り

◆ツアー内容/カズ・ハヤシ＆ジミー・ヤンと都内観光名所をバスで巡って日本文化に触れる。夜はディナーパーティー

◆旅行代金/19,000円

◆募集人数/40名 ※先着順

◆締め切り/4月28日（月）

◆お問い合わせ/『カズ・ハヤシと行く 日帰りバスツアー』係（担当・永井）☎03-5256-1712 ※営業時間（月〜金、9:30〜17:30）

【BAPE STA!! PROWRESTLING ZEPP TOUR情報】

4.26から5.12まで行われる『BAPE STA!! PROWRESTLING ZEPP TOUR』に宇野薫の特別参戦（5.3札幌、5.5仙台、5.11＆12東京）が決定！ またZEPP TOURでは、各会場にてBAPEのカモフラージュ柄のイスを数席設置。その席に座った観客は、イスを持ち帰ることができるというビッグなプレゼント企画も用意しているので、ドキドキしながら会場に足を運ぶべし！

浅草キッドは格闘技界をぶった斬り！

芸能界きっての格闘技通でもある浅草キッドが、4月29日（火・祝）東京国際コメディフェスティバルにて、今の格闘技界を一刀両断する『浅草キッドの格闘技大放談』を開催するぞ！ ゲストには、北野誠、三又忠久（ジョーダンズ）らの他に、スペシャルゲストとしてあの格闘家も……。普段TVでは言えないような爆弾発言を聞きたければ、ゴールデンウィークはお台場まで足を運ぶべし！

◆日時/4月29日（火・祝） 開場16:00 開演16:30

◆場所/フジテレビ22Fフォーラム/ホール・レッド

◆料金/全席指定1,500円

◆お問い合わせ/キョードー東京☎03-3498-9999

さあキミもチャレンジ！ 大会出場者を大募集！

【SMACKGIRL-F2】

◆日時/5月11日（日） 試合開始11:00

◆場所/品川区総合体育館・柔道場（JR山手線、りんかい線『大崎』駅より徒歩5分）

◆試合形式/SGS-Fルール・ワンマッチ（防具着用。スタンドの打撃有。顔面へのパンチは無し）

SGG-Fルール・ワンマッチ（グラップリングルール）

◆出場資格/16歳以上の感染症の無い健康な女性。※プロ・アマ不問）

◆参加費/2,000円（同一または複数のルールにおける2、3試合の出場も歓迎。参加費は変わらず） ※要スポーツ保険

◆応募締め切り/5月6日（火）必着

◆お問い合わせ/スマックガール実行委員（担当：勝井）☎090-1773-5647

【ジュベニウ・マスター・シニアBJJ.JAM】

【女子チーム柔術ジャンボリー】

◆日時/5月18日（日） 試合開始10:00

◆場所/新宿スポーツセンター・第1武道場（JR山手線、西武新宿線、営団地下鉄東西線『高田馬場』駅より徒歩10分）

〈ジュベニウ・マスター・シニアBJJ.JAM〉

◆出場資格/感染症のないインファント・ジュベニウ（13〜15歳）、ジュベニウ（16〜17歳）、マスター（30〜35歳）、シニア（36歳以上）の男性 ※未成年者は保護者のサインが必要

◆参加費/3,000円（日本ブラジリアン柔術連盟登録アカデミー・チーム会員2,000円）

〈女子チーム柔術ジャンボリー〉

◆試合形式/日本ブラジリアン柔術連盟公式ルールに則って行われる、1チーム3名による点取り戦。

◆出場資格/感染症の無い女性。1チーム4名まで登録（1人はリザーブ。2人での申し込み可 ※ただし1人分不戦敗となる）

◆参加費/1チーム 10,000円（現金書留もしくは当日支払いでも可）

◆応募方法/参加申し込み書に必要事項を記入の上、パレストラ吉祥寺まで郵送

◆締め切り/5月9日（金）必着

◆お問い合わせ/〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-22-10 寿々木ビルB1 クロスポイント内 パレストラ吉祥寺☎＆FAX0422-21-0611 クロスポイント公式HP http://www.xpoint-k.com/

【COPA PARAESTRA NORTH JAPAN 2003】

◆日時/5月11日（日） 試合開始/10:30

◆場所/北海道・札幌市白石区体育館・柔道場（地下鉄東西線『南郷7丁目』駅1番出口より徒歩5分）※駐車場あり

◆参加費/アダルト以上の一般6,000円（パレストラ会員＆BJJFJ加盟団体5,000円）、全ての女性およびジュベニウ（16〜17歳）3,000円、インファント・ジュベニウ（13〜15歳）以下1,000円

◆応募方法/申し込み書に必要事項を記入し、写真貼付、参加費を同封の上、現金書留でパレストラ札幌まで送付

◆締め切り/4月28日（月）必着

◆お問い合わせ/〒165-0009 北海道札幌市東区北9条10丁目3-26 パールコート光星10-1F パレストラ札幌☎011-733-5301

【COPA PARAESTRA WEST JAPAN 2003】

◆日時/5月18日（日） 試合開始10:30

◆場所/兵庫・神戸市立王子スポーツセンター・柔道場（阪急電鉄『王子公園』駅より徒歩1分）

◆参加費/アダルト以上の一般6,000円（パレストラ会員＆BJJFJ加盟団体5,000円）、全ての女性およびジュベニウ（16〜17歳）3,000円、インファント・ジュベニウ（13〜15歳）以下1,000円

◆応募方法/申し込み書に必要事項を記入し、写真貼付、参加費を同封の上、現金書留でパレストラ東京まで送付

◆締め切り/5月6日（火）必着

◆お問い合わせ/〒176-0012 東京都練馬区豊玉北1-6-13 カエサル江古田B1-101 パレストラ東京☎03-5984-3209

【COPA PARAESTRA SOUTH JAPAN 2003】

◆日時/5月25日（日） 試合開始10:30

◆場所/福岡・遠賀町武道館・第1武道場（JR『遠賀川』駅より徒歩10分、遠賀町役場隣）

◆参加費/アダルト以上の一般6,000円（パレストラ会員＆BJJFJ加盟団体5,000円）、全ての女性およびジュベニウ（16〜17歳）3,000円、インファント・ジュベニウ（13〜15歳）以下1,000円

◆応募方法/申し込み書に必要事項を記入し、写真貼付、参加費を同封の上、現金書留でパレストラ北九州まで送付

◆締め切り/5月12日（月）必着

◆お問い合わせ/〒822-0001 福岡県直方市大字感田1206 ラプラス「-102号 パレストラ北九州 大会事務局（担当・後藤）☎090-9405-7168

【第6回関西少年・女子グローブ空手交流大会】

◆日時/5月18日（日） 試合開始10:00

◆場所/大阪市中央体育館・柔道場（市営地下鉄中央線『朝潮橋』駅より徒歩5分）

◆参加費/少年・少女5,000円 一般女子5,000円

◆締め切り/5月11日（日）必着

◆お問い合わせ/〒531-0063 大阪市北区長柄東2丁目1番21-101 格闘スポーツサークルレックスジャパン内 大会事務局☎06-6351-7994

【第2回高田道場サブミッションレスリングトーナメント大会】

◆日時/5月18日（日） 試合開始10:00

◆場所/東京・目黒区立目黒中央体育館（東急目黒線『武蔵小山』駅より徒歩7分）

◆出場資格/1.高校生以上の頭部に障害および感染症のない健康な男性、2.格闘技歴1年以上の人、3.週2回以上練習している人、4.格闘技歴をきちんと明記している人、5.今年度スポーツ安全保険に加入している人（参加申込時に加入可能。ただし大会参加時のみ対象）

◆参加費/3,000円（保険未加入の人は4,500円）

◆応募方法/大会要項をお問い合わせ先まで請求、申し込み書に必要事項を記入し、押印、参加費を同封の上、現金書留で下記あて先まで郵送

◆締め切り/5月8日（木）必着

◆お問い合わせ/〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6 株式会社高田道場☎03-5749-5030

宇月田麻裕の北斗占い®

Mahiro Utsukita

破軍　武曲　廉貞　文曲　禄存　巨門　貪狼

4/24〜5/14

★北斗占いとは★

古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の１つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の１つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。
この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。
絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が現れる。

北斗本命星早見表（ホクトホンミョウジョウ）

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。悠長な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンゴク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです
武曲（ブゴク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

破軍星

全体運
吉兆星が輝いています。仕事では順調に成果が出て、格闘技でも好成績を収めるなど、あなたの望みがかないそう。ＧＷには、親しい人や家族で旅行に出掛けてみよう。観光地ネタで盛り上がったり、楽しい時間が過ごせるハズ。

恋愛運
過去の恋愛が復活する予感。元彼女から、突然電話やメールが来たら優しく接してあげて。新しい気持ちでやり直す覚悟があれば、自然にヨリが戻るハズ。

勝負運
動物関連のグッズを持つと運気ＵＰ。

健康運
肩こり解消には上半身のストレッチが有効。

金運
家族からラッキー情報が舞い込みそう。

★ラッキーカラー★
レッド

★ラッキーアイテム★
バスタオル

★ラッキースポット★
ジュエリーショップ

武曲星

全体運
知識欲が旺盛になる時。今のあなたは、なぜだか知りたいことばかり。自分の生活に直接関係がなくても、気になることがあれば、どんどん調べてみる価値あり。そこから新しい世界が広がり、良い意味で価値観まで変わる予感。

恋愛運
ＧＷを境に、恋愛の状況が劇的に変化する時。フリーは、一目惚れから一気に恋の炎が燃え上がり、カップルは、プロポーズすれば結婚まで進展する暗示。

勝負運
準備バッチリなら大勝負に挑むチャンス。

健康運
音楽を聴きながら運動すると気分が爽快に。

金運
定期預金はしばらく続けたほうがベター。

★ラッキーカラー★
シルバー

★ラッキーアイテム★
焼肉

★ラッキースポット★
美術館

廉貞星

全体運
自信が持てず不安になる時。いつまでも過去の失敗を引きずっているのでは？　ＧＷ中に、仕事や格闘技で成功するイメージトレーニングをしたり、小さな成功体験を積み上げてみよう。それが自信を取り戻すコツ。実行あるのみ！

恋愛運
「愛されている」という実感に浸れる時。エッチなどのスキンシップが重要なカギ。フリーは、年上の女性と縁あり。ただし、振り回されないよう要注意。

勝負運
根気が続かない時。短期決戦に活路あり。

健康運
晴れた日はジョギングで運動不足の解消を。

金運
タンス預金を整理しておくと役立ちそう。

★ラッキーカラー★
オレンジ

★ラッキーアイテム★
緑茶

★ラッキースポット★
公園

文曲星

全体運
このところの忙しさで、心のバランスが崩れている時。うまくコントロールしないと、危険な行動をしてしまう恐れが。ＧＷ中に、格闘技で汗を流して、ストレスを解消しておこう。そうすれば心身ともに安定してくるハズ。

恋愛運
ＧＷに運命的な出会いの予感。ただし、あなたからは動きにくい時なので、先輩や友人からのアシストを頼むのがカギ。思いがけず、逆玉に乗れる可能性も。

勝負運
重要な勝負の前には瞑想をするとグッド。

健康運
心身の安定キープには自然食品が効果あり。

金運
計画なしに浪費していると金欠のピンチ。

★ラッキーカラー★
ゴールド

★ラッキーアイテム★
無農薬野菜

★ラッキースポット★
海岸

禄存星

全体運
悩み事がようやく解決し、スッキリした気分でＧＷを迎えられそう。より運気を上げるには、アウトドアに出かけるとグッド。自然と触れあうことで、あなたの五感が目覚め、これからやるべきことがハッキリと見えてくるハズ。

恋愛運
フリーは、ＧＷ中のカップリングパーティーは狙い目。誘われたならＧＯ！　カップルは、ややマンネリ気味。スリリングな旅行プランを立ててみては？

勝負運
新しい戦法を試すと、期待以上の成果あり。

健康運
虫歯は悪化する恐れが。連休に治そう。

金運
カードでの買物では限度額のチェックを。

★ラッキーカラー★
グリーン

★ラッキーアイテム★
目覚まし時計

★ラッキースポット★
ホームパーティー

巨門星

全体運
ヤル気が空回りしそうな暗示。結果を残そうとしてヘタに動きまわると、トラブルが発生。今は焦らずに、上司や先輩をお手本にし、将来武器となるスキルを身に付けておくと○。ＧＷ中は気の合う友人とのんびり過ごすとグッド。

恋愛運
恋愛のチャンス到来。インスピレーションで「この人だ」と思ったら、即アプローチ！　多少強引でも、あなたのノリの良さでクドける可能性はあり。

勝負運
強気はほどほどに。冷静さが勝利のカギ。

健康運
決め手は寝具。変えると快眠できそう。

金運
長期戦で臨むつもりなら投資のチャンス。

★ラッキーカラー★
ワインレッド

★ラッキーアイテム★
カード

★ラッキースポット★
まんが喫茶

貪狼星

全体運
凶兆星が居座っています。今のあなたにとって必要なのは地道な努力。それが分かっているのに、気力不足でなかなか行動に移せず、ジレンマを感じそう。ＧＷは流れを変える良いチャンス。大いにリフレッシュすると好転。

恋愛運
フリーは、無謀なアプローチで痛手を受けそう。事前のリサーチを念入りに。カップルは、ライバル出現の暗示。略奪される恐れもあるので油断しないで。

勝負運
出たとこ勝負はキケン。データ収集が大切。

健康運
運動不足からくる肥満に気を付けて。

金運
トラブルの暗示。お金の貸し借りはＮＧ。

★ラッキーカラー★
ブルー

★ラッキーアイテム★
パソコン

★ラッキースポット★
カルチャースクール

宇月田麻裕プロフィール
ハッピネスファクトリー代表。読売新聞連載、TBSテレビ「ワンダフル」出演など、新聞・雑誌・テレビなどで活躍中。NTT・Vポータル TEL.0570-0033-03「テレフォンナンバー占い」、「アジアン占術物語http://www.nifty.com/asian/、鑑定&占いスクール開講。著書「もっともわかりやすい宿曜占星術」（説話社）好調発売中。
URL:http://www.happiness-f.com　mail order@happiness-f.com

グレート・アントニオ PRESENTS 新連載

元気があれば何でもできる!

ヤマダ元気塾

予防医学講座

山田豊文 文
TOYOFUMI YAMADA

現代日本の“異常事態”は最新栄養学で解決できる!!

私はこれまで、カロリー重視の栄養学とはまったく異なる分子栄養学（正常分子医学）という最新の理論をベースに、小さいお子さんやお母さん方、そして格闘家やプロ野球選手の方々まで、多くの人に栄養指導を行ってきました。

これまでにも講演等の際に再三にわたって警告してきたのですが、現代の日本ではかつての日本では考えられなかったような現象が次々と起こっています。

たとえばそれは、スポーツの分野で顕著にみられます。お隣の韓国は日本の3分の1ほどの人口で、スポーツ選手の体格も日本人選手とそう変わらないのにもかかわらず、日本のサッカーやバレーボールなどは韓国相手になかなか勝利を挙げることができずにいます。

外国と比較して日本が劣っているというだけではありません。私はプロ野球のキャンプや大相撲の稽古場での練習風景を数多く見てきましたが、どこにいってもヒジや肩、腰の故障や肉離れなどを抱えている選手や力士が多いのに驚かされました。プロ野球でいえば、昭和30年代に活躍された稲尾・金田・米田各投手らは連続登板を平然とこなしていました。今の投手が中4～5日ペースで肩を休め、肩をつくり直して初めてゲームに臨むことを考えると、まさに驚異的です。

スポーツ以外でも変化がみられます。私が小学校や中学校に通っていた時には、同級生でアレルギーの子供はほとんどいませんでした。老人性痴呆症も、昔は1つの町に1人いるかいないかという程度のものでしたが、現在では7～8世帯に1つの世帯で痴呆老人を抱えているといわれています。

近年になって、それまでにはほとんどみられなかったようなガンや心臓病、糖尿病などの生活習慣病が急増しているほか、いじめや自殺、登校拒否、青少年犯罪など、子供達にも大変な異常事態が起こっています。

わずか数十年ほどの間にいったい何が変わったのでしょうか？　なぜ、私達の体はこんなに弱くなってしまったのでしょうか？　家庭や職場、学校などの社会環境は快適になり、プロスポーツの現場でも優れた設備が整っています。現代の医療やトレーニング方法、個人の技術や能力が低下したのではなく、この数十年の間に起こった食生活の変化、有害物質の増加などによって、体が正常に機能できなくなったのです。

このような異常事態の根本原因は、間違った食事を続けてきたことで起こる細胞の代謝異常であるといえます。つまり、健康を維持するために必要な栄養素が欠乏していたり、アンバランスが生じているため、細胞がうまく働けない状態なのです。ミネラルやビタミンなど、不足している栄養素の補給を的確に行うだけで、健康のレベルを非常に高めることができます。〝細胞レベルで考える〟ことが「スーパーヘルス」のキーワードです。

この「スーパーヘルス」の理論を普及させるべく、講演や栄養指導で全国各地を飛び回っていたある日、私の携帯電話に突然、アントニオ猪木さんから連絡が入りました。徳島での講演会を終えた直後で、猪木さんの引退試合（1998年）の3カ月ほど前のことだったと思います。

私は大の猪木ファンなのですが、あまりに突然でしたので、本当に猪木さんご本人なのかどうか疑いました。猪木さんは電話で、「松葉杖を使わなければならないくらい腰や足が痛いけれども、よいコンディションで引退試合に臨みたいので、何かアドバイスしてほしい」ということを私に相談されました。そこで、私の栄養プログラムのひとつで、摂取したミネラルやビタミンを効率よく利用できるような体をつくるためのプログラムを猪木さんに取り入れていただきました。このプログラムを実行していただいた結果、猪木さんは比較的短期間で痛みを感じられなくなり、非常に喜んでくださいました。この出来事が猪木さんと親しくなるきっかけとなりました。

その後も猪木さんとは定期的にお会いし、1998年の初冬には、佐竹雅昭さんと3人で1週間ほどパラオ共和国にも行ってきました。これは、K—1から『プライド』に転向した佐竹さんを、総合格闘技に適した肉体につくり直すことが大きな目的でした。パラオでのトレーニングから帰国した後、3日間のファスティングや瞑想にも取り組んでもらいました。

佐竹さんを筆頭に、猪木さんからのご紹介で小川直也さんや橋本真也さんをはじめとする多くの有能な格闘家の方々とも交流を深めることができました。ほかにもさまざまな分野のスポーツ選手とお会いしてきましたが、私はその度に、スポーツ栄養学に関する正しい情報がいかに不足しており、それ故いかに必要とされているかを痛感しています。

当連載ではこれから、読者の方々の健康のためになる、最新の栄養学をご紹介していきたいと思っています。

おつき合いのほど、よろしくお願いいたします。■

▲還暦を迎えてもなお元気一杯のアントニオ猪木。猪木の健康維持の秘密は、山田先生との親密な交流にある！

プロフィール

杏林予防医学研究所所長
医学（分子栄養学）博士

1949年生まれ。ガンの治療法として米国ではよく知られるゲルソン療法など、野菜ジュースを使った体質改善に早くから着目。その効果について研究を重ね、予防医学理論に基づいた独自のジュース断食法「ファスティング」を確立。単なるダイエットとは一線を画した美容や健康管理の手段として、多くの著名人やスポーツ選手から絶大なる信頼を得ている。分かりやすく明快な指導が人気で、読売ジャイアンツの宮崎キャンプでの講演や『おもいッきりテレビ』への出演など、各方面で活躍。また、アントニオ猪木氏、長嶋茂雄氏、メジャーの新庄剛志選手や読売巨人軍の原辰徳監督、工藤公康投手、広島東洋カープの前田智徳選手など、数多くのプロスポーツ選手の栄養指導も積極的に行っている。

山田先生が所長を務める杏林予防医学研究所の健康アイテムは、http://www.yamadagenki.comでお求めになれます。もちろん『ファスティング・ダイエット』はグレート・アントニオでも好評発売中!

イラストレーション＝松本晴夫

ザッツ・ムチャリブレ ㉕

山本隆司

雨、真夜中、都会そして長州力……

WJプロレス、旗揚げシリーズの目玉だった長州力対天龍源一郎のシングル6番勝負。私はその6興行を公約どおり全部、見た。

ただし天龍が途中で頭部に違和感をおぼえて、ドクターストップがかかり第4戦以後の3試合はなくなってしまった。

それでも私は決してめげることなく、あったことを書き続けた。結果的に長州と天龍が3試合しかやらなかったことで、私的には逆に書きやすくなったこともたしかなのだ。6試合予定どおりやっていたら、むしろ書きようがなかったと言えるかもしれないからだ。

ゴールデンウィークの前に『ど真ん中の結末』というタイトルで本となって全国の書店に並ぶ。

さて、問題は長州が言った〝ど真ん中〟とはいったいなんだったのか？ そこに尽きる。本の中でいろいろ私は定義したのだが、最後に出た結論は「ど真ん中とは雨だった！」のだ。旗揚げ戦、3月1日の横浜アリーナ大会は、とにかく土砂降りの雨に見舞われた。

3月15日、第2戦の後楽園ホールの日も午前中は小雨。傘を持って私は家を出た。翌16日は仙台大会。仙台はきれいに晴れていたのに、日帰りで東京に着いたらなんと雨が降っていたのだ。

これはWJプロレスが雨にたたられたのではない。今の長州には雨がよく似合う。その雨も昼に降る雨ではだめ。夜、それも深夜とか真夜中に降る雨のことだ。

しかもそれは絶対に都会でなければならない。雨、真夜中、そして都会。私はこの三点セットが大好きになったのだ。もとはといえば雨は嫌いだった。第一、傘をさすのは面倒なことではないか？

ただ、深夜に降る雨は別。夜の暗さに雨はぴったりとはまっている。静かなのがいい。人の気配がないのがいい。都会が本当に目覚めるのは、実は真夜中なのだ。

その時、雨でも降っていたらもう、都会の独壇場である。本来は孤独なのにひとり舞台になる。

孤独であることと独壇場であることは、ほとんど紙一重なのだ。そこに都会の魅力がある。都会の夜の雨の魅力がある。それを見た時、私は無抵抗状態になる。雨に抵抗しても無駄だ。夜に抵抗しても無駄である。

この無抵抗感覚はなぜか私を自己回復させてくれる。生きていることに関して、あるいは人生に対して、もっというならこの宇宙に対して無抵抗な自分になりたい。

寺山修司はかつて「書を捨て街に出よう」と言った。私はもう最初から街と都会にいるのだ。

捨てるものがあるとしたら私の全てだ。全部を捨て去らない限り、私は私にはなれない。長州にも同じことが言える。だから私は『ど真ん中の結末』という本の表紙は、都会の暗い夜、雨の中を後ろ姿のまま右手を突き上げて去って行く長州のイラストにした。

もう、長州を語るにはこれしかないと思った。長州VS天龍の6連戦をストーカーした私のこれがその答えである。〝ど真ん中〟という言葉を最初に聞いた時、私は「それはひとりぼっちのことである」と定義したが、間違ってはいなかったのだ。そういう意味では長州に時代の影を痛切に感じる。■

はみ出し ターザン情報

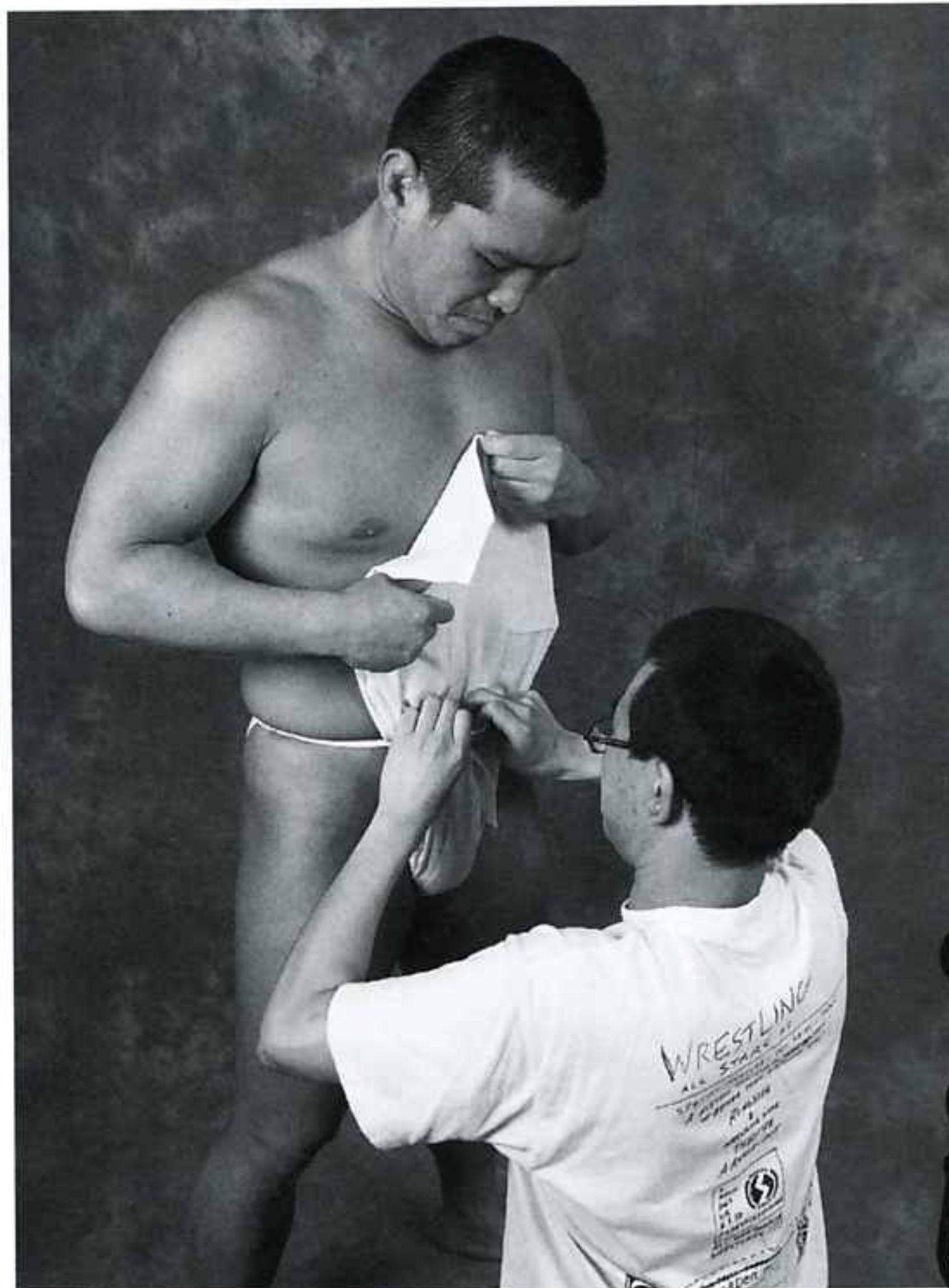
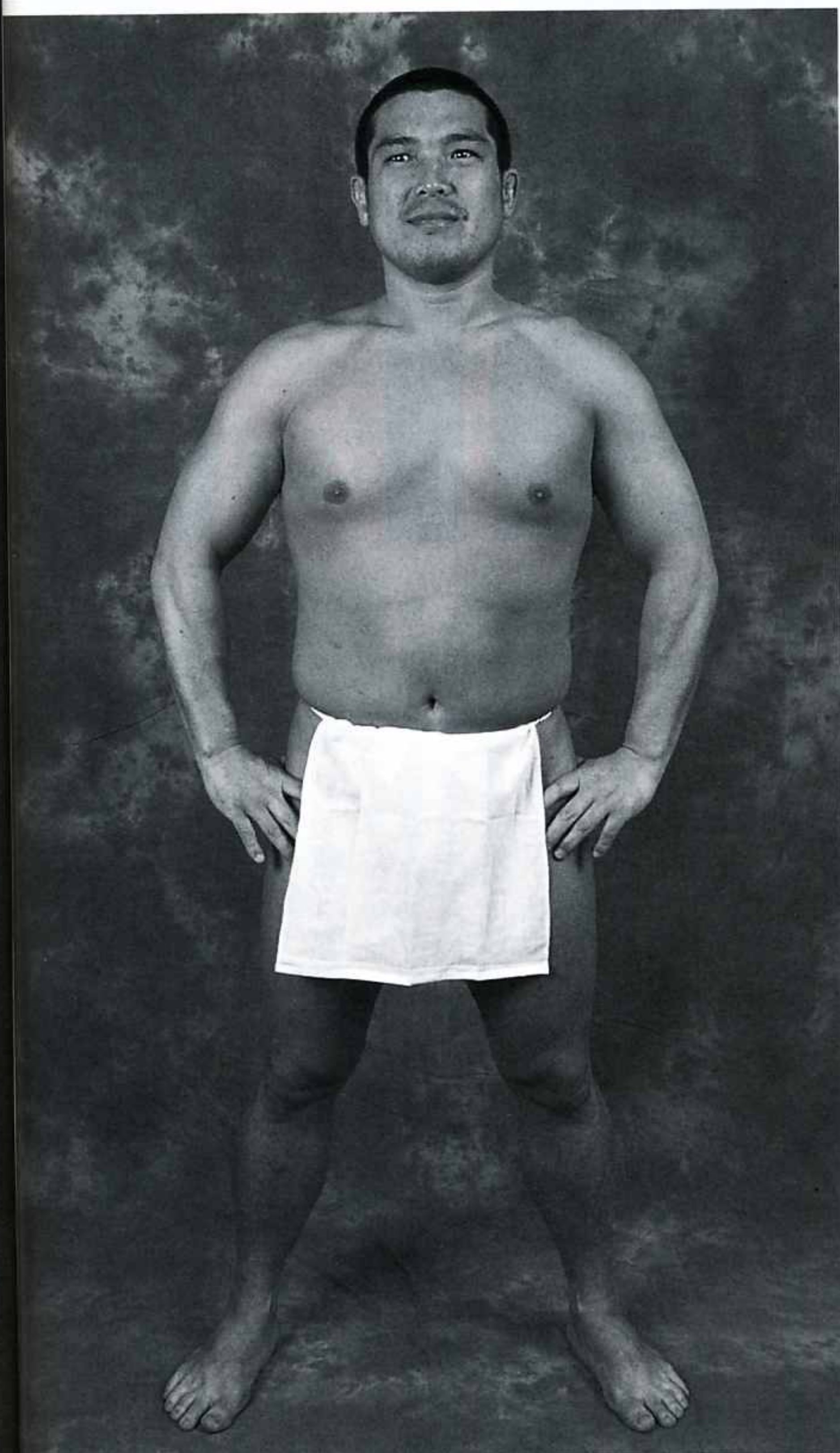
5・2ターザン山本トークライブ開催のお知らせ――「5・2東京ドームはターザン山本が語るしかない！」というわけで、5月2日（金）夜、新日ドーム大会終了30分後より、水道橋の格闘技プロレス図書館『闘道館』でターザン山本トークライブを開催します。参加費は2,000円。先着40名様限定なのでご予約は今すぐ！ お問い合わせは☎03-3512-2080 http://toudoukan.infoseek.livedoor.com

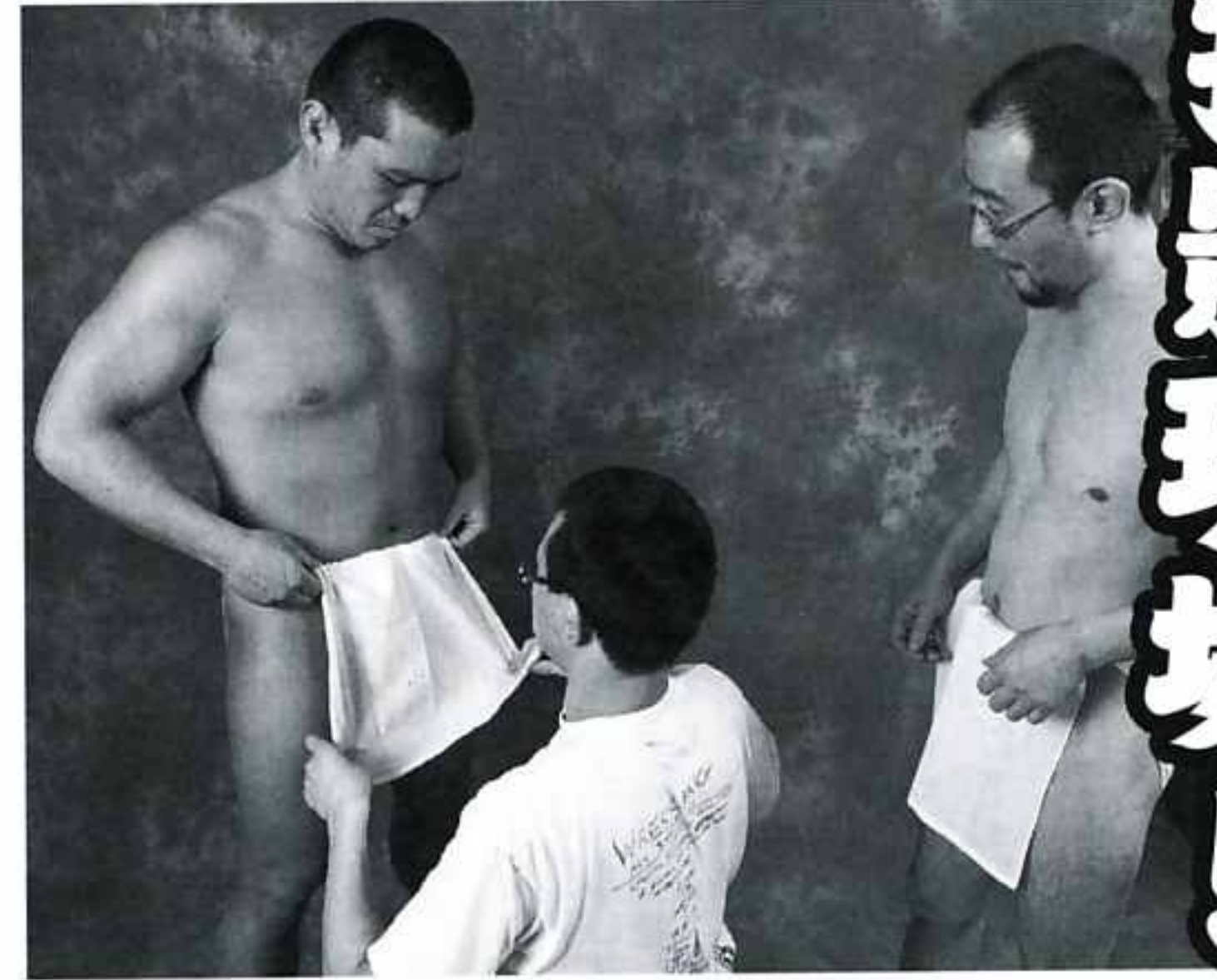
～お客様は神様です～

あぶもぐ 五月場所 千秋楽

ABNORMAL★MOGUTAN

親方◎小松モグタン

特別公開！ 小路晃のふんどし撮影現場！

①まずはふんどしの装着。腰ひもを結んでから、股間に布を通す

③見事にクラシックパンツを履きこなす小路選手。格闘家の皆さん、あなたのふんどし姿を読者の方々に見せてみませんか？

②布をキュッと引っ張り、しっかりと絞めたら装着完了。ちなみに、右にいるのは中村カタブツ氏。なぜか、自らふんどし姿に……

小路選手のサイン入りふんどしに応募が来て本当に良かった。これから、いろんな格闘家の方々にやってもらいたいと思っていますので、皆さんも普段からふんどしを着用して盛り上げてください。

小路のサイン入りふんどし当選者は "中村顕哉さん（30歳）"に決定！

褌馬鹿のコーナーについて。正直、格闘技雑誌にこんなコーナーができたなんて、少しビックリです。でも、小路選手の活躍には以前より関心があったので、こんな奇抜なコーナーでも日頃の練習の話題が取り上げられ、なかなか面白かったです。また、試合後の男泣き、悔し泣きの話など小路選手の人間的な側面が垣間見られて良かったです。ぜひ、今後も小路選手の記事をもっと掲載してください。今回のプレゼントの褌が当たったら、小路選手のファンとして家宝とさせてもらいます。
（中村顕哉・静岡県静岡市・30歳）
◆あなたに小路選手使用済みのふんどしをプレゼントしますので、ぜひ家宝にしてください。

小路最高！　そんな気分です。92号・P67の左の写真（上から三段目）のポーズは笑えました。本人は決めているのかもしれないけど、なんか変です。でも小路さんの人の良さや思いなどが伝わってきて小路さんのことをハッキリ言って今までは普通ぐらいだったけど、かなり好きになりました。ふんどしのサイン入りプレゼントっていうのもまた渋すぎます。しかも編集後記に"購入方法については次号で"っていうのも凄かったです。
（弓野浩二・静岡県静岡市・28歳）
◆これから下着はふんどしにしよう！

『**勝**者進化論 おまえが日本男児だ小路晃!!』を面白く読んだ。これからの活躍が楽しみだ。
（浜倉重昭・鶴島市・？歳）
◆ふんどし格闘家の活躍を祈るばかりです。

ふんどし姿になってほしいファイター一覧
★ボブ・サップ★エリオ・グレイシー
★ホイス・グレイシー★中西学★天田ヒロミ

◆もっと日本人ファイターになってほしいな！

小路のふんどしはなんかふざけた企画に見える。あんまりふざけた企画はどうかと思う。
（炭本哲栄・兵庫県姫路市・38歳）
◆これは大真面目にやっている企画なのになあ。

小路の写真が見苦しかった。
（高鶴紀明・東京都渋谷区・27歳）
◆見苦しいなんて失礼だ！　いっぺん、あんたもはいてみろ！

『**ジ**ャパン軍の意気込みを見ろ！』について。弱いのに何を言ってんだか。悔しかったら、勝ち越してみろ！
（井口登・大阪府茨木市・29歳）
◆引き分けだったので、もう少し柔らかく言ってあげてね。

谷川さん本当に勘弁してくださいよぉ〜〜〜〜〜〜〜〜。なんなんですか、ジャパン軍の闘いは!!　って今号には載ってないですけど、次のジャパン大会ではジャクソンVS武蔵をお願いします。
（藤井佑樹・埼玉県さいたま市・19歳）
◆ランペイジとジャパンの選手の試合は見たい！

『**サ**モアン・ビースト軍団が日本上陸』はパフォーマンスなどが馬鹿にしている。
（高鶴紀明・東京都渋谷区・27歳）
◆馬鹿にされていると思うなら、日本の伝統下着のふんどしパフォーマンスで逆襲してやれ！

藤田さんへ。中西戦はバードでお願いします。パンチ一発でKOして馬鹿がうつらないようにしてください。越中さん、サンボ越中に改名して大仁田選手と新しいFMWを創造してください。
（渡辺弘幸・愛知県名古屋市・34歳）
◆あんまり馬鹿馬鹿言うと、あなたにうつりますよ。誰の馬鹿か知りませんけどね。

もし、佐々木有生がアブダビで優勝したらその記念にパンクラス北海道大会を実行するべきだと思う。もちろんDEEPでもよし。あと横井宏考なら『プライド』北海道大会を見たい。
（安倍正典・北海道札幌市・30歳）
◆北海道と言えばすすきの！　某カメラマン氏の話によると、男性の楽園らしいですね。ンムフフ。

ジョシカクにも反響が続々！

92号で羽柴さんかわいいと思って大満足。だが、次のページは石原だ。これは反則っすよ。
（モー娘大すぎ・岐阜県可児市・18歳）
◆反則じゃねぇ！　おかずの幅を広げろ！　それから、ペンネームの「モー娘大すぎ」は「多すぎ」の間違いじゃないか？

羽柴まゆみはあんまり好みじゃない。どちらかと言うと、ジェット・イズミ派。
（神子広仙・東京都台東区・48歳）
◆う〜ん、さすがは48歳。恐ろしい！

女子格闘家特集及びエロサイト特集希望。
（佐々木基浩・兵庫県揖保郡・30歳）
◆エロサイトは自分で探すから意義があるんじゃ！

キャットファイトの特集もやってほしい。
（花田めぐみ・東京都国立市・32歳）
◆あなたは女性ですか？　変態気質が素晴らしいです。

プレゼントがださい！
（安部あすか・東京都町田市・15歳）
◆本誌柔道番長にちくるぞ！　昼飯時の恐怖を知っていたら、こんなことは言えないぞ！

（長南憲司・千葉県流山市・？歳）

（文秀貴也・埼玉県・？歳）

（シンペイ・タナカ・？・？歳）

（たかちん・神奈川県茅ヶ崎市・21歳）

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！　質問もOK！　強烈なぶちかましをお待ちしております。

あて先
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12神田NSビル8F
SRS・DX編集部『あぶもぐ』係

プロレス版 覆面 裏座談会 第12回

今、中西を応援しないのはおかしいよ！ もう、藤田に勝つしかないだろう

X 4月のプロレス界のビッグマッチはうまくいったのか？

Y まずＧＡＥＡの横浜文体の試合だろう？ 4月6日だったかなあ。

Z 客はよく入ったみたいだけど、あの髪切りマッチはねえ……。

X なんだよ、不満でもあるのか？

Z 結局、丸坊主になったのは長与じゃなくて、尾崎魔弓のほうだろう。それがさあ、髪を切られる時にはもっと恥じらいというものを持ってほしいよな。少なくとも女なんだし。べつにこっちは彼女たちに大和撫子を求めてるわけじゃないんだけど、あんなにはしゃいで坊主になっている写真を見ると、しらけるよなあ。

X それは言える。それを言うなら〝恥じらい〟という言葉そのものが、今の時代、日本では死語だろう？

Y そうだ、そうだ、死語だよ。女子レスラーの髪切りマッチを至上の喜びとしている落語家の快楽亭ブラック師匠はあの試合、見に行ったのかなあ。どう、思ったのか感想を聞いてみたいよ。

X なんでも髪を切る時、もの凄く興奮するんだって？

Y そうみたいだよ。変態チックでいいなあ。しかし30すぎたオバチャンレスラーではねえというところはあるよ。オレなんかやっぱり年若き女性が、髪を切るんのなら、そりゃ興奮するよ。

Z オレもそうだよ。東スポの担当記者まで丸坊主にした写真を見るとさあ、あれはやりすぎだよ。悪乗りしすぎ。男も女もトシはとりたくないねえ。

X オレはどっちかというと長与が負けてほしかった。そうしたらファンの女のコが長与と一緒にスキンヘッドになる予定だったんだろう？

Y そういう募集をＧＡＥＡはやっていたよ。あれはグッドアイディアだった。もしさあ、長与組が負けて坊主を志願したファンのコが、一緒に髪を切っていたら、そっちのほうがはるかに面白かったんじゃないの？

Z ファンを巻き添えにするというかさあ、いい話だったんだよなあ。前代未聞のスキャンダルと同じ。オレが『週刊プロレス』の編集長だったら、それを表紙にしたよ。『週刊ゴング』は無理だと思うけど、週プロならできたよな。

Y さあ、どうだろう。尾崎が坊主になるより、ファンのコが坊主になったほうがいいか？ そりゃそうだよ。

Z 長与が勝っちゃうところが微妙に予定調和しているんだよなあ。あと一歩の壁が超えられないんだよな。

Y それをプロレスやプロレス団体やプロレスラーに求めちゃだめなんだよ。それをやらない、しない、できないのがもともとプロレスなんだから。

X そう、そうなの？ それって全然面白くないじゃん。つまらないじゃん、しょっぱいじゃん。プロレスって猪木さんが言ってるように〝サプライズ〟がテーマじゃなかったの？

Z そうなんだよな。人を驚かせる。ファンの裏をかく。だったら長与とそのファンが髪を切ってもらいたかったよな。

Y プロレスってつまりはそういうものなんだよ。素振りは見せるんだけど、そこで寸止めするんだよなあ。

X それで団体はファンを裏切ったとは思わないのかなあ。だましたことと同じことになるんだよ。そういうビジネスって、もう長続きしないと思うけどなあ。

Z 続くのは続くんじゃないの。スケール感のない形で。それって村社会の論理なんだしさあ、べつにオレたちがガタガタ言う必要もないんだよ。村は村でしっかりやってくれ。それでいいんだよ。

X ところでこのコーナーに〝ターザンネタ〟がなくなったんだけど、なんかあのオッサンの話題はないのかあ。

Y なんか知らないけどチョコボール向井がＡＶの監督をやっている『ファック・ダウン』に出たそうじゃないか？

X 何、その『ファック・ダウン』って？ どんなことやるんだよ。

Z プロレスのリングでＡＶの女優が試合をやって、負けたほうがペナルティーファックされるっていう試合。

X へえ、そんなのあるの？

Z もう、ビデオが20本ばかり出ていて意外と人気あるみたいだよ。

X そこでターザンのオッサンは、何をやったんだよ。

Z まさかあのトシ（57歳）だからね。本人はＡＶ界の〝総裁〟になるっていうことを言っているみたいだけど。

X まったくムチャな57歳だなあ。

第12回プロレス版覆面裏座談会

どしょっぱかったぞ、嵐と本田のタイトル挑戦
あれをやっていたらジャンルは終わる

Y　どうせ先がないんだから好きなことやらせとけば、そのうちくたばるよ。

Z　それより新生『プライド』が6・8横浜アリーナでの、藤田VSヒョードル戦を発表しただろう？　あれ、どういうこと？　5・2ドームで藤田とやる中西は、バカ丸出しじゃないか？

X　ホントに間抜けな話だよな。藤田というのはいいセンスしてるよ。あれではもう中西とやる前から藤田の圧勝だよ。エンセン井上のところで練習している中西が、マンガにしか見えないもんね。中西ってそういう星のもとに生まれてしまった男なのかなあ。

Y　違うよ。だからいいんだよ。そんな中西を今こそプロレスファンよ、みんな応援しろと言いたい。急きょ〝中西応援シート〟の席を作るべきだよ。

Z　でも、藤田やカシンからあれだけバカ呼ばわりされたら、中西のことを応援したくても、ファンは尻込みしちゃうんじゃないのかな。

Y　オレは5・2ドームで中西に勝ってほしいんだよな。

Z　勝てないと思うよ。その可能性は10パーセントあるかないか……。

Y　そんなに低い確率なの？　賭け率にしたら9倍かあ。そりゃしんどい。新日版バーリ・トゥード5番勝負って、つまるところは中西VS藤田戦が、注目のカードなんだろう？

Z　そのとおり。

Y　じゃあ、それってバーリ・トゥードと言えるのって言い方もできる。

X　そんな理屈は言わないでとにかく5月2日は東京ドームに行くことだよ。すでに5千円のチケットは売り切れた。早くチケット買わないと出遅れるよ。

Y　それよりちょっと気になるのはプロレス界も格闘技の世界も、急に動きが減速してきたことだよ。スピードが落ちて勢いがなくなりつつある。その象徴的な出来事が、嵐の三冠挑戦と、本田のGHCへの挑戦じゃないの？

Z　あの2試合のタイトルマッチは日本武道館や有明コロシアムで、やるカードじゃないよね。嵐と本田を売りたいとか持ち上げたいとか、チャンスを与えたいとかいう気持ちはよく分かるよ。しかし、それと商売は別だろう。オレだったらそう考えるけどなあ。

X　タイトルマッチをやるとしても、武道館と有明コロシアムは厳しい。地方でよかったんじゃないの？

Z　三冠戦って東京と大阪ぐらいしかやらないんだよね。橋本VS嵐戦だって新潟とか熊本とか長野でもよかったと思う。地方のファンはそれで喜ぶし。

Y　そういう見方もあるな。小橋VS本田戦にも同じことが言える。あとオレはさあ、新日本プロレスとパンクラスの提携が気になるなあ。新日本の上井さんとパンクラスの尾崎社長の連携プレーというかタッグチームが、何かやらかしてくれるんじゃないかという期待はある。

Z　鈴木みのるのプロレス宣言のこと？　あれって一種のカミングアウトと言っていいの？

Y　もちろん、そうだよ。若い頃に格闘技やってトシとったらプロレスというパターンか？　それもありだよな。

X　でも、それってプロレスが格闘技の下に見られない？　格闘技で通用しなくなったからプロレスに流れていくみたいな。イメージいいとは言えないよ。だったらはじめからプロレスをやってもらいたいよな。そう思わない？

Z　いいんじゃないの。何かやっていてそこから転向してプロレスラーになるのがこの世界の法則なんだから……。■

Ⓒ平工幸雄

▲ここまで藤田に「馬鹿、馬鹿」言われっぱなしの中西だが、猪木が常々言っているのは「馬鹿になれ！」という言葉。藤田戦で本物の馬鹿っぷりを見せれば勝機は見えると思うのだが……

連載⑦ サダハルンバ谷川の プロデューサー日記

乱闘回避のため、サップは前日会見に出ず ビデオメッセージが意外にも大ウケ！

3月18日（火） お昼頃、テコンドー協会の方々がK―1事務局に訪ねてきてくれた。なんでも、最近は韓国でもK―1がテレビ中継されており、非常に関心が高まっているという。テコンドー協会の人たちからは「近い将来、韓国でもK―1をやったらどうか」という提案があった。韓国とか、中国といったアジア地域には、まだK―1は本格進出をしていない。私は「テコンドーやシルムの選手の中から、ぜひK―1ファイターを育ててください」というお願いをした。午後3時からは、K―1競技統括プロデューサーの角田さんのCS番組に出演。最近はこうして、角田さんと共にK―1をプロモーションする番組出演も増えた。夕方からは日本テレビで打ち合わせをした後、新日本キックの伊原代表と、「K―1MAX」の打ち上げを兼ねて食事をした。伊原代表はことあるごとに電話で「忙しいけど、頑張ってくださいね」と声をかけてくれる人である。本当にこの時期、こういう優しさが心に浸みる。また、この日はボクシング協栄ジムの2代目・金平会長ともご一緒させてもらったのだが、ボクシング界の現状を聞かせてもらったのは、大いに参考になった。私は「もしK―1MAXに興味のあるボクサーがいたら、ぜひ紹介してください」とまたしてもお願い。先代の金平会長はとても破天荒な人で、以前私に「私はボクシングのルールを変えたいと思っているんですよ」と言っていたことがある。ボクシングのような完成した世界で、こんなことを言うような人がいるんだなと驚いたことを思い出す。

3月19日（水） 午後、角田さんが所属するスーパーエージェントの社長と打ち合わせ。夕方からはずっとK―1で打ち合わせをした。当面の問題は、3・30K―1ワールドGPと、4・6K―1ジャパン山形大会を成功させること。格闘技のイベントをやるには、マッチメイクをするだけではなく、その大会を盛り上げるためのプロモーション、テレビ局やスポンサーとの調整、イベント制作、演出・進行、チケット販売、競技統括（レフェリーやドクター）といろんな仕事があって、それをチーム一丸となってやらなければ成功しない。舞台裏では、それこそ500人くらいの人が動いているのだ。それだけに細かい調整が何回も必要となってくる。大会2週間前ともなると、スタッフの作業はほとんど深夜にまで及ぶ。こういう人たちに支えられて、K―1はあそこまでのイベントを見せられているのである。しかも、今度は2週連続のビッグイベント。それぞれテーマが違うだけに大変である。

3月20日（木） この日もK―1で終日ミーティング。夜はミルコ・クロコップのクロアチアの代理人と食事をする。

3月21日（金） 久々の休みで一日中、家で寝る。

3月22日（土） さいたまスーパーアリーナで3・30大会の最後の総打ち。

3月23日（日） 新日本キック後楽園大会を観戦。伊原代表が魔裟斗を相手にエキシビションをやったのがおかしかった。新日本キックはなんといっても伊原代表がひときわ輝いているイベントである。また、確実にK―1MAXの影響が出ているのが嬉しかった。男を上げた武田幸三選手に声をかけ、「7月にやる世界大会にもぜひ出てください！」と言ったら、武田選手は嬉しそうに「自分はいつでも」と答えてくれた。本当にそうなってくれたらなぁ〜。

3月24日（月） 極真会館の総本部にお邪魔し、今年のK―1のスケジュールと出場選手のお願いをしてきた。その後K―1に戻って、またも打ち合わせの連続。夜はターザン山本さんなきあとの『サムライ！』の生ゴンにこっそりと出演した。角田さんと共に3・30さいたま大会の見所をたっぷり語らせてもらったのだが、角田さんのサップVSミルコ戦の技術解説にはまいった。この闘いを角田さんは「丸VS三角の対決になる」と黒板を使って図解解説。つまり、リングを丸く使えばミルコが勝ち、リングを三角にできればサップが勝つと言うのだ。当日のオンエアを見ていただいた方には分かると思うが、これが非常に納得のいく分かりやすい

イラスト◎チビ太

ものだった。さすが、角田さん！『サムライ！』の久々の出演を大いに楽しんだが、やることはまだたくさんある。K―1に戻って、また深夜までミーティングが続いた。

3月25日（火） 午後から本誌の座談会。そこでターザン山本さんに『サムライ！』に出演したことが発覚し、裏切り者の目で見られる。あわてた私は、なぜか『プライド25』の総括を「K―1的で面白くなかった」という、K―1プロデューサーにあるまじき発言をしてしまった。しかし、あとから「僕も同じ感想でした」という意見を何人もから聞き、自信を深める。それにしても、その『プライド25』を見に行かず、WJの長州VS天龍戦を見に行っている山本さんは凄い。『サムライ！』の一件といい、我が師匠はやはり全身プロレスラーである。私には絶対にできない生き様だ。

3月26日（水） この日から、続々と3・30さいたま大会に出場する選手が来日しはじめた。ピーター・アーツ、アーネスト・ホースト、ビヨン・ブレギー、そしてブラジルのジェファーソン・タンク・シウバ。選手が来日すると、それからは一日中、選手やジムの会長、プロモーターたちとのミーティングに追われる。特に今回は新体制になって初めてのワールドGPシリーズだけに、関係者とのコミュニケーションが必要。私はタイム・スケジュールを区切って、できるだけ多くの人とコミュニケーションをとることにした。その中で気になったのは、ホーストに元気がなかったこと。理由を聞くと、2週間前に弟が交通事故で他界したということだった。ホーストの弟といえば、セコンドとして来日したことがある人。私もなんとなく覚えていたので、その人が亡くなったのかと思うと信じられなかった。ホーストは一時、試合をやめようかと思うほど落ち込んでいたそうだが、弟のためにも頑張ろうと来日してくれた。その気持ちがどんな形で試合に出るのだろう。3・30さいたま大会は、そのフォータイム・チャンピオンのホーストから、今年のK―1が開幕する。

3月27日（木） ミルコが来日。夜、ミルコのクロアチアの代理人の自宅で歓迎のホーム・パーティーが開かれたので、そこに顔を出すことにした。ミルコは終始ご機嫌で、自宅で撮ったホームビデオを見せてくれた。そこでは、集まった友人たちの間でK―1ごっこが展開されていたのだが、50歳過ぎの太ったオジサン同士が、最初は遊びのつもりだったのに、最後は見事なパンチで失神KO！ それを見てミルコは大笑いして「ビューティフル・パンチ！ ビューティフル・パンチ！」と叫んでいた。本当にコンディションは良さそうだ。それと、この日は驚いたことが起こった。偶然にもミルコの代理人の隣の家に、なんと髙田延彦さんが住んでいることが発覚したのだ。そこで私は髙田家のチャイムを鳴らし、「髙田さ～ん、谷川です」とインターフォン越しに声をかけてみた。すると、たまたま自宅にいた髙田さんが驚いて登場。私のいたずら心がふつふつと沸き上がり、玄関にミルコを立たせることにしたのだ。当然、ドアを開けた髙田さんは、自分の家の前にミルコが立っていたので、二重にビックリ。目をまん丸くさせながら、ニコニコしているミルコと握手を交わした。髙田さん、怒ったかなぁ～。本当にすみません。

3月28日（金） 大好きなヨハン・ボス先生と昼食をとった後、試合前でナーバスになっているというボブ・サップとミーティングをした。この時、私は石井館長からあずかったボブに対するメッセージを読み上げ、自分自身もこれまでK―1のために様々なプロモーションに協力してくれたことに感謝した。そして、明後日の試合は、ぜひ頑張ってほしいと心から言葉をかけた。ボブは本当に嬉しそうだった。夜はスイスから来日したトーマス・キャッスルらプロモーターと、5・30スイス大会、6・14パリ大会のミーティングをした。

3月29日（土） いよいよ試合前日。しかし、困ったことが起こった。もしサップが記者会見でミルコに迫ってきたら、ミルコはその場で決闘も辞さないと言ってきたのだ。そんなことになれば試合はブチ壊されてしまうし、ミルコも帰国するという。しかし、それをボブに告げても「おとなしくしている自分はビーストじゃない」と一歩も引かない。そういえば今回、ミルコは自費でホテルまで換える気持ちの入れようだった。そこで、当日まで2人を会わせるのはヤバイということで、サップに記者会見を辞退してもらい、ビデオでメッセージを送ってもらうことにした。サップは裁判官の恰好をし、「ミルコに対して判決を下す。おまえは"死刑だ！"」と大パフォーマンス。それを見ながら、ミルコは大笑いし「彼はコメディアンだ」と一笑に付した。イベントプロデューサーとしてこの緊急処置は、集まっていただいたマスコミに申し訳ない気持ちでいっぱいだったが、逆にウケたようで翌朝のスポーツ紙では大々的に扱われていた。それにしても、K―1史上、これほど緊張感のある試合があっただろうか。本当にワクワクしてきた。

3月30日（日） いよいよ試合当日。満員の観客で埋まった開会式で、角田さんが涙を流しながら感動のスピーチを行った。ところが、いきなり第1試合のホーストが出て来ない。進行にトラブルがあったのか、このホーストの長い長い入場で、この日のイベントの磁場が全て狂ったような気がした。ブラジルの超新星は見たこともない大観衆に呑まれて実力を発揮できずに完敗。ノルキヤとオルロフの大巨人対決は、予想外の膠着試合。レミーと英国のボクサー、ペレ・リードは良かったけれど、アーツがまたもスネを割ってTKO負け。そして、うねりのような大歓声の中で、サップは劇的なKO負けを喫した。試合前、ヨハン先生から「いいマッチメイクだ」というお誉めの言葉をいただいたが、私としては決して試合内容には満足できなかった。何か歯車が狂った一日だった。結構、私は試合後、落ち込んでしまっていた。■

編集後記

▼「風呂無き部屋に風呂を！」をスローガンに掲げ、東急ハンズで材料を買い込み、自家製シャワーボックスを台所に設置したのが1年前。ギャグのつもりで使用してきたが、1年も続ければもはやギャグにもならん。変化のない生活にいいかげん腹立ち、行動の原動力にならない物事は捨てようと思い、先日、その一式を真夜中に近所の公園で破壊した。100回湯を浴びるよりスッキリした。（野尻）

▼最近、同じ業界の人と知り合う機会があって、名刺交換をしたら「佐藤さんは、ニックネームみたいなのはないんですか？」と聞かれた。たしかにありきたりの名字だし、紛らわしいし、ペンネームみたいなのは必要かなとも思うのだが、どうもねぇ……。そこで、姓名判断をしてみたら、本名のほうがこの仕事に適していることが分かった。よって、しばらくは本名のままで頑張ります。（佐藤）

▼さて、越中ふんどしの購入方法についてですが、本格的な物ならば、やはり専門の和装小物店や和物の衣類屋などでお求めになるのがよろしいかと思います。しかし、「手頃な値段で手に入れたい」という方には、大丸、三越といった大手デパートがお勧めです。男性肌着コーナーに行けば、「クラシックパンツ」といった名称で販売されており、今でも年輩の方には人気があるとのことです。（小松）

▼休みを取って韓国に行ってきた。新幹線で大阪行くより安いしね。んで韓国っていったらもう毎日焼肉ですよ！　本場だけあってやっぱりキムチもひと味違うねぇ！　と、休日を満喫したまでは良かったが、旅の疲れからなのか締め切りの週になって風邪をひくという大失態を演じてしまった。関係各位には大変ご迷惑をおかけしました。全面謝罪。だけどSARSじゃなくてちょっと安心。（橋本）

▼春休み、久しぶりに連休が取れたので、家族で鴨川シーワールドに行った。ウィークデーだったこともあり、アトラクションまでゆっくり見ることができた。水族館や動物園など、非日常の空間に身を置くのは、なんとも言えず心地がいい。ボクは海のない長野生まれのため、子供の頃から海に対する憧れが特に強く、魚は見るのも食べるのも大好きなのだ。まぁ、肉はもっと好きなんだけどね。（林）

▼4月26日で満57歳になった。もう終わりだ。私に残されたのは今日という1日だけ。あしたという1日だけ。還暦（60歳）まで365×3つまり1095回の1日がある。その1日をさらに瞬間、瞬間だけを生きる。そうすると有限であるはずのものが、一瞬だが無限なものに変わる錯覚を与えてくれる。これからはこの錯覚を生きがいとする。美しい錯覚をドン・キホーテしていくのだ。（山本）

SRS・DX
2003年5・8 No.93

発行・発売　株式会社扶桑社
〒105-8070
東京都港区海岸1-15-1
販売部　☎03-5403-8859

協力　フジテレビジョン
フジテレビ出版

編集　株式会社ローデス
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
編集部　☎03-3295-4445

発行人　満賀主水

編集人　谷川貞治

DESIGNER　梅村あゆみ
岩村唯是
水町由美子
su・plex
溝口真穂
小林善夫
2in1
ナール企画
NORTON
野尻雅友

屈辱！

『決定的転落』とターザンに書かれ、次の試合はリザーブマッチ!!

小林聡、怒りの反撃開始

「こうなったら、オレ以外全員敵だ！」

3・8全日本キック・ライト級トーナメントでまさかの初戦KO負け。本誌91号の『ザッツ・ムチャリブレ』でターザンに「決定的転落」、「時代は君に味方していない」と書かれ、大事な復帰戦も、連盟から用意されたのは18歳の山本優弥が相手のリザーブマッチ。この屈辱的な扱いに、本人は何を思っているのか。藤原ジムを訪れると、そこには頭を丸めた野良犬が。いったいどうした!?

撮影◎中島ミノル（インタビュー）
聞き手◎橋本宗洋

――うわ、その頭はいったいどうしたんですか！

小林 いや、ダウンタウンのビデオずっと見てたら「オレも松っちゃんみたいにしてみっかな」って。それだけっすよ。言っとくけど反省してるとかじゃないですから。

――その、前回の任治彬戦の負けに関してなんですけども。

小林 試合の後でみんなに「ナメてた」とか「モチベーションがなかった」とか言われたんですけど、全然そんなことないんですよ。今まで相手をナメて試合したことなんてないですよ。練習して減量して、勝つことを義務付けられて闘ってるのに、ナメるなんてできるわけないじゃないですか。ただ今回は、もしかすると自分自身そういうのがあるかも分かんなかったんで、日曜日の先生（藤原敏男会長）とのマンツーマン練習も続けたんですよ。『ムエマラソン』の時限定だったはずなんだけど。

――じゃあ練習は週7でやってたんですか？

小林 それで自分の中で「絶対に負けちゃいけない」って状況を作って。もうブッチギリで全部KOで勝つつもりでいたんで。ただやっぱり、こういう結果が出た以上、自分の中でなぜ負けたのかを考えましたけどね。ラッキーで勝つことはあってもアンラッキーで負けることってないから。負ける時には必ず原因があるんで。それは今は自分の中では分かって、修正してるつもりですけど。

――ルールに関しては？ ヒジ、首相撲からのヒザなしってことに不満を言ってましたよね。

小林 ホントは全然不満じゃないんですよ（笑）。だってオレ、ヒジとかヒザで負けることが多いからないほうがいいっちゃいいんですよ。ただ「ヒジで切られて終わると消化不良」とか「首相撲は膠着する」とか言われるから「そうじゃねぇだろ」ってなるんで。べつにルールはねぇ、基本的には気にしないっすよ。

――実際、出たわけですしね。

小林 それはまあ、いろんなことがあってですけどね。で、やると決めたら精一杯準備するのは当然のことで。

▲5・23後楽園大会で小林と対戦する山本優弥は、キャリア7戦、まだ高校を卒業したばかりの18歳。しかしトーナメント1回戦では花戸忍と延長までもつれ込む熱戦を演じ、小林とは対照的に評価を急上昇させている

▲主役でなければいけないトーナメント、その1回戦で韓国の任治彬（イム・チ・ビン）にKO負けした小林。これで一気に評価は急落してしまった

「時代が味方してない」って、最初から時代に逆行してるんですよ、オレは

『全日本ライト級最強決定トーナメント★決勝戦』
5月23日（金）後楽園ホール

花戸 忍〈高橋道場〉
任 治彬〈韓 国〉
大月晴明〈AJパブリックジム〉
大宮司進〈シルバーウルフ〉

★リザーブマッチ
小林 聡 vs 山本優弥
〈藤原ジム〉 〈空修会館〉

――それでも負けてしまったっていうのが、やっぱり今回は……。小林さんがとんでもないところで負けるのは今に始まった話じゃないんですけど（笑）。

小林 ある人に言われましたよ。「もう強いんだか弱いんだか分かんない」って（笑）。ただ、ラッキーパンチとは言いたくないですね。変な負け惜しみ言ったら、自分が上を食った試合までそれで片付けられちゃうじゃないですか。あの試合、自分じゃ意識がなかったんですけど、ダウンしてるんですよね。

――してましたよ。

小林 オレはスタンディングカウントが入ったんだと思ってたんですよ。それで止められちゃったから「こんの野郎、野ロぃ！ 止めんじゃねえよ」って思ってて（笑）。

――レフェリーに八つ当たり（笑）。

小林 友達は「やる気がないからガードしてないのかと思った」って。「やる気ねえわけねえだろ！」（笑）。まあ負けりゃあいろいろ言われますよ。

――いつも見てる人は、小林聡っていう選手が何度も負けて、常に這い上がってきたってこれまでの歴史を知ってるわけですけど。今回みたいな大きな大会で、たまに見られた時が勝負ってのもありますよね。

小林 ああ、そうですよね。

――それこそ（ターザン）山本さんみたいな人も含めて。山本さんは「時代が君に味方していない」って書いてましたけども。

小林 時代ったって（苦笑）。時代の流れに乗ってないことばっかしてますからね、オレ。最初っから逆行してるっつうんですよ。時代なんか味方してると思ってないから。今の状況だってそうだけど、やることなすこと裏目に出てますから。団体が変わればそこが分裂するしね。

――ジムも団体も相当移りましたよね。

小林 時代に味方もしてほしくないし。自分の時代は自分で作りゃあいいんで。流れに乗るんじゃなくて人と違うことやろうとしてるから。それはべつに山本さんが何を書こうが。ひねくれ者なんですよ。人が「こうだ」って言ったら、いつも「違うだろ」って言うタイプだから。だからこの前の試合で何を言われても、絶対的に強くなれば世間がほっとかないって自分じゃ思ってるから。最後はオレが正しかったんだってみんなに言わせてやりますよ。

――で、前回の負けをどうリカバリーしていくのかっていうのが大きなテーマなわけですけども。

小林 やっぱりねぇ、負けたらずいぶんな仕打ちをされますよね。

――それは全日本キックに。

小林 周りの声もそうだし、連盟も。今

度の試合も「リザーバーで」って。「じゃあいいよ。高校生でもデンジャー高山でも誰でもやってやるよ。その代わり見てろよこの野郎！」ってね。

──はっきり言って今回、エースとして団体を引っ張ってきた選手に対してかなり屈辱的なマッチメイクですよね。

小林 いっつもそうですからね。わざとオレを怒らせたがってんじゃないですか。だったらこっちもあえてそれに乗ってやりますよ。

──リザーブマッチってことになったのは、連盟側がトーナメントに最後の望みをかけてのことなのか……。

小林 本当にそうなのか、もしくは本当にバカにしてんのか（笑）。どっちでもいいんですけどね。どっちにしろムカつくから。

──ただ小林さん、ムカついてる時のほうがいい試合するっていう（笑）。

小林 そう思ってやってるんですかねぇ。まあ今回はヤツら、連盟との闘いでもありますからね。やるとなったらケンカ。もう全員敵ですよ。

──あと、今回の山本戦に勝っても、基本的には他にトーナメントの優勝者が出るわけじゃないですか。

小林 そうですね。

──そうなると、その後もしばらくはしんどい闘いが続くんじゃないですか？

小林 しんどいのか楽なのか分かんないですけどねぇ。ムエタイのチャンピオンとやるよりは楽でしょ。ただ、どういうのが楽なのかって考え方にもよりますけど。ムエタイのチャンピオンに挑戦する楽しさってのもあるし。

──まあ具体的に言えば、任にリベンジしてとか。

小林 ああ、任とは絶対もう一回やらないと。だからヤツにはトーナメントで優勝してほしいと思ってますよ。

──まあ任以外だとしても、優勝選手とはやりたいでしょう？

小林 でも、やりたいいっつってもやらせないですよ、連盟が（笑）。それより今回ですよね。どう転ぶか。

負けっぱなしじゃ終われない
オレは大勝ちするまで懲りないっすよ

──山本優弥っていう選手は意識したことありますか？

小林 まったく（笑）。

──やっぱりそうですか。

小林 テレビの解説やってる時に3回戦見て「ああ、いい選手だな」って思ってたくらいで。まずやるとは思ってなかったですよ（笑）。

──「オレが現役やってるうちにトップクラスまでくることはないだろう」っていう（笑）。

小林 そうそう。ただ、試合中に不敵な笑みを浮かべるじゃないですか。あれ見て「このガキ！」ってならないように（笑）。単純だからすぐなっちゃうんですよ。だからねぇ、今回だって、なんか言われたら「こんの野郎！」ってなって。

──つい出ちゃって（笑）。

小林 でも絶対的な自信があるから売られたケンカを買うんですよ。

──屈辱から這い上がってこその野良犬ですからね。

小林 疲れますけどね。もう1人の自分に「もうちょっとしっかりしろよ」ってツッコまれながら（笑）。「疲れるだけだろ、おまえ」って。

──「もうちょっと波風立てずにやれよ」と（笑）。

小林 その繰り返しばっかですもん。

──さっきの時代ってことで言うと、例えば31歳という年齢とか、15年というキャリアとか、そういう部分ではどうですか？

小林 いや、これは自分でも思うし、周りの先輩からも言われるんですけど、オレはもっと強くなるって。例えばスパーリングでできないことが多くても「ここまでだな」じゃなくて「もっとできるようになるな」っていう。試合だって、あれが精一杯じゃないですから。

──練習して、数値なり具体的に伸びてるわけですか。

小林 それもありますよ。質も量も。

──同世代の選手とか、辞めてる人も多いですけど。それは気になります？

小林 そんなに。

──正直、肉体的にもキツくならないですか？

小林 やっぱり職業病みたいなケガはありますよ。それはしょうがないですよね。嫌なら辞めりゃいいんですから。でもオレは何かを残したいからやってるわけだし。辞める勇気もないんですよね。

──辞める勇気。

小林 辞める人は、続ける勇気より辞める勇気のほうが勝っちゃったんですよ。試合前だってそうですよ。イヤでイヤでしょうがないんだけど「でも逃げ出す勇気ねえしな」って（笑）。じゃあやるしかないんですよ。

──前も「懲りない野良犬」って自分で言ってましたけど、まさに。

小林 オレは大勝ちするまで懲りないっすよ。負けっぱなしで終われないでしょう、だって。ギャンブルと同じですよ。負けても負けても続けるから大勝ちするチャンスもあるんで。負けて終わったら損するだけですよ。同じこと山本さんもどっかで書いてたから、分かってるんじゃないですか。

──それ山本さんにも言っときましょう。

小林 山本さんにも連盟にも見せてやりますから、オレが最後に大勝ちするところを。■

佐々木有生でもダメか！

どこまで続くアルメイダ旋風

撮影◎中島ミノル

以前から対戦を熱望していたアルメイダに挑んだ佐々木。ある程度の手応えは掴めたが、結果は判定負けに……

▲これでパンクラス参戦以来3連勝。あっという間にライトヘビー級トップクラスのポジションを手にしたアルメイダ。次はもうタイトルマッチしかないだろう

まさか、とは言わないまでも、佐々木有生はかなり驚いたはずだ。ヒカルド・アルメイダの闘い方は、戦前の予想とはかなり違ったものだったのである。

とにかくアルメイダのイメージといえば寝技だった。ヘンゾ門下の柔術家。アブダビでも好成績を収め、パンクラスのリングでも渋谷修身、美濃輪育久を相手に圧倒的なグラウンド・テクニックで勝ってきた。

となれば、グラバカの佐々木とはこってりした寝技の攻防が繰り広げられると思うのが普通だろう。美濃輪をさんざん苦しめたオモプラッタを佐々木がどう切り返すのか。パスガードを防げるか。あるいは佐々木がパスすることはできるか。佐々木に関してはスタンド打撃での勝機もありえるが、いずれにしても、アルメイダの寝技をしのがなければいけない。

世界トップ中のトップ、その寝技に佐々木がどう対処するのかがキーだったはずなのだ。

だが。きっとアルメイダにとっては、そういう予想を踏まえた上での今回のファイト・プランということなのだろう。佐々木が〝ここが勝負〟と思っているはずのポイントをことごとくスカしてきたのである。

象徴的なのが猪木―アリ状態の攻防だ。アルメイダはテイクダウンに成功すると、普段のようにそこからパスを狙うのではなく、立ち上がって猪木―アリ状態となる。そしてそこから、佐々木の顔面を横から蹴ったり、真上から踏み付けたりしてくるのである。もちろん、しっかり緩急を付けたり、フ

パスガードの攻防は回避 怒濤の顔面攻撃!

▲〈第6試合〉國奥麒樹真（ism）VS昨年のネオブラッド王者・門馬秀貴（A3）のミドル級戦は國奥の判定勝利。門馬は國奥の投げに逆らわず下からの攻めを選んだが、國奥の抑えの強さもあってか下になったままで試合を終えてしまった

▲この日一番の熱戦は第4試合。佐藤光芳（グラバカ）、渡辺大介（ism）両者ともスタンドでも打撃でも一歩も譲らず。終盤、アームバーを極めかけた佐藤がやや優勢だったが、ジャッジの採点はドローとなった

★第7試合・メインイベント/ライトヘビー級5分3R

○R・アルメイダ×佐々木有生●

〈ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー〉〈パンクラスGRABAKA〉

（3R判定3-0）

※採点…30-28、30-29、30-28

▲熾烈な寝技戦が予想されたこの試合だが、意外やアルメイダは自ら立ち上がって顔面蹴り（踏み付け）や体重を思いっきり乗せてのパンチをメインに攻めてきた

▶差し合いからテイクダウンした佐々木だが、アルメイダは倒れつつ回転し、バックからマウントへ。こういうところはさすがのうまさ

力の差は紙一重。それを大河に見せる術をアルメイダは知っていた

▲アルメイダは差し合いを嫌い、離れた間合いからのタックルで上になることが多かった

▶2R。アルメイダの飛び蹴りをスカして上になった佐々木は、さらにバックも奪う。一瞬、チョークの体勢にも入ったのだが、アルメイダもしっかり切り返す

After the fight

アルメイダのコメント 勝

「ササキが対戦相手ということで、僕はムサシになって寝技と打撃の二刀流で闘ったんだ。試合内容に関しては満足してるけど、お客さんが見てるエンターテインメントだってことも忘れずに心がけていた。ドロップキックを出したのもその一つだよ。キクタとコンドウの勝ったほうと対戦？ オファーがあればね」

佐々木のコメント 負

「もっとパスしてくるのかなと思ってたら、殴ってきたり、蹴ってきたり、立ってきたんで。もうちょっと自分から下になってくれるかなって思ってたけど、僕もパスしていきますし、そういうのが頭にあったんでしょうね。（チョークは）これで取ったら凄いなって思ったんですけどね。すいません、今日全部判定になっちゃって」

エイントを入れるのも忘れない。

普通なら、佐々木も簡単に立ち上がれただろう。だがアルメイダのスキのなさ（なにせアルメイダはここを勝負どころと見ているのだ）に、防御で手いっぱい。

また佐々木は四つに組んだ状態でのテイクダウンをかなり練習してきていたが、これもアルメイダにスカされる。差し合いが少し続くと、アルメイダはパンチやヒザを入れながらスッと離れてしまうのだ。試合のペースは終始アルメイダのもの。結局、目論見を外されまくった形で佐々木は判定負けに終わった。

たぶん、佐々木とアルメイダにはそこまで大きな力の差はないはずだ。テイクダウンする力、ガードをパスする力、極める力などをそれぞれ比べていけば。

ただ、その力量を真正面から確かめようとした佐々木に対し、アルメイダは「力量差が少ないのなら、ではどうやって勝つか」という試合の仕方をした。ガードポジションの攻防をしていたら、ひょっとすると差がつかずに終わってしまうかもしれない。じゃあ別のやり方で勝てばいいじゃないか、と。つまり佐々木は正直すぎた。あるいは純情すぎたというべきだろうか。

今の佐々木とアルメイダの差は、要は世界レベルでどれだけ揉まれてきたか＝差のない相手とどう闘うかの経験だろう。コメントブースでの佐々木の表情が意外に落ち着いていたのは「とにかく自分はこのクラスの相手と闘い続けていくんだ」と腹を括っているからではないだろうか。

（橋本）

パンクラスに"プロレス部門"設立!!
その名も『パンクラスMISSION』

鈴木みのる、あえてismと袂を分かち古巣・新日本でのライガー、蝶野戦へ

▲4月17日、パンクラス東京道場で行われた記者会見には鈴木とともに尾崎允実社長、坂本靖常務が出席

▶坂本常務より『パンクラスMISSION』ロゴマークの発表。赤と黒がクロスしたオリジナルロゴを「背負って前面に出る」形になっている

◀4・12後楽園大会では、出場したism所属選手5人中4人（KEI山宮、渡辺大介、北岡悟、大石幸史）のセコンドに自ら付いた鈴木。これが"最後の教え"であったのか

旗揚げ10周年のパンクラスに、また大きな動きが起こった。『週刊ゴング』誌上のインタビューで、鈴木みのるが「新日本のリング、ルールで獣神サンダー・ライガーと闘いたい」と発言。これに対しライガー、蝶野正洋も誌面でエールを送ったことから、鈴木の新日本プロレス参戦が急浮上してきたのだ。

以前から「パンクラスは僕が追究してきたプロレスの一つのスタイルで、自分はプロレスラー」と語ってきた鈴木だが、今のパンクラスのリングで行われているのが総合格闘技であることもまた事実。"純プロレス"参戦のための「ケジメ」としてパンクラスを抜けることも考えたという。

4・12後楽園大会終了後に行われた会見では、尾崎社長が「もうちょっと形にしてからご報告したい」と語ったに留まったが、4月17日に改めて行われた記者会見で、その概要が明らかになった。

それは、パンクラスの新セクション『パンクラスMISSION（ミッション）』の設立。この『ミッション』には「使節団」という意味があり、「パンクラス・マットを離れた場で、ルールやスタイルの枠にとらわれない活動を展開する別働隊。その使命（MISSION）はパンクラスの存在を、より幅広い層に伝道（MISSION）していくことにあります」という。

尾崎社長の説明によれば『ミッション』は「プロレスルールの試合とパンクラスルールおよび総合ルールの試合に両方出場する選手、もしくはプロレスルールの試合のみ出場する選手が出た場合」に所属となるもので、パンクラスの興行ではプロレスの試合が行われることはなく、「ミッションの選手がパンクラスで試合する場合は、全てパンクラスルールに準じたものとします」と、パンクラスの試合とプロレスを明確に区別した形をとっている。なお、鈴木は『ミッション』所属の選手となり、ismの所属、道場長からは外れることに。練習場所は未定だが、パンクラスルールの試合を続けることに変わりはなく「強くなる練習はismの連中と一緒にやりたい」という。

鈴木は「やっぱり闘いたいのはライガー、蝶野。僕自身はスタイルとかルールとか考えてない。殴って蹴って倒して、まいったと言わせりゃそれでいい。ただ新日本のリングはそんなに甘くないと思っているので、真剣に取り組みたい。しばらく（プロレスに）専念しようと思ってます」と決意を語った。すでに尾崎社長と新日本・上井取締役はこの件について会談を持っており、鈴木の新日本参戦は決定的と言っていい。

出撃態勢の整った鈴木は5・2新日ドームで謙吾のセコンドとともにテレビの解説を務めるという話があり、ライガーとのコンタクトは必至。そこからドラマが動き出すことになるだろう。（橋本）

チャップマン、股間に凶暴ヒザの嵐 SBに魅惑のヒール誕生!?

痛～い、痛～い、本当に痛いのだ!! 最強サワー、寝転んだまま悲しい勝利

チャップマンのヒザが、再三男の泣き所を直撃する。結局、反則決着になったが、SBに新遺恨の誕生だ

▲金的攻撃を受けて、もだえ苦しむサワー。こんなシーンが3度もあった

反則はもちろんいけない。しかし、いかなる所業もレフェリーが反則と認めなければ、それは「正当なもの」というサインなのだ。頭突きでも噛みつきでも、金的でも。少なくともプロの定義とは、そういうものだ。

昔、ハリー・グレブというボクサーがいた。ダーティ・テクニックの史上トップ10を作ると、必ず名前が挙がるボクサーだ。普段はしごくまともなファイトをやるのだが、対戦者が汚い手を使ってくると闘いっぷりが一変する。ある時、立て続けに頭突きされた。レフェリーは注意しない。そこでグレブは何をしたかというと、相手の頭を左腕で抱え込み、その目を右の親指で突っつき始めた。レフェリーが見かねて声をかける。「キミ、何をしているのだ?」。するとグレブは答える。「ヘッ、知らないんですかい?、これがサミングというヤツでさぁ」。レフェリーはもう何も言わなかった。

この日、もっとも残念だったのは、チャップマンの『プロの技術』に、グレブほどの説得力がなかったことだろう。

1Rのことだ。サワーがはっきりしない。だいたいこの男、リングに上がった時から、きちんとグローブを装着していなかったのだ。ゴングが鳴っても、出方をうかがうばかり。まずは偵察気分だったろうが、これが待たされ、じらされたチャップマンの心証を悪くした。首を掴んでのヒザ蹴りが、モロに股間を捕らえる。サワーの上体が沈んで、レフェリーはブレイクをかけるが、チャップマンは「何も聞こえません」とばかりにな

シュートボクシング
S of the World vol.2
4.13★後楽園ホール

面白けりゃ、なんでもOKじゃないけれど、因縁の再戦が今から楽しみだ

▲リング上では「ごめんなさい」と言っていたチャップマンだが、あとでサワー側からねちっこく抗議されると「キル・ユー！」

▲「2人を必ず再戦させます！」。両陣営は乱闘寸前、観客も険悪なムードとなったが、シーザー会長がなんとかその場を収める

▼チャップマンの右ミドル。スピード、切れ味とも間違いなく一級品だ

▲パンチ中心に反撃を試みるサワーだが、もうひとつ迫力がない

After the fight

サワーのコメント 勝

「少なくとも（金的を）3発やられた。ああいう形になっても試合続行になったのは納得できない。ボクの反則勝ちは当然だけど、もう少し早くそういう決定をしておくべきだ。ヤツがムエタイをやっているといっても、ここはシュートボクシングのリングだ。まずルールから覚えてほしいね。できるなら、すぐにでも再戦したい気分だ」

チャップマンのコメント 負

「もちろん残念な結果だけど、あんたたちはどう思う？　そう、君たちの思っているとおり。本当はオレが勝っていたんだ。オレのヒザが強すぎて、サワーは何もできなかったじゃないか。ビデオを見てもらえば分かる。あれは金的じゃない。サワーなんてどうでもいい選手だ。もう一度闘ったら、今度は完全にノックアウトしてやる」

★第9試合/メインイベント（3分5R）
○A・サワー×S・チャップマン●
〈オランダ/リンホージム〉〈ニュージーランド/フィリップラムリーガージム〉
（延長1R1分01秒、反則）
※チャップマンの金的蹴りのため

おも右ヒザで蹴り上げる。「最初は金的。2発目はストマックに決まってよけい苦しかった」とサワーは後で言ったが、ダブルでダメージを受けたのだからたまらない。サワーはマット上で悶絶することになる。

結局、5分ほどのインターバルのあと試合は再開となったが、その時にはサワーの戦力は、半ば破壊されてしまっていた。SB最強を誇示するように、初めてロングタイツで登場したが、攻めはまったく冴えない。パンチも蹴りも単発だ。一方のチャップマンが素晴らしいだけに、その精彩のなさがよけいに目立った。

昨年のK—1　MAXでも目を引いたが、チャップマンの攻撃はどこまでもスピーディで、カミソリのようによく切れ、さらにスキルフルだった。それでいて、一度反則となったにもかかわらず、ヒザを連発する大胆さ。そのうち何発かはサワーの下腹部を捕らえた。

4Rにこの反則が認められて、チャップマンが減点をとられなかったら、引き分け延長戦もなかったろうが、闘いが続行されたことで、サワーはよけいに悲惨な結末を迎えることになる。延長ラウンド、またしても金的攻撃を受け、あえなくリングに沈む。レフェリーはもう続行を許さなかった。

チャップマンの股間攻撃が、意図的だったかどうかは分からない。いやいや、そもそも反則はアスリートとして恥ずべき行為である。だけど、このあと引く決着がSBをさらに面白くする。そんなことを考える私は、まことに不謹慎であるのだろう。

（宮崎）

あの緒形健一が怒っている！

「SBが外国人天国？ふざけるな!!」

▲勝利にもその表情は曇ったままだった緒形健一。「SBのこのリングを日本人に取り戻す」と、試合後は烈しく宣言した

After the fight

緒形のコメント 勝

「ちょっと力んでしまいましたね。（マホーニーは）長身だし、前に出てこないんで、どうしようかなと考えすぎちゃいました。ボディへのパンチがいいタイミングで入ってくれました。試合内容については、それ以上話すことはありません。それより、自分には高い壁、目標があるんで。それがまた今の自分には楽しいんです」

▼マホーニーは決して弱い選手ではない。ヒザの鋭さはチャップマンにも劣らないものだった

マホーニーを左のボディブローで破壊 日本のエースの意地を感じたぞ

★第8試合（3分5R）

○緒形健一×R・マホーニー●

〈シーザージム〉 〈ニュージーランド/ヴァルハラムエタイジム〉

（3R1分50秒、KO勝ち）

※左ボディストレート

▼左ジャブをボディに浴びて、あっさりとマホーニーはダウン。そのまま立てなかった

▲スーパーフェザー級王者の及川知浩は、ヒジの名手カチャスック・ピサヌラチャイをパンチで圧倒。5R、タオル投入のTKO勝ちを収めた

▲長身のレイランド・マホーニーにやや手を焼いた緒形だったが、攻めの正確さでは数段上回った

直前になってのハプニングである。両者顔を合わせての、レフェリーの注意の最中、マホーニー側が注文をつける。「ヒジは禁止なのか？」。幸いすぐに解決したが、こういった基本的な確認は、ちゃんと事前にやってもらいたい。

で、始まった試合だが、なんだかあっさりした印象のまま進み、そして決着のほうもさらりとついてしまった。長身のマホーニーはヒザ蹴りに鋭さを見せたものの、概ね消極的。緒形の攻撃ももうひとつ淡泊だったが、2R、いきなりこのマホーニーを捕まえる。シャープな右ローから、右ストレートをボディに一発。マホーニーは腹を抱えて倒れ込んでしまった。

そして3R、緒形はプレッシャーを強める。左右ローで追い立て、最後は左パンチ。ストレートというかジャブという感じで、それほど強く打ったようには見えなかったが、これがみぞおちにジャストミート。マホーニーはしゃがみ込むように崩れ、そのままカウント10まで立ってこなかった。

お茶漬けサラサラ感覚で終わった試合のほうは、まあこの辺でいいだろう。それより試合後のほうが面白かった。むんずとマイクを奪った緒形が、いきなり宣言する。

「外国人天国？　そりゃなんだ！　はっきり言って頭に来ています。このリングを必ず日本人に取り戻してみせる！」

そうだ。怒れ。エースならよけいに。この日、パンフレットさえ「日本最弱」と大書してある。どんなにハイレベルになっても、SBがもっと面白くなるのは日本側の奮起があってこそだ。

（宮崎）

シュートボクシング
S of the World vol.2
4.13★後楽園ホール

これが『本場』の奥義というものか!?
宍戸大樹、前ムエタイ王者に完敗

▶64キロと全盛時よりかなり重いテーワリットノーイには、切れこそなかったが、そのうまさが光った

▲宍戸の右パンチ。しかし、テーワリットノーイの巧妙な試合運びに、その攻めは散発に終わった

▼この美しいハイを見よ。前ラジャ王者という肩書きはだてではない

▲テーワリットノーイの前蹴りが直撃。宍戸の顔面がグシャリとつぶれる

★第6試合（3分5R）
○テーワリットノーイ・SKVジム×宍戸大樹●
〈タイ〉　〈シーザージム〉
（5R判定2-0）
※採点…50-50、50-49、50-49

宍戸はSBの若手ではピカ一の存在だ。とにかくテンポが速い。波に乗った時の歯切れの良さは、観戦者としてもとても心地いい。昨年は8戦全勝。看板選手となる日も近い。だが、この日はそううまくはいかなかった。なにしろテーワリットノーイは、つい先だってまでラジャダムナンの王者だった男だ。宍戸がパンチを当てても、のらりくらりと間合いを作り、後続の攻撃を許さない。時おり印象的なミドルや前蹴りを飛ばしてくる。展開を変えようと宍戸が投げを試みると、逆に背後に回って尻にヒザを蹴り上げる。3R以降はことさらで、テーワリットノーイが投げかける難題に宍戸は解答が見つからず、やきもきしながらラウンドを過ごすことになる。だが、それも考え方次第。テーワリットノーイは決して倒しにはこなかった。いかに試合を流して、勝つことにこだわった。それも対戦相手の強さを認めたからだ。今の宍戸に必要なものは経験。それだけだ。（宮崎）

「魔裟斗どこにいるんや?出てこんかい」
激勝の後藤龍治が吠える、吠える

▶長身のフンファーは、初回、後藤を棒立ちにさせ、手強いところを見せたのだが

◀試合後の後藤は絶口調。リング上から魔裟斗を意気地なし呼ばわりだ

▲後藤の怒濤のパンチ連打が炸裂する。フンファーは3R以降、危険な状態が続いた

▲フンファーは最後に失神するまで3度倒れた。いずれもマットに叩き付けられる痛烈なダウンシーンだった

★第7試合（3分5R）
○後藤龍治×フンファー・タニヤマ●
〈STEALTH〉　〈タイ/谷山ジム〉
（4R1分59秒、KO勝ち）
※パンチ連打。フンファーは3Rに左フック、4Rに右ストレートでダウン

試合後の後藤はことのほか雄弁だった。会場に来ているはずの魔裟斗を、リング上から呼びつける。「自分が勝ったヤツのリングに上がるんが、そんなに怖いんか」と挑発した。結局、魔裟斗は姿を現さなかったが、後藤の気持ちがそれくらい盛り上がるのも当然なほどの派手な試合だったのだ。初回、フンファーに右ストレートを決められ、後藤は棒立ちになる。その後の連打に直面して、あわやKO負けのピンチだったが、ここはなんとか生き延びた。そして2R、いつものテンポのいいローでリズムを取り戻すと3R、今度は後藤が本領発揮する番だ。左フックで効かせて、ノーガードのフンファーにパンチの雨。最後は再び左フックでなぎ倒す。フンファーもよく粘り反撃に出るのだが、一度つかんだ流れを後藤は逃さない。4R、右ストレートでまた倒す。ヨロヨロと立ってきたフンファーに最後は右パンチ。顔からマットにダイビングしたタイ人はそのまま失神した。（宮崎）

5月11日、大道塾・北斗旗全日本体力別大会（宮城県スポーツセンター）開催！

酔いどれ空手、再び！

大道塾塾長・東孝が語る

日本武道と日本酒!!

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）　撮影◎中島ミノル

“格闘空手”大道塾塾長・東孝といえば豪快な男。その飲みっぷりといい、ざっくらばらんな語り口といい、無骨で愛すべき酔っぱらいである。そんな塾長に、5月11日、宮城県スポーツセンターにおいて開催される大道塾・北斗旗全日本体力別大会の見所と日本の武道とは何かについて聞いてみる。

——塾長、いよいよ5月11日に北斗旗の体力別大会が開催されますね。

東　もう3月始めから予選会だとか審査会とかで、各地を飛び回って、打ち上げもあるしで大変です（笑）。

——ご苦労様です（笑）。

東　でも、今週が最後なんだよ、国内は。あとは、恐怖のモスクワだから（笑）。

——相当、胃にきそうですよね。

東　いや、冗談じゃないんだよ！　連れてってる選手が飲まない奴だと全部俺に集中攻撃だからね。

——でも、飲むのは嫌いじゃないですよね（笑）。

東　いやいや、向こうのレベルは凄いから。それに国内予選終わった後で結構俺も胃が疲れてるわけよ。だからね、今日だって事務局長に怒られちゃう（笑）。

——ワハハハ！　怖いですか。

東　怖くはない！　そんなことは言えないでしょ（笑）。

——だけど、モスクワの歓迎は全てにおいて日本の常識を超えてそうですよね。

東　いや、本当にねぇ、アエロフロートがスポンサーだから。日本だったらＪＡＬがスポンサーになってるようなもんで、今回も日本からの選手団を招待よ。

——金あるんですね。

東　もう大変なことだよ。試合会場も一流の所だし、泊まる所も、それこそクリントン大統領が泊まったっていう、五つ星ホテルだから。泊まってる人間もそれ

海外で尊敬される日本人って
ビジネスマンじゃないよ、武道家だよ

こそ、超エリートなビジネスマンばっかりだから。みんな秘書なんか連れて優雅に朝食とってるわけよ。で、2階からは生ピアノの音が流れて来るわけ。

――その中を先生たちは道衣なんですか。

東　いや、朝トレ後のジャージ（笑）。

――素晴らしいですね（笑）。向こうのスポーツ界って、政府の上のほうと直結してるんですよね。だから、待遇とか本当にいいらしいですね。

東　いいよ。パスポートチェックなんか向こうがしてくれるし、荷物チェックもVIPルームで飲んでるうちに終わって、そのままサッと出れる。

――で、ホテル着いてみれば超豪華。

東　最初行った時びっくりしたよ。空手衣着てる人間が2、30人居て畳敷いてあるわけよ。そこ一流のホテルだよ。で、何してるのかなって思ったら、「これから基本やるから先生見てください」って言うわけ（笑）。俺はびっくりしたよ。基本やったり、試し割りやったり。そこの支配人も弟子なんだけど牛耳ってるよ。

――気持ちいいですね（笑）。

東　凄い。だからある意味、俺が日本でやりたいことを先にやられちゃってるから。ウラジオストックの支部なんかは大学に大道塾の授業があるんだよ。本当にまさに社会体育だよ。

――その中で大道塾の塾長が来たってことになるとやっぱり、

東　もう大変（笑）。あれはねぇ、一回マスコミにも見てもらいたいねぇ。

――海外って空手を武道としてキチンと捉えてるんですよね。

東　いや、本当そうだよ。俺なんか、モロに戦後教育受けてきた人間だから、そういうものをどこか軽視する教育をされてきたのよ。だけど、実際、自分が空手を始めて海外に行ってみたら日本人として評価されてるのはもしかしてこっちのほうじゃないかってね。武の道なんだよ。

――その待遇を見てても分かりますよ。

東　だからね、日本は経済大国だって幻想持った時期があるじゃない？　でも実際、あの時海外の人間が見てたのは、金持ってる日本人だから大事にしようっていうことであって精神的部分で尊敬してたかって言ったら、はっきり言ってなかったんだよね。でもその時武道だけは何か違うっていうか、西洋の騎士道に通じるようなものとして見てたんだよ。

――まなざしが違いますよね。

東　今、格闘技が流行ってるだろう。でも、精神性がなければ外人には勝てない。体力が全然違うし、ハングリーさでも勝てない。じゃあ、どこで日本人が踏みとどまれるかって言ったら、やっぱり武道とかそういう精神的なものに対する誇り。命賭けて、絶対これは譲れないんだって気持ちになれなかったらやっぱり難しいとこよ。う～ん、今日はいい話してるなぁ。どうなってるんだろ？（笑）。

――毎回いい話してるじゃないですか（笑）。

東　でも、俺、自分でこういうことやってるから言うんじゃないんだよ。実際にね、海外行って例えば超一流のレストランとか入るとするよ。そこには日本人の超一流の商社マンとか政府関係の人が居るわけ。そいつらが最初は俺たちが武道で来たって言うとフンみたいな感じで見てるわけよ。ところが外人はどっちを尊敬するかって言ったら、俺たちなわけよ。「空手教えてください。柔道教えてください」みたいな感じで。そうすると日本人の商社マンも悔しそうな感じして話かけてくるわけよ。もうね、ザマミロって思うんだけどさ（笑）。

――ワハハ！　先生は最高です（笑）。

東　それは本当に思った。これってもの凄いことなんだなって。

――やっぱり1回外に出て見直したほうがいいんですね、日本ってものを。

東　そうだねぇ。武道っていうのはそれぐらい凄いものなんだよ。俺にしたって1回、柔道を断念して、それでもやっぱり『空手バカ一代』とか見てから、もう1回俺でも最強とかそういうの目指せるんじゃないかなって思って。特に空手っていうのは普通の人間でも強くなれるイメージ凄くあるじゃない。で、大山館長は大きい相手に勝ってるわけだから。そう思って俺は始めたわけよ。だから本当に俺、極真辞めた時、裏切ったとかどうのこうの言われたけど、当時俺は極真が最高だと思ってた。俺にとっての極真は最高じゃないと許せなかったわけね。それには顔面入れなきゃダメだし、投げ入れなきゃダメだし、関節入れなきゃダメだっていう、そういう発想だったからね。

――極真時代もそれを主張してたんですよね、先生は。

東　してたよ。支部長会議のたびに言ってたからね（笑）。

――そんなに言ってたんですか（笑）。

東　もう館長、俺が手を挙げるたびに「また君か」って嫌な顔してた（笑）。

――でも、今、『プライド』なんかも打撃中心の時代になってきたんですよ。塾長が昔から言ってたことが現実になってきてるんですよ。

東　俺自身はね、前から1対1になったら最後は寝技になるってのが経験で分かってるから。それを前提として立ち技を成立させないとダメなんだってことを言ってたんだけど、打撃が流行れば打撃だけだし、寝技が流行れば寝技ばっかりになっちゃうわけだ。ところが寝技ってのは、極端な話、時間かければ絶対上手くなっていくのよ。ガードだけでもいいし。でも、打撃ってのはある意味センスだから、これは。この寝技をクリアして打撃をやるってのはそりゃ相当強いと思うね。

――それを最初から言ってたのが大道塾だったんですよね。

東　俺ず～っと言ってたのに誰も認めてくれなかったよ。

――だけど、理論どおりにはなってるじゃないですか。

東　理論どおりっていうか、自分の体験だからね。実際そうだったんだもん。俺だけじゃなくて、人のケンカ見ててもそうだったし、自分でやってもそうだし。

――ワハハハ！　分かりやすいです！

東　やっぱり最初殴り合いから始まって、寝技やって、で、立って。はっきり言ってそこで終わんないんだよ。その繰り返しなんだよ。どっち持って行くかなのよ。今この第三段階まで来たわけじゃない。どっちもできる奴がさらに自分の得意なものに持っていく。そこまで来たら、打撃が勝つ場合もあるだろうし、寝技が勝つ場合もあるだろうし。だから両方備えた選手で自分が得意なほうに持ってった

空手家でも投げも寝技もできないと。だってケンカは実際そうだもん

大道塾塾長 東孝

ほうの勝ちなのよ。

——じゃあ、これからもっと面白くなりますね。

東 もっと面白くなる。それが本当の実力勝負の世界じゃないの？

——それを体験で覚えてきたと（笑）。

東 いやいや（笑）。ただそういう流れが普通だよ。こう言うと嘘みたいだけど、大立ち回りやった時に最後はマウントで殴ったんだよね。マウントで殴った時にさ、「先生やめてください、死んじゃいます」って。

——「先生やめて」って。塾長、それいくつの時ですか（笑）。

東 いやぁ、ウチの弟子に酒グセの悪いのがいてさぁ、俺が道場まで連れて帰ろうとしたんだけど、途中で5、6人人相が悪いのが来たわけ。そしたら、そこに弟子が突っ込んで行っちゃったの。

——大変ですね（笑）。

東 ホントだよ（笑）。で、「とにかく悪いのはこいつだけど俺の弟子だから、ここは俺のこと殴っていいから我慢してくれ」と、格好つけて言ったんだな。俺も、26ぐらいで若かったから（笑）。

——実際格好いいですよ（笑）。

東 いや、普通、素手で殴っても首の太い人間は簡単には倒れるもんじゃないって知ってるから殴らしたのよ。そしたらこの野郎がワンツーで殴って来たわけよ。でも、ストレートってのはアゴ引いてりゃ我慢できるの。ただ、その次フックが来たんだよ。で、次の瞬間、俺、相手を下から見てるわけよ。

——倒された？

東 そう！　それでもう燃えちゃった（笑）。

——先生、自分で殴れって言ったんじゃないですか（笑）。

東 そうそうそう、そのとおり（笑）。まさにそのとおりでさぁ、殴れって言っといてさぁ、でもあそこはつい逆上しちゃったわけよ。で、気が付いたら俺マウント取ってて、「先生やめてください、死んでしまいます」ってなってたの（笑）。

——相手だって人数多かったんでしょ？

東 5、6人。でもそんなのはただのヤクザだから。刃物持たない限りヤクザって弱いんだから。ただこいつらはボクシングやってたんだよな（笑）。

——そういう苦い経験の上で言ってるわけですね（笑）。

東 そう！（笑）。

——で、今日の話は今後の空手はどうなっていくのかってことなんですよ。大道塾は総合に近い所にある「空道」ですから、ぜひとも先生に聞きたいんですよ。

東 だから、フルコンが伝統空手みたいなものになるのかもしれないけど、それを目指すならそれはそれとして存在意義は充分にあると思う。技術に走りがちで、そのために外人に勝てない日本人の体力と精神力を強くするという意味では最高だと思う。

——〝実戦〟だけを謳い文句にすると厳しいですよね。

東 うん。現実の話になると総合的になるしかないし、総合の中での打撃系だと思うね。その中でウチが考えてるのは打撃系総合武道。俺はそれが一番現実的だと思う。

——それが今度の全日本体力別で見られるわけですね。特に今回は藤松君、山崎君といったトップ選手がほぼ全員出揃ってますからね。

東 俺ねぇ、今回のこの大会はあれだけ選手が揃ったってことがもの凄く嬉しいね。どこ出してもいいような選手がこれだけ貯まって層が厚くなったってのが嬉しいのよ。どのクラスにも全日本取ったとか準優勝とか実績持った奴が5、6人ブロックにいるのよ。それが俺、本当の全日本だと思うからね。例えば柔道の全日本ってのは各県のチャンピオンだとか地方のチャンピオンで全日本になるわけよ。そういう路線にうちは乗ったなって。

——軌道に乗ってきたと。

東 うん。長田や山崎と藤松、清水、稲田らがどうぶつかるか俺も見たいからなぁ（笑）。あとは見てる人間が惚れ込めるっていうか、目をひそめる〝強さ〟ではなく、俺も強くなりたいという夢を刺激してくれる〝武道〟の試合が見たい。俺もそれで始めたんだから。派手さとは違う、抑えた中にある武道の凄さ、格好の良さってあると思うんだ。やっぱりそれって大事だと思うよ。

——つまり直球勝負ですね。

東 うん、大道塾には直球勝負しかないんだよな、やっぱりな（笑）。■

5・11北斗旗体力別 超重量級は大激戦必至！

藤松泰通〈総本部〉

山崎進〈総本部〉

長田賢一〈仙台西支部〉

稲田卓也〈横浜教室〉

今回、最注目なのは超重量級。優勝経験者がひしめき合う大激戦区となっており、はっきり言って優勝の行方は混沌としていると言える。昨年、体力別・無差別ともに制して新エースとなった藤松、前年準優勝の稲田に加え、一昨年の世界大会以来、2年ぶりに山崎が北斗旗に出場、そして昨年、10年ぶりに復活を果たし、全盛期さながらの強さを見せつけた長田も連続出場。これに昨年の重量級王者・清水和磨も加わり、藤松を中心に誰と誰が絡んでも見応えバツグンの試合となること間違いなし！

世界大会イヤーの極真にまた激震！

野地竜太が〝除名処分〟に!!

今年11月に世界大会を控えた極真会館にまた衝撃が走った――。前回1999年大会ベスト8、日本期待の野地竜太が、突如として極真会館に退会届けを出したというFAXが編集部に送られてきたのだ。そして、その数日後、今度は極真会館から野地の除名処分を記した文面がFAXされてきた。数見肇、ニコラス・ペタスに続き、野地までも……。世界大会イヤーの極真が大きく揺れ動いている。

【4月10日、野地から送られてきたFAX】

マスコミ各位

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、わたくし野地竜太は、国際空手道連盟極真会館を退会することを決意し、平成15年4月4日に退会届を総本部へ提出いたしました。

極真会館を退会するにあたり、私自身、昨年より様々な葛藤がありました。

みなさまご存知のように、私は3年前からグローブの練習をやるようになりました。当初は、今年11月に行われる第8回全世界大会へのための試みでしたが、月日を重ねていく過程で、私の中にある変化が起こっていきました。

ここで空手の舞台に戻るのではなく、このままグローブの練習を続けていたい――。

身勝手なことだとは重々承知しています。極真会館ならびに関係者の方々のバックアップがあったからこそグローブの練習をし『K―1』や『一撃』の舞台に立つことができたわけですし、ファンのみなさまからも温かい声援を受け次期世界大会を楽しみにしている、との声を多くいただきました。とてもありがたいことだと思っていますし、関係者ならびに応援してくださった方々に心からお礼を申し上げたい。そして、期待に応えられないことを大変申しわけなく思っています。

しかしながら、わたくし個人としては、このまま歩みを止めることなく現行の練習を続けていきたいという意思が強固にあります。

けっして空手に魅力がなくなったということではございません。ただ、今の自分を最大限に活かしきれるのは、プロの舞台だと判断したからです。

もちろん、極真会館に所属しながらもプロとしての活動をしていくのは可能だとも思いました。しかし、このようなふらついた気持ちのまま空手を続けていく、仮に世界大会に出ることがあっても良い結果を得ることはできないでしょう。このままでは、関係者およびファンのみなさまの期待を裏切ることになってしまいます。ましてや、本気で世界大会に出場したいと思っている多くの極真戦士たちに申しわけが立ちません。

日々、空手の修行を行うに際しても、故・大山倍達総裁の意思に応えることができず、苦しい時間を過ごすばかりになってしまうでしょう。

ゆえに、ここは極真会館を退会し、新しいスタートを切ろうと思い至った次第です。

若気の至り、わがまま、と非難を浴びることも覚悟しています。ただ、この決断が誰かの意思ではなく、私自身で導いた決断だということを宣言しておきます。

このさきの活動予定、活動母体はまだ未定ですが、個人的に練習は続けておりますので、できるだけ早くみなさまの前に登場したいと考えております。

何卒、私の真意とするところをご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

野地竜太

【4月14日、極真会館から送られてきたFAX】

マスコミ関係　各位

拝啓　時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は当会館に、格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、4月10日に株式会社キャラウェイよりファックスにて送信されました、野地竜太の極真会館退会に関する文書につきまして、皆様よりお問い合わせをいただきましたので、下記のとおりご報告申し上げます。

4月4日に本人より、極真会館を退会しキックボクシングに専念したいという意思表示があり、話し合いました結果、当方といたしましても本人の意思をなるべく尊重するという方向で、野地の将来も考慮した上で、今まで、野地をご支援くださった方々をはじめ、関係者への調整を進めておりましたところ、突然、このような文書が出回りお騒がせすることになってしまいました。

極真会館総本部特待生として、支援を受け、他の模範となるべき指導的立場にある選手でありながら、このような軽率で身勝手な行動をとり、組織の名誉や信用を傷つけ、混乱を招いたことについて、処分を検討いたしました結果、除名とすることといたしましたので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

敬具

国際空手道連盟　極真会館
館長　松井　章圭
最高顧問　郷田　勇三
関東本部長　山田　雅稔
城西世田谷東支部長　田口　恭一

第9回全日本青少年空手道選手権大会

揺れる極真。しかし、青少年大会は大盛況！

▲4月12日、13日の2日間、東京・代々木第二体育館で行われた第9回全日本青少年空手道選手権大会には約800人の選手が出場。極真の未来を担う子供たちの元気な声が会場にこだましていた

木村&徳田がポーランドの強豪に快勝。世界大会に向け調整は順調

▲昨年の全日本で4位入賞を果たし、世界大会での活躍が期待される徳田忠邦はポーランドの強豪ピーター・バナジックと対戦し、1・2R5―0、3R4―0で快勝

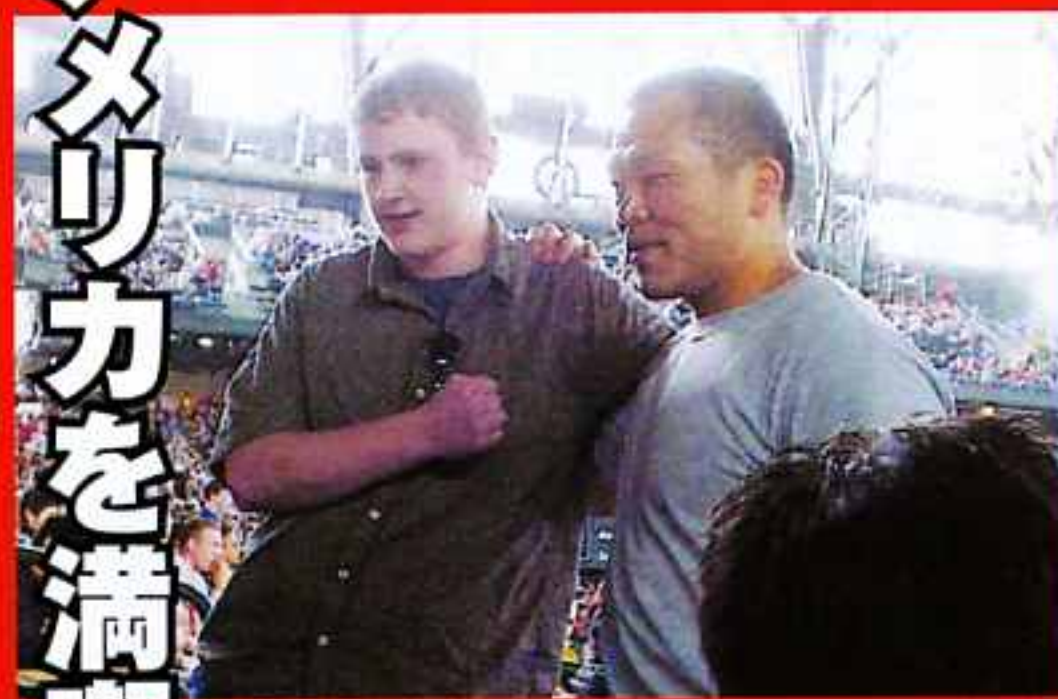
▲第32・33回全日本大会準優勝の木村靖彦はパリ国際ベスト4の実力者トーマス・ナイダックを1R3―0、2・3R5―0で危なげなく下し、順調な仕上がり具合を見せた

Hook'n Shoot
『アブソリュート・ファイティング・チャンピオンシップ』
3・28★USA フロリダ州
ウォー・メモリアル・オーデトリアム

ゴジラ松井に続け！

マット界の怪物・横井がアメリカ初上陸で王座奪取！

目標のUFC出場へ一歩近付いた！

▶初めてのアメリカの試合で見事にＨｎＳ南東部ライトヘビー級王座を奪取！　ともにアメリカに渡った高阪、伊藤の元リングスの仲間たちと喜びを分かち合った

◀横井と一緒に渡米した伊藤はアマチュアボクシングの試合をこなし、見事に勝利した

◀パット・ミレティッチのジムで練習をした伊藤。左にいるのはジェレミー・ホーン

◀試合が終わった3月30日、横井たち一行はかつてＴＫが住んでいたシアトルで行われたレッスルマニアを観戦

◀ＴＫが写真をせがまれたりするシーンもある

◀この写真はレッスルマニアの会場となったシアトル・マリナーズの本拠地セーフコ・フィールド。イチローが活躍している場所だ

レッスルマニアも観戦！　アメリカを満喫!?

▶試合展開は横井曰く、殴っては殴られ倒して倒されるという展開。相手のウィルソン・ゴヘイアはアメリカン・トップチームの選手で柔術家。横井の話によると「いい感じ」の選手だという

▶3R、ついに横井のグラウンドでのパンチを防御できなくなったゴヘイアを見て、レフェリーは試合をストップ。ＴＫに抱きついた

▶試合後にベルトを締めながらインタビューを受ける横井。激闘を物語る顔だ

▶会場には本家ブラジリアン・トップチームの面々が。ど真ん中にいるのはご存知マリオ・スペーヒー

写真提供◎伊藤博之

★第11試合/HnS南東部
ライトヘビー級選手権試合（5分3R）

○横井宏考
〈日本/チーム・アライアンス G-スクエア〉

（3R2分20秒、TKO勝ち）

●W・ゴヘイア
〈ブラジル/アメリカン・トップチーム〉

※グラウンドでのパンチ連打。

マット界の怪物くん・横井宏考がアメリカで快挙を達成！　3月28日、ＴＫと伊藤博之と共にアメリカに渡った横井は、フックンシュートという総合格闘技の大会に出場し、ブラジリアン・トップチームのアメリカ版、アメリカン・トップチームのウィルソン・ゴヘイアと対戦。見事にＴＫＯ勝利を収めＨｎＳ南東部へビー級の初代王座に輝いた。日本の格闘家がなかなか外国人選手に勝てないマット界の現状を考えると、これは素晴らしい快挙だ。

試合は横井の証言によると「殴っては殴られ、倒しては倒され」の展開だったという。ゴヘイアの印象は「いい感じ」と語っていたが、試合後の顔を見れば分かるとおり、試合は激闘だったのだ。

横井は総合格闘技でもプロレスでも、マット界の未来を担うヘビー級の有望株。世界に喧嘩を売れる日本男児にしか似合わないふんどしを、いま一番はいてほしい男なのだ。

今回の参戦は、目標をＵＦＣにおく横井がアメリカで実績を作るために、自ら希望して実現させたもの。今後もアメリカへの殴り込みを続けるのなら、ヤンキースの松井以上の活躍を期待したい。■

BUSHIDO-RINGS
ADRENALINAS
LIETUVA vs JAPONIA
4・5★リトアニア・ビリュニスコンサートスポーツセンター

ノゲイラ戦から1カ月も経たずにリトアニアに バルト三国90キロ超級王者に完勝！ ヒョードル見参！

この怪物を指名した藤田は偉い！

なんと、リトアニアでリングスの大会が……その名も『BUSHIDO－RINGS』！

▲今大会のルールはKOKルールなのでグラウンドでの顔面パンチはなし。ヒョードルの試合はそのほうが安心して見られる。対戦相手のヴァラビーチェスは現役のリングスバルト三国90キロ超級王者だ

▶ヒョードルは腕ひしぎを一度は脱出されたものの、チキンウィングアームロックで見事に一本勝ち。圧倒的な実力を見せつけた

▲ノゲイラ戦後、1カ月も経たずにリトアニアで試合をしていたヒョードル。またもノーダメージでエギリウス・ヴァラビーチェスに完勝してしまった。ちなみに、今回ヒョードルはリングス・ロシアとして参戦している

▶セミファイナルにはチーム・イリホリのヤノタクと今成が登場し、タッグマッチでリトアニアのモリカビュチス&ペトライティスと対戦。ペトライティスは三角絞めを極められながらも自軍のコーナーに戻りタッチをするという、タフネスぶりを発揮した。また、掌底にクレームをつけられた今成は、ファックユーのポーズを取ってしまったために大乱闘に発展してしまい、軍隊まで乗り込んでくる騒動になってしまった。結果は2R闘い判定でドロー

▲ここが会場となったリトアニアのビリュニスコンサートスポーツセンター。軍隊が見守る中で行われたのだ。観客は5,000人の超満員！

ZST勢もリトアニアに参戦！

▲今回、日本からもZSTに参戦している小谷直之、矢野卓見、今成和正、所英男が参戦。後列の一番右端にいるのはリングス・リトアニアのドナタス代表で、前列の左端の人物は小谷のお兄さんの小谷ひろきだ

写真提供◎紙のプロレスRADICAL

★第8試合（リングス・リトアニアルール）
●E・ヒョードル
〈ロシア/リングス・ロシア〉
（2R1分15秒、チキンウィングアームロック）
●E・ヴァラビーチェス
〈リトアニア/リングス・リトアニア〉

★第7試合（ZSTタッグマッチルール）
△ レミギウス・モリカビュチス　エリカス・ペトライティス（2R判定ドロー）矢野卓見　今成和正 △
〈リトアニア/リングス・リトアニア〉　〈チーム・イリホリ〉
※リトアニア組にイエロー1、チーム・イリホリにイエロー1あり

★第6試合（リングス・リトアニアヘビー級選手権試合/リングス・リトアニアルール）
○ ミンダウガス・クリカウスカス（延長判定）タデウサス・チロディンキス ●
〈リトアニア/リングス・リトアニア〉　〈リトアニア/リングス・リトアニア〉
※クリウスカスが王座を防衛

★第5試合（リングス・リトアニアルール）
△ ミンダウガス・スミルノヴァス（延長判定ドロー）小谷直之 △
〈リトアニア/リングス・リトアニア〉　〈RODEO STYLE〉

★第4試合（修斗ルール）
○ ケスタティス・スミルノヴァス（1R2分45秒、チキンウィングアームロック）マリウズ・ラグジンス ●
〈リトアニア/リングス・リトアニア〉　〈ポーランド〉

★第3試合（リングス・リトアニアルール）
○ アンタナス・ジャズビタス（2R判定）所英男 ●
〈リトアニア/リングス・リトアニア〉　〈チームPOD〉
※ジャズビタスはエスケープ1、所はエスケープ1とイエローカード1あり

★第2試合（リングス・リトアニアルール）
○ パベル・ドルゴフ（延長判定）ローカス・スタンブラウカス ●
〈ラトビア〉　〈リトアニア/リングス・リトアニア〉

★第1試合（修斗ルール）
○ ペトラス・モリカビュチス（2R判定）ヴァルダス・ポチェビチェス ●
〈リトアニア/リングス・リトアニア〉　〈リトアニア/リングス・リトアニア〉

なぜだ!?　この間、ノゲイラと闘ったばかりのヒョードルがリトアニアで試合をしているとは……。

日本では活動を休止してしまったリングスだが、世界各地のネットワークはまだまだ健在。その中でも活発な活動を行っているのがリングス・リトアニアだ。彼らは、ZSTに選手を毎回派遣してきているが、地元でもKOKルールで大会を開催しているのである。しかも、大会名は『BUSHIDO－RINGS』！　リトアニアはかつて、Uインターが放送されていて、『BUSHIDO』は現在でも大人気だという。

この大会に参戦したヒョードルは、メインイベントでバルト三国90キロ超級王者、ヴァラビーチェスと対戦。このリトアニアの英雄を相手に、ヒョードルは久々のKOKルールでの試合にもかかわらず、2Rに『プライド』ではいまだにない関節技での一本勝ち。またもノーダメージで試合を終えてしまった。

ところで、ヒョードルが前田日明の残した最後の遺産なら、リトアニア勢は隠し財産といったところだろう。北の大地でリングスは健在だ。■

JOE TSUCHIYA PRESENTS
REINCARNATION
4.1★板橋区立産文ホール

土屋ジョー、涙の復活宣言

総合ファイターを急襲！ 3度倒す

3年ぶりのキック復活を初回KO勝利で飾った土屋は、涙が止まらない。「悔し泣きは何度もあったけど、嬉し泣きは生まれて初めて」

▼キック初挑戦の総合ファイター、ハンマーシャーク・カイル・タカオは、土屋の鋭い攻めにまったくいいところがなかった

▲土屋はヒザ、パンチ、蹴りとそれぞれ別の技で3度のダウンを奪う。キックボクサーとして質の違いを見せつけた

「自分がどれだけのものか、今は分からない。ただ、いい夢を見てみたい」by土屋

◀バラの花をくわえての登場パフォーマンス。以前はこの造花は、100円ショップで買ったものだったそうだけど

撮影◎菊地奈々子

After the fight

土屋のコメント 勝

「以前は楽して倒すことしか考えていなかったけど、今日はどんなことをしても、たとえ反則でもいいから倒したかった。相手のことを知らないし、総合の選手だから何をしてくるか分からない。昨日までは当たって砕けろという気分でした。とにかく技で勝てて良かったです。試合内容より、今日はみんなが来てくれたのが嬉しいです」

タカオのコメント 負

「減量が厳しかったね。58キロの契約で、昨日の夜の段階で60キロあったから、今日までにあと2キロ落とすのはきつかった。体に力が入らなかった。見に来てくれた人たちに、本当にごめんなさい。土屋は凄く強い選手。ローキックが効いた。今後またキックに出るかどうかは分からないが、オファーがあればやりたいね」

★第4試合/メインイベント（3分5R）

○土屋ジョー
〈J.T.C〉
（1R2分21秒、KO勝ち）
●H・カイル・タカオ
〈ハワイHMC〉

※3ノックダウン。タカオは右ヒザ蹴り、右ストレート、右ローキックでダウン

試合はどうだっていい。相手のタカオには総合ならそれなりのキャリアがあるが、キックは初体験という事実も、またどうでもいい。だから、鋭いキックの連打で早及び腰になったタカオをボディへの右ヒザでまず倒し、ワンツーからの右ストレートで2度目、さらにスネを狙った右ローでダウンさせ、あっさりけりをつけてしまった試合展開も、詳細に追う必要はない。大事なのは、土屋ジョーがキックのリングに帰ってきたということだけだ。

リング上で土屋は涙を流した。「悲しい時に泣いたことはあっても、嬉し泣きは生まれて初めて」。その気持ちは痛いほどに分かる。一度はキックを捨て、国際式ボクシングに新天地を求めた。2勝2敗。だが、結果は無惨だった。最後はキックありなら簡単に仕留めていたはずの二級タイ人に、初回KO負けを食らった。「自分の闘うフィールドはキックしかない」。土屋は痛感したはずだ。

3年ぶりに帰ってきた。一度は試合が流れ、改めて用意された会場は収容人員500にも満たない。それでも暖かく、キックは自分を迎えてくれた。土屋の再出発はここに始まった。（宮崎）

撮影◎丸山剛史

ジョシカク、勝利の方程式美人最強説に異議あり！

撮影◎丸山剛史

スーパーロータックルが封じられた！ WINDYの打撃に辻、大ピンチっ!!

典型的なグラップラーVSストライカーの対決だったこの試合、WINDYは辻のタックルを切りまくってみせた。そしてボディにパンチ！

▲何度となく、辻のタックルは潰されてしまった。フィニッシュの寸前まで、WINDY優勢の展開と言えたのだが……

▲テイクダウンを許し、十字を仕掛けられたWINDYだったが体を翻して基本どおりの防御

▲うまく間合いをコントロールしてパンチ連打からローキック。試合が進むごとに、WINDYの凄みが際立っていく

ジョシカク（女子格闘技）には絶対にブレイクしてほしい。その可能性は秘めているし、久し振りに未知で手付かずなものに出会った喜びみたいなものが私にはある。

ずばり私は「女の闘い」が見たいのだ。彼女たちは自分が女であることの存在を賭けてくる。

だから試合は全て自分のためにあるのだ。分かりやすく言うとそれは「同性には負けたくない」という感情のことをさす。

これは男の世界にはない女性に特有なことと言ってもいい。たとえばウインディ智美が辻結花に負けたら、ウインディは同性の選手に負けてしまったことになる。

ジョシカクの試合では勝負の結果は、そこにいってしまうのだ。彼女たちの敗北はスポーツとしてあるいは競技として敗れたということにはならない。もしそうだったら私はジョシカクには興味はない。見る必要はまったくない。

女を賭ける。女を賭けろ！

その意味でジョシカクは正真正銘、ガチンコである。格闘技だからガチンコであるという考えはジョシカクにはあてはまらない。

そこに〝もう一つのガチンコ〟があるから、ジョシカクは面白いのだ。そういう視点で辻結花対ウインディ智美の試合を見ると、私はウインディを応援していた。

美人というのはそれだけで生きていて得をするわけだから、あえて格闘技をやる必要はない。そういう考え方、見方ができる。

そうなると辻結花とウインディ智美の試合は、私的にはウインディのほうに目がいってしまう。彼

Third SEASON-Ⅱ
SMACK GIRL
4.2★六本木velfarre

とっておきの秘策はこれか
押してダメなら引き込み十字で見事、タップアウト！

▲タックルを切られ、打撃を当てられて気力が萎えてきたようにも見えた辻。タックルを潰されて自ら仰向けになった時は「もうダメか」と思われたが、これは作戦だったか。見事に下からの十字を極めてフィニッシュ！ あまりにも鮮やかな幕切れだった

★第6試合/メインイベント（5分3R）
○辻結花×WINDY智美●
〈総合格闘技闇愚羅〉〈全日本キック/AJパブリックジム〉
（1R4分37秒、腕ひしぎ十字固め）

After the fight

辻のコメント 勝

「サイコーです。こういう勝ちは凄い気持ちいいですね。（WINDYは）打撃はやっぱりうまいっす。打撃のうまさを見せられました。逆にあそこまでなりたいという目標ができたんで、打撃の面では。（緊張は？）してた～（笑）。だって怖いもん。だけど今は緊張から解き放たれて、凄く気持ちいいです」

WINDYのコメント 負

「自分の中でレベルが上がってきてるのも分かったし、駆け引きとかもできたし、凄く楽しかったです。腕十字を抜いた時は大丈夫だと思ったんですけど、やっぱり最後のラスト3秒で"大丈夫だろ"っていうのが大きな間違いだったかなと。でも少し打撃の凄さっていうのも見せられたと思うんで良かったと思いますね」

▲毎回マスクで入場する辻。今回はライガー仕様で登場

▲試合後の控室。「ターザンさん、今日の試合、どうでしたか？」と辻。「相手が良かったよぉ！」、「わ、わたしは……？」

女は打撃系の選手。一方の辻は組み技系の選手。離れてウインディ、組んで辻という展開になる。

男の総合系の試合は最近、打撃で勝負が決まるようになった。立っている時はもちろん打撃の攻防になるが、グラウンドの闘いになった時も打撃がポイントになる。

ヒョードルはその戦法でノゲイラに勝った。あのヒョードルとノゲイラの試合に今の総合系が勝負として考えた時、どうあるべきかの答えが出ていた。

だが、女子格闘技においては打撃よりもむしろ関節技で決まることが多い。そうなるとジョシカクは、打撃よりも組み技のほうが有利になる。もちろん今、言っていることはあくまでも一般論である。

そんなことを考えながら辻vsウインディ戦を見ていたら、あっさりと辻が勝ってしまった。私が願っていたものとは反対の結果になった。ウインディにとってこの一敗は痛い。少し上品に闘いすぎたような気がする。

あそこはもっと相手を見下すような感じで、ファイトしてもよかった。ウインディの良さはまったく出ないままだったからだ。

ビジュアルのいいほうが勝つ。美人のほうが勝つ。それはファンからしてもそうあってほしいと思うだろうが、私はその逆なのだ。

女性にとって格闘技はなんのためにあるのか？ 誰のために存在するのか？ それは女としての自分に何か価値を付けるためにあるもの。その一点しかない。

私におけるジョシカクの視点と興味はそこにある。ウインディよ次は勝つのだ。　（ターザン山本）

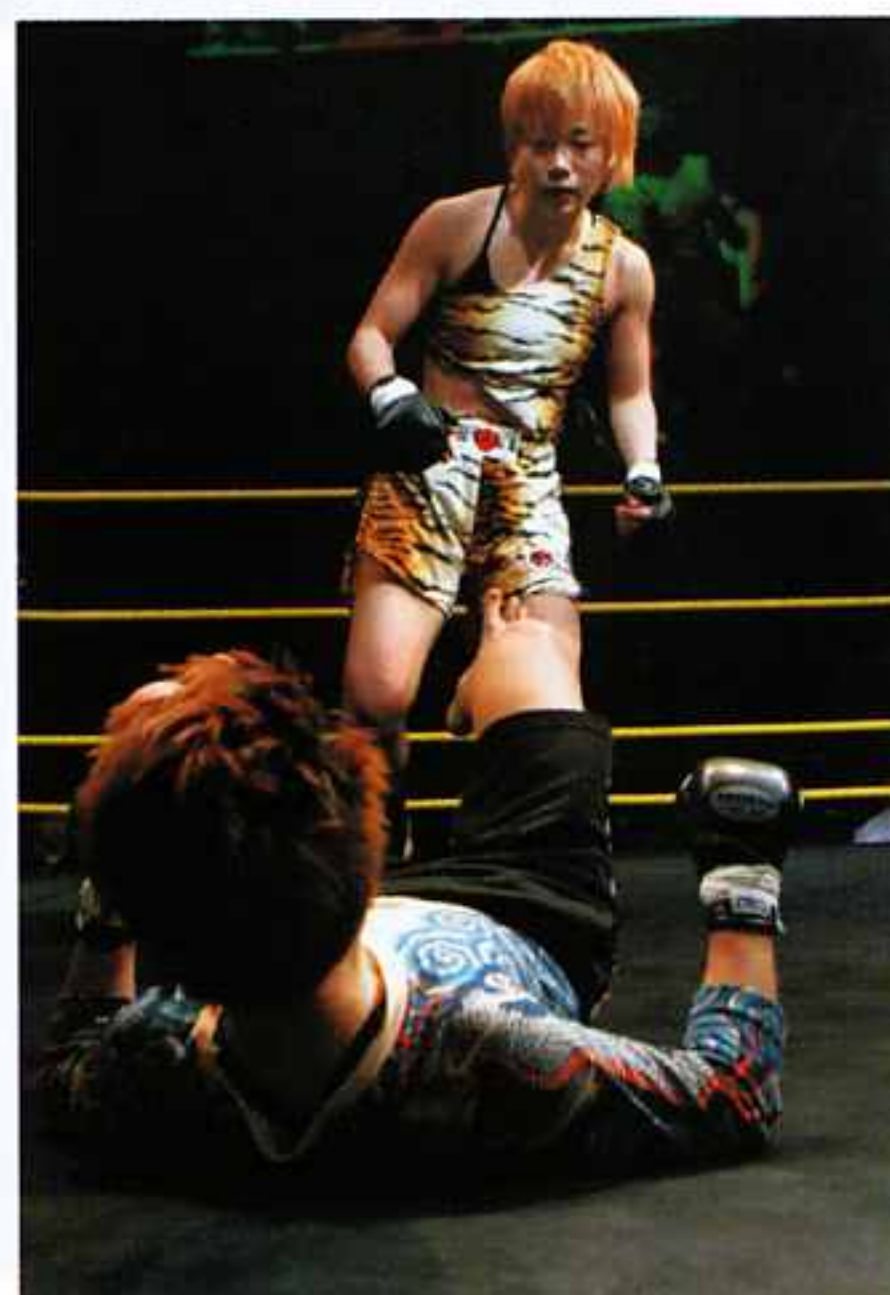
昨年春、デビュー戦で対戦して反則負けとなった相手・大門まい子に今回は勝利した渡邉久江。試合後は同郷のガッツ石松が祝福した。「もう少しお客さんの喜ぶような試合をやんなきゃダメだな。幻の右を打って、そしてダウン取って"OK牧場!"って言えばいいんだよ」

試合後はガッツもOK牧場！祝福！

★第5試合（5分2R）
○渡邉久江 × 大門まい子●
〈TEAM LIMIT〉〈総合格闘技闇愚羅〉
（2R判定3-0）
※大門は1Rに右ストレートでダウン1

大門まい子との因縁リマッチも完全精算！

渡邉久江の"将来性"いよいよ加速してます♡

◀試合経験を重ねた分、寝技の怖さも知ったという渡邉。たしかに見合う場面は多かったが、要所で鋭い打撃をヒットさせていった

◀レスリング出身の大門、そのタックルを切ってすぐ立ち上がり、イノキーアリ状態にする渡邉。このパターンでどんどん大門を追い込む

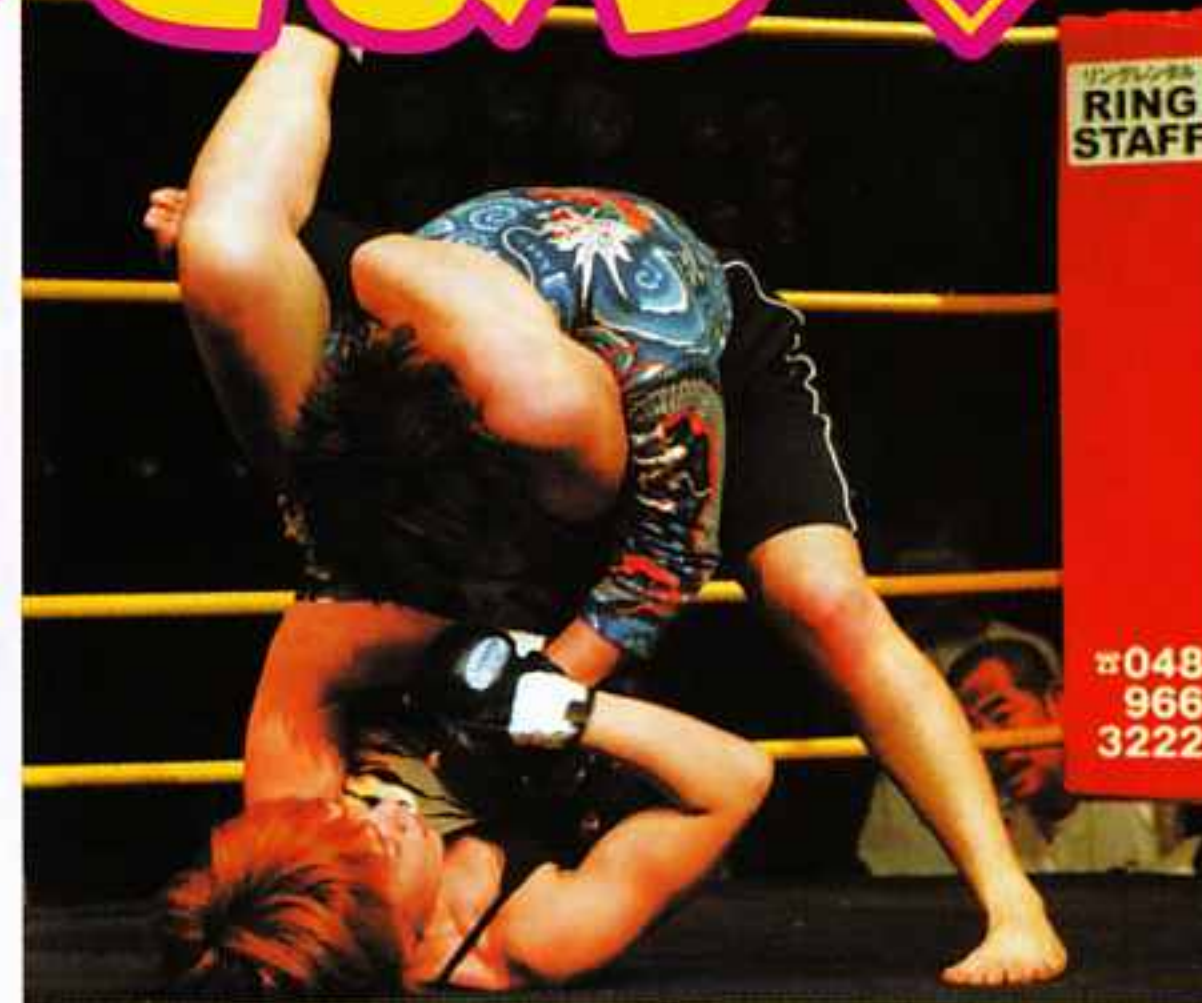
After the fight

渡邉のコメント

勝

「デビューの頃は何も知らなかったけど、今は寝技の怖さじゃないけど前よりは突っ込めなくなってたかなと。緊張しました。(三角は)凄くきれいに入りましたよね、自分でもびっくりしました。ガッツさんには"パンチでいけ"と言われました。とても心強かったです。ただ、突っ込みきれなかったところは見せたくなかったなと」

▲判定は文句なく3ー0で渡邉。大門も最後までタックルにいったが、優劣は明らかであった

◀『スマックガール』は入場に凝る選手が多いのだが。この"浪速のおっさん"大門の入場も凄まじいものがあった。偉いねどうも

▲なんと！ 2Rには三角絞めまで見せた渡邉。こういうところでも成長ぶりが分かるというもの

まったくもって素晴らしい。渡邉久江の試合は、いつも爽快な気分にさせてくれる。ケレン味のない闘いぶり。格闘技に取り組む真摯で、健気な姿勢。何よりも、試合を楽しんでいるところ。スレッカラシのファンにこそ、彼女の試合は見てほしい。

この日の大門まい子戦も見事だった。慎重に間合いを探り合う緊張感。そして次の瞬間にはタイガーストライプのコスチュームがイキイキと躍動する。大門のタックルをサッとかわし、右クロスを中心とした打撃を叩き込む。渡邉自身は「もっと踏み込んでいきたかった」と言うが、付け焼き刃でないグラップラーと闘うには、これがギリギリの距離だったと思う。ストライカーが総合で勝つにはかくあるべし。そんな見本のような試合だったと言ったら、ちょっと誉めすぎかもしれないが。

何度もタックルを切り、打撃を当ててイケイケ状態の渡邉は、2Rには三角絞めにまでトライ。逆に大門は打つ手がことごとく封じられて、肉体的にも精神的にも疲弊していたようだ。KOではないが『判定3―0』という実際の結果以上の差があった。

どんどん成長していく。どんどん将来性が広がっていく。雲ひとつない青空を見るような、存在の爽快感。強気のキャラで売っていながら、試合後にはポロッと「正直、寝技にビビッてるとこがあって」ともらしてしまう素直さもまた魅力である。

しかも！　後ろ盾にはガッツさんが付いている。こりゃもう怖いもんなしだろう。

（橋本）

Third Season-II
SMACK GIRL
4.2★六本木velfarre

乱闘寸前！覆面レスラー登場！

『スマック』の世界がどんどん凄いことに……

しなし、ちょっと苦しむも一本！次の相手はゴルドーの刺客!?

▲インディー系プロレス団体『ナイトメア』から覆面女子プロレスラー唯我が初参戦。金井広美（GF2）から腕ひしぎ脚固めであっという間に一本勝ちを奪った（1R1分13秒）。凄いと思ったら、実は柔道で全国高校ベスト8の経験があるのだった

▲さて、今回のナナチャンチンだが……。『サイボーグ魂』の大会にも出場した"道場長の妻"大畑綾子（禅道会）のスリーパーで落とされかけてしまいました（1R34秒）

▲シーザージムでみっちり教わっている打撃も試してみたしなし。右ストレートが一発ヒットしたが、自分にも……

▲ヒールホールドを狙えば顔を蹴られ、テイクダウンすればウェアを掴まれとすっきりしない展開ではあったが、終わってみれば実力をしっかり見せたと言えるだろう

◀豪快な払い腰でテイクダウン成功。柔道出身ということで、まだタックルよりもこっちがやりやすいようだ

▲今回も直前まで対戦相手が決まらなかったしなしさとこ（AACC）。沖縄唐手の川江礼子（キックネス）が名乗りを上げたが、きっちり一本勝ちして見せた（1R2分39秒）。次はあのジェラルド・ゴルドーが送り込んでくるオランダ人選手との対戦が濃厚

目が合っただけでそこまでやる！女のエグさ全開のケンカマッチ

◀山田よう子（日本アームレスリング連盟）と坂口一美（GF2）。まったくなんの因縁もない両者だが、この視殺戦で突如、火が付いた。ゴングと同時に、まだ背を向けている山田へ坂口がなんと飛び蹴りを見舞ったのだ

▶試合後も睨み合う両者。直後に山田が坂口を突き飛ばす！

▲文句を言う坂口のセコンドにも突っかかっていく山田！　ただ目が合ったことから始まって、なんでこんなことにまでなってしまうのか。2人とも顔は可愛いんだが、女は怖いというか……

▲結局、試合は1R1分9秒、全日本アームレスリング王者の山田がその剛腕で絞り上げてのフロントチョークで勝ったんだが……

Series
ジョシカク!
6

昨年7月『S-cup』のリングでしなしさとこと対戦、格闘技の試合はまったくの初めてにもかかわらずドローに持ち込んで周囲を驚愕させたのが吉住絹代だ。「なんでわたし（の取材）なんですか？　強くないのに」とは言うけれど、誰が見たって女子総合の未来を担うホープ。天然な感じのいいキャラも含めて、ぜひとも紹介したいと思う次第。

"妹系"ファイターのほっとけない魅力
吉住絹代

撮影◎丸山剛史
文◎橋本宗洋

「周りの人はみんな親みたいな感じです。わたしが子供だからなんですけど……」

撮影中の反応や練習風景を見ていると、吉住が本当に周囲に可愛がられてるんだなってことがよく分かる。

「なんか、みんな親みたいで。それはわたしが子供だからなんですけど……。バカなんですよ、わたし」

バカっていうより、吉住は天然の“妹キャラ”なのだ。兄の武美も同じチーム『ＸＸＸ』の格闘家なのだが、妹の試合ではセコンドも務め、名コンビぶりがよく知られるところ。子供時代に剣道を始めたのも兄の影響だったし、格闘技を始めたのは妹のほうが先だったが、理由はといえばやっぱり「お兄ちゃんがＵＦＣのビデオとか見てて好きになった」から。

「お兄ちゃんとは仲がいいですね。でも厳しいんです。いじわるするし」

“いじわる”ってのがどんなもんかは知らないが、要はなんかかまってあげたくなるというか、ほっとけなくなっちゃうのだ、きっと。たぶん年下の人間でも、彼女のことを妹みたいに感じるはず。思考回路なんかも、ちょっと普通と違うしね。短大に入学後、格闘技を始めた吉住。すぐにハマって毎日道場に通ったのだが、それが凄く恥ずかしかったらしい。なんで？

「ヒマ人だと思われるんじゃないかって」

誰も、絶対にそんなこと思ってないはずだが。逆にデビュー戦でいきなりしなしさとことの対戦が組まれた時は、なんにも考えずに「そういうもんなのかと思って」試合に出たらしい。そこでドローという結果を残し、超新星登場となったわけだが、この３月には何気なくアマチュア大会に出場。逆の意味で周囲を驚かせた。普通は『SMACK GIRL』とか出るでしょ？

「え、だってその大会が一番タイミングが良かったから。だめ、ですか……？」

というわけで、常に「大丈夫か？」と心配してあげたくなること確実の吉住だが、短大の児童教育学科を卒業し、去年は幼稚園で年少組の担任もしていたのである。去年の終わりから今年にかけて試合を控えていたのも「お遊戯の練習とかしっかりやらないといけなかったから」だそうだ。ただ、そこは吉住、

「エプロンの紐とかしょっちゅう外れてて、生徒にも“しょうがないなぁ、先生は”って言われてました」

と、３歳児にも妹扱いされてたのである。

そんな吉住も、試合になると表情もまったく違って、実にカッコイイから不思議。この春には幼稚園を辞めて保育園の臨時職員となり、格闘技メインの生活を送ることになった。次の試合は５月22日の『GALS』。凛々しい闘いっぷりと試合後のふにゃふにゃっぷりのギャップは一見の価値あり、である。■

▲しなし戦では、これがデビューながらしなしが仕掛ける十字を全てクリアし、逆に打撃を当てたりバックに回ったりで攻め込む場面もあってドロー。試合後、しなしに「負けた気分」と言わせたから凄い

▲撮影中はかなり緊張ぎみだったが、ジュースとお菓子を並べてインタビューを始めると表情もナチュラルに。「いっつも食べ過ぎるんで、試合前は動けるようにちょっと減量してます」

PROFILE

吉住絹代（よしずみ・きぬよ）

★所属／ＸＸＸ
★生年月日／1982年1月21日
★出身地／東京都目黒区
★血液型／Ｂ型
★身長／150センチ
★体重／49キロ
★戦績／プロ３戦１勝１敗１分、アマ２戦２勝
★得意技／腕力！
★趣味／アジアン雑貨集め

人生楽しく♥

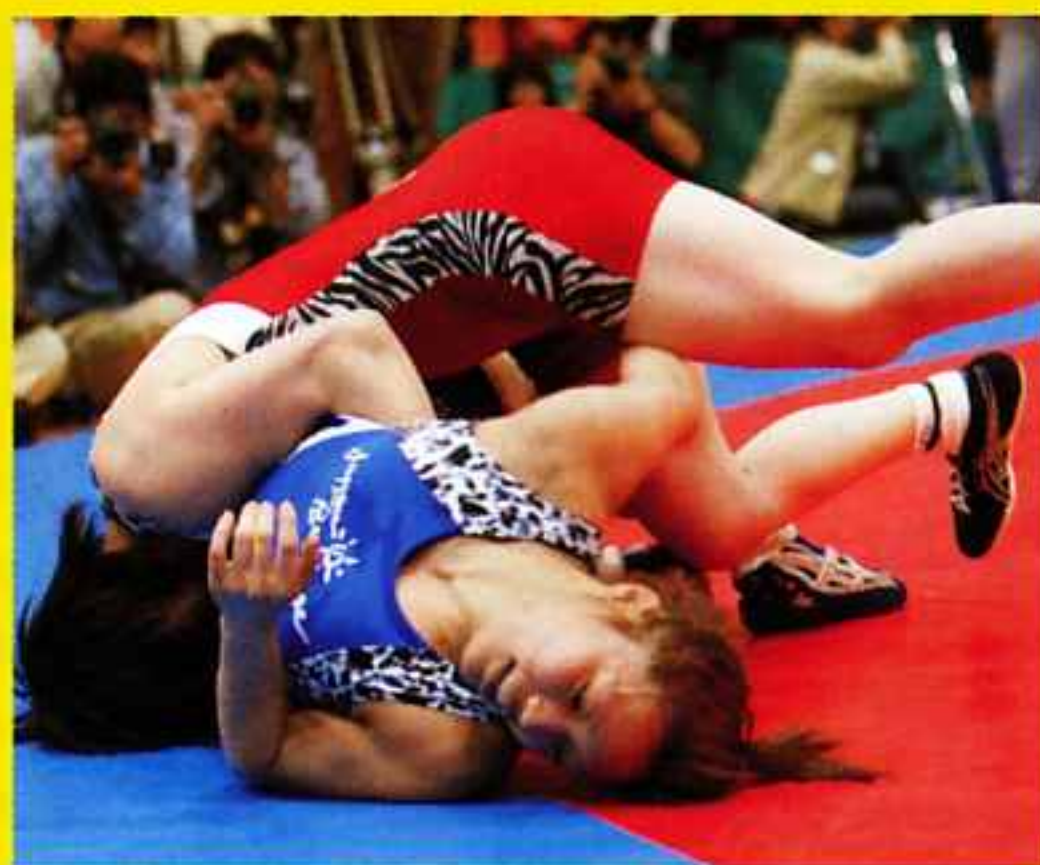
女子レスリング
クイーンズカップ
2003
4.6★足利市民体育館

“女サップ”石原の大挑戦！

女子レスリング大会で浜口京子と対戦！されど秒殺フォール負け

▲▼72キロ級にエントリーした石原は、初戦でいきなり浜口京子と対戦。総合とレスリングの女王対決が実現したが、なんと開始15秒で浜口がフォール勝ち。貫禄を見せつける形となった

国内の女子総合シーンでは無敵を誇る石原美和子（禅道会）。新たなチャレンジとして女子レスリング大会『クイーンズカップ』に挑戦したが、結果は3戦全敗となってしまった

山本姉妹は揃って準優勝

▲3月のポーランド・オープンで優勝を果たした山本聖子（ジャパンビバレッジ）。決勝では昨年2連敗を喫している吉田沙保里と対戦。事実上の世界一決定戦とも言える対決は、ポイント8－3で吉田が勝利

▲昨年、久々の復帰を果たした山本美憂（ピュアブレッド）。夫・エンセン井上が見守る中、48キロ級で決勝まで進出したが、坂本真喜子に敗れて準優勝

来年、この親子が“国民的英雄”になる！

▲今回は父・アニマル浜口氏のセコンドはなかったが、圧倒的な力で優勝した浜口京子。アニマル浜口氏は石原のことも知っており、総合からの挑戦を「身が引き締まる思い」と語った。常に総合のことは意識していて、娘の練習でも「片足タックルにいったらヒザ蹴りがくるとか、絞め・関節とか、それに対応するレスリングはいつもやっている」という

撮影◎丸山剛史

プロレス・格闘技ファンにはおなじみのアニマル浜口＆京子親子であるが、来年は〝国民的英雄〞になっている可能性大である。というのも、アテネ五輪において、日本女子レスリングチームはメダル量産の期待が大きく、特に京子は世界でも敵なし状態、金メダル確実と言われているのだ。

そんな京子に、果敢に挑んだ総合格闘家がいる。〝女ボブ・サップ〞こと石原美和子だ。4名が出場した72キロ級、石原は初戦で京子と対戦したが、開始わずか15秒でフォール負けとなってしまった。その後の2試合も完敗。

今回は「どんなもんか試してみたかった」という感じで、直前に試合があったこともあってレスリングの練習は不十分、コスチュームも前日に借りたという状況だった石原。まして仰向け（＝ガードポジション）が基本の総合と、仰向けになるのが自殺行為のレスリングとでは闘い方が根本的に異なる。「次はもっと練習して、自分が出せるようになってから出たい」というのは本音だろう。

とはいえ、日本女子総合のトップランナーが、そこで満足せず新たなチャレンジに意欲を燃やすというのは、実に心強いことだ。■

《各階級の優勝者》

★72キロ級 浜口京子〈ジャパンビバレッジ〉
★67キロ級 斉藤紀江〈ジャパンビバレッジ〉
★63キロ級 伊調馨〈中京女子大学〉
★59キロ級 岩間怜那〈リブレ〉
★55キロ級 吉田沙保里〈中京女子大学〉
★51キロ級 坂本日登美〈中京女子大学院〉
★48キロ級 坂本真喜子〈中京女子大学付属高校〉

ケータイ

人気サイト

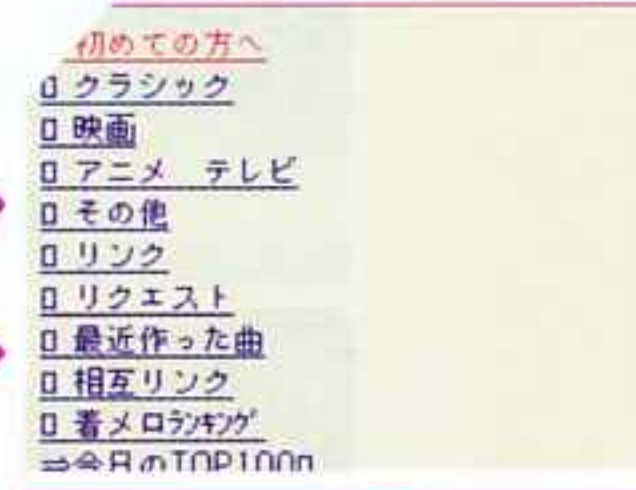
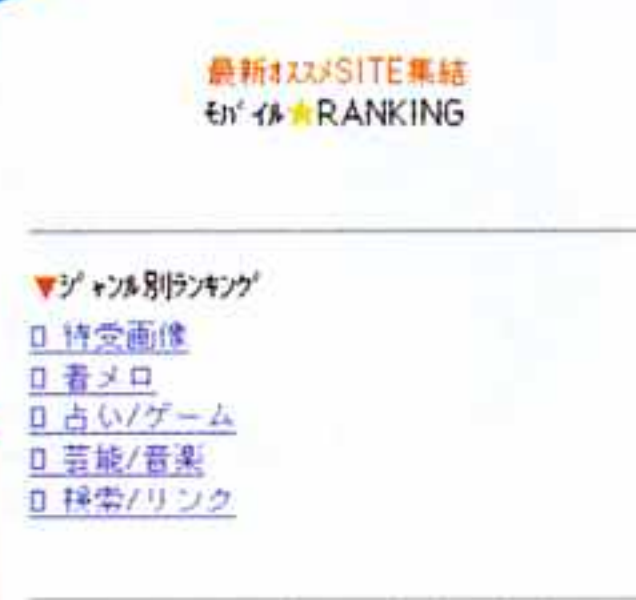
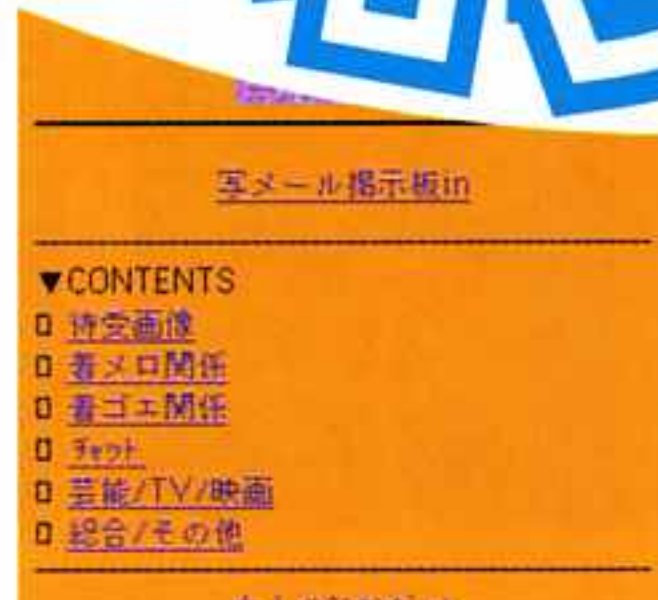
いま注目の人気サイトをクローズアップ!!

スペシャル☆リング サイト!

ケータイサイト特集!

ケータイサイト特集企画に関する お問い合せは　プランニングワコー　千代田区内神田1−8−14　ヨシザワビル　03(5282)2894

i-にがおえ

http://nigaoe.ducub.com/i/

スポーツ選手、アイドルなどの似顔絵が満載！

丁寧に描かれた有名人の似顔絵が収録されている。

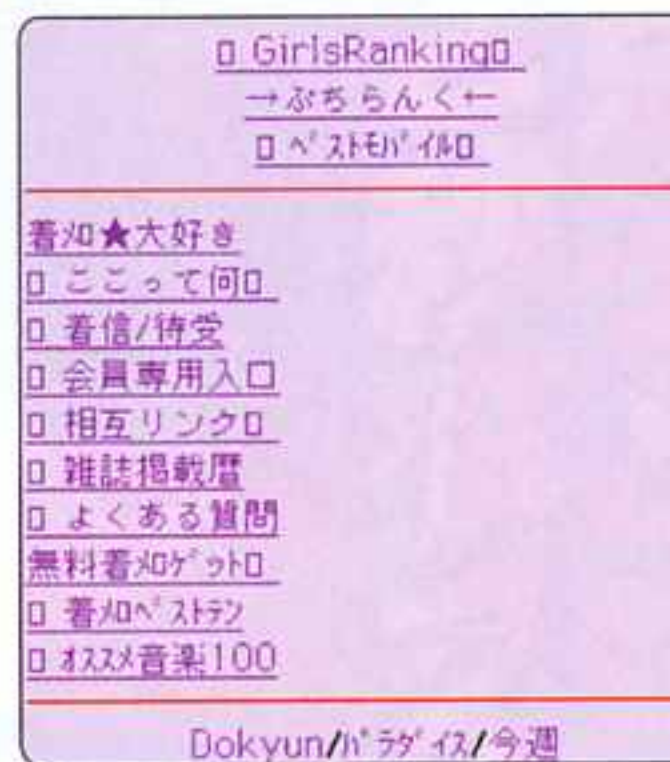
悦楽！写メール隊

http://gogo-furin.com/92

女性会員数2万名オーバーの実力はダテじゃない！

女性誌とのタイアップにより女性人口がさらに過密化

稲妻着オン

http://fan.mods.jp/i/

着メロや待受画面がたくさん！

センスが光る、イケてる着メロや待受画像がたくさん

初体験

http://www.yoku-bo.com/anw/

甘酸っぱいさくらんぼが沢山ここにぶらさがっている！

忘れかけていたもの。そんな記憶を思い出させます。

白金

http://shirogane.fm/sxb

昼恋、夜恋を目的としたコミュニティサイト!!

アドレス非公開制なのでマダム達も安心して集まる！

アポ

http://8989mail.com/92

とにかくアポがとれなきゃはじまらないよね！

まずは会うのが先という女性のみが登録しています。

ひみつの花園

http://www.himitu-h.jp

熟女達の不満解消!?大胆な写メールが多数のサイト。

自分好みの熟女がワンサカでパンク寸前。直電付も有。

シークレットファイル

http://www.sr-file.com/yby

理想の相手を探すなら、簡単プロフ検索で一発表示!!

プロフィールの項目を二つ選んで検索できちゃうよ！

BESTMOBILE100

http://jy.ws12.arena.ne.jp/i/

お探しものがあったら是非ここで！

着メロの流行はここのランキングで一目瞭然！

遊びたい！

http://yaritai.net/cmn

焦る気持ちに自信を持って応えます！

ここは、待てないというあなたのためサイトです。

クレンジング・ハーブ

http://www.c-herbs.com/i/

簡単・ダイエット。しかも1回たったの55円！

もうすぐ春！健康的にダイエットしましょ!!

ちぇき

http://www.akujo.com/anw

キャッチーでおしゃれな女のコたち

おしゃれな今どき女性との出会いはここで決まり！

FLIP-TOP

http://flip.agz.jp/i/

見やすく着メロサイト探すならここで決まり!

機種別に探せてとっても便利!16・32和音対応!!

ベリーズ

http://www.p-berrys.com

47都道府県別で女の子を捜せマス!!地元娘直電公開。

近場で待合せOKかも!?写真付き、無料Ptは勿論。

ブッディービーズ

http://www.fates.co.jp/buddy/

ブッディービーズの驚くべき威力で幸運をゲット!?

ストーンパワーで自分がみるみる変わるかも!?

PCのみ

待ったなし

http://www.nasi.jp/ybz

待たされたくないせっかちさんは全員集合!

とにかく約束にこぎつけるまでのスピードに驚き!

近所の女

http://www.u-waku.net/anw

驚愕の出会いをプロデュース!

近所の気になるマダムを見つけることができるかも?

いまどこ?

http://www.dokodoko.net/ybz

出張先でのパートナー探しはとにかくここにおまかせ

全国のお暇な女性をいつでも出先からげっちゅ可能!

DEAIの総合サイト

http://39315.com

タダで見放題!!写真付き&ケータイ番号付きサイト

出会いを求める多種多様な女性達と、出逢えるチャンス。

みるくらんく

http://www.milkrank.com/

最新のおすすめサイトがここに集結!

ジャンル別ランキング形式がウリの使える情報満載!!

ランコ

http://ranko.jp/dor

トップクラスの出会い系で理想のパートナー探し!

アクセス数の多い優良サイトだから即アポ率も高いよ

ホーリー

http://www.hly.jp/yby

手軽に白衣の天使と知り合えちゃう。そんなサイトが!!

ナース・保母さんなど職業別BBSで狙い撃とう!

SexyShot!

http://sexyshot.jp/?dor

友達・恋人見つかるかも!?写真も見れる安心サイト

メール交換はもちろん、写真も見れて2倍楽しいよ!

写メールBEST-C

http://www.best-c.jp

お気に入りのワンショットをみんなに発信!!

自分の顔・自慢の愛車・カワイイペットの写真が満載

ケータイサイト特集企画に関するお問い合せは　プランニングワコー　千代田区内神田1-8-14　ヨシザワビル　03(5282)2894

えもちゃん

http://emoji.tv/?sxb

「えもちゃん」が絵文字付メールを届けてくれる！

違う種類の携帯どうしで絵文字の交換ができちゃう！

一撃道場

http://www.p-site.jp/E.C.M/ichi/

ケータイの中にある極真カラテファンの道場はココ!!

極真への情熱が伝わってくる熱血サイト。

写ランラ 50pt無料

http://www.sharanra.net

大胆写メール・ishotで素敵な出会い♥

さみしがり屋の女性達が、自慢の画像を投稿中!!

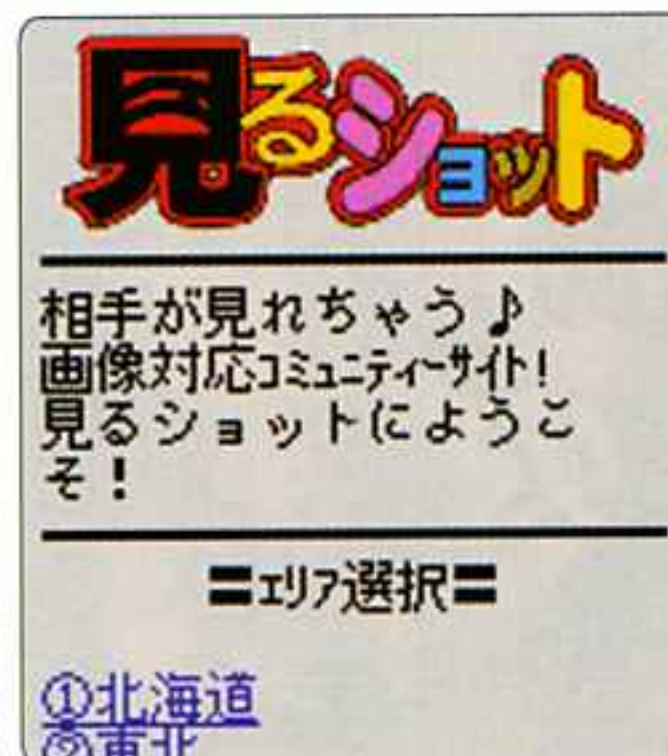
ラブショット

http://shh.jp

夜遊び大好き女性が写真でアピール毎日相手を募集中

カワイイ女性ばかりの書き込みに超驚き！

見るShot 50pt無料

http://www.miru-shot.net

写真付プロフィール殺到中!! 美女が多いと大好評!!

カワイイ娘にはスグメール早くしないと手遅れかも!?

イブ

http://eve.fm/sxb

検索型掲示板だから､ピンポイントで好みを探せ！

検索できる機能がウリの、オトナ系出会いサイト。

ティアラ

http://www.t-tiara.jp

ピュア系に大人気!!写真付・直アド付多し。無料P付

有名女性誌に広告中の為若い女の子がワンサカ!!

ポラクラブ

http://www.poka.jp/?txc

大人の関係を望む秘密の出会い

遊び足りない女性達が休日の相手を求めて投稿中!?

dsp-着メロ

http://rose.zero.ad.jp/sei1/mld/mero.html

一風変わった着メロをお探しなら

ここは映画、アニメ、クラシックとジャンルが多数！

写メールランドu-18

http://www.e-pon.info/land/u-18/

ご自慢の画像をみんなに公開可能！

おもしろ顔写真からペットの写真までいろいろあるよ

恋メール 100pt無料

http://89891107.jp

最新!! 究極の出会いサイト。直電・直アド大公開!!

大学生・OLさん達が直電直アドを公開しているぞ!!

キュート

http://www.c-cute.jp

出会いを求める熟女がケータイ番号大公開!!写真付。

無料で試せる安心サイト。熟女が多数登録で大変!?

戦国武将クラブ

http://salem.pinky.ne.jp

戦国時代の武将の肖像画と家紋が満載！

戦国武将を地域ごとに整理 いざ「出陣」メニューへ！

ラバーズ

http://lovers.fm/sxb

自分の好みの女性をチェックできる出会い系掲示板

女性達から熱いメッセージの嵐！

ミルミル 50pt無料

http://www.miru-miru.net

新感覚!! 写真付き出会い系。好みのお相手即GET!!

人気爆発!! カワイイ娘だけ選んでメール♥

ミルト

http://www.mlto.jp/?txc

写真で選べる！貴方のココロに合った女性をGET!?

若い女性が自慢の写真を披露して貴方を待っている。

Cポケット

http://poke.1-boy.com/mld/

使える着メロ検索機能が嬉しい♪

検索機能を駆使して着メロも楽々ゲット可能!!

フォト倶楽部

http://www.foto-c.com

自慢の写真やメールが殺到!! 直電付投稿も有

まずは無料で体験!! 好みの女性がスグ見つかるはず。

プレイメイト

http://pmm.jp

貴方好みの遊び相手をGETできるかも!?

休日の遊び相手を探すならココ!!

ライオンくん

http://lionkun.com/dor

希望のサイトを簡単検索。イチオシサイトここに集結

ジャンル別総合リンク集。迷ったらここにアクセス！

Overdose

http://memers.jcom.home.ne.jp/mentai69

博多で活動しているR&Rバンドの公式サイト。

映像も充実。70年代ロックの好きな方にオススメ!!

おーるふりー

http://all-free.tv/?sxb

ぜんぶタダ！絵文字・ゲーム・待ち画がいっぱい

「おーるふりー」は完全無料のサイト！

パラダイス

http://www.eropara.jp/vtj

選り取りみどり！趣味に合わせて女性をゲット!!

無料Pつき。即アポ希望の女性から、メールが多数!!

クラブセレブ

http://creamz.jp/?s

出会いのキメ技は直アド!? 画像も付いてハートに直通

画像で確認！ハイクラスな女達の直アドをGET

ケータイサイト特集企画に関するお問い合せは　プランニングワコー　千代田区内神田1−8−14　ヨシザワビル　03（5282）2894

できれば3日間、無理なら1日間、あるいは一食だけでも──。

食べることを
休んでみませんか？

グレート
アントニオ
誌上通販

内臓を休めて代謝をアップ、
無駄な脂肪と有害物質を撤去する。
ファスティングとは、
“カラダのリセット”です。

今、現代人のカラダは、あなたが思っている以上に疲れ、汚れ、
ダメージを受けています。
なぜでしょう？

あなたがこれまで深く考えずに食べてきたもの、
嗜好の赴くままに食べてきたもの、
カラダにいいと誤解して食べてきたもの、
それらすべてが今のあなたのカラダを作っているので、
本来の正常な働きができるカラダとは、
ほど遠い状態になっているからです。
農薬や食品添加物などの有害物質や環境ホルモンも、
あなたのカラダに溜まっています。

まずは、それらをカラダから排除しなくてはいけません。
あなたが生まれたときから休みなく働き続けている、
食道、胃、肝臓、十二指腸、大腸、膵臓、胆嚢、腎臓などを
休息させてあげなくてはいけません。

ファスティングは体重を落とすだけでなく、
「カラダを一度リセット」するための療法です。
ファスティングは、食べ物を消化するために使われていたエネルギーを、
新しい組織を再生するための活動に回すことができる、
現代人に必須のプログラムなのです。

杏林予防医学研究所所長・『ファスティング・ダイエット』開発者
山田豊文

ファスティングのおこないかた

3日間ファスティング（3日で本品3本使用）
1日ファスティングジュース1本（360cc）とミネラル・ウォーターを飲用。これを3日間続けます。4日目の朝食はお粥からはじめ、3日かけて徐々に復食していきます。

1日間ファスティング（本品1日1本使用）
1日ファスティングジュース1本（360cc）とミネラル・ウォーターを飲用。月3回の実行が効果的。翌日の朝食はお粥からはじめ、1日かけて徐々に復食していきます。

半日間ファスティング（27日で本品3本使用）
朝または夜の食事をファスティングジュース40ccに切り替えます。

PRESENT!
ただいま『ファスティング・ダイエット』
ご購入の方にアントニオ猪木お守りプレゼント中！

80種類以上の植物を自然発酵させて作りました。

プロスポーツ選手や芸能人の間でブームの断食。これは内臓を休息させて代謝を活性化させることにより、脂肪の燃焼や体内毒素の排出を促す美容健康療法です。その際、飲用されているのが、この『ファスティング・ダイエット』。

『ファスティング・ダイエット』は、大自然の緑の中でたくましい生命力を秘めて育った野草や野生植物を主に、農薬や化学肥料を使わずに栽培された新鮮な野菜・果物・穀類・海藻・貝化石などの原料にハチミツを加え、一年間以上の時間をかけ、天然の栄養分を損なうことなく独特な技術で自然発酵させた理想的な酵素飲料です。

多種類の酵素・ビタミン・ミネラルやアミノ酸などがバランスよく含まれています。減量だけでなく、肌やカラダの調子が良くなりますので、健康を願う人の栄養補助飲料として、また美容飲料として、どなたでも安心してお召し上がりください。

Mineral & Herb
Fasting Diet
（360ml×3本入り）
18,000円（税別）

開発検定／杏林予防医学研究所　〒604-8151 京都市中京区烏丸通蛸薬師西入る橋弁慶町227 第12長谷ビル5F
販 売 元／株式会社ローデス　〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F

栄養素表示
● 品名 清涼飲料水
● 内容量 360ml×3
● 栄養表示／100g（約80ml）あたり

項目	値
水分	49.9g
エネルギー	198kcal
たんぱく質	0.3g
ナトリウム	12.9mg
灰分	0.6g
カルシウム	15.4mg

原材料表示
野草 ヨモギ、ドクダミ、タンポポ、オオバコ、クコ、クマザサ、ツユクサ、松の葉、オトギリソウ、ハトムギ、カンゾウ、アカザ、アマチャヅル、キダチアロエ、ナンテンの葉、カワラケツメイ、エゾウコギ、イチョウ、カキドオシ、アマドコロ、スギナ、ケツメイシ、ツルナ、桂皮、ハブ茶、アカメガシワ、アケビの実、忍冬、杜仲の葉、ハブソウ、ヤマイモ、ウコン、マタタビ　他
野菜 トマト、きゅうり、キャベツ、ホウレンソウ、パセリ、大根、ブロッコリー、れんこん、人参、玉ねぎ、かぶ、もやし、ごぼう、しいたけ、じゃがいも
果物 りんご、パパイヤ、パイナップル、レモン
その他 塩水湖水低塩化ナトリウム液（塩水湖水ミネラル液）、根こんぶ、貝化石、果糖（蔗糖）、黒糖、オリゴ糖

スポーツ界芸能界でもファスティングが大ブーム！

ダイエットが気になる美川憲一さんもファスティングを体験しています。
3日で5kgのダイエットに成功したそうです。
（参考：『ファスティングダイエット』アスキー・コミュニケーションズ刊より）

アントニオ猪木さんはファスティングを定期的に体験しています。
3日間で10kg体重が減ることもあるそうです。ご存じのとおり、いつも元気です。
（参考：『ファスティングダイエット』アスキー・コミュニケーションズ刊より）

お仕事を休めない小池栄子さんは、自宅で手軽に断食できるファスティングを体験しました。
「小顔になり腰回りもすっきり。一気に体重が落ちたけど、胸の大きさは変わらなかった」と、笑顔です。
（参考：デイリースポーツ／2002.1/3号より）

お久しぶりの猪木Tシャツリリース！
これが俺たちの猪木！！

GREAT ANTONIO INOKI SERIES

NEW

●グレート・アントニオ猪木Tシャツtype.A
（白／サイズ XS・M・L・XL） ¥4,000（税別）

●グレート・アントニオ猪木Tシャツtype.B
（白／サイズ XS・M・L・XL） ¥4,000（税別）

アントニオ猪木お守り2003年版！
"道はどんなに険しくとも、笑いながら歩け！"

●アントニオ猪木"道険笑歩"お守り
¥1,000（税別）

●グレート・アントニオ猪木Tシャツtype.C
（白／サイズ XS・M・L・XL） ¥4,000（税別）

●グレート・アントニオ猪木Tシャツtype.D
（白／サイズ XS・M・L・XL） ¥4,000（税別）

ご注文方法

『グレート・アントニオ』&『ヤマダ元気』通販専用NAVIダイヤル

ご注文は電話 or サイト受付のみです

☎ 0570-007800 ※携帯電話からは掛かりません。

☎ 03-3295-4450 ※携帯電話でも掛かります。

【受付曜日・時間】月曜日～土曜日 AM10:00～PM6:00

グレート・アントニオ
http://www.great-antonio.jp

ヤマダ元気
http://www.yamadagenki.com

【24時間受付】

商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円（ゆうパック）、代引手数料約250円（いずれも地域によって異なります）がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で（株）ジャンボ（大阪）より郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

ご注意

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、通販のご注文は受け付けておりません。

ACCESS MAP

とうふパン専科
グレート・アントニオ

○神保町駅（半蔵門線/都営新宿線/都営三田線）より徒歩5分
○小川町駅（都営新宿線）より徒歩5分
○淡路町駅（丸ノ内線）より徒歩6分
○竹橋駅（東西線）より徒歩8分

OPEN 11:00～20:00（月曜定休）
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

DX PRESENT 読者プレゼント

【グレート・アントニオ 提供】

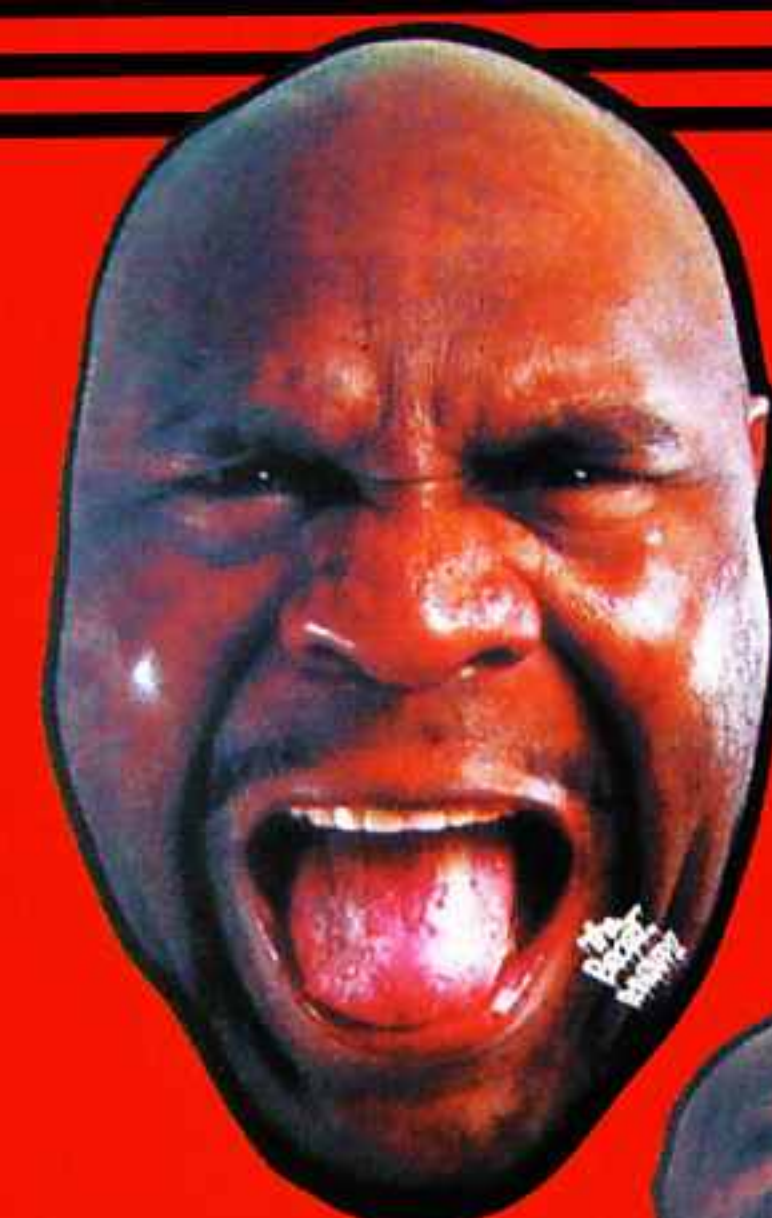
この夏の必須アイテム・猪木T キラリ個性が光る新作4種類！

猪木TシャツC
(サイズ/XS、M、L、XL)
2名様

猪木TシャツB
(サイズ/XS、M、L、XL)
2名様

猪木TシャツA
(サイズ/XS、M、L、XL)
2名様

猪木TシャツD
(サイズ/XS、M、L、XL)
2名様

※う〜ん、全部欲しくなっちゃう猪木Tシャツ4種類。友達同士、親子で、カップルで、ぜひ着てほしい。あえて、絵柄を変えてのペアルックにしてみてもいいかも。グレート・アントニオの商品に関するお問い合わせは、グレート・アントニオ ☎03-3219-9550または、http://www.great-antonio.jpまで

表情は全部で4種類。キミはどれを選ぶ？

BEASTパッド
※ベロサップ、吼えサップ、ガンサップ、マジサップの4種類のマウスパットを各1名に。会社の同僚や友達へのプレゼントにも最適だぞ！ 1,200円（税別）
4名様

収納力＆耐久性もサップ級！

BOB SAPP トートバック
※収納力バツグン！これを持っていったら学校でも人気者間違いなし！ 2,000円（税別）
1名様

【フジテレビ 提供】

フジテレビの『WWEスマックダウン』放送開始を記念して！

1名様
BACK
FRONT
※『WWEスマックダウン』はフジテレビで毎週火曜日25時28分〜26時28分、絶賛放送中！

【高田道場 提供】 **桜庭イラストTシャツ（サイズ/L）**

BACK
FRONT
桜庭Tの新作、今号は白をプレゼント！
1名様
※中川画伯のイラストが光る桜庭の新作T。カラーはネイビーと白（今回のプレゼントは白）。サイズはS、M、L、XL。価格4,200円（税別）で絶賛発売中。高田道場グッズは通信販売か道場店頭で購入できます。お問い合わせは、高田道場まで ☎03-5749-5030。http://www.takada-dojo.com

【本誌編集部 提供】

今年注目の保母さんファイター

吉住絹代 サイン入りチェキ
3名様
※本誌ハッシーがかなり入れ込んでいる様子の吉住。今年最注目選手の一人だぞ！

SAPP STATION 好評オープン中 大感謝プレゼント第三弾！ 【LOOK-1 提供】

Tシャツ・シーズン到来！ サップTで人気独り占めだ！

THE BEAST ハングリーTシャツ・黒（サイズ/M）
1名様

ボブ・サップTシャツ・イエロー（サイズ/M）
1名様
BACK FRONT

THE BEAST ハングリーTシャツ・白（サイズ/M）
1名様

ボブ・サップTシャツ・茶（サイズ/XL）
1名様
BACK FRONT

ボブ・サップTシャツ・白（サイズ/L）
1名様
BACK FRONT

※東京・原宿で期間限定オープン中の『SAPP STATION』。あと2週間あまり（5/5まで）となってきたけど、もう行ってみた？ ここで紹介したTシャツやバックはもちろん、お菓子から携帯ストラップ、フィギュアなど、ボブ・サップグッズが店いっぱい！ ショップ先行発売の貴重品もあるから、まだ行ってない人はご家族、お友達を誘ってGO！ お問い合わせは☎03-3406-5552まで

応募券は忘れずに！

官製ハガキに応募券を貼って、
(1)郵便番号・ご住所・電話番号
(2)お名前
(3)年齢・ご職業
(4)希望プレゼント
(5)今号で面白かった記事とその理由
(6)今号で面白くなかった記事とその理由
(7)本誌に対する意見・感想を書いて、以下までご応募ください！

あて先
〒101-0051
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部『読者プレゼントDX係93』まで
締め切り……2003年5月15日(木)(当日消印有効)

応募券 SRSDX 読プレ

男の子から、男へ。

キーワードは「無痛」「無傷」「安心」。
過去20万人の治療実績を誇る
上野クリニックの技術と安心が
一冊の本になりました。
あなたの下半身の悩みにしっかり、
まじめにお答えします。

第１章　日本人の3人に2人は包茎です。

包茎は病気ではありませんが、病気を起こす根源になるとともに、心理的なコンプレックスの原因にもなるのです。解決の第1歩は24時間無料相談ができる東京上野クリニックのフリーダイヤルから。

第２章　包茎は百害あって一利なし。

包茎で大損した男の実話集。●包茎は早漏のもと。●包茎は雑菌の溜まり場、性病の巣。
包茎治療で得した男の実話集。●ムスコが一皮むけたら人間も一皮むけた。●いつでも「気持ちいい」セックスができる。

第３章　最新の技術「無痛」治療法。

綿密な研究を重ね、東京上野クリニック独自の最新技術「無痛4段階麻酔システム」を開発。手術を受けた方から「痛くなかった」という声が、その成果を実証しています。●まず確実な基礎麻酔から。●深部冷却法を採用することで痛みをシャットアウト。●日本一の極細針を使用することで針を刺したことすら感じさせません。●すぐ切れてしまう局部麻酔だけではなく「背面神経ブロック」により、手術中・手術後も完全無痛を配慮します。

第４章　ていねいな手作業「無傷」の仕上がり。

東京上野クリニック独自の手術法により「無傷」を実現。それはひとりひとりに合わせた「複合曲線作図法」を行っているから。●東京上野クリニックでは手術跡が残りにくい特殊な高周波メスを使用しています。●東京上野クリニックでは美容形成用の特殊糸と極細針を使い、他にはない独自の方法で縫合。

第５章　男の性を尊重した「安心」の提供。

●東京上野クリニックは、オール男性によるプロフェッショナル集団です。
●東京上野クリニックは、男性泌尿器専門の形成外科であり、女性美容形成はいっさい行っておりません。
●東京上野クリニックでは、24時間対応のフリーダイヤルシステムを完備しています。
●東京上野クリニックでは、「生涯再診無料」という安心保証システムを導入しました。
●東京上野クリニックでは、来院すら他人にわからない完全予約制による無料診断システムを導入しています。

第６章　早めの対応が肝心な性病治療。

●包茎は尿道炎やコンジローム、包皮炎などの原因をつくりやすくします。●たいていの性病は早めの治療ですぐ完治。迷わずすぐに相談を。
●東京上野クリニックは、包茎治療と同じく、性病検査についても24時間受け付けております。

第７章　男女とも快感をアップする法。

●「余分な包皮」のカットは女性を歓喜させます。●カリに摩擦感が生まれない「余分な包皮」は、セックスの快感を大きく妨げます。

第８章　男をさらに磨く改造計画。

●東京上野クリニックでは、独自の方法で開発したコラーゲンによる亀頭増強法を提案いたします。
●東京上野クリニックでは、敏感な亀頭を強化して早漏を抑えます。

第９章　もうひとつの男を磨く道。それは育毛。

●日本人の4人に1人は薄毛に関する悩みを抱えています。●東京上野クリニックでは、その人にあった治療法をセレクトします。
●東京上野クリニックは、豊富な育毛法を提案します。

第10章　もうひとつの男を磨く道。それは脱毛。

●いま、スベスベ肌の男性がなぜモテる。●東京上野クリニックのレーザー脱毛なら、「無痛」「無傷」「安心」。
●東京上野クリニックのレーザー脱毛で得した男の話。

（以上：全て目次より）

MEN'S BODY POWER UP
一生に一度の男の手術
24時間直接電話相談 0120-508-550
メンズ総合テープ案内 0120-087-008
24時間無料電話相談
一生に一度の男の手術
無痛！無傷！安心！
東京上野クリニック

「MEN'S BODY POWER UP」
定価648円（税別）判型：A5判　ページ数：80頁

発行所 株式会社双葉社
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3番28号

ご紹介できる全国の上野クリニック一覧

地区	電話	住所
札幌	011-252-6000	中央区北4条西2 アイビル4F
仙台	022-723-3000	青葉区中央1-6-27 仙信ビル7F
新潟（NEW）	025-241-4000	新潟市花園1-4-6 柳都ビル2F
大宮	048-642-1000	さいたま市宮町2-11 ハシモトビル7F
東京	03-3274-4000	中央区八重洲1-9-13 八重洲ヤヨイビル7F
上野	03-3876-7000	台東区根岸1-8-18 高松ビル4F
渋谷（NEW）	03-5784-3000	渋谷区宇田川町33-8 塚田ビル7F
新宿	03-3343-4000	新宿区西新宿1-3-15 栃木ビル7F
横浜	045-323-5000	西区北幸2-10-50 北幸山田ビル2F
千葉	043-221-8000	中央区富士見1-2-11 勝山ビル6F
浜松	053-452-6000	浜松市鍛冶町140-3イズムハママツCビル5F
名古屋	052-562-5000	中村区名駅3-26-21 新香取ビル6F
京都	075-352-5000	下京区新町通七条下ル東塩小路町593クリスタル駅前ビル1F
大阪北	06-6456-3000	北区梅田1-2 駅前第2ビル2F
大阪南	06-6634-3000	中央区難波3-5-11 東亜ビル8F
岡山	086-224-9000	岡山市本町6-36 第一セントラルビル3F
広島（NEW）	082-511-5000	広島市中区基町11-5 防府土地広島ビル3F
福岡	092-415-6000	博多区博多駅東1-12-7 第13岡部ビル2F
鹿児島（NEW）	099-812-3800	鹿児島市中央町3-36 西駅M.Nビル5F

この本についてのお問い合わせは
TEL/03-5543-3700

泌尿器科・形成外科・性病科
東京上野クリニック

24時間無料電話相談
0120-508-550
携帯・PHSからもご利用できます。

メンズ総合テープ案内
0120-087-008
携帯・PHSからもご利用できます。

メール相談もできる男のHP　http://www.ueno.co.jp　携帯アドレス　http://www.ueno-c.com

SRSDX 5・8 No.93

平成15年1月21日第三種郵便物認可
平成15年5月8日発行（毎月第2・第4木曜日発行） 第5巻・10号・通巻93号
発行人／濱賀圭水 編集人／谷川貞治 発行・発売／（株）扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1 TEL.03-5403-8859（販売）
（株）ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
TEL.03-3295-4445（編集） 協力／フジテレビジョン・フジテレビ出版

特集『新生★PRIDE★誕生』

定価680円 本体648円

FUJISANKEI COMMUNICATIONS GROUP
雑誌21582-5/8
T1121582050685
印刷／（株）廣済堂
printed in Japan